蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net

’ INSTOREVENT SCHEDULE◆2/22(火)ライカエジソン名古屋店◆2/23(水)大阪 ZEALLINK◆2/23(水)ライカエジソン大阪店
(木)タワーレコード大阪店◆2/25(金)タワーレコード博多店◆2/25(金)博多 SKULLROSE◆2/26(土)札幌音楽処
(土)HMV 札幌店◆2/27(日)仙台 little HEARTS◆2/27(日)ライカエジソン東京店◆3/
(日)西新宿自主盤倶楽部◆3/20(日)渋谷 ZEALLINK

AYABIE OFFICIAL WEBSITE http://www.D-N-L.jp/
TOTAL INFORMATION：DNLco.,ltd. 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-8-604/E-MAIL：ayabie@D-N-L.jp

LIVE SCHEDULE◆2/5(土) 仙台 darwin◆2/11(金) 京都 FANJ◆2/12(土) 大阪 FANJ t
◆2/13(日) 名古屋 QUATRO◆2/21(月) 名古屋 E.L.L(DEATHBIE)◆2/22(火) 名古屋
◆3/7(月) 渋谷 AX..and m

AYABIE FC LAMBIE EVENT『冬の文化祭』2/6(日) 東高円寺二万電圧

。ルエカミ京奈解散
BEST ALBUM
『ザ ベリー ベスト オブ 東京ミカエル。』
2011.2.9 RELEASE
[CD2枚組] SCL-084/085 ¥3.675 (tax in)
[DISC1]
01. おぼろ月 02. ナミダイロキューブ 03. サクライロ 04. 星に願いを 05. ルポルタージュ 06. ちいさい傘 07. あおの景色
08. 最終電車 09. [illegible] 10. [illegible] 11. ヤッホー 12. [illegible] 13. ムカユイウタ 14. 僕から君に贈る唄（新曲）
[DISC2]
01. カルマの翼 02. 境界線 03. しゃぼん玉 04. ナミダ 05. 青空と口笛 06. 切別の景色 07. 優しい雨
08. 憂鬱痛 09. ぐるまき 10. カレイドスコープ 11. 天邪鬼少年 12. サイン 13. ハッピーエンド 14. オモイデマイゴ
2nd FULL ALBUM
LOVE.
NOW ON SALE
SCL-083 ¥3,150 (tax in)
01. Over 02. ハピネス 03. float 04. 溶解液 05. 飛べない鳥 06. カレイドスコープ
07. ヤッホー 08. 拒絶本能 09. 死ぬこと 10. 雪唄 11. ドキドキ
S'CUBE
〒106-0032 東京都港区六本木 4-8-6
パシフィックキャピタルプラザビル 6F
MAIL：scube@scube-web.com
東京ミカエル。 Web Site：http://tokyo-michael.jp/

LAST ONEMAN LIVE『僕から君に贈る唄』

2011年2月28日(月) Shibuya O-WEST

(問)Shibuya O-WEST 03-5784-7088

ADV ¥3,000 / DAY ¥[illegible](共にD代別) OPEN 18:00 / START 18:30

チケット：チケットぴあ、ローソンチケット、自主盤倶楽部にて発売中(バンド予約なし)

入場順：自主盤倶楽部→チケットぴあ、ローソンチケット並列→当日券

LAST ONEMAN TOUR『ロストキャンバス』

■2011年2月11日(金・祝) HOLIDAY NAGOYA

(問)HOLIDAY NAGOYA 052-249-2161

■2011年2月19日(土) 静岡 SUNASH

(問)静岡 SUNASH 054-288-0880

■2011年2月20日(日) HOLIDAY OSAKA

(問)HOLIDAY OSAKA 06-6362-5288

ADV ¥2,800 / DAY ¥3,300 (共にD代別) OPEN 17:30 / START 18:00

チケット：[HOLIDAY NAGOYA・静岡 SUNASH] HOLIDAY NAGOYA 店頭、チケットぴあにて発売中

[HOLIDAY OSAKA] HOLIDAY OSAKA 店頭、チケットぴあにて発売中 バンド予約あり

入場順：会場店頭→チケットぴあ→バンド予約→当日券

慧美网 vimee.net
蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

aicle
愛狂います。

レーベル移籍第一弾!!
New Album 「アルク」
2011.3.9 Release!!

初回盤：CD+DVD ¥3,800(税込) / PCLP-006～7　通常盤：CD ¥2,800(税込) / PCLP-008

新音源発売記念単独公演 ‐東京ドミノ‐
2011.4.2 sat 渋谷 O-EAST
open 17:00 start 18:00 adv.¥4,000 door.¥4,500 ドリンクチャージ別

チケット発売日 1/29～
★ローソンチケット 0570-084-003(L76602)
★チケットぴあ 0570-02-9999(P126-935)
★イープラス http://eplus.jp/
★ライカエジソン 03-3369-3708
★ZEAL LINK 03-5784-9666
総合問合せ：チッタワークス 044-276-8841

STAR HILLS　KIGA

http://www.aicle-web.com

新世界へ可能性という武器を手にした
“愛狂います。”の宣戦布告盤発売!!
これは虚構ではない…。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

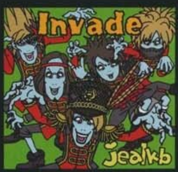
jealkb

Invade

1. 殺気繚乱　2. 最後の嘘　3. 腐敗した世代　4. 罪と罰と罠　5. makemagic
er special summer　7. 傷心マキアート　8. ト或コイ　9. リグレラ　10. baker baker paradox
11. ROLLING　12. 恋心　13. 静かな夜　14.WILL -album ver.-

※「恋心」Vocal：haderu with 逹瑯（ムック）

Illustrated by 鳥山 明 ©BIRD STUDIO



初回 A　CD＋LIVE DVD
YRCN-95157/ ¥3,675 (tax in)

初回 B　CD＋HISTORY DVD
YRCN-95158/ ¥3,675 (tax in)

通常盤　CD ONLY
YRCN-95159/ ¥2,940 (tax in)

初回生産限定盤 DVD

A：LIVE TOUR 2010「秋薔薇ノ紅」@ SHIBUYA-AX 収録
B：jealkb HISTORIY DVD 2005-2010 収録

初回生産限定 AB 封入特典

A 賞：jealkb LIVE TOUR 2011「鳥薔薇ノ空」での各会場打ち上げ 10 名様ご招待
B 賞：オリジナルグッズプレゼント（予定）

2011.2.9 wed Release

jealkb LIVE HOUSE TOUR 2011「鳥薔薇ノ空」

2/10（木） shibuya egg-man
2/18（金） HEAVEN'S ROCK さいたま新都心
2/24（木） 神奈川サンフォニックスホール
3/3（木） 高崎 club FLEEZ
3/10（木） KYOTO MUSE
3/11（金） OSAKA MUSE
3/17（木） 松阪 M'AXA
3/19（土） 名古屋 E.L.L
3/31（木） 岡山 IMAGE
and more…

3/19（土） 名古屋 E.L.L のみ 17:00 OPEN / 18:00 START
その他会場　18:30 OPEN / 19:00 START
オールスタンディング　¥3,800 (in tax) +1 drink order

各プレイガイドにて
関東公演：2011/1/15（土）am10:00 より一般発売開始
その他公演：2011/1/29（土）am10:00 より一般発売開始

YOSHIMOTO R and C CO.,LTD.　JKB RECORDS　OFFICIAL HP　http://jealkb.jp

蝴蝶网
hudie.com

己龍 全国単独巡業「夢幻鳳影」

チケットの購入方法及び公演詳細は己龍公式頁をご覧下さい。

02月24日（木）高田馬場 AREA
02月26日（土）柏 PALOOZA
02月28日（月）宇都宮 VJ-2
03月03日（木）さいたま新都心 VJ-3
03月06日（日）浜松 FORCE
03月09日（水）神戸太陽と虎
03月11日（金）福岡 DRUMSON
03月13日（日）岡山クレイジーママ 2nd ROOM
03月15日（火）松山サロンキティ
03月17日（木）大阪 MUSE
03月19日（土）名古屋 ELL FITS ALL
03月21日（月）金沢 AZ
03月23日（水）新潟 GOLDEN PIGS RED
03月30日（水）仙台フック
04月01日（金）札幌クラップスホール
04月03日（日）札幌クラップスホール

慧美网
vimee.net

■アルバム「夢幻鳳影」対象 インストアイベント

3月5日(土)@Brand X
3月7日(月)@浜松Ash LD50
3月12日(土)@SKULL ROSE
3月14日(月)@広島マジカルスクエア
3月18日(金)@ジールリンク大阪店
3月18日(金)@ライカエジソン大阪店
3月20日(日)@ライカエジソン名古屋店
3月24日(木)@リスキードラッグストア
3月26日(土)@自主盤倶楽部
3月27日(日)@ライカエジソン東京店
3月29日(火)@リトルハーツ
4月9日(土)@ジールリンク渋谷店

□■号外■□
己龍ファンクラブ「子龍（しりゅう）」発足決定!!
※ 入会方法やその他詳細等は己龍ファンクラブ公式頁をご覧下さい。http://www.shiryu.jp/

夢幻鳳影

二〇一一年三月二日（水）全国一斉発売

初回限定盤
BPRVD-026 ¥3,500-/¥3,675- CD11曲+DVD1曲2枚組みCDケース仕様
CD収録曲/
DVD収録曲/夢幻鳳影 ヴィデオクリップ
●トレーディングカード2枚（全10種）●2タイプ購入特典用 応募用ハガキ+応募券A

通常盤
BPRVD-027 ¥3,000-/¥3,150- CD12曲 CDケース仕様
CD収録曲/
●トレーディングカード2枚（全10種）●3タイプ購入特典用 応募券B

★W購入応募者全員に全国単独巡業「狂瀾怒涛」のツアーパンフレット（サイン入り）プレゼント。

己龍単独巡業「夢幻鳳影」～千秋楽～

2011年4月17日（日） 赤坂 BLITZ

開場17：00/開演18：00　前売¥3,800 当日¥4,300（整理番号付 Drink 別）

■ファンレターの宛先　〒274-0825　千葉県船橋市前原西4-1-14-303　株式会社　ビーフォレスト内B.P RECORDS　己龍 ○○○○宛
■公式マイスペース　http://www.myspace.com/kiryumyspace/　■バンド予約メールアドレス］live-info@kiryu-web.net
■ローディーの募集　18歳以上の男子（要普通免許）、詳しくはinfo@kiryu-web.netまでお問い合わせ下さい。

CONTENTS

078 Kanon×TOKIO HOTEL
カノン × トキオホテル
080 Sadie
サディ
082 lynch.
リンチ
084 ゾロ
086 boogieman
ブギーマン
088 TOON-FACTORY
トゥーン・ファクトリー
090 Blu-BiLLioN
ブルービリオン
092 ケミカルピクチャーズ
098 BORN
ボーン
101 葵&涼平 incl.アヤビエメガマソ
アオイ・アンド・リョウヘイ
104 花少年バディーズ
ハナショウネンバディーズ
106 陰陽座
オンミョウザ
108 jealkb
ジュアルケービー
152 アンド
154 SCREW
スクリュー
156 Moran
モラン
118 SHOCK WAVE アポロ
122 SHOXX MODE 厳選してお届けする最新情報!!
DEATHGAZE
デスゲイズ
the Riotts.
ライオット
LOST ASH
ロストアッシュ

Book in Book

051
★スペシャル綴じ込み付録
the GazettE
ガゼット
12月26日東京ドーム
公演速報レポート!!

135 アーティスト BOX
140 プレコン WORLD
142 ぽっくんの主張
連載
143 大島暁美の
ロックンロール日記
144 Mission in
ぽっくん
031 応募者全員プレゼント

Editorial in chief／Kuniaki"B"Suzuki
Editors／Misako Shida, Junko Arasawa

Art Director／Noriaki Ishimatsu
Design Stuff／Yoichirou Fujii,
Maki Yoshikawa, Hitomi Ikeuchi(Bakery37.1),
Nakane(amulet label),
Yukako Takayama, Noriaki Ishimatsu,
Youki Maenohama,
T.O.MAMMOTH graphics

VISUAL & HARD SHOCK MAGAZINE
Vol.218は2011年2月21日(月)発売
http://www.ongakusenkasha.co.jp
発行所／株式会社音楽専科社
104-8228 東京都中央区銀座 6-2-3Daiwa 銀座アネックス5F
TEL／03-3574-0201(代表)
発行人／荒井敏行
編集人／鈴木邦昭
製版・印刷／株式会社プロスト/凸版印刷株式会社
発行日／2011年3月1日
特別定価／1,200円本体1,142円

蝴蝶网
hudie.com

SHOXX

2011
3月号
Mar Vol.217
Cover Model : Alice Nine

Photo : Susumu Miyawaki (PROGRESS-M)
Design : Noriaki Ishimatsu

012 Alice Nine
アリスナイン
破壊の後に、広がった世界とは？NEW ALBUM『GEMINI』を紐解く

蝴蝶网
hudie.com

033 シド
4人が見た景色とは！東京ドーム完全レポート
038 ナイトメア
12月25日、幕張メッセ公演レポート

042 ミヤ（ムック）
ライヴの定番のノリを壊したかった
046 葵 from 彩冷える
アオイフロムアヤビエ
衝撃のフォト・セッション!!
NEWALBUM『ONE』リリース・インタビ
052 ギルガメッシュ
渾身のアルバム『GO』完成！
056 一志（Kagrra,）
イッシ
112 LUNA SEA
ルナシー
060 Kra
ケラ
062 SuG
サグ
064 THE KIDDIE
キディー
066 D'espairsRay
ディスパーズレイ
068 ViViD
ヴィヴィッド
146 DOG inTheパラレルワールドオーケス
ドッグ・インザパラレルワールドオーケストラ
072 12012
イチ・ニー・ゼロ・イチ・ニ
074 heidi.
ハイジ
076 Lc5
エル・シー・ファイブ
077 Versailles
ヴェルサイユ

蝴蝶网
hudie.com
Alice Nine

蝴蝶网 hudie.com

GEMINI

馴染みのある場所から、開けた世界へ

【構築のための破壊】という景色を見事に描ききったフルアルバム『VANDALIZE』から約2年。
彼らは通算4枚目のアルバムを完成させた。
タイトルは『GEMINI』。双子・双子座という意味を持つというこのタイトルに彼らが込めた想いは、今、彼らが目指す、理想のバンド像であるという。
破壊の後に、広がった世界———。
それは、彼らの目に映し出されてきた景色と、今、Alice Nineというバンドに求められている景色の共存であった。
彼らが、今作『GEMINI』を作り上げていくまでの過程と、そこに納めた楽曲へのこだわりをロング・インタビューで探っていくことにしょう。

Photography : SUSUMU MIYAWAKI(PROGRESS-M)
MASAKAZU KOBAYASHI(LIVE/SHOXX)
Art Direction : NORIAKI ISHIMATSU
Report&Interview:NAOKO TAKEICHI
Hair&Make-up:KAOLU ASANUMA (Deep-End.,Ltd.)/FUMIE NOZAWA
Location : 六本木クラブチック

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

将
vocal

v慧美网
vimee.net

ヒロト
guitar

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

虎
guitar

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

Nao
drums

蝴蝶网
hudie.com

―いよいよ完成したね、4枚目のアルバム『GEMINI』。

沙我：ですね。『VANDALIZE』から約2年かけて、いろいろと試行錯誤しながら、やっと自分たちなりに、Alice Nineらしさを形に出来るようになったんじゃないかなって思える1枚が作れたかなと。

―沙我さまは、前号のパーソナル・インタビューで、〝LUNA SEAだったら『MOTHER』と『STYLE』が、何か掴んで乗り越えた後のアルバムだったように思うし、L'Arc～en～Cielだったら『True』『HEART』だったと思う。両方とも、偶然かもしれないけど、4・5枚目のアルバムだから、自分たちAlice Nineも、この『GEMINI』が、何か掴んで乗り越えた後のアルバムになるんじゃないかと思う〟って言っていたよね。

沙我：ですね。偶然なのかもしれないけど、バンドって、いろいろと試行錯誤しながら、本当の自分たちらしさを見つけていくんじゃないかなって思うんですよ。自分たちが目指すバンドの音と、ファンの子たちが求めている音がなんであるのか？ 正直、まだまだ全てを知り尽くした訳ではないし、今回のアルバムだって、まだまだ試行錯誤の中にあると思うんですけど、でも、『GEMINI』では、今の段階での、ひとつの答えが出せた気がしてるというか。

―激しいモノもポップなモノも、その両方ともがAlice Nineなんだってことを、詰め込んだ1枚になったって言っていたけど、まさに、その言葉どおりのモノを感じたアルバムだったよ。今回のアルバムを作る上で、立てたコンセプトやテーマはあったりしたの？

将：最初からテーマを立てて、そこに向かっていったというより、デモが出揃った時点で、沙我くんとのやりとりで、〝地球から月に行くような、開けた感じ〟にしようかっていう、ひとつのテーマ的なモノが上がってきたんです。つまり、〝馴染みのあるAlice Nineの世界から、ディープなAlice Nineの世界へ、みなさんをお連れする〟っていう1枚にしたいねって。あとは、自分たちが目指

めている音っていうところにも繋がってる部分で、この1枚のアルバムの中で、Alice Nineというバンドの二面性が見せていけたらいいなって思ったんです。『GEMINI』っていうのは、そこから来てます。GEMINIって、双子座とか、双子っていう意味があるんですけど、そこから、表裏一体的なモノにも繋がればいいなと思って。根底は同じなんだけど、相反するモノを表現したいと思って、考えた結果に辿り着いた言葉が、GEMINIだったんです。

―なるほどね。それは、将くんと沙我さま2人のやりとりの中で生まれたの？

将：ですね。5人で話し合ってという感じではなかったですね。

沙我：とは言っても、俺と将くんとの勝手な意見という訳ではなく、歌詞を書いていく上では、やっぱりテーマ的なモノって必要になってくるんで、そこで必要なことを話合ったって感じだったんですけど、ぶっちゃけ、俺も自分自身が作曲する人間として、あんまり、楽曲作りの上でテーマって必要ないんですよ。時には（タイアップ的なことがある場合など）、テーマに基づいて作らなくちゃいけないときもあるけど、曲を作るときって、逆に、そういうのってあんまり必要じゃないんですよ。作曲者的に一番に考えるところは、〝とにかく、いい曲を作ろう〟っていうところだったりするんで。でも、やっぱり、歌詞を担うヴォーカリストにとっては、歌詞やタイトルを作っていく上で、テーマってすごく大事なモノでもありますからね。

ヒロト：そうだね。でも、このアルバムに至までのシングルの制作段階から、〝馴染みのある場所から開けた世界へ〟っていう感じのテーマは、なんとなく5人の中に生まれてはいたんですよね。

―前アルバム『VANDALIZE』から今作までの間には、「華」「閃光」「Stargazer.」っていう3枚のシングルが存在する訳だけど、その流れの中で、既に、〝馴染みのある場所から開けた世界へ〟っていうテーマは生まれていたと。

ヒロト：そう。カッチリとしたテーマ

ういう方向性でいきたいね〟っていう話は5人でしてたような気がする。最初の話にも出て来てたように、『VANDALIZE』で、タイトルどおり、ひとつ何かを壊して、そこで掴んだモノを、次にどう活かしていくかっていう話をしてたときに、〝シングルでは、みんなが求めてくれてるような、いわゆるAlice Nineらしい、馴染みのある楽曲で攻めていって、アルバムでは、逆にアーティスト性の高い、突き詰めた作品を作っていこう〟っていう、大きな意味でのテーマみたいなのは、作曲者であるウチらの中にもありましたね。だから、自然とそういう思いの詰まった曲作りになってはいたと思う。

―なるほどね。今のヒロトの言葉は、このアルバムが見える一言だったと思うし、ここに至までのシングルの意味もすごく解りやすく言葉にしてくれた気がするな。まさに、「閃光」「Stargazer.」「蜃気楼」って、このアルバムの中で、すごくシングルっぽさを光らせてるし。でも、かと言って浮いてる訳ではなく、すごく調和してるし。不思議だよね、そこが。でも、今回、「華」が入っていないのはどうしてなの？

沙我：「華」は、当時は新しいところへ一歩踏み出せたと思ってたんですけど、でも、今振り返ると、『VANDALIZE』の一部だったなって思うんですよね。当時「華」を作り上げたときは、〝すごいキャッチーな曲が出来た！〟と思ってたんですけど、今になって振り返ったら、思いきりが足りなかったというか、まだまだその先の一歩を踏み出せずにいた感じがするんですよね。だから、今回のアルバムの色ではないかなと思って、今回「華」は入れずに、「Stargazer.」のカップリングだった「蜃気楼」を入れることにしたんですよ。

―「蜃気楼」は虎の作曲曲だけど、虎っぽくない1曲でもあったよね。

虎：ですね。「蜃気楼」は、岡野ハジメさんというプロデューサーを迎えての楽曲作りってこともあって、大きく変化した1曲ではありましたね。聴いてて心地よいメロディーを、すごく意識した1曲でもありましたからね。個

具体的にアルバムに向かって動き出した感はありましたね。ツアー中だったこともあって、いろいろと両立しながらスタートしたアルバム制作だったんで、最初は正直、なかなかアルバムに専念出来る感じではなかったんだけど、でも、そういう環境やライヴ感もアルバムには意識しなくても出てると思うし、それがそのときの自分たちだし、本当に今のAlice Nineが詰め込めたアルバムになったんじゃないかなと思いますね。

Nao：今回のアルバムは、岡野さんが居てくれたことで、大きく変われた気がする。精神的に安心感も大きかったし。自分たちだけでやっていたときよりも、より、作品に広がりを持たせられるような気もしていたのもあって、自分たちの曲ながら、仕上がりが自分たち的にも楽しみで仕方なかったっていうか。デモの段階から、個人的に好みの曲はあれど、どの曲がアルバム曲として選ばれても、文句ない曲が出揃ってたなって思いますね。それだけ、メンバーの想いが同じ方向を向いてたのかなって。

―いままでのアルバム制作では、選曲会のとき、収録曲数ギリギリの曲数しかなかったけど、今回は、たくさんの曲が出揃ってたって言ってたもんね。

Nao：そうなんですよ。今回は、具体的に何曲あったかしっかり覚えてないけど、かなりの曲数ありましたからね。

沙我：かなり意欲的でしたね。

ヒロト：個人的には、アルバム曲という意識ではなく、シングルの時期とかぶってたのもあって、その流れで曲作りをしてたって感じだったけど、とにかく、さっき言ったみたいなことを、常に意識しながら曲作りをしてましたからね。今回のアルバムは、沙我くんがすごく頑張ってくれてたのもあって、僕は3曲くらいしか作ってないんだけど、一番変化があったなって感じたのは、「Stargazer.」のときだったかな。「華」を作ったあたりから、次のアルバムに向けてのいろいろな挑戦はあったから、今回のアルバムで一気に変化したっていう感覚はないかな。

―なるほど。アルバムについて、詳しく聞いていきたいんだけど。1曲目

このアルバムのオープニングSEのような雰囲気を宿した1曲だよね。

沙我：この曲は、最初入る予定じゃなかったんですけど、周りの後押しにより、入ることになったんです。

ヒロト：ツアー中は、この曲じゃない別の曲をプリプロまで進めてましたからね。

沙我：「I.」が入ることになったんで、その曲は、今回は入らなかったんですけど、曲的には、その別曲も、いままでにやったことのない感じのサウンドだったし、曲調だったんですけど、「I.」の方が、このアルバムの中に入ったとき、しっくりくる感じだったんです。「I.」は、俺が、高校生の頃に作った曲なんですよ。ちゃんとデータで残しておいた訳ではなかったんですけど、脳内にずっと残っていた曲で、いつか形にしたいなって思ってたんですよ。

―そうなの？ それは意外。むしろ、今回のアルバムは、この曲が生まれたことで、広がっていった1枚だったんじゃないか？って思ったくらいだったから。それに、「I.」は、「Stargazer.」や「蜃気楼」とも、4曲目の「4U」とも、すごく深く繋がっている空気感も感じたし。

沙我：たしかに、結果的にそう感じさせるモノになりましたね。「I.」は、ストリングスがメインの楽曲を作りたくて作った1曲だったんです。なので、バンドサウンドとかは、まったく意識してないと言ってもいいですね。

虎：「I.」に始まって、頭の方は、すごく聴きやすい楽曲でまとめられてる気がするんですよね。でも、中盤以降が、ちょっとマニアックになっていく感じでまとめられてますね。

将：歌詞的な繋がりの部分で言うと、俺の中で、「I.」と「4U」は繋がってますからね。自分のことと、貴方のこと。そんな繋がりも、今回のアルバムの流れの中では、面白い位置に置かれてるんじゃないかなと思いますね。ちなみに、ラスト曲の「birth in the death」とかは、1曲の中で、アルバムのテーマでもあった二面性を表現した歌詞だったりもするんですけど、そこは、今回のアルバムのテーマがあったからこそ生まれてきた歌詞だと思うし。今回、歌詞的には、いろいろと遊

蝴蝶网
hudie.com

——なるほど。アルバムのオープニングをイメージされる「L」から、どう流れていくのかな？という期待感の中、"そうくるんだ！"的な驚きもあった、ヘヴィナンバー「RUMWOLF」。これはヒロト曲ですが。

ヒロト：この曲は、沙我くんとの合作なんですけど、曲調の感じ的には『VANDALIZE』の7曲目に収録されてた、「www.」に似た雰囲気かなと。この曲は、最初、"アルバムの中に1曲、馬鹿な曲が欲しいよね"っていう話になったんですよ。「Stargazer.」で、岡野さんと一緒に音作りをするようになって、ちょっと古いロックンロールをやってみようかっていう話になったことがあって、古いロックンロールを聴いたりしてたんです。そのとき、自分的にも、ちょうど、シンプルなロックンロールリフの曲がやりたいなっていうときだったんで、まず、そこの部分を素直に形にしてみたんです。それを元に、沙我くんが1曲の楽曲にまとめてくれたっていう流れでしたね。

沙我：あ、これ、ヒロトファンに恨まれると嫌なんで、一応弁解しといていいです（笑）？　俺が、ヒロトが持ってきたリフを奪って1曲にまとめたっていうんじゃなく、今回のアルバムの中に、どうしてもヒロト曲を入れたかったんで、"このリフを1曲の形にして入れよう！"って、斡旋したんですよ！　だから、ヒロトのリフを奪って俺が1曲に仕上げたんじゃなく、俺が、ヒロトのリフを救ったっていう形だったんで、ヒロトファンのみなさん、俺を恨まないように（笑）！

虎：あはははは。

ヒロト：そんな文句を言うヒロトファンは居ないと信じたい（笑）！

沙我：だから、この曲で俺が上手に行ったときは、"ふんっ"ってしないで、むしろ、"沙我さま、ありがとう！"っていう優しい目であたたかく迎えて欲しいなと。ヒロトファンのみなさま（笑）。

——間奏ではベース、結構フィーチャーしてるけどね（笑）。

虎：弁解しておきながら、"結局目立ってるんじゃん、ベース！"みたいな（笑）。

沙我：一瞬ですから！　せっかく弁解したのに台無しじゃないですか（笑）！

大丈夫、ヒロトファンはそんなこと気にしないから（笑）！

——間奏にホーンを入れてたりするよね。ブラスの音って強いから、ブラス部分が際立つことが多いけど、この曲の不思議なところは、そこまでブラスを立たせないで加えているところもポイントだよね。

沙我：ですね。ブラスを、こういうヘヴィなロックに加えていくのって、結構勇気がいるんですけど、いい意味でキャッチーにもポップにもなったし、ありきたりな感じにならなくて良かったなって、自分たち的にも思いましたね。最初は、もっとオルタナティブだったんですよ。

——ブラスを入れようというのは、沙我さまの意見だったの？

沙我：最初に、岡野さんが"入れてみるのも面白いと思うよ"っていうアイディアをくれたんですよ。で、"どう？"って聞かれたんで、やってみるのも面白そうだなって思ったんで、挑戦してみたんですよ。そしたら、いい化学変化が生まれたというか。そういうとき、やっぱり、自分たちだけでやってたら、出て来ない斬新な意見があると、冒険出来るなって思うんですよね。

Nao：たしかに。でも、この頭の流れ、いい感じですよね。「L」、「RUMWOLF」、「Stargazer.」、「4U」、「蜃気楼」っていう流れね。でもね、俺、近い将来、絶対に、逆から再生すると思いますね（笑）。

——どうして？

Nao：いや、なんとなくなんですけどね（笑）、流れに飽きたら、自分的な流れを作って聴いてもらっても楽しいアルバムなんじゃないかなって思うんですよ。そこが、今回のアルバムの俺のオススメな部分ですね。

沙我：岡野さんに、曲順をナメるなって言われましたからね（笑）。

——たかが曲順、されど曲順ってこと？

沙我：そうですそうです！　聴き手が後から自分の好みで並び替えて聴いてくれるのは、すごくいいことだけど、提示する側が1枚のアルバムとして曲を並べるときは、とにかく何度も聴き返して、慎重に並べろって言われましたからね。

——たしかに。曲の並びによって、すごく聞こえ方が変わってくるからね。

将：そこは大きいと思いますね。今回、特にそこまでヘヴィな印象のハードな楽曲がない中で、この曲と「KING & QUEEN」は、サービス曲というか、立ってる2曲なんじゃないかなと。「RUMWOLF」は、直訳すると"羊狼"ですが。この歌詞と「KING & QUEEN」は、すごく遊べて書けた歌詞でしたからね。ここら辺の曲を、他の楽曲たちの中に、どう置いていくかっていうのは、考えた部分でもありましたね。

沙我：今回、あまりにも激しい曲が無さ過ぎるねってことになり、まさに、「RUMWOLF」と「KING & QUEEN」は、最後に付け足す感じで作りましたからね。

——「RUMWOLF」と「KING & QUEEN」の2曲が最初なかったとなると、相当柔らかい印象の1枚だったんだね。

将：そう。始めはね。

——ぼんやりした感じというか。まさに、UK系色の濃い1枚だったというか。

沙我：ですね。なんか、そんな気分だったんです。長くバンドをやってくると、激しい音楽じゃないところに惹かれる時期ってあると思うんですよ。そんな時期もちょうど重なったのかなって思ってて。でも、またやりたくなるんですよ、頭振りたくなるような激しいロックも。だから、ファンのみんなには、悲しまないでほしいですけどね。激しい音楽をやらなくなる訳じゃないんで（笑）。

将：頭振れる音楽って、わかりやすい部分が多いですからね。ノリとかが。

——頭振れない音楽って、どう聴いたらいいのか解らないっていうかね。優しい音楽が、ぬるく聴こえてしまっていた時期っていうのは、絶対にある。でも、だんだん、精神的にノレるというか、入れる音楽を心地よく想う年齢がきて。

Nao：すごく解る（笑）。

沙我：音楽はジャンルで聴くモノじゃないんだっていうのを、年齢を重ねると知ることになるんですよね。

——そうだね。このアルバムは、そういう意味で、すごく音楽の楽しみ方を教えてくれてるような1枚な気がするよ。

ヒロト：そう感じてもらえたら嬉しいな。

沙我：でも、やっぱ、ウチら的にも、ライヴでは頭振りたいんで（笑）、ここは激しいロックも入れとかないとねってことで、入れることにしたんです、「RUMWOLF」と「KING & QUEEN」。こういう曲たちは、ファンの子は絶対好きだと思いますからね。

将：そういう意味で、この2曲は、サービス曲なんです（笑）。ファン的には、「閃光」がすごい人気だったりするんで。

——そうなんだ！「閃光」って、ある意味、すごく昔のメタルの臭いがする楽曲だったから、個人的には最高に好みな楽曲だったんだけど、今の若い子たちが聴いて、どう想うのかな？って、すごく興味があったというか。

虎：すごい好きみたいですよ、ファンの子たちは。ウチら的にも、どういう反応が返ってくるのか楽しみな1曲だったんですけど、"あ、なるほど、こういうの好きなんだ！"って思いましたからね。

将：ちなみに、「閃光」は、8年来の付き合いになる、ナイトメアのRUKAさんが、"「閃光」、いい曲じゃん！"って初めて褒めてくれた1曲でもありましたからね（笑）！

Nao：へぇ〜そうなんだ！　それ初耳なんだけど！　でも、それ嬉しいね！

——初めてって（笑）。

将：（笑）。でも、そのとき、"どうして最後に、もう一回サビが来ないのか、沙我くんに聞きたい"って言ってた（笑）。

虎：あははは。RUKAさんだったら、最後にもう一回サビを持ってくるっていうことなんだろうね（笑）。

Nao：たしかに（笑）。だろうね。で、その質問に対してどうなの？

沙我：なんでだろ（笑）？　そこで完結させちゃったという（笑）。あ、ちなみに、今、褒められたから言う訳じゃないですけど、ナイトメアの新曲の「D線上のトラジェディ」、すごいいい曲だなって思ってたんですよ！って、この原稿に書いておいて下さい（笑）！

——あ。ちなみに、「D線上のトラジェディ」は、咲人の曲なのね。

沙我：あ………。

一同：（爆笑）。

Nao：ま、でも、ナイトメアの曲であることには変わりないからね（笑）。

——そうだね。どんまい（笑）！

沙我：あ（笑）。でも、俺、ナイトメアの「D線上のトラジェディ」を聴いたときに、正直、Alice Nineの「閃光」と通じるモノがあると思ったんですよ。なんていうのかな、いい意味で古いロックを感じたというか。ドラマティックでありながら、すごくロックしてる感じの世界観が、近いなって思ったんです。

——解る。同じ温度を放ってる曲だよね。でもね、今回のアルバムを不思議に思ったのは、UKっぽいぼんやりとした美しい世界観もありつつ、すごく古いロックを感じる1枚だったこと。

沙我：たしかに、今回のアルバムって、古めな音かも（笑）。今風な感じがないっていうか。ナイトメアに続き、いろんなバンドの名前を上げて話しちゃいますけど（笑）、ムックの『カルマ』とは対極なアルバムなのかも。ムックの『カルマ』って、すごく今っぽいアルバムだと思うんですよ。もちろん、そこがすごいカッコイイなと思ったんです。今っぽい音を取り入れながら、昔からのムックらしさを失ってないとこが、すごいなって思ったというか。それって、実際にやろうと思っても、相当難しいことだと思いますからね。でも、それをちゃんと形に出来てて、すごいなって思ったんです。そこに比べて、ウチらの『GEMINI』って、新しい、今っぽい音を取り入れた挑戦じゃなく、古くから存在してるモノを、自分たちらしく表現してる感じというか。もちろん、そこがバンドにとっては大きなチャレンジな訳ですけど。

——そうだね。単なる焼き直しってことにはなっていない、Alice Nineの個性を感じるモノだから、そこがすごく不思議なんだよね。

ヒロト：たしかに、そういう意味では、『VANDALIZE』の方が、新しいジャンルへの挑戦があったというか、やっぱり壊した感はあったというか。

——「KING & QUEEN」なんかも、オールドロックな臭いがすると思うからね。この曲は虎の作曲曲だけど、虎的には、どういう景色を思い浮かべて、この曲を作っていったの？

蝴蝶网 hudie.com

虎：この曲は、まさに、沙我くんから、〝激しい曲が欲しいから、なんか、このアルバムの中に入れることを意識した上で、激しい曲作ってほしい〟って言われたんですよ。それで、〝んじゃ、こんなんどう?〟的な感じで作ってみたんですよ。

——〝キンキンキーン〟って音階を上がっていくような、高いキーの曲始まりも、ズクズク系のギターも、ベケベケ系のベースも、往年のロックを感じたというか。

虎：ズクズク系のギター曲もね、王道と言えば王道じゃないですか。だから、そこを、どうありふれた曲にしないように、新しく生み出していくかっていうのを、すごく考えたとこでしたね。いままでも、アルバムの中に1曲は、ズクズク系の曲、入れてきましたしね。今回のこの曲は、このアルバムの中に入ることを前提に書いた、ズクズク系の曲だったんで、そこの新しさは感じてもらえるんじゃないかなと思いますね。

Nao：ちなみに、ギターがズクズクしてたんで、ドラムもドコドコ攻めてみました。アルバムの中でも、すごくいいフックになってる曲だと思うので、この曲に行き着くのを、楽しみにしてほしいですね。

将：この曲は、歌メロのキーも相当高いですからね。ライヴでやるときは、結構大変そうだなって思いますもん。歌詞は、曲に対して、キャラクター付けした感じでしたね。曲のキャラクターをより伝えるために、ラッピングの作業をしたというか。すごく自由に書けた歌詞でした。メッセージ性を大事にしたというより、いろんな取り方が出来るような、意味がないのを楽しんでいるような歌詞なので、そこを楽曲と一緒に楽しんでもらえたらなと思いますね。

——なるほど。そして、ちょっと異色だと思ったのは、9曲目の「風凛」。これは、和な感じというか。

将：俺、この曲を聴いて、安全地帯だと思ったんですよ。そしたら、沙我くんに、ジェームス・ブラウンだって言われたんです。

——へ!? ジェームス・ブラウン!? この曲が??

沙我：そう（笑）。いやいや（笑）、曲自体は、和って感じてもらったように、ぶっちゃけ、めちゃめちゃ演歌なんですよ、この曲。そのとき、〝あ、そういうことか!〟って気付いたんですよ。なるほど、演歌とジェームス・ブラウンって同じことなんだって。

——それは、ソウル的な面で?

沙我：そうですそうです。

——なるほど。たしかに。演歌は日本のソウルだからね（笑）!

沙我：そう。発見だったんですよ、自分の中で。ソウルな世界を日本人がやったら、演歌になるんだっていう。

ヒロト：むしろ、和っぽいって言葉を濁すより、演歌っぽいって言わないと伝わらないのかなって思う。

——そうだね。正直、聴いたとき、〝うわっ。演歌っぽ!〟って思ったんだけど、今、こうしてインタビューで話すときは、〝演歌っぽいね〟って言っちゃうのを躊躇した自分が居たんだよね。

沙我：その感覚は解りますけどね、なんか、〝ソウル=カッコイイ〟のに、〝演歌=ダサイ〟みたいな感じというか。正直、自分も最初は、演歌っていうジャンルに抵抗があった人間なんですけど、でも、演歌というジャンルを調べていくと、やっぱりそこは、ジェームス・ブラウンなんですよ（笑）。だから、今はこの曲を、演歌っぽいって表現してもらっても、まったく抵抗がないですね。

将：むしろ、〝演歌をこんなにロックに聴かせられるAlice Nineってカッコ良くない?〟って感じだよね（笑）。

沙我：そうそう。やっぱ、日本のロックって、どこか演歌なところありますからね。メロとか空気感とか。本当にソウルな部分なんだと思うんですよ。

虎：演歌とは!【日本の大衆音楽のジャンルの1つであり、日本人独特の感覚や、情念に基づく娯楽的な歌曲の分類とされている。演歌が用いる音階の多くは、日本古来の民謡等で歌われてきた音階を平均律に置き換えた五音音階（ペンタトニック・スケール）が用いられることが多い。すなわり、西洋音楽の7音階から第4音と第7音を外し、第5音と第6音をそれぞれ第4音と第5音にする、五音音階を使用することから、4と7を抜くヨナ抜き音階と呼ばれている】らしいよ。

Nao：調べたの（笑）?

虎：そう。今ね、Wikipediaで（笑）。

——そうなんだ! でも、まさに、ペンタトニック・スケールといえば、ブルースで用いられる音階でもあるからね。

沙我：ね。すごいでしょ。なんか感動しません? ブルースっていうと、すごいカッコイイって思うんだけど、演歌っていうと抵抗があったのはどうしてだろう?って。演歌はブルースなんだって思ったら、すごい納得しちゃって。でも、なんか、まんま演歌な感じは、やっぱ嫌だったというか。そこには魅力を感じないんで、ちゃんと演歌をロックにしたかったんですよね。

将：そこは沙我くんにすごく言われましたね。演歌がやりたい訳じゃないって。あくまでも、そのソウル感がほしいんだって。なので、そこはすごく気をつけましたね。岡野さんが、この曲にはキーボードがあった方がいいっていうので、そういうフレーズを得意とするキーボーディストの人を連れて来てくれたんですけど、その人にも、演歌にはしたくないんだっていうことを、すごく話をして、完成型に導いていったんです。

ヒロト：ちょうど僕、鍵盤を入れてるとき立ち合ってたんですけど、そこはすごい気をつけてもらいましたからね。本当にスレスレのラインだと思うんで。

——そうだね。

将：今、すごく流行ってる、アーティストが歌う日本のR&Bって呼ばれてるジャンルって、すごく演歌だと思いますからね、根本は。そこを、いかに自分たちらしく化けさせるかっていうところだと思うんですよね。

沙我：俺、THE YELLOW MONKEYがすごく好きなんですけど、イエモンの曲って、すっごいロックだと思うんですよ。でも、やっぱり根本的な部分に、歌謡曲と演歌を感じるんですよね。そこがあるからこそ、こんなにも惹かれるのかなって、改めて思いましたからね。ただ、洋楽のロックを真似てるだけじゃない、自分たちのロックを築き上げてるところに、魅力を感じてた訳で。今回、この曲を作って、演歌とジェームス・ブラウンが重なったことで。そこは自分にとって、すごく大きな発見でしたね。

ヒロト：それ、すごい解る。この曲って、最初のイメージとレコーディングを進めていく段階で、すごく景色が変化してった感じでしたよ。リズムを録った段階で、一気に景色が変わった感じがしましたからね。ベースも、見たことのないようなベースだったし。なんか、ウッドベースを無理矢理エレキベースにした感じのベースで。ナイロンの弦だったよね。

沙我：そう! めちゃめちゃ変なベースでしたよ。指を置けないというか、固定出来ないんですよ。とにかく、衝撃でしたね。この曲には、このベースの方がいいんじゃないかって、岡野さんが持ってきてくれたんですよ。

ヒロト：でも、そのベースでリズム隊が録った音を聴いて、一気にイメージが広がりましたからね。そこから、すごく面白い曲だなって思いましたね。正直、沙我くんからこの曲の原曲を聴かせてもらったとき、不安だったんですよ。〝ん〜、どうなるのかな?〟みたいな。Alice Nineの楽曲としては、馴染みのない感じだったんで、若干の迷いがあったというか。見えなかったんですよ、自分の中で、どういう完成型になるのか。でも、そのベースの音が入ったことで、すごい楽しくなって。こんなに楽しかったのは久々な感覚でしたね。

——なるほどね。

沙我：でも、実はこの曲、「閃光」の後のシングルの選曲会で、一回持ってってるんですよ。でも、ボツになったんです。でも、今回浮上したんです。

ヒロト：だからこそ、アルバムの中では、「閃光」の次に来てるんです（笑）!

——そうなの!?

ヒロト：はい（笑）。

Nao：俺的には、その最初の選曲会のときに聴いたときから、気になってたし、やりたいなって思った曲だったんですよ。でも、周りも結構最初は躊躇してて。でも、実際やることになって、ドラムを入れていくとき、いろいろと勉強しましたね。ブルースだって言われて、ブルースのドラムを教えてもらったんです。普段はキックを入れるところを、キックを入れずに我慢するんです。なるほど、そうするとこうなるんだ! 的な発見がたくさんあった1曲でしたね。本当にチャレンジでしたね。しごかれた1曲でしたね。

——歌詞はどんなことを意識して書いたの?

将：映画みたいな歌詞にしたいなと思って書き始めた歌詞でしたね。最初にクライマックスシーンを持って来る感じで。だんだん過去に戻っていくっていう。

——回想的なね。

将：そうですね。その過去があるからこそ、これからがあるっていう流れで書きましたね。そういう書き方は普段あんまりしないんで、すごく面白かったです。

——そして。その「風凛」に続く、アルバムタイトル曲でもある「GEMINI-0」「GEMINI-Ⅰ」「GEMINI-Ⅱ」という大作へと流れていく訳ですが。

沙我：はい。この曲を作ってた制作期間中のある日、岡野さんから夜中の3時とかに電話あって、〝ここ、どうしたらいいと思う? こうしたらどうかな? そしたらもっと良くなると思うんだけど〟って（笑）。え? さすがに寝てたんですけど……（苦笑）、的なエピソードもありましたけど（笑）、それくらい岡野さんも夢中になって向き合ってくれてたんだと思うんですよね。それくらい大作です。

——なんと言っても12分だからね……。みるからに大作。これは最初から、こういう曲を作ろうと試みたの?

沙我：いや。正直、〝なっちゃった……〟って感じでしたね（笑）。誰もこんな、買ってまで苦労はしたくなかったですよ（笑）。作っていくうちに止まんなくなっちゃって（苦笑）。自分的にも、どうしてこんな曲作っちゃったのか解らないっていう（笑）。終わり方は見えていたんですけど、その終わりに向かうまでに、ここまでの時間がかかってしまったっていう。でも、絶対にこんなこと、Alice Nineはやらないだろうなって思うと思うんで、だったら、とことん聴く人を驚かせてやろうと思って。

Nao：やろうと思われてないどころか、自分でもこんな曲をやることになろうとは思ってなかったっていう（笑）。まさかの展開でしたよ。なので、驚きと楽しみと半々でしたよ。出来上がった今、3年後に、もう一度こうい

蝴蝶网 hudie.com

う曲をやってみたいですね（笑）。作り終わった今、既に自分の中に課題が見えてるっていう（笑）、それくらい、簡単に満足いく完成型は出来ないっていうくらいの大作ですね。既に、今、リベンジしたい。

―それは後ろ向きな言葉ではなく、向上心としてね。

Nao：そうそう。後ろ向きな発言なら、もうこんな曲二度とやりたくないって言うと思うから（笑）。もっと経験積んで、こういう曲をやれたら、もっといいモノになるんだろうなって思うんですよね。

―若いバンドには出来ないよね。

Nao：一応、若い……つもりなんですけど、ダメですか？

―いいですよ（笑）。でも、まさに、プログレッシブ・ロックだよね。

虎：プログレッシブ・ロックとは。

将：あははは。また調べたんだ（笑）。

ヒロト：あははは。またWikipedia情報（笑）？

虎：そう（笑）。プログレッシブ・ロックとは。【プログレッシブとは本来、先進的、前衛的という意味だが、プログレッシブ・ロック・バンドのアルバムや楽曲は、●大作主義傾向にある長時間の曲、●歌が短く演奏重視で、インストゥルメンタルの楽曲、●技巧的で複雑に構成された楽曲、●芸術性を重視した曲作り、●シンセサイザーやメロトロンといった、当時の最新テクノロジーを使用した楽曲作り、●変拍子などの多用】だそうだね。

ヒロト：ほとんどが当て嵌まってるっていう（笑）。でも、唯一違うのは、メロディーはちゃんとあるってことかなと。

―そうだね。3曲に同じメロディーが存在してるしね。

沙我：俺らはプログレバンドではないので、とことんマニアックになりたい訳ではないし。そこはちゃんと意識して作ったつもりですね。っていうか、まず、俺、プログレッシブ・ロックって知らなかったですからね。

虎：俺も、プログレッシブ・ロックを知らずに、プログレやっちゃったって感じで。ジャンル的にはロックなんだけど、まったくロックの中でも触れてこなかった世界だから、俺の中では、HIP HOPやるような感覚だったんですよね。でも、バンドとしてやっていることだから、すごく勉強になったというか。今回やってみて、プログレッシブ・ロックってこういうもんなんだって知れた感覚だったんですけど、いままでは、プログレッシブ・ロックって、すごく難しいイメージがあったんです。最初から、12分の大作を作るって目の前に出されたら、たぶん出来てなかったと思うんですよ。でも、徐々に伸びていった感じだったんで、自然に自分の体の中に入ってきたって感じだったんですよね。

ヒロト：僕的にも、きっと12分っていう曲が最初から目の前にあったら、抵抗がなかった訳はないと思うんですよね。でも、本当に、今、虎氏が言ったように、自然と出来ていったって感じだったから、そこまでの抵抗を感じなかった。

沙我：12分の曲を出されて、抵抗がない方がおかしいもんね（笑）。

Nao：本当に、さりげなく伸びていった曲だったからね（笑）。レコーディングしながら曲が作り上げられていってた感じでしたね。そこも新しかったですよ。岡野さんも、夜中の3時に沙我くんに電話するくらいですからね（笑）。ホントに気合入ってましたから（笑）。メンバー間でも、何度も何度も話合って、〝ここはこうしてった方が良くない？〟とか、〝ここうしてみよっか！〟とかって言いながら作っていったんで、作業的にもすごく楽しんで出来たんですよね。煮詰まることなく。

―なるほどね。でも、この曲の中にも、ちゃんとアルバムのテーマとなった二面性を感じるよね。将くんの歌うメロが1つのGEMINIで、楽器隊が前面に押出される間奏部分が、もう1つのGEMINI。これは、この曲だけに限らず、今回、どの曲の中にも感じるよね。

将：それは言えると思いますね。

沙我：たしかに。そこは意識していた部分だったと思いますね。

―「GEMINI-0」のロック感と間奏のクリアなアルペジオから賛美歌的な世界へと繋がる対極さは、すごく美しいよね。「GEMINI-I」へと流れるとこでは、またロック感が全開になるっていう、抑揚がたまらなく胸にくる。

ヒロト：個人的には、そんなに長さを感じないというか。「GEMINI-0」と「GEMINI-II」のサビは結構前から沙我くんに聴かせてもらってて、何度聴いてもすごく良かったんですよ。それがあったからこそ、間にいろいろと入ってくる流れを長いと感じさせないというか。あのサビがなく、たらたらとただ長く曲を続けていたら、すごく退屈な曲になっていたと思うし、わざわざここまで長くする必要性も感じないし。すべては、サビにあると思いますね、この曲は。

―そうだね。個人的に、「GEMINI-II」の長めの間奏もすごく好きだったんだよね。

沙我：きっと、聴く人それぞれが、好きな部分を見つけてもらえる曲になってるんじゃないかな。

―将くん。歌詞は大変だったんじゃない？

将：楽曲自体のスケールが大きかったんで、歌詞のテーマも大きくなったというか。でも、感じてもらったように、この曲の中には、生と死っていう表裏一体の世界が存在するんです。生に絶望していても、最期だったり、死を意識することによって、現実が光り輝いて感じることが出来るという。今という時を大切に生きていこうっていうことを唄っているんです。

―なるほど。コーラスのファルセットとか、すごく印象的だったな。すごく音と歌詞に自分を沈めて聴けたというか。

将：歌うときも、演劇のような感覚で歌ったんです。演じるような感覚で。綺麗に歌えばいいだけの曲ではないから、ワンシーンごとを、大切に演じていくイメージで歌っていったんで、聴いてくれる人にも、演劇を見ているような感覚で、受けとめてもらえたら嬉しいなと思いますね。

―そうだね。虎が言ったように、プログレッシブ・ロック＝難しい曲というようなイメージは取り払ったところで、自然に受けとめて欲しいよね。

虎：ですね。12分だし、間違いなく大作ではあると思うけど、ちゃんと意味のある12分という長さだから、自然に聴いてもらえると思いますね。

Nao：しかし、ライヴでやることを考えると、ちょっとまだ想像つかないよね（笑）。もうちょっと練習を重ねてから、ライヴでは披露したいですね。

―たしかに。ライヴでやるとなると、体力のいる曲ではあるからね（笑）。そして、ラストの「birth in the death」。この曲も、すごくラストっていう印象の強い1曲だったけど。この曲はラストを意識して、ここに置かれた曲だったの？

沙我：ですね。この曲は最後に置くしか置き場がないだろうっていう曲でしたね。この曲が真ん中あたりにあったら、もう次の曲、誰も聴きたくなくなっちゃうんじゃないかって思いますからね（笑）。それくらいラストが似合う曲だと思います。この曲は、また、とことんAliceNineらしくないことをやろうと思って作った曲なんです。「GEMINI-0」から「GEMINI-II」まで、これ以上なくドラマティックな楽曲の次に、すごく無感情な曲調を、敢えて持ってきてやろうと思って。

―まさに、対極。

沙我：そうなんですよ。「GEMINI-0」～「GEMINI-II」みたいな曲をやったバンドが、「birth in the death」みたいな楽曲は絶対作らないと思うんですよ。そこを敢えて並べて置くっていう。そこの面白さも考えて、この曲をラストに置いたんです。

―この曲も、オープニングナンバーである「I」と同じく、そこまでバンドサウンドにこだわったモノではないように思うけど。

沙我：ですね。Naoさんなんて、頭何分かは居ないですからね（笑）。ライヴでやるときはどうしようかと思って（笑）。

ヒロト：曲の途中でふらっと登場して、自然に叩き出すっていうのでも、いいんじゃないかな。それ、絶対カッコイイと思うんだけどな。

Nao：いいよ、それ。すごいカッコイイと思う。それでいこうよ！

虎：じゃあそれで（笑）。っていうか、この曲、何気に難しいんですよ。ギターも、そんなに難しいことやってる訳ではないんだけど、ずっと単調なフレーズがループしてて難しいんです。テンションを高くして頑張る曲じゃないっていうか。ずっと同じアルペジオをひき続けているんで、弾いてる最中に、自分がどこをどうやって弾いているのか、解らなくなってきちゃうというか。

沙我：ずっとアルペジオ弾いてるからね。

ヒロト：たしかに。でも、個人的に、この曲は今回のアルバム曲の中で、デモ段階から、一番やりたい！って思った曲でしたね。自分の体の周波数と合うんですよ。体が求める曲という[illegible]。

Nao：おっ。体が求めちゃう感[illegible]何故か喜ぶ）？

ヒロト：そう。そこ重要だよね。

将：そこ重要です。

沙我：重要です。

虎：ですね（笑）。

沙我：あと、この曲、衝撃の事[illegible]なんと、俺、ベース弾いてない[illegible]打込みなんで[illegible]この曲のベース、元からそうしようと思っていた訳じゃなく、レコーディングでは生で弾[illegible]んですけど、結果、要らないかな[illegible]ことになって、打込みにみに[illegible]たんです。だから……ライヴでど[illegible]ましょうね。

―ライヴでは弾いたらいいんじゃない（笑）？

ヒロト：それか、Naoさんとなんかするとかね（笑）。

将：沙我くんとNaoさんは、この曲をライヴでやってるとき、生で映像に出演してくれるってのはどう？

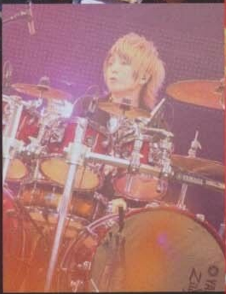
ヒロト：いいね。2人に、パフォーマンスで、【生と死】を演じてもらうようにしよっか（笑）。

―そんなことされたら、曲に入り込めなくなっちゃうよ（笑）。歌詞も深いもんね。

将：そうですね。歌詞は暗めですね。サラッと語れない感じの内容ですね。「GEMINI-0」～「GEMINI-II」もそうなんですけど、深く語り出したら、パーソナル・インタビューでも足りないくらいになっちゃうんで。流れ星のように瞬いて消えていくっていう、人の人生を、客観的に見てる自分っていう。ずっと歌い続けてきた、一番自分が言いたいことが集約された歌詞でもありますね。このアルバムの曲たちをライヴで聴いたら、また、音源で聴いたときの印象と違うと思うので、早くライヴでやりたいですね。そこで、またはっきりとその先が見えてくるんだと思います。

沙我：今は、自分たち的にも、そんな新しい自分たちを知っていける瞬間が楽しかったりもするので、このアルバムももちろん、今後のAliceNineに期待してもらえたらなと思いますね。

蝴蝶网 hudie.com



Alice Nine

TOKYO GALAXY

Live at 日本武道館 2011.1.6

2011年1月6日。Alice Nineは武道館に立った。
彼らが音楽と出逢い、バンドという人生に憧れ、
バンドという人生を歩み始め、目標とした場所･日本武道館。
『TOKYO GALAXY』と名付けられたこの日のライヴは、
2010年の7月5日のshibuya O-EAST（club ALICE only）を
皮切りにスタートしたツアー『FLASH LIGHT from the past』の
ファイナルでもあった。彼らがこの日に見せてくれた景色を、
ここに書き残すことにしよう。

もしも。1年前に彼らが、日本武道館でのライヴを切っていたら、私はライヴが終わるその瞬間まで、心配が止まることなく、見守る想いで彼らのライヴを観ていたことだろう。

〝俺ら、もう大丈夫です。もう絶対にブレたりしませんから。見てて下さいね〟。『VANDALIZE』をリリースした後に、沙我が私に言った言葉だった。これは、最高のライヴをした次のライヴで、まったくの振り出しに戻った印象を与えるほど、彼らのライヴには大きな波があったことを、とても残念に思っていた私が、そのことを、よくライヴレポートに書き残してきたことへの返事でもあったのだ。彼らはそれ以降、期待を裏切ることなく安定したライヴを届け続けてきた。

しかし、2010年4月10日。ZEPP TOKYOでのライヴのアンコールで、彼らが日本武道館を発表したときは、さすがに、日本武道館という特別な場所を相手にするかと想うと不安がよぎった。だが、彼らが日本武道館に向け、昨年の7月から『FLASH LIGHT from the past』をスタートさせてからは、1度たりとも、心配という感覚を味わったことがなかったのだ。そんなこともあり、当日も、まったく緊張も心配もなく、ただただ楽しみだけで会場に向かったのだった。

メインステージから、上下に伸びた花道で繋がれた後方のサブステージが、ゆっくりとせり上がり、5人は姿を現した。沸き上がる歓声。彼らは全方向から歓声を浴びるように受けながら、両サイドの花道からメインステージへと向かった。5人はメインステージ中央で手を重ね、気合い入れをし、各持ち場へと移動した。勇ましいその姿に客席からは、更なる大きな歓声が沸き上がった。フロントの4人はNaoを囲むように中央を向き、音をジャムるように重ねると、そこから1曲目「閃光」へと繋げていった。彼らの全魂が注ぎ込まれた[illegible]サウンドが、ぶつかってきた、[illegible]させるオープニングだ。バン[illegible]も、プレイヤー的にも大きく成長した彼らが、そのスキルを存分に吐き[illegible]曲でもあるこの曲を1曲目に選[illegible]は、オープニングに相応しいと[illegible]はもちろん、ファンたちが好きだ[illegible]楽曲だと言うことも、大きな理由[illegible]に違いない。彼らはこの日、今、[illegible]ちが届けたいAlice Nineの音[illegible]とファンたちが愛する楽曲を、[illegible]ランス良く配置したセットリストで[illegible]ヴを届けたのだった。これは[illegible]ルバム・インタビューを読んでも[illegible]と、彼らがどんな想いでセットリストを組み、ステージに立ったのかが、より深く理解してもらえることだろう。「華」は、『VANDALIZE』からの流れを色濃く含んでいるのを実感させ、「九龍-NINE HEADS RODEO SHOW-」では、彼らの演奏力が力強く揺ぎないモノになったことを証明してくれた。そして、この場所をイメージして作ったという「Stargazer」では、今のAlice Nineの迷いのない想いを真っ直ぐに届け、「Kiss twice,Kiss me deadly」では、マニアックに音に向き合う姿を見せてくれた。マニアックと言っても、決し

慧美网 vimee.net

蝴蝶网 hudie.com

【セットリスト】
1.閃光
2.Le Grand Blue
3.華【hae・ne】
4.九龍-NINE HEADS RODEO SHOW-
5.Stargazer:
6.ハイカラなる輪舞曲
7.蜃気楼
8.Kiss twice,Kiss me deadly
9.光環
10.FANTASY
11.Bass&Drum Jam
12.RAINBOWS
13.闇ニ散ル桜
14.ヴェルヴェット
15.RED CARPET GOING ON
16.平成十七年七月七日
EN1.4U
EN2.TSUBASA.
EN3.極彩極色極道歌〈G3〉
EN4.春夏秋冬
EN5.Waterfall
EN6.the beautiful name

弾きまくり、音のバトンを渡し合うという見せ場も、オーディエンスを置いてきぼりにする訳ではなく、しっかりと自分たちの音で包みこみ、聴く者を巻込みながら、説得力のあるサウンドで見せてくれたこともあり、オーディエンスも、ちゃんとその〝音〟を受け取っていたのだった。彼らの成長により、ファンの耳も肥えてきている。そんな気がした。昔、ロックバンドのライヴといえば、各楽器隊のソロ演奏のコーナーが設けられていたモノだが、いつの間にか、バンドも見た目重視で人気の有無が決まるような哀しい時代になってから、ソロを組み込むバンドも少なくなってしまった。粒ぞろいな彼ら故、〝スキルよりも、見た目重視のバンド〟と誤解されることも多かったはずだが、そう想われることへの悔しさも、彼らを大きく成長させることとなったに違いない。最近では、楽曲の中でも、惜しむことなくそのスキルを押出しているが、彼らはこの日、ところどころにプレイヤーとして認めさせる見せ場を差し込んでいたのだ。Aジャンプでひとつになる「RAINBOWS」の前に組み込まれたベースとドラムのセッションも、そんな見せ場のひとつ。しかし、自己満足にならないメロディアスな見せ方で、オーディエンスを巻込んでいたことがとても印象的だった。そしてこの日。彼らは新しいアルバムから「4U」を届けた。

〝すべての「ありがとう」を込めて、この曲を送ります――〟

将は、そんな言葉をこの曲の前にオーディエンスに贈り、ゆっくりと音に声を乗せた。この先のAlice Nineがはっきりと浮かび上がった。そんな気がした。

彼らにとって特別だった日本武道館という場所は、2011年1月6日、特別な場所ではなくなった。憧れだったこの場所を、彼らはこの日現実のモノとし、その手に掴んだのだ。結成から7年。彼らが立ったその場所は、決して背伸びし過ぎた場所ではなかった。彼らはアンコールで、この場所に立てた言葉にならない嬉しさと、ここからがスタートだと想っているという胸の内を一人ずつ語った。彼らはまた、そう遠くない未来にこの景色を私たちに見せてくれることだろう。

今、彼らに伝えたい。まずは、ここに立てたこと。ここまでの道のりに。

おめでとう――。

そして。最高のライヴをありがとう。

〒168-0064　東京都杉並区永福4-19-17-1FTEL:03-5305-3813(平日12:00〜18:00)http://www.pscompany.co.jp/alicenine/

E.L.L&SPEED DISK PRESENTS

Shinrabanshow

in MID SIDE

2月21日(月)名古屋E.L.L
開場17:30/開演18:00
Cast:R指定
Guest:VIDOLL シュン&ギルセッション
己龍/ダウト/DEATHBIEV【NEU】

2月22日(火)名古屋E.L.L
開場16:00/開演16:30
Cast:Ap(r)il/xTRiPx
Guest:Administrator
AYABIE/ZUCK
BugLug/V-last.

2月23日(水)名古屋E.L.L
開場16:30/開演17:00
Cast:UnsraW
Guest:アンド/-OZ-
SCREW/BORN/Lycaon

2月24日(木)名古屋E.L.L
開場16:30/開演17:00
Guest:AUBE
ケミカルピクチャーズ
spiv states/Sel'm
DuelJewel
花少年バディーズ

2月25日(金)江坂MUSE
開場16:30/開演17:00
Guest:AUBE
ケミカルピクチャーズ
spiv states/Sel'm
DuelJewel
花少年バディーズ

http://xxxrecords.jp/speeddisk

蝴蝶网
hudie.com

SHOXX新春スペシャル企画

オリジナル・フォトカード 応募者全員サービス!!

ご希望のフォトカードを1枚、
応募者全員にサービスしちゃいます。
全部で16パターン。
応募券1枚でご希望のフォトカードを
1枚あなたのお手元に!!

Alice Nine

A-1:将

A-2:ヒロト

A-3:虎

A-4:沙我

A-5:Nao

ミヤ(ムック)

B

一志(Kagrra,)

C

ギルガメッシュ

E-1:左迅

E-2:弐

E-3:愁

E-4:Яyo

葵from彩冷える

D

DOG in Theパラレルワールドオーケストラ

F-1:春

E-2:準々

E-3:ミズキ

E-4:メイ

●応募に必要なもの(応募方法が少し変わりました。よく読んでご応募願います。)

- 80円切手1枚(お客様が編集部に送信する封筒に貼るもの)
- 100円分の切手(返信&手数料用)
- 定形封筒2枚
- 応募券(このページの左下にあり)

【応募方法】

①フォトカード(9cm×13cm)が入る大きさの定形封筒(定形外の大きな封筒での応募は無効になります。ご注意下さい)2通と、80円切手を1枚、手数料の100円分の切手を用意します。

②1通の封筒の表にあなたの住所、氏名を記入。封筒の裏には希望のフォトカードのナンバー(例えばAlice Nineの将であればA-1)のいずれか1つを大きく書いてください。この封筒は、編集部から応募者に写真をお送りする返信用封筒になります。

③②の返信用封筒とも手数料の100円分の切手をもう一通の封筒に入れ、あて先のヨコに応募券がはがれないようにしっかり貼って、右記の住所まで送ってください。

【あて先】

〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 Daiwa銀座アネックス5F 株式会社 音楽専科社 SHOXX編集部 新春のフォトコーナー●係(●の中には返信用封筒に書いた希望写真フォトカードナンバーを必ず書いてください。例えばAlice Nineの将であればA-1)。

【締め切り】

2011年2月21日(当日消印有効)

【発送】

2011年4月下旬からになります。5月10日になっても届かない場合は5月31日までにご連絡ください。※5月31日以降のお問い合わせは、対応できない場合があります。
(03-3574-0205/月~金 11:00~18:00)。

【お願い】

・希望のフォトカードナンバーが未記入の場合はこちらで選んだパターンを送らせていただきます。
・応募券のコピーは不可です。コピーの場合は無効になります。
・応募券1枚につき一通のご応募でお願いします。複数お申し込みのお客様はその数分の応募でお願いします。
・発送は日本国内のみになります。海外への発送は出来ません。
・We do not ship outside of Japan.

SHOXX VOL.217 新春のフォト 応募券

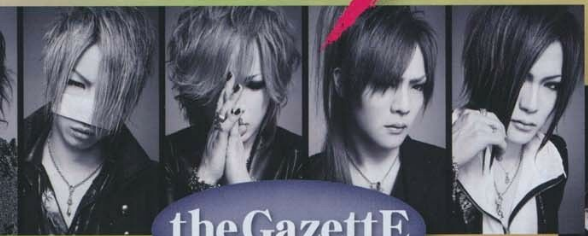
hudie.com

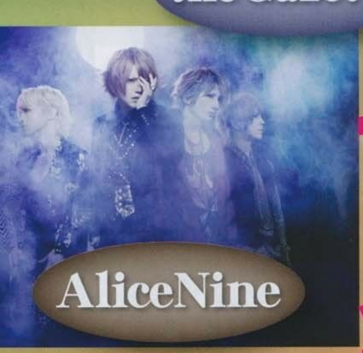
011年3月号増刊(ショックスインデックス)

SHOXX INDEXX 2011

2010年に『SHOXX』に掲載された記事から、オイシイとこ取りをした恒例のSHOXXアーカイブスが今年も登場!!
大好きなアーティストのあの記事を見逃しちゃったあなた。
最近気になり出したアーティストの記事を読みたいあなた。
一気にまとめて楽しみたいあなた。
ぜひ手に取ってくださいませ!!

オールカラーA4ワイド版
164ページ
定価1890円(税込)本体1800円 雑誌04538-03





1月25日(火)、全国書店にて一斉発売!!

CUT THIS LINE PLEASE!!

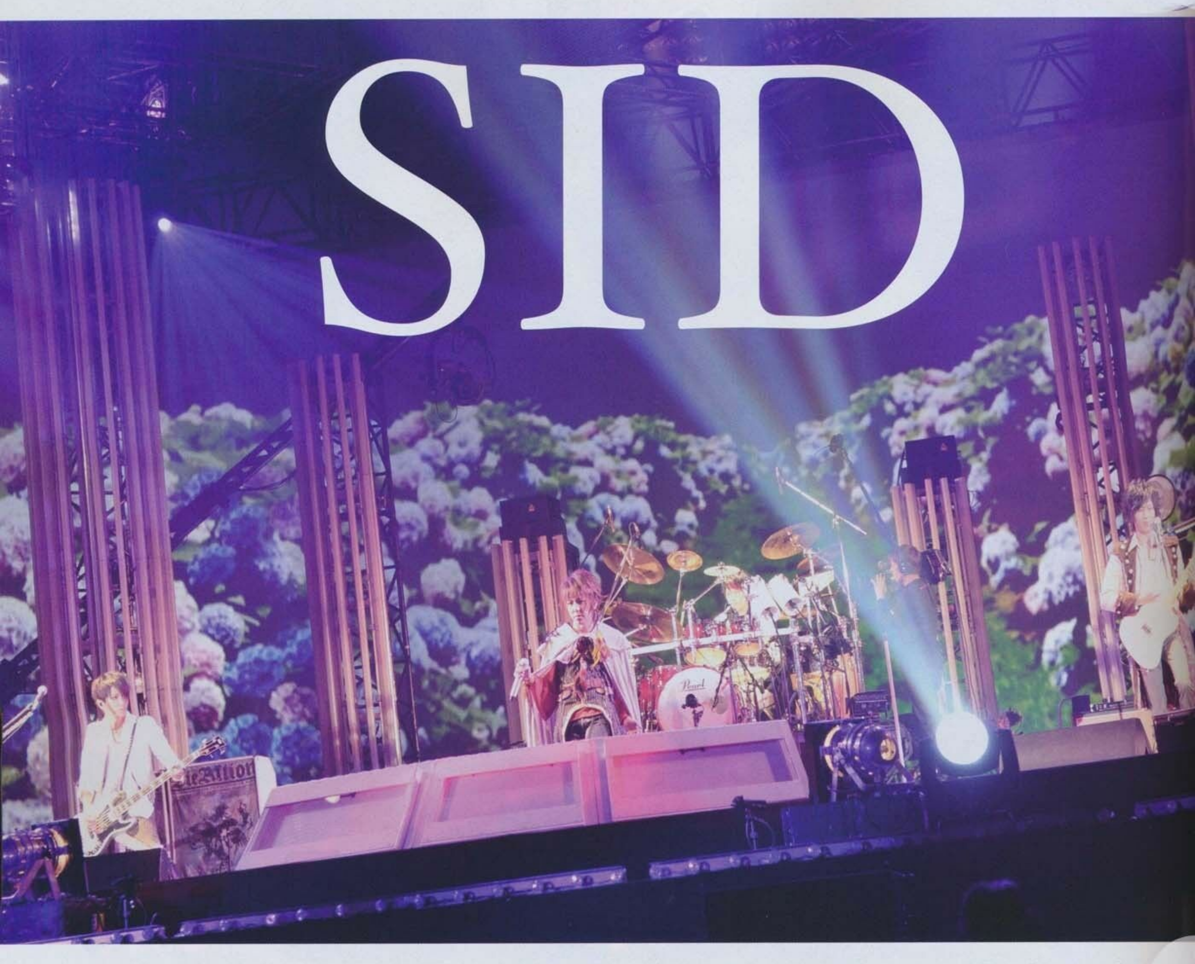
書(コピー可)

)印 雑誌扱い	受注 月 日	部数: 部	担当者:
	書名:SHOXX 3月号増刊『SHOXX INDEXX 2011』(ショックス インデックス)定価1890円(税込)1月25日発売		
	あなたのお名前	あなたのご住所: TEL	
	出版社名:(株)音楽専科社 東京都中央区銀座6-2-3 Daiwa銀座アネックス5F TEL:03(3574)0201 FAX:03(3574)8548		

hudie.com

hudie.com

SID



YEAR END CLIMAX 2010
～全てのシドへ～

2010.12.11 SID LIVE AT TOKYO DOME

4人が辿り着いたこの場所が　新たな物語のハジマリ。

PHOTOGRAPHY:HIDEAKI IMAMOTO/KAZUKO TANAKA/SHIN WATANABE/CHIE KATOH/ REISHI EGUMA
REPORT:YUKI SUGIE

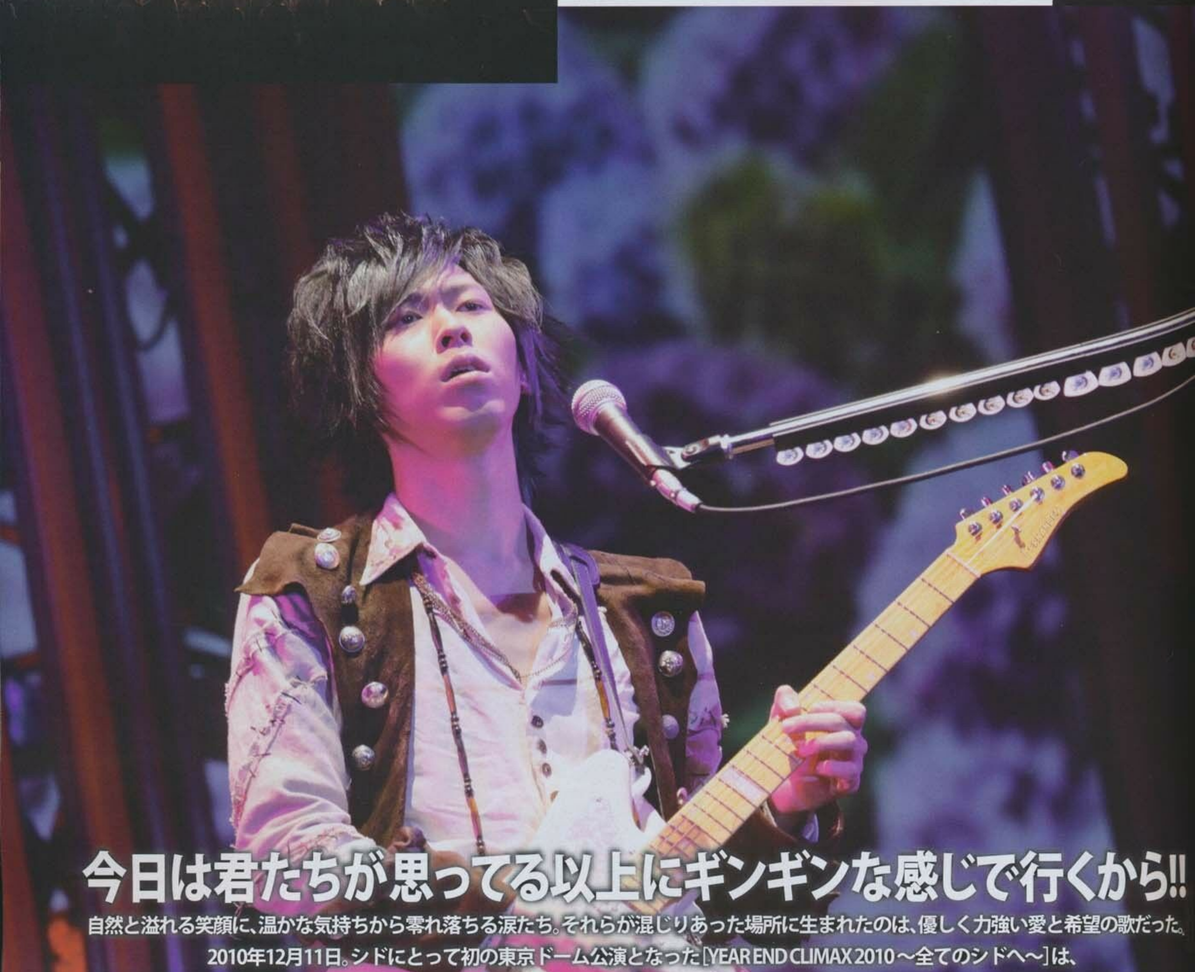
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

SID

YEAR END CLIMAX 2010
～全てのシドへ～

2010.12.11 SID Live at TOKYO DOME



今日は君たちが思ってる以上にギンギンな感じで行くから!!

自然と溢れる笑顔に、温かな気持ちから零れ落ちる涙たち。それらが混じりあった場所に生まれたのは、優しく力強い愛と希望の歌だった。
2010年12月11日。シドにとって初の東京ドーム公演となった[YEAR END CLIMAX 2010～全てのシドへ～]は、
詰めかけた大観衆とマオ、明希、Ｓｈｉｎｊｉ、ゆうやの４人による、マーベラスで魅惑的な一大セレモニーと化したのである。

光と愛の溢れるその場所で、彼らが奏でてみせたのは希望の歌。

２０１０年12月11日。シドにとって初の東京ドーム公演となった［YEAR END CLIMAX 2010 ～全てのシドへ～］において、オープニング曲として選ばれていたのは、04年発売のアルバム『憐哀』に収録されていた「紫陽花」。いたずらに揚々と始まるでもなく、いきなりじっくりと堪能させるタイプの曲を持って来るあたりは、"聴かせる"ことに長けているシドならでは。

Ｓｈｉｎｊｉが乙なギターソロを聴かせた「アリバイ」、ゆうやが笑顔をみせながらのドラミングをみせた「Dear Tokyo」と続いたところで、まずはマオが挨拶代わりに最初のＭＣをとる。

「ついに来ちゃったね、東京ドーム！ 皆、会いたかった？ そうだよね、俺も待ち遠しくてウズウズしてた。途中それが、だんだんグッグツになり、ムズムズになって、最終的に今はギンギンです（笑）。ってことで、今日は君たちが思ってる以上にギンギンな感じで行くから。行けるか、東京！」

これだけの大舞台であろうとも、相変わらずちょっとしたシモネタをさらりと挟んでくるマオ…懲りない人だ（笑）。

その後、明希のスラップがサウンドを艶やかに彩った「cosmetic」、シドらしいキャッチーなメロディラインが今聴いても心地良い「モノクロのキス」と曲が続いて行った中、「レイン」の後にはマオの発案により各メンバーもＭＣをとることに。ここではそれぞれがドームに対する思い入れや、思い出などを語って行ったのだが、中でも印象的だったのはゆうやとマオのやりとりだ。

「あの－、東京ドームってもっとスゴイ人たちっていうか、何にも動じないような人たちっていうの？そういうエラい人たちが立つ場所だと思ってたんですよ。それが、こんな俺らみたいなバンドがやれるようになるなんてねぇ」（ゆうや）

「俺なんか今日、楽屋でブーン（衣装のマントを拡げるような仕草をしてみせる）って１００回くらいやって、本番前から汗だくになってたよ（笑）」（マオ）

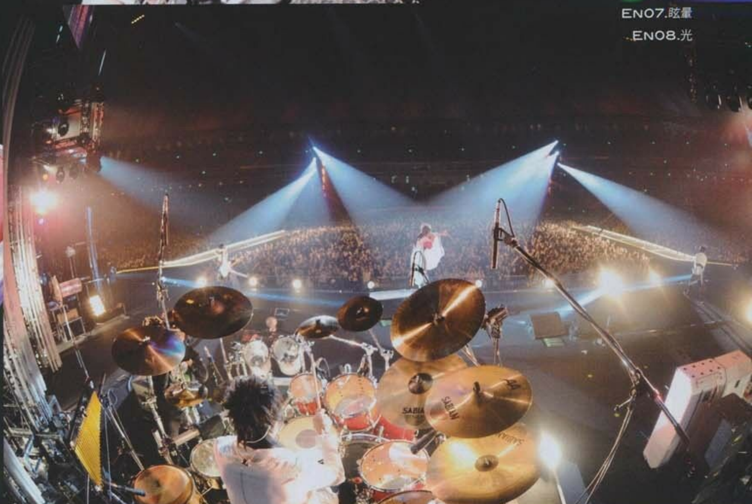
「俺ら、何時までもコドモ過ぎるんだよ。目黒鹿鳴館でやったりとか、もっと前の

SID

YEAR END CLIMAX 2010
〜全てのシドへ〜

2010.12.11　SID LIVE AT TOKYO DOME

【SET LIST】
M01.紫陽花
M02.アリバイ
M03.DERA TOKYO
M04.COSMETIC
M05 モノクロのキス
M06.誘惑コレクション
M07.レイン
M08.二月（新曲）
M09.日傘
M10.合鍵
M11.嘘
M12.CHAPTER 1
M13.乱舞のメロディ
M14.夏恋
M15.ドラマ
M16.ONE WAY
──ENCORE──
EN01.金曜シンジショー「僕と友人と敗北感」
EN02.マスカラ
EN03.星の都
EN04.SMILE
EN05.循環
EN06.エール
EN07.眩暈
EN08.光



こと言えば六本木Y2Kとかから始まって、ほんとあの頃からずっと〝こう〟だもん。そんな僕らが、こうして今この場所に立ててるわけですから。皆さんも、夢は諦めないでください。意外と夢って、叶いますよ（笑）」（ゆうや）

意外とだなんて、彼らも随分と謙虚なことを言う。客観的に考えれば、何十人、何百人を相手にするところから、こうして数万人を相手にするようになるまでには、夢の一言では片付けられない努力や才能、さらには運までもが必要となるというのに。彼らシドは、それら全てを〝自分のもの〟にすることが出来た、選ばれしアーティストであるはずだ。

故に、彼らは最新シングル曲「乱舞のメロディ」を始めとして、本編後半ではドームのスケール感を生かしながらのパフォーマンスを存分に繰り広げてくれた。「夏恋」で季節外れの花火が上がったり、「ドラマ」で勢い良く銀テープが宙を舞う中で活き活きとプレイする彼らの姿が、この夜やたらと眩しく見えたのはきっと筆者だけではないと思う。

さて。そんな良いことづくめだったこの日について。実は、ひとつだけ残念な事実が発覚したことも、ここではお知らせしておかなければならないだろう。何と…長らく愛されてきた〝金曜シンジショー〟が、今回をもって最終回を迎えてしまったのだ！

『金曜シンジショー最終回・僕と友人と敗北感〜Shinjiは永久に不滅です〜』は、中学時代にShinjiがギターを手にするまでの顛末を描いた大作となっており、この中では彼が初めて行ったコンサートは氷室京介氏の東京ドーム公演だったことが判明。また、かつてドームで自らバンドのチラシ配りをしていた時には、3回も警備員に厳重注意を受けていたことまでが明かされた。「そんな私が、今この花の都に東京ドームの大ステージに立っております。これも、ここまで私を支えて下さった皆さんのおかげと存じます。ありがとう、イ〜イ薬です。太○胃散！」

拍手喝采。有終の美、ここに極まれり！金曜シンジショーの感動は、こうしてこ東京ドームの地に深く刻まれた。

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

が一転して、ドーム内にサブステージが出現。4人のメンバーはスタジアムに付き物のリリーフカーにて颯爽と登場し、ここではしばしアコースティック・スタイルにて「マスカラ」と「星の都」を演奏。クリスマスが近い時期だったということで、マオはサンタクロース仕様の出で立ちとなっており、プレゼントがわりのサインボールを幾つか客席に投げ込む一幕もあった。

こうなってくると、もはやドーム内のテンションは上がって行く一方で、この後の「循環」では4万人のオーディエンスが一斉にクルクルと大回転を開始。その光景たるや、壮観の一言だ。

「今日会場入りした時に、スタッフの人から「マオ、昨日ちゃんと寝れた?」って言われたんだ。でも、実は寝られませんでした。怖くてさ、東京ドームが」

突如、マオがこう語り出したのは最後の一曲を歌い出そうとする直前だった。

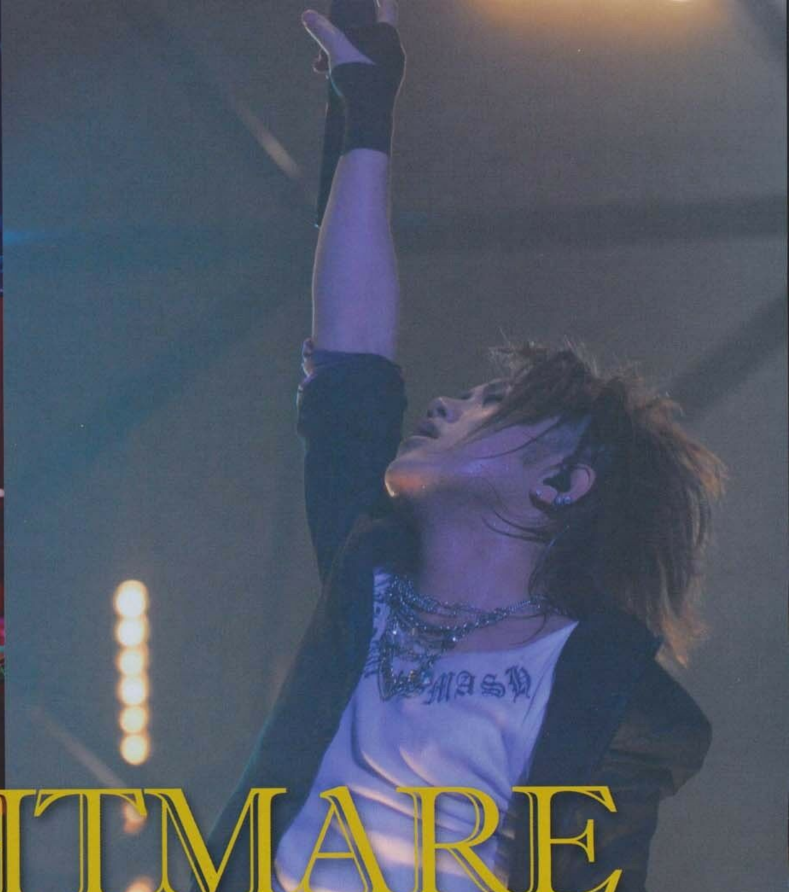
「いろんな人たちがライヴやってるけど、その人たちと自分じゃ何か違うんじゃないかな?って思って、こんなことが気になるくらい俺ってちっぽけだったたっけって思ったよ。これまで自信持ってやって来たつもりだったし、攻撃的な姿勢で突っ走ってきたはずだったのにね。でも、今日ここに立つ直前「もう、いいや!」って思った。ちっぽけでも何でも、俺は俺だしって。そして、そんなちっぽけな俺でも何でここに立ててるのかなって考えたら…それは、この3人のおかげなんだなと思ったわけです」

と、ここで遂に明希の涙腺が決壊。ゆうやとShinjiも、それぞれ神妙で感慨深げな表情をしている。

「もちろん、おまえら皆のおかげでもあるんだよ!だからさ、これからも怖いなとか、俺ってちっぽけだなって思うことはあるかもしれないけど、俺はこのまま〝皆〟と一緒に歩いて行けたら良いなと思ってます。とにかく皆ありがとう。これからも、愛してるから!」

何かを大事に確認するかのように、メンバーをひとりひとり指差しながらここでマオが歌った「光」。それは何とも愛と希望に溢れたものだった。彼らの得た温かな光は、きっとここからシドの行く手を燦然と照らしてゆくことだろう。

蝴蝶网
hudie.com



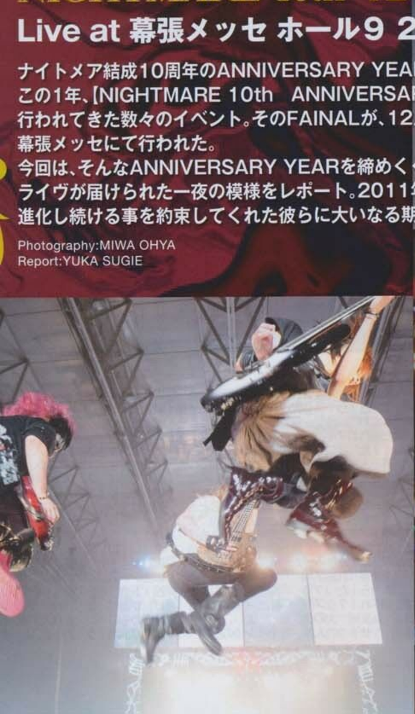
NIGHTMARE

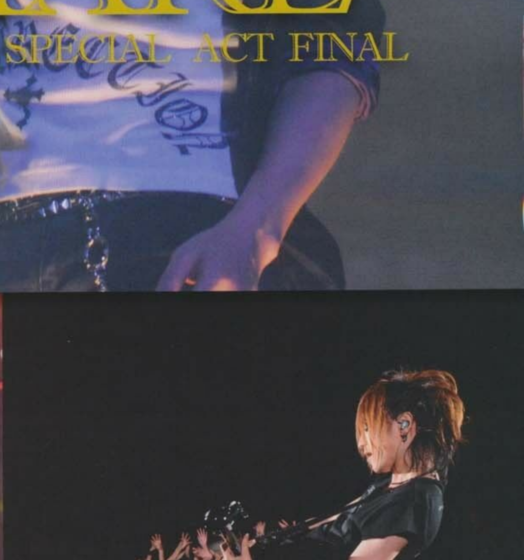
NIGHTMARE 10th ANNIVERSARY SPECIAL ACT FINAL

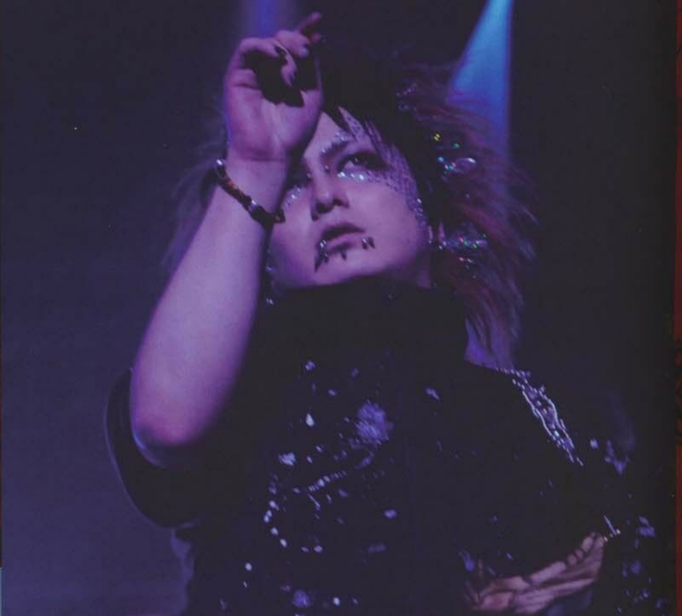
Live at 幕張メッセ ホール9 2010.12.25

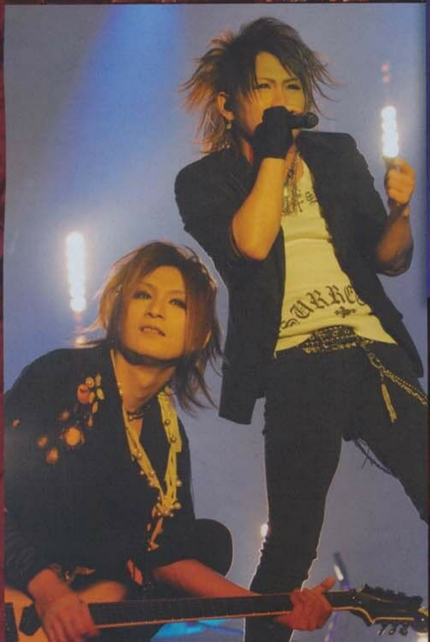
ナイトメア結成10周年のANNIVERSARY YEARとなった2010年。
この1年、【NIGHTMARE 10th　ANNIVERSARY SPECIAL】と銘打って行われてきた数々のイベント。そのFAINALが、12月25日クリスマスの夜に、幕張メッセにて行われた。
今回は、そんなANNIVERSARY YEARを締めくくるに相応しい、とても熱いライヴが届けられた一夜の模様をレポート。2011年、更なる高みを目指し、進化し続ける事を約束してくれた彼らに大いなる期待を!!

Photography:MIWA OHYA
Report:YUKA SUGIE









表現力をいかに培ったのか。そ[illegible]に物語るステージを、10周年の[illegible]で見せてくれたナイトメア。そ[illegible]続けてきたからこそ得られた凄[illegible]さが、満ち満ちていた。

幕張メッセと言えば、名だたる[illegible]の来日公演や大規模ロックフェス[illegible]されることも多い大バコ。それ[illegible]後方の観客はアーティストとの距[illegible]うしても感じてしまいがちだが、[illegible]ステージ上手からアリーナ中央[illegible]て下手へ、コの字に花道を設置。[illegible]曲によってメンバーが効果的に活用[illegible]くれたおかげで、オーディエンスは[illegible]そう興奮度を高めることがで[illegible]ないだろうか。

さて、YOMIが拳を突き上げ、[illegible]ましい幕開けを告げたのは「ジャイアニズム天」。今ツアー、中野サンプラザ公演も観た筆者だが、ステージ上方のスクリーンに大写しになったメンバーの姿を確認してまず驚かされたのは、顔にスワロフスキーを施した柩と、大胆に髪を切ったRUKAの姿。その予想外の新鮮さが刺激となったのか、まだ1曲目だというのに、いつにも増して観客の大合唱が巻き起こっているではないか。

続く「東京傷年」ではYOMIが早くもリミッター解除な暴れっぷりを見せて、「Varuna」「dogma」ではNi～yaの攻めな姿勢もオーディエンスに着火。ち

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

なみに、メンバー紹介でそれぞれが自分の楽器を鳴らしていく中、テルミンだったのだろうか、飛び道具でさらりとアピールした咲人の挑戦欲に、ニヤリとさせられたりもした。

ギタリスト2人の絡みが観る者を高揚させた「D線上のトラジェディ」「Believe」を経て、「HATE」で咲人、柩、YOMIが花道に登場すれば、オーディエンスも一際大きなハンドクラップで歓迎。さらに「MASQUERADE」ではNi～yaが花道をぐるっと巡り、間奏ではオーディエンスをしっかり焚き付けて、ファンクなノリを盛り上げていく。

そんな中、〝今年のツアーの中で、一番良いツアーになったと思います〟と、確かな手応えを語ったYOMIだが、彼の変化を如実に感じさせたのは中盤。「アルミナ」から8曲ぶっ通しという過酷さをものともせず、しなやかな歌力を発揮した「茜」、赤いライトに黒いシルエットを浮かび上がらせ、咆哮のみならず存在感で圧倒した「Яaven Loud speeeaker」、扇動力で場内をグイグイ巻き込んでいった「Cynical Reactor」…端的で的確なMC然り、歌い手としての向上心が随所に表われていたのではないだろうか。

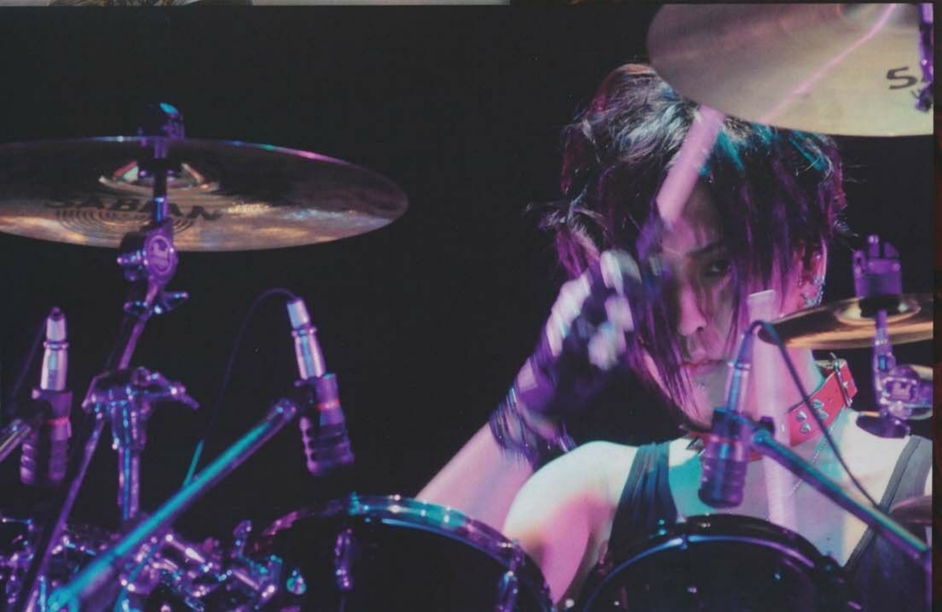
そして、メンバーとオーディエンスの想い、テンションが相乗効果で高まっていったのが終盤。Ni～yaのスラップに思わずホレボレとした「レゾンデートル」、〝俺たちの音楽がもっとお前たちに届くように〟とYOMIが願いを託した「Can you do it?」、咲人が華麗なギタープレイを惜しげもなく披露した「a:FANTASIA」…口を開けばマイペースなRUKAがきっちり土台を支えているからこそ、なせる技でもある。

〝10周年最後のライヴに来てくれてホントにありがとう！　記念すべき良いライヴになりました！〟というYOMIの感謝と共に本編最後に贈られたのは、ドラマティックな「時分ノ花」。【振り返らずに　ドアを開く】という歌詞そのままに、彼らは10周年のその先へと歩き出したように見えた。

アンコールでは、柩とNi～yaが〝帰りたくない！〟と漏らす一方、咲人はモンスターハンターネタで究極の自己満足を得て、RUKAはやっぱりマイペース

蝴蝶网
hudie.com

【セットリスト】
1.ジャイアニズム天
2.東京傷年
3.蛹
4.Varuna
5.dogma
6.D戦上のトラジェディ
7.Believe
8.HATE
9.MASQUERADE
10.the LAST SHOW
11.アルミナ
12.Mind Ocean
〜喪失は雪と共に〜
13.Lost in Blue
14.茜
15.Яaven Loud speeeaker
16.DIRTY
17.Cynical Re:actor
18.livEVIL
19.the WORLD
20.レゾンデートル
21.Can you do it?
22.a:FANTASIA
23.時分ノ花
EN1.わすれな草
EN2.バックストリートチルドレン
EN3.惰性ブギー
EN4.極東乱心天国
EN5.自傷(少年テロリスト)
EN6.the FooL
EN7.Star[K]night



<伊達漢>
〒162-0831
東京都新宿区横寺町32TR神楽坂Bld.
TEL:03-3268-7213
(受付時間・平日12:00〜18:00)
dateotoko@nightmare-web.com

だが、[illegible]オーディエンスが右に左にモッシュした「惰性ブギー」、センターのお立ち台にフロント4人が誇らしげに並んだ「極東乱心天国」と、一度音を出せば、胸打つ歌心、血を滾らせる躍動、最強のバンド感で、右に出る者はいない。

観客の大きな声援に愛されていることを実感、〃来年は今年以上にカッコイイバンドになれるように頑張るから!〃と決意したYOMI。鍵を握るのは、春のホールツアーだ。

蝴蝶网
hudie.com

MUCC ミヤ
FOR CHEMICAL REACTION

暴れてグチャグチャ、みたいな定番のノリを崩したかった

厳寒の欧州で、彼らは[Chemical Parade in EURO]にいそんしんでいる頃だろうか。
昨年は賛否両論の巻き起こった意欲作『カルマ』で、バンドとしての新境地を開拓したムックは、今年もまたきっと自由奔放にシーンを駆け回ってくれることだろう。来る5月には、約3年ぶりとなる武道館公演も決定。しかも、今回は何と2デイズだ。そんなムックを率いるミヤに、年頭所感を訊いた。

Photography:SHINJI TANAKA(Luz-pro.)
Hair & Make-up:DAISUKE"BOB"TANAKA(JET SPEEDeR)
Interview:YUKI SUGIE

蝴蝶网
hudie.com

——昨秋、台風の日比谷野音から始まったツアー［Chemical Parade］がもう終盤となりますけれども（取材時点では12月16日の吉祥寺公演まで終了）、ミヤくんは今どんな感触を得ているのでしょうか。

「今までのツアーでいちばん面白いかなって思いますね。バンドとお客さんとで両方アガって行けてるというか、その相乗効果ですげぇ良い空気を作れてるんですよ。やっぱ、今回の場合はライヴハウスを選んで良かったです」

——つまり、各地でのライヴはあの野音でのライヴとはまた少し雰囲気が違っていたわけですね。

「そうっすね。まぁ、最初の野音はあの会場ならではの開放感とか、スケール感があって、そこをちゃんと活かしたライヴが出来たと思うんですよ。ただ、そこからライヴハウスに場を移した時にはまたそれとは違う雰囲気が出て来て、より生々しい感じになっていったし、空間が狭い分だけいろんな意味で密な感じになってったんでしょうね」

——とはいえ、今までもムックは存分に〝密なライヴ〟を、様々な会場で繰り広げて来ていたような気がしますよ。

「いやでも、今までよりさらにステップアップしたような感じがあるっていうか。充実感も、今までとは全く比べものにならないですからね。ツアー始まるまでは、自分でもどうなるか分かんないなっていうとこがけっこうあったんですけど、そのどうなるか分かんないっていうのが、良い方向に出たんだと思います」

——『カルマ』という完成度の高いアルバムを作り上げた成果が、ライヴの面にも活かされたのかもしれませんね。

「たぶん、『カルマ』の曲ってライヴで聴くと音源よりもっと熱く聴こえるんじゃないですか。実際、ツアーやっててもそういう意見は多かったです」

——なるほど。今思うと、『カルマ』発表時にミヤくんは本誌インタビューで〝これを出すことによって、賛否両論が沸き起こったとしても構わない〟と発言していましたが、今回のツアーに参加して下さったムッカーの方たちに関しては、結果的には〝賛〟の意を持たれたという

「うーん…そのへんはちょっと難しいというか、分かんないなとは思いますけど。俺が最初に〝そういうこと〟を言って誌面に出た時点で、みんなどうしてもそういうアタマになりますからね。〝今回のアルバム、最初はあんま好きじゃなかったけどライヴ行ってみたら凄く新曲良かったです！〟っていう人がいるのは事実だけど、でもそのへんの経緯に関しては別にどうでもいい（笑）」

——結果論として良いライヴが出来ているのだから、それで良いではないかと。

「最初は、ああいう自分のやりたいことっていうか、ちょっと新しいテイストのものをぶつけちゃうと、みんなきっと戸惑うだろうなって予測してたんですよ。だけど、意外とみんなそこをスッと受け入れてくれて、分かってくれたっていうのがね。思ってた以上に、良い反応だったんです。地方のほうに行くと、〝別に軽く踊ってくれるくらいでいいのにな〟っていう曲で、やたらガーッと盛り上がってるような場面っていうのもありましたけど（苦笑）、でもたいていは自分が思い描いてたような感じにフロアの空気がなってることが多かったですね」

——［Chemical Parade］だけに、オーディエンスの方々と良い化学変化を生み出せたようですね。

「自分の場合、最近はＤＪもやるし、そういうとこに顔出してくれるお客さんも前より増えてるんで、そういうとこからリターンというか、フィードバックするものも増えて来たのかもしれない。音楽に対しての楽しみ方がまたひとつ増えました、的な意見をもらうことも多くなって来てるんで、そういうとこから少しずつ周りに広がってってるのかな」

——そうした兆しや片鱗は、日比谷野音から明けての水戸ライトハウス公演でも、すでに伺えていたのでしょうか？

「あぁ、ありましたね。あそこなんかは、まさにライヴハウスらしいライヴハウスで、野音とは全く正反対の空間なんですけど、そういうとこにあの曲たちを持ってた時の瞬発力とか、盛り上がりを見た時、昔ムックが極端に音楽性の面で振り切った頃のことを少し思い出しました。『葬ラ謳』（2002年発表のアルバム）

——懐かしいお話です。

「あの時も、ツアーの一発目が水戸だったんですよ。こんなに盛り上がるもんなのか!?っていうくらい盛り上がったし、ダイヴする人まで現れて、あのライヴのことは今でも良く覚えてるんです」

——つまり、方向性こそあの時とは違えども、今回の［Chemical Parade］でも、またムックは大胆なシフトチェンジを果たせたのですね。

「ひとつには、今回の場合ライヴハウスにもショー的要素を持ち込めたっていうのが大きかった気はします。もちろん、ライヴになると音源では打ち込みでやってたものが、生の演奏に入れ替わる部分も多々あるんで、音の面でのライヴならではっていう部分は当然あるんですよ。でも、それだけだったら今までのツアーとそこまで変わらないし、そこに少しショー的要素や構成方法を加えることで、見せるとこ／踊れるとこ／暴れられるとこ、っていう3つのシーンをライヴの中に作って、場面をはっきり分けられるようになりましたからね。もう、極端すぎるくらいに（笑）」

——なんでも、今回は各ライヴハウスにレーザー光線のシステムまで持ち込んでいたそうですね。これは、そうそう聞かない話ですよ？

「って言っても、ちっちゃいヤツですけど。ただ、それを使うことで作り出せたものは大きかったと思います。とにかく、今回のツアーではライヴでの定番なノリっていうものを崩したかったんですよ。ムックのライヴ＝暴れてグチャグチャ、みたいなイメージは強いんでしょうけど、それだけじゃない部分を出したかったんです」

——より多くの表情を、みなさんに感じていただきたかったということですよね。

「当然、今まで培ってきたような暴れて盛り上がるっていうのも忘れたくはない面だし、それもムックにとって大事なものではありますけど、逆に言うと他のタイプの曲では今までみんなちょっとおとなしすぎた気もしてるんです。静かめの曲とかでただ黙って聴いてるだけじゃなく、ちょっと身体を揺らしてみたりとか、音を体感するような感じもあって良いと

蝴蝶网 hudie.com

慧美网 vimee.net

回のツアーでは海外っぽくなって来た感じで良いなと思うんですよ。やってて面白いし、こっちも気持ち良いですよね。充実感がホント凄いです」

——ちなみに、今回のツアーを経て『カルマ』の中で最も〝育ち具合〟が顕著な楽曲というと、どれになりますか？

「うーん、全部と言えば全部です。まぁでも、お客さんたちからの意見からいけば「ケミカルパレードブルーデイ」とか「アイアムコンピュータ」あたりは、〝実はこんなに激しい曲だったとは、知りませんでした。びっくりしました〟って言われることが多いですね」

——そこはムックだからこそ醸し出せる、ライヴバンドとしてのミラクルでありマジックですよ。

「ライヴマジックは、確かに今回のツアーは多いかもしれない。「零色」っていう曲に関しても、ライヴ・アレンジしたものはかなりテンポ上がってるんで、音源とは別の曲なんかじゃないか？っていうくらい変わってますし。だから、今回の場合は音源では敢えて抑えてたものを、ライヴで改めて開放してるような感じになってるんです」

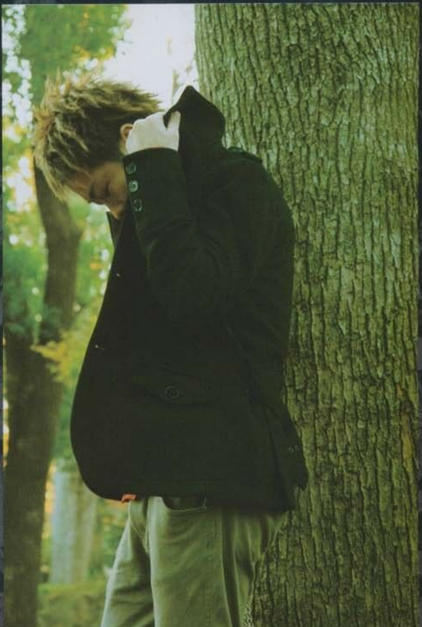
——この号が出る頃には、厳寒のロシアから始まる［Chemical Parade in EURO］も行なわれるそうですから、きっとこちらでもまた数々のライヴマジックが披露されていくのでしょうね。

「なんか、向こうはマイナス20℃とかららしいですよ（笑）。しかも、この冬は寒波でヨーロッパの空港がしょっちゅう閉鎖してるらしいし。この間も、ウチらが経由する予定の空港が2週間とか閉鎖になってたみたいなんで、もしウチらのツアー中そういうことになったら、〝ゴメンね〟としか言い様がないですね（苦笑）」

——我々は、日本でムック御一行の無事を心からお祈りしておりますよ。で、［Chemical Parade in EURO］と銘打っているからには、あちらでの［…］も今回は国内ツアーとほぼ同内容［…］

「一応、基本的には。若干国によ［…］リリースの形態や状況が違う点があ［…］で、あとはそこを考慮しながらですね［…］それと、日本で人気ある曲と海外で［…］ある曲っていうのも違うんで、その［…］

蝴蝶网
hudie.com



ミヤ MUCC
FOR CHEMICAL REACTION

も考えつつになると思います」

——なお、その後5月には日本武道館で［Chemical Parade FINAL］も行なわれますが、それまでの間のムックは何をして過ごす予定ですか？

「いろいろ、武道館に向けての準備とかですかね。出来れば追加公演とかもやりたい、っていう気持ちはあります」

——おおっ！

「まだあくまで希望、っていう段階ですよ（笑）。今回のツアーは野音以降、ちっちゃめのとこばっか廻ってたし、でも最後は野音に対して武道館っていう流れでのファイナルにもなってるんで、今度はその前に大箱のライヴハウスでも『カルマ』の曲たちをやってみたら面白いかな、って思ってて」

——例えば、新木場コーストとか？

「そうそう、あるいはZeppとかね。まぁ、実現するかは分かんないんで、これ以上はあれですけど」

——ファイナルの武道館については、約3年ぶりに立つことになるわけですが、こちらについてはどのようなヴィジョンをお持ちですか。

「別に、それは普通のツアー・ファイナルですよ、たぶん（笑）」

——ずいぶんと、あっさりしていらっしゃいますね。

「いやそこは、純粋にライヴハウスで積み上げてきたものを武道館でやるっていうだけの話ですから。野音でしか出来なかった演出があったように、武道館ならではの演出っていうのも付加はされてくでしょうね」

——と同時に、今回の武道館公演は2デイズとなっていて、2日目には［MUCC history GIGS 97～11］というタイトルが掲げられています。こちらについては、どなたの発案により行なわれることになったのでしょうか？

「これはメンバーみんなでミーティングしてた時に、何となく出て来た話です。〝97～11〟とはうたってますけどねぇ、いかんせん今まで作ってきた曲を全部やるとかそんなのは無理な話ですから」

——全部って、それもし仮にやったら何曲になるのでしょう??

「200曲近くあると思いますよ。だからね、俺としてはこの2日目についてはツアー・ファイナル後のオマケみたいなもんだと考えてほしいです」

——ひとつの手法として、一部メドレーで演奏するというのはいかがです？

「いや、メドレーは好きじゃないんでやりません。おそらく、アルバムから表題曲とかを1曲ずつやったら、それだけでワンマン分のセットリスト埋まっちゃうし。大変なんですよ、こういうのもバンドの歴史が長くなってくると（笑）」

——いずれにしても、楽しいライヴになっていくのは間違いなさそうです。そして、今回は最後にもう少し大きな枠での2011年に関する展望も伺っておきましょうか。

「当然、そう遠くないうちにまたシングルのリリースはするでしょうし、全体の流れとしても次のアルバムに向けて動いてくことになると思いますよ」

——『球体』から『カルマ』までが1年半かかったことを考えると、かなり早い展開ですね。まさか、もう次にやりたいことが定まっているのですか？

「まだそれはないですよ。単純に、あまり次は引っ張りたくないだけです」

——ムックというのは、根本的に変わり身が早いバンドですからね。次は、一体どんな方向に振り切ってゆくのか楽しみでなりませんよ。

「何か新しいことをやって、周りがそれに対する免疫をつけて来た頃に、また次の新しいことをやってく、っていうスタンスのバンドでいたい、っていうのはありますからね。今年はもっとDJとしての活動も続けて行きたいし、リミックス関係のCDを出すっていうのも出来ればやってみたいかな」

——ミヤくんは、相変わらずワーカホリックですね。たまには、少しゆっくりしたいとは思いませんか。

「そんな余裕が欲しいっていうほど、まだ売れてないっすから（笑）。そのかわり、もうちょっと売れるようになったらムックは活動休止したいっすね」

——えっ。それは衝撃発言ですね（笑）。

「そろそろ、ちょっと休めるくらいには売れないとねぇ。今年は、早く活動休止できるように頑張ります（笑）」

蝴蝶网
hudie.com

葵が"葵 from彩冷える"として、ソロプロジェクトを開始したのは2010年の6月。9月に1stシングル「MI DA RA」をリリースし、そのカップリングは『ジェムケリー』のCMソングとしても話題となった。その後、11月24日に2枚目のシングル「Surrender Love」が、テレビ東京系ドラマ『嬢王3〜Special Edition〜』の主題歌となり、ますますその名を世に広めた。そんな葵がいよいよ1stアルバムをリリース。1月19日にリリースされる『ONE』について訊いた。

Photography:TAKEHIRO SUGANUMA/MIWA OHYA(LIVE)
Report&Interview:NAOKO TAKEICHI
Hair&Make-up:FUMIE NOZAWA

蝴蝶网
hudie.com

——葵くんらしい1枚になったね。バンドでは、バンドを意識した歌詞だったけど、ここではパーソナルな葵を感じる。

「まさにそのとおりですね。今回は、というより、ソロワークとして最初に歌い始めた頃からそうだったんですけど、よりリアルな歌詞を書こうという思いが強くなってきたこともあって、自分が〝現在（いま）〟思っていることを隠さずにそのまま書いたモノが多かった気がしますね。今回のアルバムの中には、恋愛の歌詞も多くあるんですが、それも、出来るだけ実体験を交えた内容にしたし、他の歌詞も、自分がいままで経験してきたようなことを、できるだけそのまま歌詞にしました。幸せな恋愛も、辛い失恋も、苦悩も楽しみも、いろいろと経験してきたことを、飾らない言葉で届けていくことで、より聴いてくれる人の心に伝わってくれるんじゃないか。そう思ったんです。だから、今回は、できるだけ抽象的な表現はしないようにしたし、物語的な歌詞は書かないようにしたんです」

——9曲目の「あなた」は、明るい曲なのに涙しちゃった。これ、3年前に亡くなられたお母さんに書いた歌じゃ

等身大の自分がより強く

ない？

「あ、はい。そうです。母親が亡くなったとき、一度書こうと思った歌詞でもあったんです。でも、彩冷えるとしてこの歌詞を歌うのは、違うんじゃないかと思ったんです。あまりにもパーソナル過ぎるんじゃないかなって。だから、バンドのときには歌うのも避けてきた部分でもあったんです。でも、今回は、ソロとしての初めてのアルバムでもあるし、今、ここでなら歌ってもいいかなって思えて。100%自分を出し切る、それも大事なことなんじゃないかなって。曲調が明るいから、そこまで深い意味のある歌詞だって思われないと思うんですが、バラードにこの歌詞を乗せると、重くなっちゃうんじゃないかなって思ったんです。そこまで歌詞を押出すモノにはしたくなかったというか。大事な想いの詰まった歌詞ではあるけど、自然に受け入れてもらいたかったんです。聴いてくれる人には、身近にある大切なモノに気付いてもらえる歌になってくれたらいいなって」

——私はこの歌に、亡くなった自分の父親を重ねながら聴いたよ。聴き手が自分の想いに重ねることが出来る1曲だよね。

「そうですね。通常盤にボーナストラックとして入る「BRAVE DREAMER」って曲も、実はすごくリアルな内容なんです。昔、社会人をしながらバンドをやっていたとき、バンドと普通の人生のどっちを取るか本気で悩んだ時期があって。その頃付き合ってた女性と結婚を考えたりもしたんです。〝普通に結婚して普通に働いて暮らすのも悪くないな〟って思っていた自分と、〝バンドを本気でやりたい〟って思っていた自分の気持ちを書いた歌なんです」

——ボーナストラックにはアルバムタイトルにもなっている「ONE」というスローナンバーも入っているけど。

「「ONE」は、一番最後に録った曲でもあるんです。これも、やっぱり今思っていることを素直に歌った1曲です。この歌、ノンクリックで録ったんですよ。ピアノとチェロとヴォーカルで、スタジオでダイレクトに録ったんです。これは初めての試みでしたね。やっぱりバンドで育ってきてるので、リズムもクリックもない中で歌うっていうのは、すごく不安で。誰に合わせて歌ったらいいんだろ？ってすごく心配だったんだけど、ピアノの方が僕の歌に合わせてくれたりして。歌っててすごく気持ちよかったです。バンドサウンドでありながら、バンドとしての音だけではないというか。バンドって、それぞれの音がエネルギーを発して、その音どおしをぶつけ合って生まれるエネルギーこそが魅力だと思うんですよ。そんな中でヴォーカルも、トラックと戦おうとする自分が居たんですが、そんな自分とは違う環境で、音の中で歌う感覚で歌ったので勉強になりました」

——そういう意味では、「想い出になる前に」もそうなんじゃない？

「そうですね。リズム感で歌っていくという感じというか。今回って、自分がいままで歌ってきたようなリズムじゃないんで、すごく難しさもあったんですよ。それもあって、いままでは日本語歌詞にこだわってきたけど、今回はリズム的に英語の方が乗せやすかったモノもあったんで、英語を取り入れていったりもしましたしね。そこも冒険でしたね。「想い出になる前に」

いままでも失恋の歌詞は多かったんですけど、やっぱり作り物が多かったので。正直、全然女心が解らないので（笑）、少女マンガとか読んで必死で勉強して歌詞を書いてた時もありましたからね。でも、今回は一切作り物ではない、事実に基づいたモノが多いです。けど、やっぱり、今回の歌詞たちを書き上げるまでには、相当悩みましたよ。自分の中にあるモノをストレートに出すことが苦手だったので、そこにはやっぱり葛藤が生まれたというか。どうしても最初は飾ろうとしちゃって。生々しく聴こえちゃい過ぎるんじゃないかとか、いろいろと考えて。自分自身と葛藤しました。アルバムの中では、「Liar」と「ONE」が一番素直に気持ちを言葉に出来たかな。4人が脱退した後に、葛藤していた部分が「Liar」であって。だから歌詞の中に、〝僕だって怖いよ、独りなんて〟っていう言葉が出て来るんです。それと、シングル曲を覗いてですけど、一番古い気持ちを描いたのが「ONE」でしたね」

——パーソナルな歌詞に初挑戦したシングル曲も、葵くんにとって大きな変化だったんじゃないかなって感じるんだけど。

「シングルでは特に冒険してますからね。「MI DA RA」と「Surrender Love」は、ある意味、今のソロの葵を確立してくれた2曲だったと思いますね。いままで歌ってきたことのない世界観だったし、曲調でもあったので。歌詞に関しても、いくつになっても歌えるモノにしたかったんです。恋愛の歌詞とか特にそうだと思うんですけど、リアルに感じたモノや、経験したことじゃないと、蒼くなっちゃって、自分が歳を重ねていった先、歌えなくなっちゃうと思ったんです。でも、自分が経験した淡い想いだったり、苦しんだり悩んだりした想いだったら、歳を重ねた後でも歌えるような気がして。なんか、逆に昔の自分の気持ちを唄う事で、その歌に深みが増すんじゃないかなと思ったんですよね。作り物じゃない歌詞を書いていくべきだってことに、この2曲は気付かせてくれたと思います」

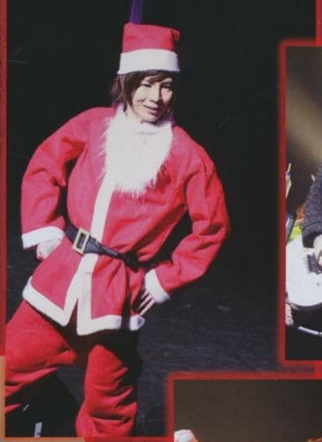
——葵くんって、絶対に人の悪口言わないし、常に人に気を遣う人だけど、歌詞の中だと、より素直な葵が出てる

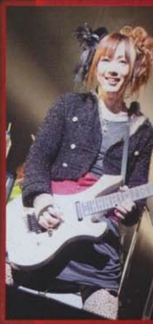
のいいような発言をしてしまったりするので、なんかいつも気を遣っ[illegible]うとこってあるんですけど、歌詞[illegible]ではすごく素直になれるというか[illegible]当に今回のアルバムを作っていて[illegible]分には歌があって良かったなって思[illegible]ましたからね。今回のアルバム制作は[illegible]10月くらいから取りかかる予定だった[illegible]んです。でも、4人が脱退すること[illegible]なってしまったこともあり、10月に[illegible]遽ファンミーティングを決めて[illegible]ンクラブの人たちに、可能な限り会[illegible]にいったので、実質11月から取りか[illegible]ることになってしまい、正直大変だったんですけど、でも、どうしても、みんなに会いに行かないままソロのアルバムをリリースしたくなかったんです。自分的なケジメでもありましたけど、それより、突然哀しい知らせを突きつけられたみんなのことが心配だったし、応援してくれるみんなが居てくれるからこその僕たちだから、少しでもその悲しみが癒えるように、直接みんなに会いたかったんです。これは僕の我が侭でもあったので、アルバム制作はかなりタイトでしたが、必死に頑張りましたね。でも、10月にファンミーティングをやったおかげで、生まれた歌詞もあったんです。「向日葵」もそうなんです。最初に彩冷えるを始めたときの名前の表記が、まさに、この〝向日葵〟で。これで〝あおい〟って読ませてたんです。向日葵のように、上を向いて咲き誇っていく瞬間ってすごく大切だなって思っていて。今、まさにそんなときなんじゃないかって思ったんです。いろんなことがあるけど、上を向いていけたらいいなと思って。ライヴチューンなので、ライヴでもきっとみんなに愛してもらえると思います。ライヴでは「Guilty」と「誘惑」は10月にやったラフォーレでのイベントライヴでもやってるんですが、早くアルバム曲をセットリストとして組んでライヴがしてみたいですね。初回限定盤Bの方には、ライヴ映像プラス、振り付け講座なるものが収録されたDVDもついていますので、ぜひ、そちらの方を見て、ライヴにいらして頂けるのも楽しいんじゃないかと」

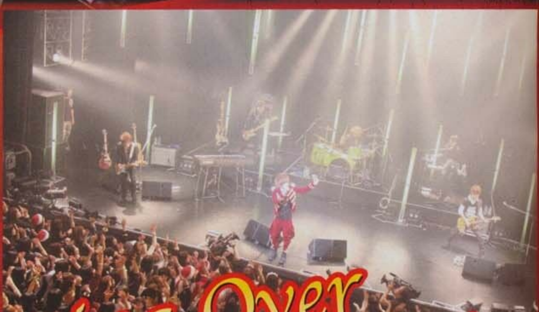
——初回限定盤Aの方にはオフショットが入るんだよね？

「ええ。酷い内容になっておりますの

蝴蝶网 hudie.com







蝴蝶网
hudie.com

Starting Over ～LIVE! LIVE!! La EVE!!!

Live at SHIBUYA O-EAST 2010.12.24

【セットリスト】1.Surrender Love　2.Liar　3.Guilty　4.GemCEREY　5.声　6.想い出になる前に　7.誘惑　8.恋文　9.涙リフレイン　10.願い　11.向日葵　12.Electric moon light　13.会いたくて　14.未来へ　15.ジャパニーズロウレゾキャラメルタウン　16.南極　17.変態最終頁　18.モノクローム（葵&涼平incl.アヤビエメガマソ）　EN1.MI DA RA　EN2.Butterfly　EN3.赤い鼻のトナカイ（ROCK Ver.）　EN4.youth

AO-EASTのステージに立った。ドラマ『嬢王3～Special Edition～』の主題歌として毎週テレビで流れていた「Surrender Love」からのスタートは、メジャー感を漂わせたモノだった。

〝会いたかったよ！〟

心からの言葉が口をついて出たのだろう。その声にオーディエンスは大きな歓声を送り返した。2曲目に届けられた「Liar」は、一番苦しかった時期、多くを語らずここに書き綴った想い。彼はこの曲を思いきり歌って届けた。オヤジっぽいジョークを挟んで会場を笑わせつつも、ときおり、みんなに会える日をどれほどまでに待ち望んでいたのかを知ることが出来る言葉を吐き出しながら、彼は歌とオーディエンスと真正面から向き合っていた。葵というソロアーティストとして、サポートメンバーの演奏の元歌って届けた1部を終了すると、ライヴは2部へと突入した。2部は、葵の優しさと思いやりを感じた構成でもあった。夢人・タケヒト・インテツ・ケンゾ、そして葵という、彩冷えるでのライヴ映像が流された後、葵は独りでステージに立ち、彩冷えるの音をバックに独りで彩冷えるの曲を歌ったのだった。彼はここで、1分だけ胸の内を語らせて欲しいと言い、いままでのこと、これからのことを初めて口にし、2010年を最後に、彩冷えるの活動を休止することを発表した。そして。彼は、もう二度とバンドを組むことはないと言った。それほどまでに、彩冷えるを愛していたからだと。しかし、歌は続けると固く誓ったのだった。彩冷えるの「未来」をオーディエンスと一緒に歌った後は、涼平が在籍していた頃の旧アヤビエの映像が流れ、涼平と共にステージへ。葵・涼平・タケヒト・インテツ、ケンゾでのアヤビエの曲を3曲届け、葵&涼平incl.アヤビエメガマソとして2月16日にリリースされるシングル「モノクローム」が届けられた。何の運命の悪戯か、別々の道を歩むことになった彼らだが、今は、それぞれが選んだ道を必死で頑張っていってほしいと心から思う。そして。いつかまた再会という機会が巡って来たときは、お互いの苦労と心に負った傷を分かち合い再び強い絆で結ばれてほしいと、切に願う。

KING RECORDS
http://www.onmyo-za.net
陰陽座
戦乱の後に残った屑は、
New Maxi Single
『紺碧の双刃』
KICM-1329 定価1,200円(税込)
2011年2月9日発売
最新ツアーからの未発表ライヴ音源を
5曲含む全7トラック収録!!
1. 紺碧の双刃
2. 蒼き独眼(実況録音版 Live version)
3. 醒(実況録音版 Live version)
4. 塗り壁(実況録音版 Live version)
5. 月に叢雲花に風(実況録音版 Live version)
6. 甲賀忍法帖(実況録音版 Live version)
7. 紺碧の双刃(器楽奏 Instrumental)
陰陽座 全国ツアー2011
3月30日(水) 札幌PENNY LANE
4月4日(月) 仙台darwin
4月6日(水) 新潟LOT
4月9日(土) 広島
4月12日(火)
4月18日
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

SHOXX FILE the GazettE Edition.1

the GazettE

1月21日正午12時より受付開始!!

先着 5,000名様にシリアルナンバーカード封入
SHOXX Vol.123（2003年3月21日発売）での
SHOXX初登場から Vol.166（2006 年10月21日発売）号までに
SHOXX に掲載された全記事、及びSHOXXの別冊である
"SHOXX bis"からの記事も抜粋し掲載。そして特別付録として
伝説のメンバーコラム「Red MoteL」も同時掲載!!
SHOXX においての初期 the GazettE の足跡を全てファイリング!!
全 354 ページのメガトン級のヴォリュームであなたにお届け!!

SHOXXと歩んだthe GazettEの軌跡をファイル!!

驚愕の掲載リスト（一部紹介）!!

SHOXX 初登場!!●『大日本異端芸者的脳味噌逆回転絶叫音源集其ノ一、COCKAYNE SOUP』リリースインタビュー●『大日本異端芸者的脳味噌逆回転絶叫音源集其ノ二 悪友會～あくゆうかい～』リリースインタビュー●『大日本異端芸者的脳味噌逆回転絶叫音源集其ノ三 スペルマルガリィタ』リリース●『犯行声明文』リリース、ワンマン『お客様感射デェイ』レポート●ワンマン『東京裁判』密着レポート●『斑蠡～ MADARA ～』リリースインタビュー●大日本異端芸者的全国巡礼単独公演【平成挽歌】in O-EAST レポート、アフターライヴインタビュー、『斑蠡～ MADARA ～』PV 撮影密着レポート●『ザクロ型の憂鬱』『舐～ zetsu ～』『未成年』3 枚同時リリース●『平成維新党』in 渋谷 AX ライヴレポート●初巻頭特集、アルバム『DISORDER』リリース●日比谷野音ライヴレポート●『ROYAL DISORDER』ツアー初日 in ZeppTokyo レポート、アフターライヴインタビュー●麗 × 葵 花魁のスタイリングで登場!! ●巻頭特集、『reila』リリースインタビュー●『MAXIMUM ROYAL DISORDER』ツアーファイナルレポート、アフターライヴインタビュー●『蛾蟇』リリースインタビュー●『お客様感射デェイ～全国巡業編』&『standing tour 2005【gama】the under●『Cassis』リリースインタビュー●巻頭、アルバム『NIL』リリース●「Nameless Liberty.Six Guns …」 高崎クラブ FLEEZ 公演レポート●「Nameless Liberty.Six Guns …」 最終日レポート、アフターインタビュー●GAZEROCK FESTIVAL IN SUMMER 06[BURST INTO A BLAZE]in 東京ビッグサイトレポート、アフターインタビュー●『REGRET』、『Filth in the beauty』リリース

【お申し込み方法】郵便振替か PC もしくは携帯電話（一部対応していない機種もあります）からのお申し込みになります。
◆ 郵便振替をご利用のお客様お近くの郵便局に備え付けの郵便振替用紙に必要事項を記入の上、
定価に送料を加えた金額（1 セットの場合は 5,600 円）をお振込みください。
郵便振替口座番号：00170-6-190906 加入者名：株式会社 音楽専科社
通信欄：「the GazettE ファイル Edition.1」と「希望部数」をご記入ください。
注意）振込人住所氏名：あなたの住所・氏名・電話番号を忘れずに、ていねいに記入してください
◆ PC、携帯電話をご利用のお客様当社ホームページにアクセスしてお申し込みください。
お支払いはお近くのセブンイレブン、ローソン、ファミリーマートの各店でお支払いできます。

携帯からは http://www.ongakusenkasha.co.jp/shoxx/shoxx_file_gaze_1/index_mob.html
PCからは http://www.ongakusenkasha.co.jp/shoxx/shoxx_file_gaze_1/index.html

【価格】1 セット：5,600 円＝5,000 円（本体税込）+600 円送料
＊発送は 1 セットにつき 600 円ずつかかります。
【仕様】仕様：A4 ワイド・全 354 ページ【受付期間及び商品の発送】
● 2011 年 1 月 21 日正午 12 時より受け付け開始～ 2011 年 3 月 11 日消印分にて予約〆切り
【商品発送】 2011 年 3 月下旬

振込取扱票

口座番号	00170-6-190906	金額	5600
加入者名	㈱音楽専科社		
通信欄	the GazettE ファイル Edition.1 1部		
支払人住所氏名	（郵便番号） あなたの住所、氏名、電話番号 （電話番号）		

制作／発行：（株）音楽専科社
〒104-8228 東京都中央区銀座 6-2-3 Daiwa 銀座アネックス 5F
TEL：03-3574-0201 FAX：03-3574-8548

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Photography:SHINJI TANAKA (Luz-p.o.)
Hair & Make-up:DAISUKE "BOB" TANAKA (JET SPEEDeR)
Interview:MIYUKI MURAYAMA

蝴蝶网
hudie.com

──曲のお話の前に、レコーディングについて訊きたいんですが、今回は今までと違う手法を取ったそうですね。具体的にはどう違ったんですか。

Яyo：今までは、せーので一緒に録ってたんですね。それだと、各パートに時間がかけられないんですよ。なので、別々に録って、自分のペースでいいテイクだけを録るようにしました。テイクをより良くしようということですよね。

──ひとつひとつのパートのクオリティを上げることを狙ったわけですね。

Яyo：そうですね。僕の場合は叩きながら考える部分もあるし、時間がかけられたんで新しいフレーズを叩いたりも出来たし、完成度は高い気がします。

愁：別々に録ると、自分のプレイがちゃんと見えるんですね。周りの楽器もよく聴こえるし、何をやってるかも分かって、やり直しも自分の時間で自由にやれたし。新しい試みで面白かったです。

弐：だから、ワクワクしながら出来ました。1フレーズにどれだけでも時間を費やせるわけですよ。落ち着いた感じでプレイできたし、すごく面白くて、気持ちよく出来ましたね。

──歌の録りはいかがでしたか。

左迅：「再会」以外は、ハンドマイクで録ったんです。やっぱりマイクを持って歌うほうが慣れてるんで、いちばん自然なテイクが録れるって言うか、リラックスして録れるんでよかったですね。

──いいレコーディングの結果が作品に反映されてるんですね。では、1曲ずつ詳しく訊かせて下さい。まず「Opening」は、どういうイメージで作ったんですか。

Яyo：いつもと一緒で、「destiny」に繋げたくて、「destiny」に合わせて作りました。新しいのは、左迅がラップをやってるところかな。ラップしながら入場してくるイメージがあったんです。

──そしてそのまま「destiny」へ続くと。これは、サビのメロディが素晴らしいですね。

左迅：この開け方が新しさをかもし出してると思います。

Яyo：難しかったですね。勢いがあってパワフル、だけど華やかで光が見えて、いつもと違う感じって何だろうなと考え

girugämesh

ギルガメッシュ"のひとつの玉を、4つの力に分散させたい

1月26日に発売されるギルガメッシュの5枚目のアルバム『GO』。
ンセプトを設けず制作されたというが、そこには確実に新たな一歩を踏み出したギルガメッシュの姿がしっかりと詰め込まれている。
眩いほどパワフルに光を放つ曲の数々は、必ず聴く者を勇気づけるだろう。
2月5日には、彼らの地元である市川市文化会館大ホールで凱旋公演"CHIBA"も控えている。
『GO』の楽曲がホールでどう響くのか、ぜひこの目で確かめたい。

蝴蝶网
hudie.com

は、つるつるっと他の曲も書けましたね。

——みなさんも新しさを感じました？

弐：この曲を聴いた瞬間に、このアルバムは良くなる感じがしましたね。すごくテンションが上がりました。

愁：特徴的なのはサビですよね、やっぱり。展開的には変わらないかもしれないですけど、サビの開け具合の角度が全然違うし、歌詞の内容も全然違うし、一歩前進したのを表せた曲かなと思います。

——歌詞についても、今までとまた違うものが見えてきたんですか。

左迅：毎日の過ごし方で未来がどんどん変わっていく、だから毎日毎日を大事に生きて、そのことによって未来が明るく照らされるんじゃないか…そういう想いを歌った歌ですね。最初の「destiny」で、人と人との出会いとか絆とか、そういうものを描きたかったんですね。

——次の「EXIT」もサビ始まりで、メロディが印象的な曲です。

Яyo：ここまではライヴの構成として俺の中で決まってました。ただ、見てるライヴ会場がこれまでとは違ってて。万人規模の会場で、ノリも違うし、見てるお客さんの層も広がってて。そう考えたらこういうパターンの疾走感のある曲が出来ました。

——通常盤だと次が「MISSION CODE」ですが、これはダンスっぽいノリですね。

Яyo：ギルガメッシュらしいんですけど、サビには綺麗なメロが広がって。愁さんの案で、秋のツアーでやった楽器隊のセッションをこの曲に詰めようよと。

愁：ライヴでやったことを無駄にしたくなかったんですね。ほんの何分かなのに相当苦しんだんで（苦笑）。

——実際は大変だったんですね。

愁：楽器で魅せたかったんです。今まではギルガメッシュという玉ひとつだったのを4つの力に分散させたくて。それがまたひとつにまとまったら、もっと強いものになるだろうと。それで秋のツアー辺りから各々の個性を出したんですけど、それを上手く組み込めてよかったです。

——アルバム全体的にギター・ソロが多いのも、そういうところからなんですか。

弐：今の俺の流行りがソロなんで（笑）。だから、気づいたらほとんど入ってるみたいな感じですね。

次の「13 days」は通常盤のみ収録ですが、ちょっと変り種ですね。

Яyo：フック的な感じで、愁さんのデモと僕のデモが合体したんです。合体したのをデータに起こす時間もなくて、ジャムりました。

愁：ベーシストらしい曲が作りたくて。この二人（弐とЯyo）が作るとギター先行の曲になるんで、ベース主体とか面白い変り種が欲しかったんです。

——サビのメロディの印象もちょっと違いますよね。歌謡曲っぽい感じで。

Яyo：それ、言われます。ファンキー歌謡曲ですね（笑）。そういうミクスチャーな感じがギルガメッシュらしくていいんじゃないかと思いますね。リズム的にはライヴですごく盛り上がると思うし。ベースのファンキーな感じとか、リズム隊の食い込んでる感じとか、いいビートが刻めてると思います。

——途中のラップからギター・ソロの流れも面白いですね。

弐：ギター・ソロじゃなくて、このセクションはカオスですね。バックのフレーズもハチャメチャな感じがあったんで、ノイズ系と言うか、ぶわぁっとしてるのがいいのかなと思って作っていきました。

——歌い方も、他の伸びやかに歌ってる曲とは違います。

左迅：ちょい悪く歌ったし、歌詞もリズムを気にして書いたりとか、グルーヴ感溢れる歌をすごい意識した曲ですね。ファンキー親父な感じを出してます（笑）。

——次の「見えない距離」のイントロがギターのフレーズで始まるのは、「イノチノキ」を思い出しました。

弐：ああいうイントロに、もっと爽快感がほしくて。このイントロのギターは、Яyoと二人で耳に残るフレーズを鍵盤とかで探し当てながら作ったんです。

Яyo：僕の中だと、これは「睡蓮」の先に行った感じなんです。爽やかであり、残るメロと言うか。でも、ライヴではしんみりしないで、体を揺らす、みたいな。

——そしてバラードの「再会」でどーんと聴かせる流れもいいですよね。

Яyo：今までのギルガメッシュのバラードって、ちょっと暗いと言うか、ちょっと落ちるみたいな（苦笑）、そう

るバラードが作りたくて、コードの展開とか転調とか、サビの泣きメロとか泣かす展開とかに頭を使いました。

愁：意外と、この曲がいちばんライヴでやってるところが見えたんですよね。でっかいところで、暖色系の照明でやってる感じ。歌詞を見る前から、これが最後の曲で、また会おうねって感じで終わらせる感じがしてたんです。

——ストリングスなどを入れたアレンジも新鮮でした。

Яyo：そこはプロの方にイメージを伝えて、泣きのストリングスを入れてもらったんですけど、初めて外の人と仕事したんで、いろいろ勉強になりましたね。

——ギター・ソロも泣いてますね。

弐：このソロに関してはいちばん頭を使ったかな。他の曲のソロはノリで出来た部分もあるんですけど、この曲ほど、曲を引き立たせるソロにしようって考えたことはなかったですね。

——歌にも、これまでにない表現が出てると思います。

左迅：暖かみをAメロで出して、感情を爆発させるのはいちばん最後の落とし込みの前で、場面場面で気持ちの持ちようみたいなのを変えて、大事に歌ったんで、感情の起伏が表現できたかなと思います。

——この歌詞に込めた想いは？

左迅：前のツアー・ファイナルの横浜のライヴで、いつでも俺たちはライヴをしてるから、ライヴに来れなくなった人たちもまたいつかおいでよっていうことを言ったんですけど、その想いを曲としてリスナーのみんなに届けたかったんです。

——この曲から受ける左迅くんの印象が普段と全然違って、いい意味で驚きました。

愁：左迅くんが2010年にいちばん変わったんじゃないですか。成長って言ったら失礼ですけど、お！って思える部分が最近いちばんありますね。

——それがこの歌にはっきり出たと思います。そこから「Calling」でガラッと世界が変わります。

Яyo：ガラッとブッ飛んでメロコア、みたいな（笑）。ライヴだと、一旦フェイドアウトして、ここからまた行くぞみたいなところですね。

——じゃあライヴだと、この前に愁くん

一同：（笑）

左迅：イエ～！から入って。

愁：2011年は変えますから！（笑）

——次の「Never ending story」は、スピード感はあるんだけど、大きくて。

Яyo：ブッ飛んだ曲を最後に作りたいと思ったんです。前は、ゴリゴリでぶっ飛んでるんですけど、今回は、激明るくて、超速くて、ブッ飛んでる感じ。でも、こんなスピードの曲をライヴの最後にやったら死にますけどね（苦笑）。

左迅：トドメだよな。

——この歌詞からもすごく伝わるものがありますね。

左迅：このアルバムでいちばん言いたかったことを歌ってますね。楽しいこととか嬉しいことって、一人よりも大勢で分かち合ったほうが、そういう気持ちが倍増するじゃないですか。そういうつながりというものを大事にした曲ですね。

——そして「イノチノキ」が、図ったかのようにアルバムの最後に来ますね。

Яyo：自然にこうなりました。こいつが最後に来ることによってアルバムがシマるんですよ。しかもこの位置にあると、曲が新鮮に聴けるんです。

——しっかりアルバムとしてまとめ上げて、さすが5枚目だなと。

愁：もうベテランですよね。若手と言われ続けたけど（笑）。

——この11曲が通常盤で、激アツ盤にはライヴ音源を収録したCDに加え、特典DVDも付くと。ボリュームたっぷりですね。

左迅：これはずいぶんお得ですね。

愁：ライヴ音源も初ですからね。いきなり盛り沢山に入れました。

——そして、いよいよ2月5日の市川市文化会館でのライヴも近づいてきました。

Яyo：特にホールだからという意識もないけど、ホールだからこその演出もいろいろ出来たらいいなと思います。

弐：来てくれたみんなのいい思い出になるようなライヴに出来たらいいですね。

愁：集大成が出せるんじゃないかなって。ギルガメッシュらしく、いいライヴをやりたいと思っております。

左迅：ここでずっとやりたかったし、たくさんある中の夢のひとつが叶うんで、気合いを入れて頑張りたいと思います。

慧美网
vimee.net

不定期連載

一志ノ歴史街道神楽途

Photography : TAKEHIRO SUGANUMA
Hair & Make-up : ASAMI YAMADA(PS COMPANY)
Styling : ACCO KOBAYASHI(su.B)
Interview : YUKI SUGIE

第十回『鬼咆』

色は匂へど散りぬるを　我が世誰そ常ならむ…。Ｋａｇｒｒａ,が、〝終焉〟することを発表してから

ここに来ての不定期連載『Ｋａｇｒｒａ,一志ノ歴史街道神楽途・第十回』は、2月に発表されるラスト・アルバ

『百鬼繚乱』より「鬼咆」なる楽曲が題材として選ばれた。ここから始まるラスト・ツアー「行脚 百鬼夜行」

10th Anniversary

Kagrra,

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

アルバム『百鬼絢爛』より『鬼祀』という楽曲が選ばれております。リリース前に、その曲についての解説をするというのは、この企画では初になりますね。

「確かに。まだ、みんなは聴けてない状態で話をするっていうのは初めてになります。でも、なぜこのタイミングでこの曲を選んだのかっていうのは、この歌詞を見てもらえれば瞭然だと思うんですよ。今の自分、過去の自分、そして未来にいるであろう自分。ここにはその三人の自分が全て描かれてるんです。〝鬼〟とタイトルに冠してあるっていうことも含めて、ちょっとこの詞に対しての思い入れには並々ならぬものがありますよ」

——この詞を書いていたのは、いつ頃のことだったのでしょうか。

「ちょうど、夏のツアー中（［行脚 百鬼夜行～陰～］）です。時期的には、まさにバンドとしてこれからどうするのか、終わるのか否か、っていう点で揺れてた時ですね」

——…そうでしたか。となると、今回はまずここでKagrra,が〝終焉〟という選択をするに至った経緯についても、伺っておかなければなりませんね。そもそも、そのツアーが始まった段階での一志くんはどんな心境でいらっしゃいました？

「いや、どうあれライヴに関しては全ヶ所で全力を出し切ろうっていうことしか考えてなかったです。まだ最終的な結論は出ていなかったにせよ、もしかしたらこれが最後になるかもしれないっていうことは常に頭の中で過(よぎ)っていましたから、今出来ることを最大限にやるしかないっていう一心でした」

——では、ここでより単刀直入な質問もしてみようと思います。元をただすと、今回の〝終焉〟にまつわる話はどこを発端として出て来たものだったのですか？

「話が出たのはツアーの直前、でした。ホントは、そのツアー前にみんなで話し合って結論を出そうっていうことになってたんですよ。だけど、もしそこで〝終わろう〟ってなってしまった時に、そのモチベーションのままでツアーが出来るのか？っていう懸念もあったので、一旦ツアーはツアーでとにかくやり切って、話はその後にまた改めてしよう、っていうことになったんです」

——あの［行脚 百鬼夜行～陰～］が行なわれてた段階では、我々はそのことは露知らずな状態でしたからね。まさか、あのパフォーマンスの裏にそんな背景が

「複雑というか、俺は純粋にKagrra,ってホントに良いバンドだなって、毎回ライヴやる度に思ってましたね。で、気付いたらどんどん自分の内面に気持ちが向かってました。それは、長野で声が出なくなった時に気付いたんですよ。〝あ、俺すごい殻にこもりながらやってたな〟って」

——結果、その長野ジャンクボックス公演は後日に延期となったそうですが、実際のところその時の状況はどんな感じだったのです??

「実は、長野の前の京都で喉にちょっとした違和感は感じてたんですよね。それで、その翌々日が長野だったんで〝これはケアをしておかなきゃいけないな〟と思って、ちゃんと食べて寝て、お酒も呑まないで…っていうことはやってたんですよ。いつもの感覚でいけば、それでちゃんとリカバリー出来る程度の症状のはずだったんです」

——ところが、ですか。

「ええ。一旦は治ったと思ったんですけど、当日の朝に起きてみたら呼吸をするのさえ苦しい、みたいな感じになっちゃってたんです」

——気道が塞がれるほど喉が炎症するというのは、相当ですね。

「さすがにアレは、僕もヤバいって思いました。実際、普通に喋ろうとする声もおかしくて、すぐ長野の耳鼻科を探して3件くらい廻りました」

——いずれも診断結果は同じでしたか。

「診断以前に、〝この状態から救急的な処置はとれない〟って全部で言われちゃいましたね。対処療法でステロイド注射を打つんでもいいし、前にもヤバい時にそれで何とか乗り切ってるんで、とにかく今日1日だけでも歌えるようにしてくれって言ったんですけど、〝これはそういう次元の問題ではない〟っていうんです。声帯写真を撮ったら、左右にある筋のうちの片方が完全に腫れ上がって、機能してない状況だって分かったんですよ」

——そこでドクターストップがかかったわけですね。

「それもありましたけど、最後はスタッフから止められました。点滴を打ったり、自分なりにギリギリまであがいてはみたんですけどね。会場オープンの時間直前まで、俺は何とかしてやりたいって思ってはいたんですけど、そこで制作の方から〝止めたほうがいい〟って言われて、その日は諦めました」

——そこで無理をしなかったのは、きっと賢明だったと思いますよ。

「これがホント、そうだったんです。翌日、いつも行っているお医者さんに行って診てもらったら、声帯を通ってる血管が破裂して動かなくなってるって言われました。しかも、今この状態でもし歌ったら、麻痺するから絶対に声帯は動かすなって」

——危ないところでした。

「そこで麻痺しちゃったら、終わりですからね。そこからは元に戻ることはまずないらしいんですよ。だから、そこから1週間は安静にしてほとんど喋らず、笑わず…っていう生活をしてました。友達とかもみんないろいろ心配して電話くれたんですけど、喋れないから出られない、みたいな（笑）」

——これはもしかするとコジツケになってしまうかもしれませんが…その喉の不調は、ともすれば当時の心因的な背景が影響していた可能性もありそうですよね。

「うーん、それは…あったでしょうね。そこまでの3ヶ月くらいって、レコーディング、リハ、ライヴの連続でほぼ毎日歌ってたから、ひとつにはその疲労もあったんだろうけど、それ以上にどっか気負ってたというか、〝これが最後かもしれない〟っていう部分で精神的に張りつめてたっていうのはあるのかなぁ。バンドの内側ではいろいろあるにせよ、それを来てくれてるみんなには絶対悟らせず精一杯歌うっていうことで、きっと頭がいっぱいだったんだと思います」

——その後、Kagrra,は昨年11月に公式サイトを通じて今年3月に〝終焉〟することを発表しました。この〝終焉〟という言葉を選んだ理由も含めて、一志くんからこの件についてのお言葉をいただきたいです。

「あのー、いろいろそこについてはみなさんから訊かれるんですけどね。でも、基本的にはあの公式発表した文面の通りです。やっぱり、ここからもう一コ上のステージに上がるためには、今抱えてるこの大きなものを一回手放さないといけないなって思ったんですよ」

——あぁ、そういうことでしたか。

「当然、〝和〟っていうものにこだわって今までやって来たっていうのはありますけど、細かくみてったら5人それぞれの和に対する価値観や認識も、だいぶ違うものですしね。そういう5人で作り上げてたく[illegible]たんで」

——とはいえ、ここまで10年以上続けてきたKagrra,を〝終焉〟させるにあたっては当然躊躇もあったのではないですか？

「それはもちろん、ありました。さんざん悩んだし、考えましたよ。でも、今のKagrra,って周りからいろんなかたちで支えられてるバンドだと思うんです。そこを考えると、俺はここで自力で立てる男にならなくちゃいかんなって思ったというのも、理由のひとつになってますね」

——一志くんは、そんなことまで考えていたのですか。

「この先のことまで考えると、ひとりの男として裸一貫でもやって行けるっていう自負がないと、俺はダメだと思うんですよ。確かに、ここまでバンドをやって来て仲間の大事さや、支えてくれてるスタッフの人たちの有り難さも重々感じて来ましたよ？　だけど、いつまでもそこに寄りかかってちゃあね。俺は、そういう男にはなりたくないんです」

——しかし、それでもこの〝終焉〟という言葉には一抹の寂しさを感じてしまいます。何しろ、生命の終わりを意味する言葉ですし。

「そこはもう、だからこその〝終焉〟なんですよ。Kagrra,はKagrra,としての天命を全うしたと、そういうことですから」

——世の中には、無期限活動休止やら活動停止といった便利な言葉がいくらもあるというのに、Kagrra,は正直すぎます。

「だって、そこはヘンに中途半端なことはしたくなかったんですよ。これは、メンバー全員おんなじ気持ちですから。ことに、僕らは桜っていうものをモチーフにした曲をいくつも作って来ているバンドですし、そこは散り際くらい知っておかないと。潔く散るからこそ、桜は美しいんですよ」

——美学を貫こうということですか。その精神は、この「鬼咆」で一志くんが綴っている言葉たちからも感じ取れるものですね。

「ここには、自分に対しての叱咤激励も多々入ってるんですよ。一見すると、ちょっとネガティヴな言葉が並んでるように見えるかもしれないですけど、俺はこの詞を後々になって笑い飛ばせればる

蝴蝶网
hudie.com

Kagrra, 10th Anniversary

一志ノ歴史街道神楽途

ただ自分の大事なものを守りたいだけ

写真で表現するにあたり、一志くんはなぜこのような姿になられたのでしょう。ここまで、この企画では圧倒的に和装ばかりでしたが、ここに来て洋装というのが意外でした。

「それはもう、これから始まる孤軍奮闘を意味してのことですよ」

——侍姿ではなかった、というのがポイントなのでしょうね。

「僕の中では、これっていかにも日本的な和洋折衷の感覚に根ざしたものだったりするんです。それに、単純にこういうのってカッコ良いでしょ？　ヴィジュアルとして（笑）」

——ドイツ風の軍服に日本刀、という組み合わせがまたやけに耽美的ですし。

「しかもこれ、日本刀は自前です。「鬼咆」の世界を表したっていうのもあるけど、むしろ趣味の世界に近いかも（笑）」

——Kagrra,には雅びやかな美しい歌がたくさんあった一方で、一志くんは「斬帝」や「日ノ本」などで、硬派な男気を滲ませた歌もいろいろと作って来ました。この写真には、そんな強い意志も漲っていますね。

「僕は、ただ自分の大事なものを守りたいだけなんですよ。自分のことは全部自分で決めたいし、やりたくないことはやりたくないし。こういうこと言うと、〝そういうのはコドモだろ〟みたいなこと言うヒトいますけど、それは違いますからね。大人だからこそ、自分の意志で選ぶんです」

——では、ここでもうひとつ伺いたいことがあります。一志くんは、〝終焉〟後についてはどんな動きをしていこうと考えているのですか。きっとここは、読者のみなさんも気になっているところだと思うのですよ。

「別に、変わらないと思いますよ。Kagrra,が終わっても一志はこれからも一志であり続けるし、歌も歌い続けて行くつもりだし、自分には間違いなく〝和〟しかないと思ってますから。だから、いつかまた僕がステージに立つことがあった時、観た人は〝どこが変わったんだろう!?〟って思うかもしれないないです（笑）」

——独り立ちして行くからこそ、出て来る変化にも期待したいですけれどね。

「っていう意味では、きっとこれから表現してくものはよりディープにはなってくでしょうね。まだ、そこは動き出してみないと分からない点もあるけど、自分

あるんじゃないかな。Kagrra,では、ずっとKagrra,の居る場所がみんなの居るべき場所ですって言い続けてきたわけなんですけど、その場所はこれからも俺が守って行くんで、そこは心配しないでほしいです」

——ただし、その前にはKagrra,としての大仕事がいくつか残っています。2月にはアルバム『百鬼絢爛』がリリースされ、それを受けての【行脚　百鬼夜行～陽～】も行なわれます。さらに、3月3日には渋谷C.C.Lemonホール公演【終焉～桜舞い散るあの丘で～】があるのですよね。

「まず、アルバムに関してはこれは一切の妥協なしで作ったものだって断言できます。美しい曲や、悲しい曲もあれば、おどろおどろしい曲もあって、ホントにKagrra,ならではな世界が拡がってます。喜怒哀楽よりもっと深いところまで、ちゃんと描き切れた作品になってるはずです」

——詳しくはまた後日に本誌でインタビューをさせていただく機会があると思うのですが、本当に素晴らしい完成度の作品ですよね。聴けば聴くほど、〝終焉〟が惜しくてもったいないほどです。

「そうですね。Kagrra,というバンドの名に恥じないだけの、最高の作品が出来たなっていう実感は強いです」

——ラスト・ツアーとなる【行脚　百鬼夜行～陽～】については、どんなスタンスで臨むおつもりですか？

「これは当初の予定通り、アルバムを引っさげてのアルバムを軸としたツアーにするつもりです。そして、【終焉～桜舞い散るあの丘で～】については、まさにKagrra,の11年を統括した集大成的なライヴとして考えてます」

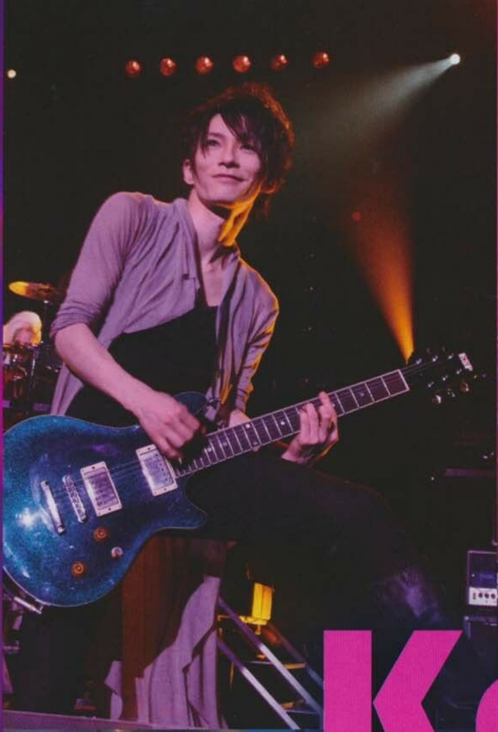
——…今年ほど、春の訪れを寂しく思う春もなさそうです。

「でも僕は、出来るだけ楽しいライヴにしたいって思ってるんですよ。これまでは、どうしても僕にとってのライヴって、きっちり表現するとか、完璧に歌うとか、そういうことが何より気になってた場でもあったんですけど、この最後の3月3日に関してだけは純粋に、自然にその空間をみんなと分かち合いながら楽しみたいんです」

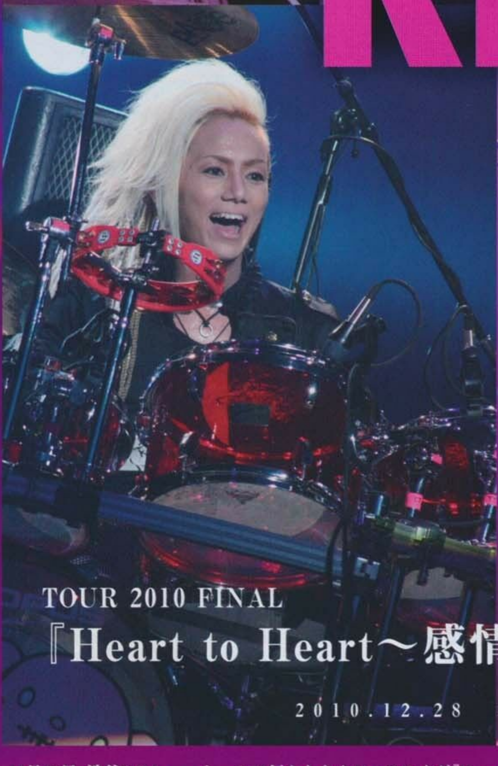
——つまり、笑顔で終わりたいと。

「そりゃそうですよ！　まぁ、最後の最後まで笑顔でいられる自信はないけど（苦笑）、でもこれは僕らにとって新たな

花少年バディーズ
赤坂BLITZ 単独公演
『電撃ボンジュール－アタリハズレ江戸ハマヤマン－』
3月12日(土)
【開場/開演】
17:00/18:00
1.29一般チケット発売開始!!
ぴあ(Pコード124-408)・ローソン(Lコード71439)・イープラス
Blooming Now!!
5th Single
『ブランコ』
テレビ東京『Vの流儀』1月期エンディングテーマ
発売元:Happinet／販売元:Happinet
■Type-A HMCH-1023
¥1,890(税込)[CD＋DVD 2枚組]
■Type-B HMCH-102
¥1,260(税込)[CD]
Mini Album
『Bonjour
Bloom
3.16(Wed)
発売元:Happinet／販売元
[Type-A] HMCH-1031 [Type-B] HMCH-1032
baddies.jp
Happinet
蝴蝶网
hudie.com



Kra



TOUR 2010 FINAL

『Heart to Heart～感情の輪郭～』

2010.12.28 SHIBUYA C.C.Lemon HALL

12月28日、渋谷C.C.Lemonホールで行なわれたKraのライヴ『Heart to Heart ～感情の輪郭～』。この日をもって舞が音楽活動から引退し、現メンバー4人での最後のライヴとなった。最後までいつもの彼らしくライヴを楽しもうと全力を尽くした4人の姿勢は、残る3人がこれからもずっと引き継いでいくに違いない。今は、"また近いうちに"、笑顔で再会できることを信じていよう。ただ、この4人での9年に及ぶ歳月は、夢のような時間だった――

この日のライヴが、Kraにとって特別なものであったことは言うまでもない。けれども彼らはただ一生懸命に、最後までライヴを楽しむんだという強い気持ちを胸に、ライヴに向かっていた。その姿勢からは、彼らがKraと、Kraを愛するファンをどれだけ大切に思っているかがしみじみと伝わってきた。

黙を経て「赤い靴の少女と玩具の機関銃」が始まった途端、ステージいっぱいに広がった。会場を見つめるメンバー一人ひとりの視線は真っ直ぐで、どこまでもひたむきだ。「例え」では、〝舞っちょ!〟という掛け声が、ひときわ大きく響き渡る。

最初のMCでは、あくまでいつもの調

もちろん私だけではないだろう。

そして中盤、〝長い時間、夢のように過ごさせてもらいました。感謝を込めてこの曲を聴いていって下さい〟と景夕が静かに語ると、会場からは早くもむせび泣く声が漏れ聞こえ始める。思い切り楽しみたい気持ちとは裏腹に、「夢のような日々」は、別れを前にした私たちには

ソロを奏でる舞の姿に、胸が詰まってくる。

しんみりとした会場に、〝湿っぽいのはKraらしくないので盛り上げていこう〟と景夕が呼びかける。舞もこれまでの撮影秘話を話したり、新たな振りを考えて急遽「ツバメ」をもう一度演奏しかけたりと、Kraらしい自由で明るい空

ンもひたすら暴れ、メンバーも[illegible]き、会場中が熱気に包まれた「[illegible]イム」が終わると、歓声が次第に[illegible]沈黙の中、景夕が口を開いた。『また楽しい時間はやってきま[illegible]から、その時まで笑顔でいて下さい[illegible]

そして、〝また近いうちに〟[illegible]言葉に続いて始まったのは、その[illegible]

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI (SHOXX)
Report:MIYUKI MURAYAMA

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

【set list】

SE.Le marin de la revolution
1.赤い靴の少女と玩具の機関銃
2.例え
3.ツバメ
4.題名のない冬の日
5.街の灯
6.上海遊戯
7.夢のような日々
8.林檎と蜂蜜
9.恋情フィソロフィー
10.世界で一番頼りない恋の歌
11.雨の告白
12.artman
13.ショータイム
14.A bientot

<encore>
15.bird
16.エキストラキングダム
17.電脳 I ♡ YOU
18.五月雨
19.Cab.D
20.夢で溺れた魚
21.ブリキの旗

る。その陽気な音とにぎやかさはどこか悲しく耳に響いた。それでも、ファンも一緒になって懸命に曲を盛り上げたのは、もちろんＫｒａを愛する想いゆえだっただろう。

そして、おなじみのSEで幕を開けたアンコール。まるでライヴのオープニングのように始まると、「bird」では可愛らしい子どもたちを交えたダンサーが登場。景夕も必死になりながら（笑）、どうにか一緒にダンスを踊り、みんなでハネて踊って、楽しい時間が過ぎていく。

その後も、ひたすら一生懸命にプレイに臨む4人。一緒に楽しむたくさんのファン。そこへ容赦なく流れる時間。舞のギターから、「夢で溺れた魚」が始まる。最後までノビノビと精一杯の声を届ける景夕。舞はただ黙々とプレイしていた。

『2010年の集大成、Ｋｒａ4人最後の曲を元気に歌って下さい』

ファンの泣き声の中、とうとう「ブリキの旗」のイントロが始まった。Ｋｒａのスタートでもあるこの曲が、この4人でプレイする最後の曲になる。煌々と照らされる光の下、ファン一人ひとりが大きな声で一緒に歌い、大合唱が会場いっぱいに響き渡る。変わらず懸命にプレイする靖乃に対し、もう結良は前を向いていることができない。背を向けてプレイする姿から伝わる悲しみ。そして歌い続けていた景夕も声を詰まらせる。もう最後の瞬間は近い。

曲が終わると、舞はギターにキスすると、静かに楽器を置いた。靖乃とハイタッチし、結良と抱き合う。メンバーが順に挨拶し、これまでの感謝の気持ちを告げた舞が最後に語ったのは、『3人のＫｒａをよろしくお願いします』だった。あるライヴで、〝Ｋｒａは俺が守るから！〟と舞が突然叫んだことを、今でもよく覚えている。ぐいぐい引っ張っていくようなタイプではないかもしれないが、舞はリーダーとして、これまでＫｒａを守ってきた。その舞が、今Ｋｒａを去る。そしてこれからは、景夕、結良、靖乃の3人がＫｒａを守り続けていくのだ。

舞っちょ、今までお疲れさま。本当にありがとう。

夢はずっと持ち続けていこう——

蝴蝶网
hudie.com

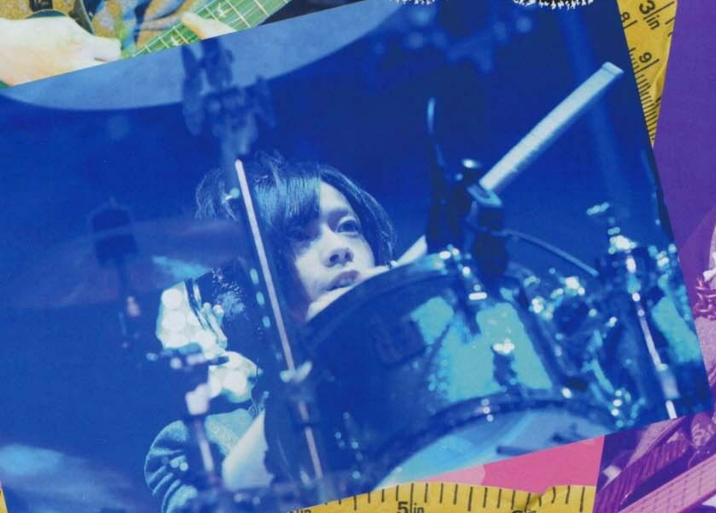
SuG

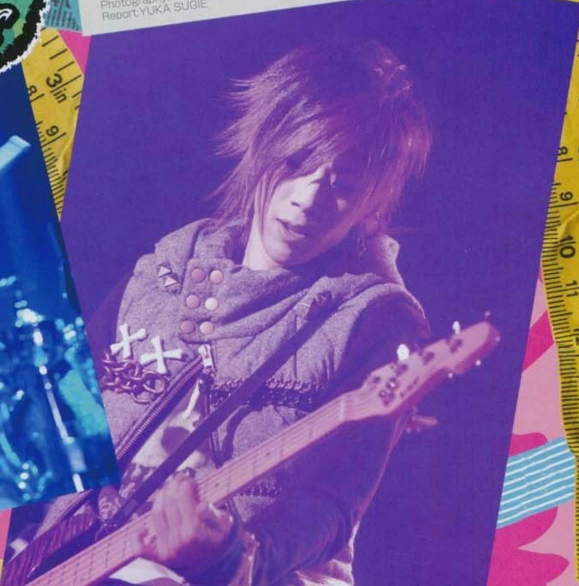
crazy "LIVE" coaster

Live at shibuya-AX 2010.12.18

1月12日にリリースされたNEW SINGLE「Crazy Bunny Coaster」にリンクさせた形で行われた、『SuG Standing Onemanshow～crazy"LIVE"coaster』。"観に来てくれる人達を、とことん楽しませる"ライヴにする事を公言していた彼ら。その言葉とおり、彼らが作り上げたエンターテインメント・ショウは、集まったオーディエンスを満面の笑顔にした。今回は、12月18日に渋谷AXで行われた公演の模様をレポート!!

Photography:MIWA OHYA
Report:YUKA SUGIE





蝴蝶网
hudie.com

【セットリスト】 1.heavy+electro+dance+punk2.CRIMSON SODA
3.Block Party MonatAr　4. Crazy Bunny Coaster　5.武士道-bushido-FREAKY　6.小悪魔Sparkling　7.無条件幸福論　8.UMBILICAL
9.ID fudge factor　10.キャンディ★ロウポップ
11.KARMA DISCORD　12.Life 2Die　13.R.P.G～Rockin' Playing Game
14.CALL NUMBER　15.輪廻せんちめんたるギャング
16.16bit HERO 2　17.俺式Continue　18.gr8 story　19.dot.0
EN1.NO OUT NO LIFE　EN2.LOVE SCREAM PARTY　EN3.39GalaxyZ

を伝えた5月の赤坂ブリッツを公演経て、8月の渋谷C.C.Lemonホールでは、エンターテインメントなショウでとことん楽しませたSuG。そして、〝みんなをバカにさせて帰す〟をテーマに掲げた今回は、ライヴタイトルそのままに、ジェットコースターな展開で痛快に振り回してくれた。

オープニングを飾ったのは、フロアをアツくさせるミクスチャーナンバー「heavy+electro+dance+punk」。ステージを覆う幕が勢いよく落とされると、そこにはドラム台に集うChiyu、yuji、masato、武瑠の姿が。〝やろうぜ東京、コブシ上げろ!〟と、舞台センターに突き出た花道も使って武瑠がけしかければ、オーディエンスもすぐさま反応して、ライヴハウスならではの昂ぶりが場内を支配していく。〝身の程知らずなバカになって、みんなに人生を楽しいんでほしいからさ〟と、このライヴのテーマに託した意図を解説した上で、〝とりあえず言わせてくださいっ…俺はSuGの曲、歌詞、ライヴが大好きです!文句あっか! 堂々と自分を好きって、胸張って行こうぜ!!〟と宣言した武瑠。そう、自分に自信を持つことは恥ずかしくないし、むしろ誇らしいことだ。ポップで破天荒、SuGというバンドを象徴する「Crazy Bunny Coaster」からはダンサーも加わって、ごちゃまぜな楽しさが加速していく。「武士道-bushido-FREAKY」では、イントロでChiyuがベースをライフル? に見立ててyujiを狙い撃ち。ちなみに後半、「16bit HERO 2」ではyujiからChiyuへまさかの仕返しパフォーマンスもあり、その期待を裏切らない遊び心にはほとほと感心。

一方、思い切って加工を施した歌声がより世界観を鮮明にした「無条件幸福論」、心地よいテンポ感で入り込むことができた「UMBILICAL」と、メロウなナンバーに彼らならではのアレンジセンスがキラリ。ライヴハウスでは〝聴かせる〟曲によって間延びしてしまうこともあるが、むしろ効果的なフックになっていたのではないだろうか。作曲者・shinpeiがバンドに新風を吹

「IDfudge factor」では、武瑠のヴォイスパーカッション、板についてきたyujiのDJプレイ、masatoのワーミーを駆使したトリッキーなフレーズと、飛び道具なアプローチも続出。刺激的なこと、面白いことを追求する貪欲さは、彼らの専売特許だ。

〝大嫌いな自分をその手でぶっ飛ばせ! 何回壁にぶち当たっても生まれ変わりますっ〟と、フロアに向けても、そして自分たち自身に向けても、武瑠が誓いの言葉を放ってからの後半戦。アッパーなナンバーの連打に、オーディエンスも拳を突き上げたり、大声でコールしたり、勢いよくヘドバンをしたり、右に左にモッシュしたり…凄まじい勢いで一体感が高まる中で、〝みんなからもらった笑顔、音と言葉で返すから〟、〝何度自分を嫌いになろうと、みんながいれば好きになれるから!〟と、真情を吐露した武瑠。本編最後の「dot.0」では床に突っ伏してしまう場面もあり、高揚の波間に、彼の感情のウネリが一際生々しく見えたりもした。

その理由が何となくうかがえたのが、アンコール。登場に時間のかかった武瑠、明言はしなかったが、どうやら体調が芳しくない様子。それでも、〝歌えないところもあるかもしれないけど、最後まで歌います!〟と笑顔を見せたのは、彼らを愛する人々がいるからだ。

メンバーが順繰りサインボールをかっ飛ばした「NO OUT NO LIFE」に続いては、驚きのマニフェストも発表。シングル「Crazy Bunny Coaster」がオリコン週間チャートで5位以上にランクインしたらメンバーと2ショットでのチェキ撮影会を、3位以上獲得でメンバー誰か1人から抱擁を、そして見事1位を獲得したあかつきには、メンバー誰か1人からホッペにチューを、なんと購入者全員にプレゼントするという、前代未聞の公約だ。2011年のSuGは、相当本気ということだろう。この春行なう全国ツアー、その最終日は、再びの渋谷C.C.Lemonホール。メンバーとファン、お互いが強く想い合って求め合う彼らなら、至高の一体感と笑顔を見せてくれるハズだ。

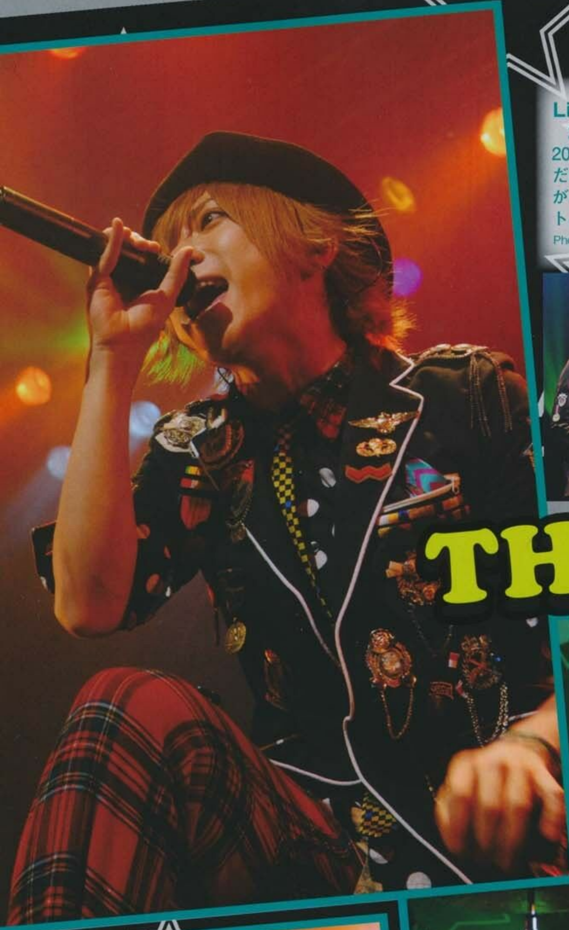
(問)PS COMPANY　〒168-0064　東京都杉並区永福4-19-17-1F
TEL:03-5305-3813(平日12:00～18:00)　http://www.pscompany.co.jp/sug/

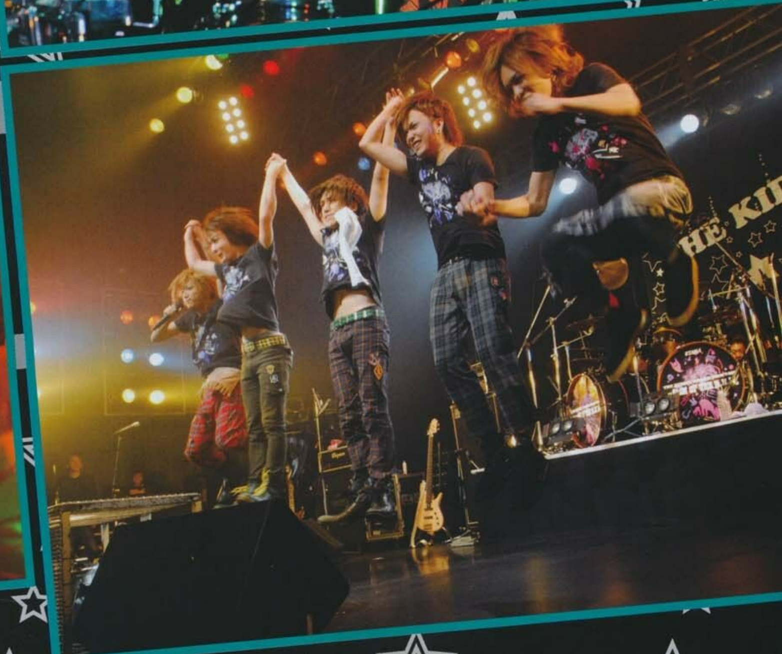
THE KIDDIE
DAWN OF THE B★N★W

Live at SHIBUYA O-EAST 2010.12.28

2010年12月28日、Shibuya O-EASTに て、THE KIDDIE WINTER TOUR 2010「DAWN OF THE B★N★W」が行なわれた。全6ヶ所のファイナルというだけに、多くの人が訪れたのだった。ここでは、当日の様子を、今後の展開を絡めながら、レポートする。2011年、THE KIDDIEがファンのために用意したプレゼントとは――。

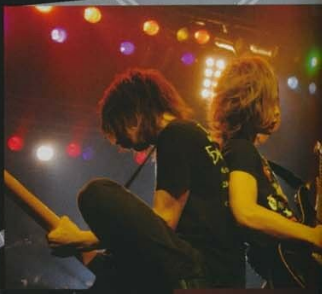
Photography:MIWA OHYA / Report:ERI MIZUTANI



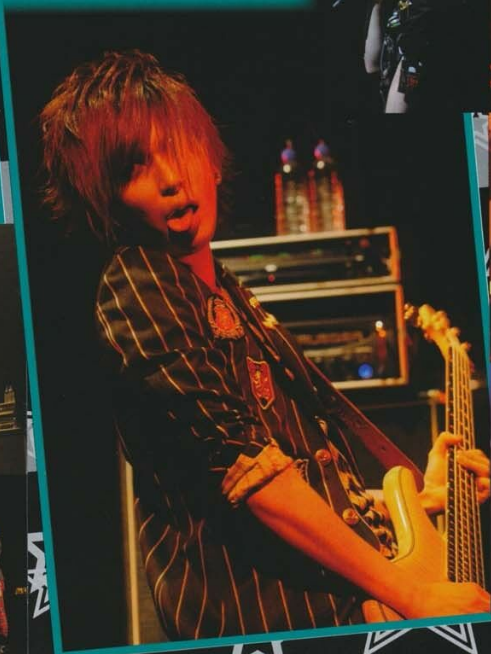


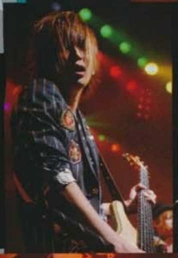
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com



【セットリスト】1.NOAH　2.STEADY　3.プラズマ　4.PAIN　5. teenagrZ　6.God bless you!!!　7.泡とサイダー　8.夢現ライト　9.白鯨　10.LOVE　11.Calling　12.嵐 の 夜　13.Re:evolution　14.So high　15.Flash
EN1.青　EN2.恋して★DISCORD　EN3.BLACK SIDE　EN4.翼グラフィティ　EN5.smile.





活動はとても充実していたように思う。なぜなら、自分たちの音楽の追求を、この1年で探りあてたのだから。だが、これは簡単なようでとても難しい。音楽センスに長けているバンドであればなおさらだ。下手をすれば、幅広い音楽性が一瞬にして散漫な印象を与えかねない。しかし、彼らはそれを逆手に取り、枝を伸ばしていった。

先日リリースされたファーストアルバム『BRAVE NEW WORLD』を聴いてもらえればわかるが、彼らはポップとロックを見事に融合させ、独自の音楽を作り出した。アルバムタイトルが指し示すように、新しい世界を自らの手で切り開いたのだ。それだけに、THE KIDDIE WINTER TOUR 2010【DAWN OF THE B★N★W】を見るのが楽しみになった。どのような世界を見せてくれるのか、期待に胸が高鳴る。

12月11日、岡山・IMAGEを皮切りに始まった今ツアー、全6ヶ所で開催されたわけだが、ファイナルの東京公演はとても素晴らしかった。結果を先に言ってしまうのも何だが、一回り成長した彼らのこれからが楽しみになったステージだった。そう感じたのは、1曲目の「NOAH」が大きかったのかもしれない。会場をまるごと包みこむかのような揺紗のアカペラは見ていて非常に気持ちが良く、周りにいた観客からも思わず拍手がこぼれたほどだ。また、その後に続く楽器陣のグッと説得力が増したアプローチはたのもしく、「プラズマ」での盛り上がりは、そうしたところが強かったに違いない。ちなみに、この楽曲、アルバムでもかなりの個性を放っているだけに、今後どのように育っていくか見ものである。そこから、「PAIN」「teenageZ」と続き、本日最初のMCへと。

〝無事、帰ってきました！（辺りをくまなく見渡しながら）いい感じだねっ！〟満面の笑みで喋る揺紗。後ろにいるユウダイも、感無量といった面持ちでフロアを眺める。〝6ヶ所、汗をかこうツアーということで、汗をしたたらせて帰ってきたので（笑）、EASTにも最高の汗を！〟そうして始まった「God bless you!!!」は、言うまでもなく、爽快な汗

ここでは、【星の光るやつ】と名付けられたキラキラライトがフロアをうめつくす。ダンサブルなリズムに観客はノリノリ。しかも、サビでメンバー各々が振り付けを見せるときたら、テンションが上がらないはずがない。ちなみに、この振り付け、メンバーの性格がかなり出ていた（笑）。彼らが人気なのは、こうして面白いことを、いとも簡単にやってしまうからなのだろう。

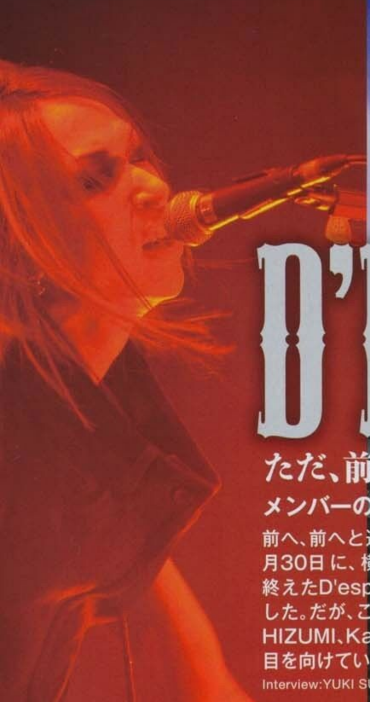
そうかと思えば、「白鯨」「LOVE」といったバラード曲では、音楽に対して真摯に向き合う姿が印象的だった。佑聖の奏でる音は清らかで、そこに加わる淳とそらおのフレーズが柔らかな質感を残す。

〝さっきも言いましたけど、汗をかこうツアーなんで、最後まで汗をかいていきましょう！〟「Calling」「嵐の夜」「So high」といったように、後半戦に入るやいなや、立て続けに汗かきナンバーが控えていたわけだが、なめらかに響いた「Flash」まで、彼らは全力で今日という日を楽しんでいた。

アンコールでは、各会場でファンに書いてもらったメッセージフラッグを嬉しそうに見せる場面もあり、このツアーが実りあるものだったということを実感させる。〝みんなが大好きなんで、ライヴをもっとやれたらなと。今回のツアーで行けない所もいっぱいあったので、4月にツアーが決まりました。これからも、大好きなみんなとライヴがしたいと思います〟そんなサプライズプレゼントの後には、メンバー自身が〝大好きな曲〟と言って「青」を演奏。すると、会場のあちらこちらから口ずさむ声が。〝みんな、良い顔してる！ラストはもっともっと良い顔で！〟最大級の笑顔に出会えた「smile.」は、ツアー6ヶ所の締めくくりに相応しい楽曲となった。

ファーストアルバム『BRAVE NEW WORLD』。それを引っ提げてのツアー【DAWN OF THE B★N★W】。この2つは、彼らにとっても、足を運んだファンにとっても、2010年の最高の思い出となったことだろう。それを大切にしながら、彼らは2011年を走り出した。最高の笑顔に出会うため、そして、爽快な汗を流せるよう、さらなる枝を伸ばしていくはずだ。

（問）〒162-0831東京都新宿区横寺町32 TR神楽坂Bld.
TEL：03-3268-8804（平日 12〜18時）　http://kiddie.jp/



蝴蝶网
hudie.com

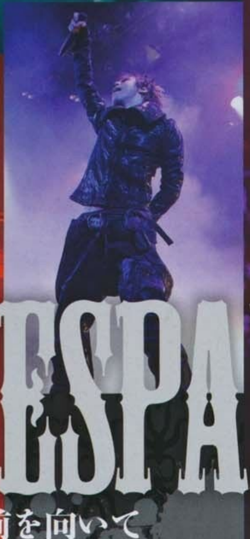
D'ESPAIRSRAY

ただ、前を向いて

メンバーの"愛"が嬉しかった

前へ、前へと進むだけではなく。時には休息をとることも必要だ。12月30日に、横浜BLITZでの[Human-clad monstes FINAL]を終えたD'espairsRayは、いよいよ無期限の活動休止期間へと突入した。だが、これはあくまでも未来を見据えた準備期間のようなもの。HIZUMI、Karyu、ZERO、TSUKASA。彼ら4人は、既に次の世界に目を向けている。

Interview:YUKI SUGIE



—2010年末に行われた横浜BLITZ公演をもって、D'espairsRayはワールドツアー【Human-clad monstes】を完遂しました（注・ただし取材自体はこの直前に行われた）。今回はまず、こちらについて少し振り返って頂きたいと思います。

Karyu：多分、今回のツアーは、今までやった中で一番充実してたような気がします。たとえば、今までだと、ツアー中にセットリストをコロコロ変えてやることも多かったんですよ。でも、今回は、基本的には既にしっかりした枠組みが出来てて、その中でちょこっと入れ替えをするくらいだったんですね。そういうやり方をしたことで、日々ライヴとしての完成度も高くなってったし、意識的にもなんかプロっぽい感じで出来たかなって。

HIZUMI：プロっぽい、ってとっくの前からプロじゃん（苦笑）。

Karyu：いや、よりプロっぽくなったような感じがあったわけ（笑）。

—つまり、それだけの手応えがあったということですよね。

Karyu：やっぱり、今回はアルバム『MONSTERS』の存在が大きくて、それを軸にしたライヴっていう意味でコンセプトもしっかりしてたと思うんです。

TSUKASA：僕にとっても、今回のツアーはほんとに充実したものでした。やればやるほど、身体が出来上がってくなぁっていう感覚が強くなっていくツアーで、その感覚自体は何時のツアーでもあるんですけど、特に自分でそれを実感することが多かったです。国際フォーラムでやったセミ・ファイナルも、凄く良い状態でやれました。

—確かに、あの国際フォーラム公演は素晴らしいライヴでした。あの一本を観ただけでも、どれだけ皆さんが内容の濃いツアーをして来たのかが手に取るように分かるほどでしたからね。

ZERO：過去にもヨーロッパ、アメリカ、日本って廻った経験はあるんですけど、一貫したテーマでワールドツアーをやったのって、実は今回が初だったんですよね。おそらく、それも今回は大きく影響してたと思います。ただまぁ、凄く（苦笑）。途中で体調崩しちゃったりして、その時は少しツラかったです。

—ツアーも長丁場になってくると、いろいろ大変ですものね。そういう意味では、今回やはり心配だったのはHIZUMIくんのことなんですよ。

HIZUMI：なんか、あっちこっち行って長いツアーだったはずなんですけど、感覚的にはあっという間に終わったツアーでしたね。一貫して『MONSTERS』の世界を表現してくっていうやり方も面白かったし、やってて自分自身も入り込めるツアーになったと思います。特に、フォーラムなんかはそのへんが凝縮されてたんじゃないですかね。

—あの日、HIZUMIくんは〝ホールって普通はコンサートっていうのをやるんだよな（笑）。でも、俺たちがやりたいのは【ライヴ】だから〟と言っていましたよね。そして、実際にライヴハウスと見紛うばかりの空間をつくり上げていたので、あれは流石だなと思いましたよ。

HIZUMI：いやもう、そう思って頂けたら何よりです（笑）。

Karyu：あの日初めて〝ホールって気持ち良いんだな〟って思いました。今までC.C.レモンホールでもやってるし、イベントなんかでもけっこう大きい場所でやらせてもらったこともありますけど、今まではどうしてもスタンディングのあのギュッとしたとこでやる方が好きだったんですよね。でも、フォーラムに関しては〝こういうのも良いな〟って思えたんです。

TSUKASA：景色が壮大なんですよね、あそこって。

ZERO：いや、最高でしたよ。今までやった会場の中で、ステージから見る景色は一番好きかもしれないです。

HIZUMI：あ、それ俺も！

ZERO：ステージも広いんで、乱れる快感っていうんですか？ そういうのも存分に楽しめました（笑）。

—さて。この取材の時点では、まだ12月30日の【Human-clad monstes FINAL】は終わっていませんが、この後D'espairsRayは無期限での活動休止期

慧美网
vimee.net

(問)http://www.despairsray.jp/

りについても言及して頂けると嬉しいです。むろん、HIZUMIくんは何よりも喉の治療に専念することになるのだと思いますが、逆に言うと楽器隊の御三方はどうされるのです？

Karyu：僕はまぁ、花でも摘んで暮らそうかなと（笑）。

TSUKASA：じゃあ、俺は採掘でもしようかな（笑）。

——実際のところ、年明け以降はどう過ごされるご予定なのでしょう。

Karyu：まず、D'espairsRayの曲作りはするでしょうね。っていうか、もうやってるんですよ。

HIZUMI：要は、何時でも動き出せる状態を作って行くっていうことなんだよね？ また動き出した時、すぐ100%とか200%の状態でライヴがやれるように、それぞれにとってのその為の準備期間になってくんだと思います。

Karyu：そうそう。それをやりつつ、あとは今まで出来なかったこともやれたら良いなと思ってます。たとえば、外部への楽曲提供とか。余ってる曲、けっこうあるんで。

HIZUMI：何だそれ！ 相手にすげぇ失礼じゃん（笑）。

ZERO：余ってるじゃなくって、〝ストック〟って言えば大丈夫でしょ（笑）。

——あはは（笑）。

Karyu：あとは、人のサポート。コレあんまやったことないんで、ちょっと興味あるんですよ。

——えぇえっ！ 人一倍、自己顕示欲の強いKaryuくんがサポートですか??

Karyu：あれ⁉ ダメですかね？ こう見えて意外と人の言うことちゃんと聞きますよ（笑）。まぁ、サポートがダメならセッションでもいいんだけど。とにかく、何かやりたいです。

——なるほど。新しい経験を積む機会を作るというのは、良いことかもしれません。では、TSUKASAくんは？

TSUKASA：今のとこ、何も予定は無いですね。

HIZUMI：曲作ってよ（笑）。

TSUKASA：それはもちろん、当たり前の話なんでやります。そうだなー、あとは音楽とは関係ないですけど、時間

やってみたい気がします。

——ZEROくんは如何致しましょう。

ZERO：俺もまだ具体的には何も決めてないですけど、でも何かしら表立った活動はしてたいなと思ってます。でも、詳しいことは最後のBLITZが終わってからですね。それが終わんないことにはちょっと他は考えられないんで、年が明けてから落ち着いて考えたいです。

——では最後に、HIZUMIくん。ここからの日々を、今どんなスタンスで過ごして行こうと思っていますか？

HIZUMI：医者通いとか、身体作りはもちろんなんですけど、ブログなり何なりで情報を発信してくことも必要かなって思ってます。俺らはあくまで音楽がメインではあるけど、それが出来ない以上は何かしらのかたちでは、皆に忘れられないようにしておかないと（笑）。

——そこは全く心配ないと思いますよ。マニアの方たちは、義理堅いですから。

HIZUMI：まぁ、ここは良い方向に全て解釈しようと思います。これまでずっとバンド一色の人生だったけど、こういう時間が出来たことで一時的にバンドと自分のことを切り離して考えてみるっていうのも必要なのかもしれないから。何しろ、それはほんとに今しか出来ないことですからね。

——有意義な時間をお過ごしください。

HIZUMI：ここまでずーっと喉が不調だった中で、それでも活動休止っていう言葉は自分からはどうしても出せなかったんですよ。でも、今回メンバーでミーティングした時に、Karyuが〝活動休止しよう〟って言ってくれた時は…ほんとに嬉しかったです。有り難いなって思いました。

——Karyuくんの愛を感じました？

HIZUMI：まぁ、そうっすね（苦笑）。

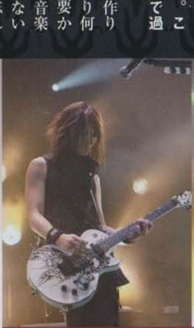
Karyu：なんか、あらためて愛とか言っちゃうと気持ち悪くないですか（笑）。

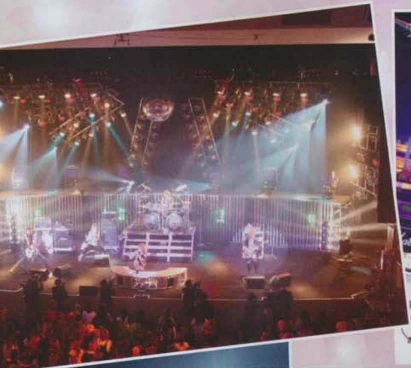
——いえいえ。メンバーを思い、バンドを思った上での英断ではないですか。

HIZUMI：だからこそ、今度帰ってくる時は万全な状態でいたいんです。

Karyu：うん。次は、間違いなく倍返し状態で帰って来ないとね（笑）。

蝴蝶网
hudie.com





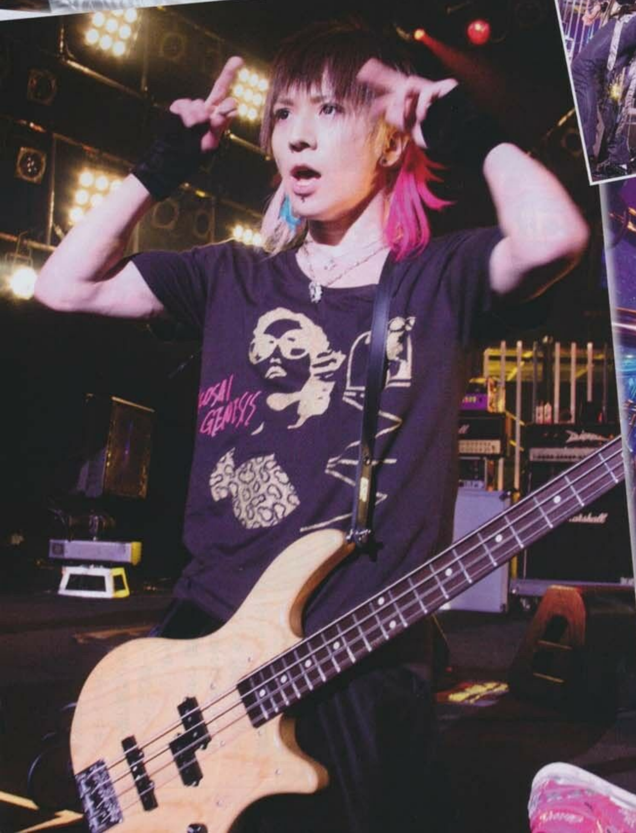
蝴蝶网
hudie.com

ViViD

1月19日にリリースされた、NEW SINGLE「「夢」～ムゲンノカナタ～」にて、バンド結成から驚異的なスピードでメジャー・デビューを果たしたViViD。そんな彼らが、2010年12月27日。C.C.Lemon Hallにて、インディーズ・ラスト・ワンマンとなる『光彩GENESIS』を行った。チケットはもちろんソールド・アウト!! 会場に集まったたくさんのファンの前で、堂々たるステージを見せてくれた。今回は、そんな彼らの記念すべき日となった一夜の模様をレポートします。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX）
Report:YUKA SUGIE

光彩 GENESIS Live at SHIBUYA C.C.Lemon Hall 2010.12.27



蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

T LIST】1.69-Ⅱ　2.butterfly　3.Chroni狂　4.Across The Border　5.Distance of mine　6.W.B.A
ast of the moon　8.Bright red garden　9.Trail of Tears　10.睡 蓮 人　11.波 紋　12.星 ノ 雨
PRECIOUS　14.トワイライト　15.夢ノミチシルベ　16.Take-off　17.悪女♂トリッキー　18.J-guild
urvive　EN1.「夢」〜ムゲンノカナタ〜　EN2RiL　EN3.キミコイ　EN4.Dear

昨日よりも今日、今日よりももっと…

結成以来、〝日本音楽史上最速記録〟でライヴ動員を増加させてきた理由を、メンバー自身は〝運が良かったから〟だと言う。もちろん、運を味方につけられる才能というものもあるだろうが、果たしてそれだけだろうか。否、ポピュラリティと骨太いロック感を共存させる楽曲、華のあるパフォーマンスを生むのは、紛れもなく彼らの感性と努力。先天的に備わる能力と、それをストイックに磨き続ける彼らだからこその快挙であることを、つくづく痛感させられたのが今回のインディーズラストライヴなのである。

何しろ、インタヴューでも、〝メジャーデビューしたって俺たちは何も変わらない〟という誓いを再三口にしたメンバー。メジャーデビューシングル「「夢」〜ムゲンノカナタ〜」にも顕著なその気概は、メロディックミクスチャーなViViDの王道の中でも、トガった4曲を畳みかけた冒頭に思いっ切り表われていた。

まず、どっしりと高揚をアオるメンバーにオーディエンスが敏感に反応した「69-Ⅱ」。イヴが上手に移動してアオったり、零乃と怜我が時に向かい合い、連携プレイもきめたりと魅せた「butterfly」。Ko-kiの支える躍動的なグルーヴにタオル回しも勢いづいた「Chroni狂」。間奏でフロント4人がドラム台に集い、そこからシンのラップ、零乃のテクニカルなギターソロへの流れも血をたぎらせた「Across The Border」。ホールだろうとお構いなし、徹底的に攻めなモードだ。

〝ViViDを始めてからこの日まで、昨日より今日、今日より明日って、カッコイイバンドになれるように、愛されるように、がむしゃらに走り続けてきました。今日は、どんなViViDよりも最高のViViDを見せますっ。俺らとお前らで、最高の景色を作ろうぜ！〟

そんなシンの言葉を聞いたからには、オーディエンスに火が付かないはずはない。オイオイという逞しいコールとともに拳が上がった「Distance of mind」。気合いの入ったヘドバンが満開となった「W.B.A」。メンバーのソロ回しにも沸

て駆け抜けながらも、それぞれに芸の細かさを見せる楽器陣、そしてファルセットからラップまで自在かつ的確に操るシン。ついつい、デビュー前のバンドであることを忘れそうになる。

さらに、【聴かせる曲】たちが力を放ったのは中盤。この日来られなかったファンへの想いを、シンが〝遠い空の向こうにいる、大切なキミへ〟という言葉に託した「Trail of Tears」。イントロ、静けさの中で堂々の独唱でシンが圧倒した「睡蓮人」。多彩な場面転換でも魅せてくれた「星ノ雨」。しなやかな歌心とそれを最大限に活かせる手腕もまた、彼らの武器だ。

メジャーデビューに際し心配を募らせるファンに向け、〝俺たちのお前たちに対する愛は永遠にずっと変わんねぇんだよ！　届いたか！〟と、シンが生声で宣誓した上で披露したのは、彼らの変わらない想いを綴った「PRECIOUS」。サビの大合唱は、いつにも増して心を震わせた。

〝1人1人は決して強い人間じゃないけど、頑張ろうと思えるのはみんなが支えてくれるからなんだよ。俺たちはどこまでもお前たちと一緒に歩いて行きたいし、どのバンドよりも一番、傍にいてやるから〟

プロとして、ヴォーカリストとして、1人の表現者としての、責任と自覚。それを今まで以上に高めたシンの放つ熱と説得力を孕んだ言葉、そしてガッチリ噛み合ったメンバーの気迫によって、終盤の一体感は目を見張るほど。座席無視のモッシュ、大声でのコール…ただただ昇り詰めていった。

そして、アンコール。

自分の可能性を信じて突き進んでいく、そんな強い意志に満ちたメジャーデビューシングル「「夢」〜ムゲンノカナタ〜」に、彼らの誇りと決意が見えた。

ラストを飾った「Dear」の歌詞の通り、この先、時に高い壁が立ち塞がることもあるかもしれない。それでも、ViViDと彼らを愛するファンならば、依存ではなく、支え合うことできっと乗り越えられるハズ。目指すは、オンリーワンで

問）http://www.indie-psc.com/vivid

ARENA37℃ 2月号増刊

オールカラー
A4ワイド
定価：1,800

ViViD

ラスト・インディーズライヴ『光彩GENESIS』in 渋谷C.C.Lemonホール

あの熱気をここに再び！！

●楽屋密着取材 ●会場でのキメ撮影 ●ライブリポート ●アフターインタビュー ●渋谷C.C.Lemonホール来場者コメント撮

他、スタジオでの新規撮影や、インディーズ時代のヒストリーに迫ったロングインタビューなど
1冊に5人の様々な魅力を凝縮。

**2010年12月27日　渋谷C.C.Lemonホール完全密着取材に加え、
最新撮りおろし写真&インタビューを収録した
1冊まるごとViViD BOOK。ご購入はお早めに!!**

2011年2月9日
まるごと1冊
ViViD本
全国書店発売決定!

制作／発行：(株)音楽専科社　○音楽専科社ウェブサイトhttp://www.ongakusenkasha.co.jp

書籍注文書 ＊書店に置いてない場合は最寄りの書店にてご注文ください。

書店（番線）印	雑誌コード：01594-02	受注：　月　日	部数：　部	担当者：
	書名：『ViViD『光彩GENESIS』in 渋谷C.C.Lemonホール』定価1,800円（税込）2011年2月9日発売			
	住所			
	氏名			TEL：
書籍扱い	出版社名：(株)音楽専科社　東京都中央区銀座 6-2-3 Daiwa 銀座アネックスビル 5F　TEL:03-3574-0201　FAX:03-3574-8548			

＊この注文書は切り取らないでコピーでもかまいません。

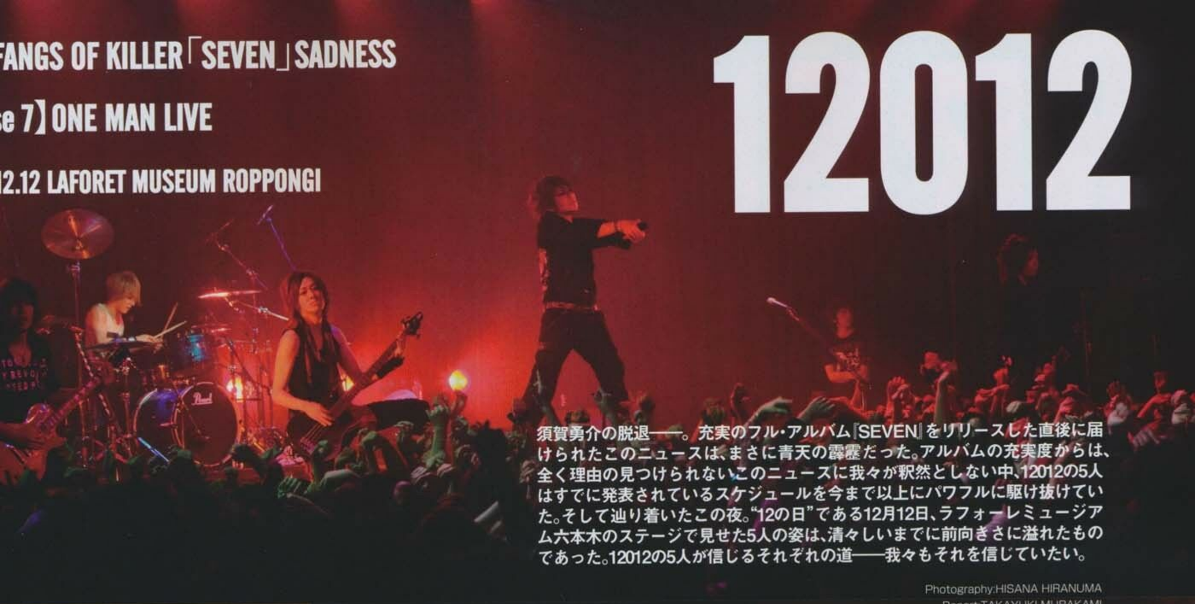
蝴蝶
hudie.com

FANGS OF KILLER「SEVEN」SADNESS

ce 7】ONE MAN LIVE

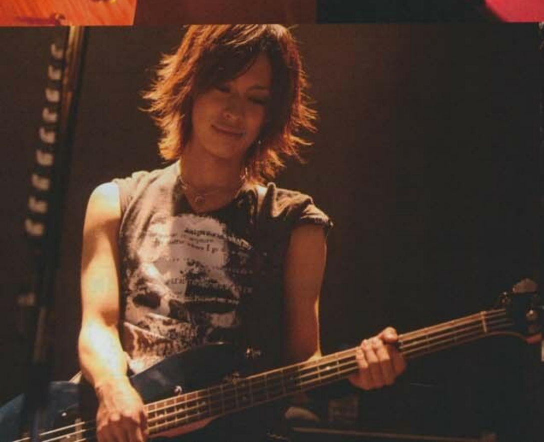
12.12 LAFORET MUSEUM ROPPONGI

12012



須賀勇介の脱退——。充実のフル・アルバム『SEVEN』をリリースした直後に届けられたこのニュースは、まさに青天の霹靂だった。アルバムの充実度からは、全く理由の見つけられないこのニュースに我々が釈然としない中、12012の5人はすでに発表されているスケジュールを今まで以上にパワフルに駆け抜けていた。そして辿り着いたこの夜。"12の日"である12月12日、ラフォーレミュージアム六本木のステージで見せた5人の姿は、清々しいまでに前向きさに溢れたものであった。12012の5人が信じるそれぞれの道——我々もそれを信じていたい。

Photography:HISANA HIRANUMA
Report:TAKAYUKI MURAKAMI



蝴蝶网
hudie.com

5人が信じる道の向こうへ——

【set list】
1.JUST THE WAY YOU ARE...
2.newspaper
3.gallows
4.サイクロン
5.TATTOO
6.As
7.icy~cold city~
8.Shudder
9.my room agony
10.LOVERS
11.Over....
12.配られたカードで勝負するしかないのさ、それがどういう意味
13.薄紅と雨
14.浸色
15.THE PAIN OF CATASTROPHE
<encore Ⅰ>
16.vomit
17.罠
18.「6」party
<encore Ⅱ>
19.逢いたいから....
20.SHINE
<encore Ⅲ>
21.僕ノ殻カラ

須賀勇介が脱退するというニュースは、まさに青天の霹靂だった。2010年の12012は、自分たちが信じる道を突き進む宣言とも言えるシングル「TATTOO」を2月にリリース。その後7月に発表したアルバム「SEVEN」も、彼らの意思が固いことを感じさせる内容だった。音源からもライヴからも彼らが一枚岩になっていることを感じていただけに、須賀が脱退を決意した理由が分からない。その後も一切情報が入ることはなく、釈然としない気持ちのまま12月12日を迎えることとなった。

満員のラフォーレミュージアム六本木の場内に熱い歓声が湧きあがり、ライヴは「JUST THE WAY YOU ARE…」からスタート。しっとりとした幕開けに意表を突かれたが、12012のライヴならではの緊張感に満ちた空気が心地好い。近寄りがたい雰囲気すら感じさせるメンバーの表情とタイトなサウンドからは、彼らが今日のライヴにかける意気込みが十分に感じられた。

その後は、一気に炸裂する形で「newspaper」や「gallows」「サイクロン」といったナンバーが相次いで演奏された。青白い炎を発しているようなオーラを振りまきながら、瞬発力のある歌声を聴かせる宮脇。華やかさと鋭さを同時に感じさせるギター・プレイとステージングを展開する酒井。感情を露わにして熱くギターを弾き、激しいパフォーマンスを見せる須賀。クールな表情で、ファットにうねるベース・サウンドを響かせる塩谷。全身を使ったドラミングで、重厚に突進するビートを叩き出す川内。彼らが生み出すケミストリーの強力さはいつもと変わることなく、この5人が並び立った姿が見られなくなるのは残念だな…と思わずにいられなかった。

アグレッシヴなサウンドとホットなパフォーマンスに応えて、ヘッドバンギングの嵐と化す場内。そんな中、ステージの両脇に立った酒井と須賀が向かい合ってプレイしながら笑顔を交わしているのを見て"オッ！"と思った。その後も須賀は他のメンバーと絡んで、楽しげに演奏している。どうやら彼の脱退は、メンバー間の感情的なもつれなどによるドロドロしたものではないようだ。それが分かって、ひとまず安心できた。

MCを挟むこともなく「icy ~cold city」や「shudder」「my room agony」といったヘヴィ・チューンを聴かせる12012。彼らのヘヴィなナンバーはダイナミクスのつけ方が絶妙で、アグレッシヴでいながらリスナーを惹き込むパワーに溢れている。この辺りはさすがの一言で、12012のポテンシャルの高さを改めて感じさせられた。

スロー・チューンの「LOVERS」と「Over…」をじっくり聴かせた後、ライヴは後半へ。「配られたカードで勝負するしかないのさ、それがどういう意味であれ…」を皮切りに、「薄紅と雨」や「浸色」などが怒涛の勢いで演奏された。ギリギリした緊迫感と爽快感を兼ね備えたサウンドと、メンバー全員が繰り広げる激しいパフォーマンスは圧巻で、場内は熱狂的な盛り上がりを見せた。

須賀の脱退について何もコメントすることなく本編とアンコールを終わらせた後、さらなるアンコールを求めるオーディエンスの熱い声に応えて12012は再びステージに登場した。[illegible]溢れた「逢いたいから…」を[illegible]後、宮脇が口を開いた。"この[illegible]12012は、今日で最後にな[illegible]うんやけど…。須賀の脱退は、[illegible]違いです。苦渋の決断でしたけど[illegible]ちを切り替えて、お互い頑張っていこうと決めました。"続けて須賀も"[illegible]"12012での7年半、メッ[illegible]ろかったで！ いろんな人に支[illegible]きたと思います。みんな、ありがとう！"穏やかな笑顔で語る2人の姿は爽[illegible]さに満ちていたし、場内を埋めたファ[illegible]涙を流しながらも温かみに溢れ[illegible]贈ったことも印象的だった。

男気の強いバンドにふさわしく、全員が後のことは考えずに、12月12日のライヴに臨んだという12012。今はバンドの継続自体も白紙の状態とのことだが、このまま12012が終わってしまうとは思いたくない。須賀が脱退を決意したことは、逆に言えば12012が目指すものが明確であることの証と言えるからだ。12012と須賀勇介の双方に、今後もそれぞれが信じる道を全力で走ることを期待したい。

蝴蝶网
hudie.com

彼らがメジャーというフィールドに飛出したのは、2010年5月のこと。デビュー曲となった「予感」は、TBS系アニメ『会長はメイド様！』のエンディングテーマでもあったことから、既存のheidi.を感じるも、いつもより蒼い感じが漂う1曲だった。2枚目のシン

なる派手やかな4つ打ち曲ではない、彼らしい含みを持った楽曲だった。彼らはこの先、メジャーというフィールドで、いったいどんなheidi.を見せてくれるのだろう?と楽しみにしていた2ヶ月後、彼らは1stアルバム『閃光メロウ』を作り上げたのだ。

heidi.

e Tour 2010 ― 閃光メロウ ― FINAL
東京の心」

2010.12.10 LIQUIDROOM ebis'u

ャー・デビュー・アルバム『閃光メロウ』を引っさげ、2010年最後のツアーに出たheidi.。10月19日の千葉ルックを皮切りに、全国15ヶ所15公演を廻った
ーのファイナルを飾った東京、恵比寿リキッドルームのライヴは、2010年の彼らの集大成のようなライヴであったと言えるだろう。全力を出し切り、
ことなく、今のheidi.を届けた彼ら。そんなツアー・ファイナル『東京の心』をレポートしよう。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI (SHOXX)　Report:NAOKO TAKEICHI

感じてますね。本当に満足してます』と、アルバム完成直後のインタビューで語っていた義彦。heidi.らしくありながら、今までのheidi.にはなかったアプローチも見せてくれる意欲作だと感じたこのアルバムを、ライヴで聴くのがその時から楽しみでならなかった。

今日は何から始めるつもりだろう？手元にあったセットリストに目を通すのをやめ、彼らがこの日のライヴの1曲目を何から始めるのか、楽しむことにした。

「8ループ」だった。一聴して感じたほど、桐のドラムとコースケのベースはパワフルになっていた。安定感の増したボトムの上で軽やかなピッキングを見せるナオのギターも鮮やかさを増している。そこに圧倒的な義彦のヴォーカルが乗るという絶妙なバンド感。久々に見る彼らの音は、目を見張るほどの成長を遂げていた。義彦の歌から始まった2曲目の「スターレイン」では、フロアがオーディエンスの力強い拳で埋め尽くされた。

〝全員で手拍子いこうぜ！〟（義彦）

曲は「ネオン」。義彦の言葉に導かれるかのように手拍子が沸き上がり、フロアは横に揺れた。アンダーグラウンドな世界観が会場を包み込む。[illegible]メロに絡み付くコースケのラン[illegible]ースが実に心地よい。このアン[illegible]が居いなたい感じこそが、彼ら[illegible]あると、この日、この瞬間に感[illegible]しとた。この後に届けられた「シ[illegible]にもまさに、そんな空気感を強く感[illegible]、この曲こそ、heidi.の持[illegible]凝縮されていると改めて感じたの[illegible]

〝1つだけ言わせて。ただい[illegible]や？とみんなのとこに戻って来た[illegible]今日はツアーのすべてを出し切れる[illegible]に頑張りたいと思うんでよろし[illegible]

そんな彼の言葉から、このツ[illegible]ーがいかに彼らにとって実のあるモノだったかが伝わってきた。そんなMC前までも、このツアーでの成長はひしひしと伝わってきていたが、義彦の言葉どおり、そこからがまた最高に良かったのだ。

個人的に、特に彼らしいライヴを届けてくれたと感じたのは、「ミス・レター」から「夕焼けと子供」「蜃気楼」と続け

蝴蝶网 hudie.com

全てを出し切った2010年の集大成ワンマン

蝴蝶网
hudie.com

と、ラストがメタル調という曲構成が最高の「ミス・レター」は、早くライヴで聴きたかった曲であったことから、ここからさらに引き寄せられたのかもしれない。そして。一気に空気を変えた「蜃気楼」から続いた「空の天井画」。この曲もアルバムを初めて聴いた時からライヴが楽しみであり、アコギが肝となった浮遊感のある異質な1曲だ。この曲から「鼓動」「アンニュイ」へと流れた運びは、アルバムどおりである。アルバムを覚えた脳が、曲の終わりに、次のイントロの準備をする。そんな脳のイメージどおりに、彼らは目の前で、照明や演奏する生の息遣いとともに、視覚的な興奮も交えて届けてくれたのだった。照明を落とし、灯火のように、儚げな光を放つ演出の中、フロアに〝孤独〟がゆっくりと浸透していくのが見えた。物音1つ立てられないほどの緊張感を持たせられた瞬間も、素晴しく〝ライヴ〟であった。

そして。彼らは本編ラストを「ヤサシイウタ」で締めくくった。あたたかな逆光に包まれた4人から届けられた「ヤサ

【set list】
1.∞ループ
2.スターレイン
3.ネオン
4.ハロー!
5.シンクロ
6.ミス・レター
7.夕焼けと子供
8.蜃気楼
9.空の天井画
10.鼓動
11.アンニュイ
12.ペイン
13.恍惚
14.骸
15.予感
16.パラレル
17.泡沫
18.おまえさん
19.ヤサシイウタ
<encore Ⅰ>
20.月光ショータイム
21.ツタツタ
22.センチメンタル
<encore Ⅱ>
23.白昼夢

シイウタ」に

そして彼らはこの日、アンコールの1曲目に、2011年2月2日にリリースされる新曲「月光ショータイム」を披露した。この曲は、2011年2月に公開予定の、大鶴義丹監督／原案、風間俊介（ジャニーズJr.）主演の映画『前橋ヴィジュアル系』の主題歌となっている。

2010年の集大成としてのライヴを悔いのない形でやりきった彼らの2011年が、今から楽しみでならない。

[Lc5]

LIVE CORE 2010【first story】

LIST】1.DIRTY STAR
1　3.新曲2
eless　5.新曲3
4-Lc4セッション-
5　8.新曲6
~love&crash~
L ME!!
epper Than Fate
TORY　13.新曲7

Live at shibuya BOXX 2010.12.19

2010年12月1日にニューマキシシングル「STORY」をリリースしたLc5が、渋谷BOXXにて、ファーストワンマンライヴ『Lc5 LIVE CORE 2010【first story】を行なった。アンコールを含め、全13曲、全力で突っ走っていった5人の勇姿を、ここにレポートいたします。今後はワンマンツアーを控えているだけに、その勢いから目が離せない！

Photography:MIWA OHYA
Report: ERI MIZUTANI

今年9月に「Loveless」でデビューしたLc5。結成当初、バンドの全貌が明らかになっていなかっただけに、かわいらしいバンドなのかしらと勝手な想像をしていた。だが、それは大きな間違い。サウンドは骨太、歌声は大人っぽさ全開。嬉しい裏切りだった。それだけに、これからどんな曲ができてくるのだろうと、先が楽しみにもなった。

先日、久しぶりに彼らのライヴを見ることになったのだが、成長著しいとはこういうことをいうのだろう。1曲目の「DIRTY STAR」から、5人の意気込みが感じられた。今日のために相当の準備をしてきたはずだ。みなぎる気合いを全身で表現するかのように、mikuが大きく両手を広げると、曲がスタートした。その瞬間、フロアからは感嘆の声が漏れた。期待以上の音がそこにはあったのだ。夢時のビターなギターフレーズ、なだれ込むようなドラミング、mikuの絡み付くような歌声、色気のあるロックとでも言うべきか、これにはかなりやられた。続く、「新曲1」では、〝会いたかったぜ、東京！全員跳べ！〟と男らしい煽りを挟む。軽快なメロが気持ちよく、気付けば、自然と体が揺れていた。曲に合わせて前へいこうとする観客、それを見たメンバーは〝いいぞ、東京！〟と、テンションを上げていったのだった。〝会いたかったぜ、盛り上がってますか！〟フロアの温度を確かめるmiku。〝Lc5、初のワンマンです！普段は対バンだと時間が限られているけど、今日はやりたい放題です。今年最高の思い出を作りましょう！〟その表情は生き生きとしており、この瞬間が楽しくてたまらないといった様子だ。〝俺たちと君たちが出会った曲です〟そう言って、デビュー曲の「Loveless」を。この曲、以前に聴いたときよりもグッと大人っぽさを増していた。そこから「新曲3」と「新曲4」にスムーズに繋げると、観客をLc5の世界観にどっぷりと浸らせていった。フロアが酔いしれたところで、Satoがマイクを取った。〝初ワンマン、こんなにたくさんの人が来てくれてありがとうございます。活動を始めて半年、あっという間だったんですけど、その節目で

拶にフロアからは思わず拍手が[illegible]して、Akiが新しいドラムセットにしたことを皆に披露すると、当の本人は満面の笑みでモンスターセットを紹介。始めたときからの夢というだけあって、実に立派な城が目の前にそびえ立っていた。そのセットをフルに活かすべく用意されたのは、楽器陣によるスーパーセッション。「戦場のメリークリスマス」を4人でアレンジ。そのかっこよさといったら半端なかった。この曲、け[illegible]の バンドがアレンジしてやっているのを見かけるが、今まで見た中でダントツの出来だった。

そして、5人体制へと戻ると、「新曲5」から後半戦が始まった。新曲の「新曲6」を挟み、MCへ。まさか、ここで、mikuからの無茶ぶりがくるなんて、メンバーは思ってもみなかったに違いない。この前、舞台に出演したmiku。そのとき、自分のかっこいい声について研究したそうな。そこで、みんなのかっこいい声を聞きたい！との件から、1人ずつにかっこいい声を出してもらうことに。お題をフロアから頂戴したところ、〝愛してる〟に決定。miku、Sato、Aki、夢時、Reoの順にやっていったのだが、どれも個性的すぎて勝負付かず。とりあえず、お題を完全に無視したReoには特別賞をあげたいと思うのだが（笑）。盛り上がったところで、「Lc5~love&crash~」が、さらにフロアの温度を上げていく。その後、畳み掛けるようにして「TELL ME!!」「Deeper Than fate」を披露した。

〝本当に楽しかったです、ありがとう。これからも、自分たちのスタイルを貫いてかっこいいバンドになりたいと思う〟mikuの言葉に、観客は黙って頷いた。Lc5を信じて付いていこうと、ここにいた誰もが思ったことだろう。ラストには新曲の「STORY」をドラマチックに奏でた。ピアノから壮大に始まるこの曲、ラヴバラードではあるが、サウンド面からは、彼らからの決意表明とも取れる強い意志が感じられる1曲となっていた。

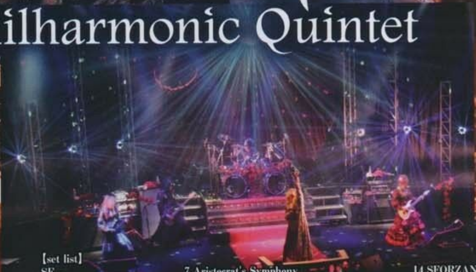
今後はワンマンツアーを控えているLc5。〝またこういう楽しい日にしましょう！〟と宣言してくれただけに、これか

http://www.lc5.jp/

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Versailles
Philharmonic Quintet



【set list】
SE
1.Philia（新曲）
2.ASCENDEAD MASTER
3.愛と哀しみのノクターン
4.Glowing Butterfly
5.Amorphous
6.Catharsis
7.Aristocrat's Symphony
8.Reminiscence（TERU Gt.Solo）
9.desert apple（HIZAKI,MASASHI,YUKI inst）
10.PRINCESS -Revival of church-
11.月下香
12.zombie
13.Libido
14.SFORZANDO
15.The Red Carpet Day
<encore>
16.Sympathia
17.Shout & Bites
18.The Revenant Choir

革命〜美しき運命〜　2011.1.4　AKASAKA BLITZ

2011年、彼らが見せる夢の行方とは——

正真正銘、"新生"Versaillesの初のワンマン・ライヴが、1月4日・赤坂BLITZにて行なわれた。1月から、彼ら自身初の試みとなるテレビ番組もスタートするが、そのテーマソングともなっている新曲「Philia」からスタートしたライヴは、新たな夢の世界を感じさせる夜となった。1000人限定で行なわれたこの夜の模様を、速報でお届けする。

Photography:TAKAAKI HENMI　Report:RINGO AOMORI

ヴ——その文言を見て、少し違和感すら覚えてしまった。メジャー1stアルバム『JUBILEE』をリリースしてから今日に至るまでの約1年間、彼らは国内外を通して怒濤のライヴ展開をしてきた。この布陣でヴェルサイユとして確実にボトムアップしていく様を見て来たからこそ、現在の体制でのワンマン・ライヴをやっていなかったこと、"新生"と何だか不思議なものを感じてしまったのだ。もっとも、MASASHIが正式メンバーとして加入が発表されたのが、9月4日・渋谷C.C.Lemonホールでのこと。それ以降のワンマン・ライヴは、正真正銘この日が初めてである。

2011年一発目、記念すべき"初"ライヴの幕開けとなったのは、初披露となる新曲「Philia」。ギターの掛け合いやアンサンブルも軽快なスピード・チューンを最新シングルとして選ぶあたり、今年の彼らも攻めの姿勢を見せてくれそうである。ちなみにこの曲は、これまた彼らにとって"初"の試み、自身も出演の新番組「おねがいかなえてヴェルサイユ」のテーマソングとなっている。

『叫んで行こうぜ！　狂って行こうぜ！』KAMIJOがこう叫び煽りながら「ASCENDEAD MASTER」「愛と哀しみのノクターン」とファスト・チューンをたたみ掛けるオープニング。楽器陣の巧妙なプレイをフィーチャーした「Reminiscence」「desert apple」を中盤に配しつつも、比較的新しめの楽曲で構成されたこの夜のメニューの中、"この季節にピッタリな曲を"と本編終盤に披露された「SFORZANDO」は、また違った輝きを持って届けられた。よりドラマティックになった曲を聴き、またタイトルを聞いた途端に歓喜の声を上げた観客を見て、ヴェルサイユの2010年の濃密さに改めて想いを馳せたのだった。

アンコールでは、この夜や2011年への想いをそれぞれがコメント。『[illegible]出すほど楽しませる1年に』（KAMIJO）／『みんなの輝かしい笑顔が[illegible]しくて前が見えないっ』（TERU）／『今年は元年ということで、ぴょんぴょん[illegible]していこうかと』（HIZAKI）／『僕が加入して初めてのワンマンで、今年初めてのライヴで、こんな素敵な景色を見させてもらって凄く嬉しいです』（MASASHI）／『これからも[illegible]終わらない夢を見続けましょう』（YUKI）

ヴェルサイユの本質が改めて問われるとも言える2011年がスタートした。今年、彼らが描く夢の世界はどんなものだろうか——。

慧美网
vimee.net

SHOXX 新春特別企画

Kanon特命大使の日独国際交流 #001

Photography: SHINJI TANAKA
Interview : AKEMI OHSHIMA

蝴蝶网
hudie.com

我らがkanonがSHOXXが勝手に任命したヴィジュアル特命大使として
ヨーロッパ各国で大ブレーク中のTOKIO HOTEL（トキオ ホテル）と極秘対談を行ったぞ!!
東西のヴィジュアル・アーティストの異文化交流。何が出るかはお楽しみ。早速いってみよーっ!

kanon × TOKIO HOTE

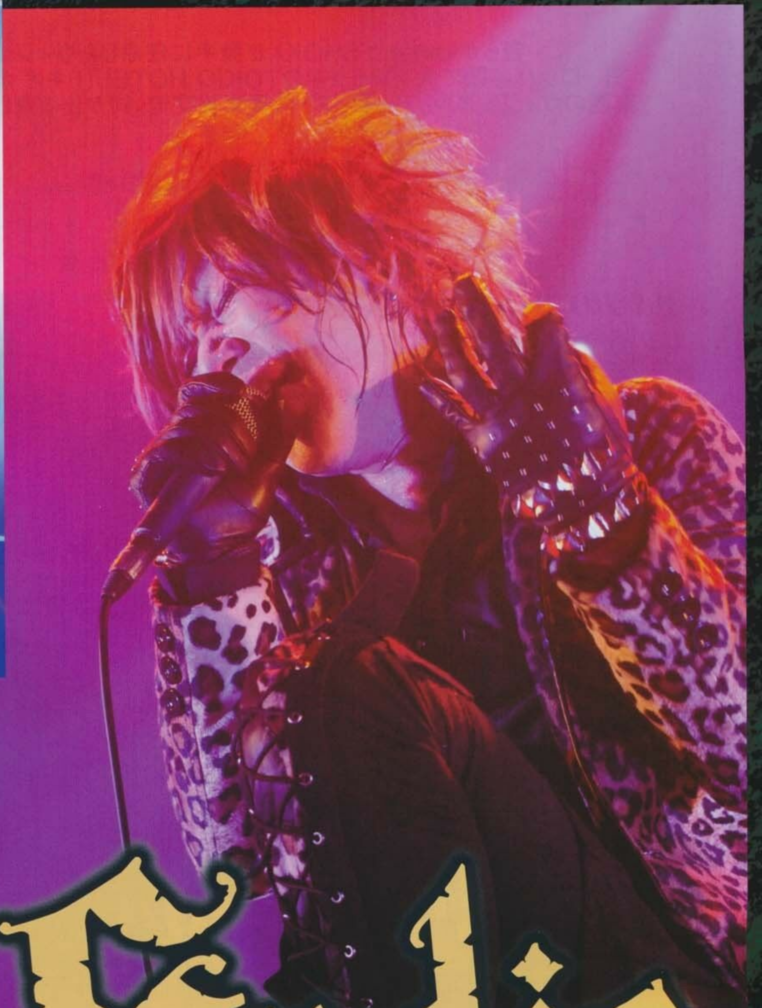
ドイツのファンは声が大きくてカウントが聞こえない！

日本のファンはちょっぴりシャイだけど、そこは押して、押すよ!!

蝴蝶園 hudie.com

とアンカフェのCDです。
ビル：ありがとう！
――TOKIO HOTELのみなさんは、日本のバンドに興味がありますか？
ビル：もちろん！ すごく興味があるよ。まだあまり聞いたことはないんだけど、噂ではすごいカラフルなバンドが多いって聞いて、楽しみにしてるんだ。まず一番最初に、このCDを聞いてみるよ！
カノン：ありがとう。
――アンカフェは、何度もヨーロッパ・ツアーをしてるんですよ。
ビル：ホント？ ドイツに来たことは、ある？
カノン：あります。
トム：どこの町？
カノン：えーっと。ケルン、ボーフン、ベルリン、ミュンヘン……。
ビル：それは、すごい！
カノン：ドイツから日本に来る時の飛行機、長くて大変じゃなかった？
ビル：僕とトムは、今、LAに住んでるんだ。ドイツよりも日本に近いだろうと思ってたんだけど、11時間くらいかかってちょっぴり時差ボケ。でも、大丈夫。
グスタフ：僕とゲオルグは、ドイツから来たんだ。
カノン：ドイツの人って、みんな身体が大きいよね？
ビル：グスタフみたいな人が、いっぱいいるでしょ（笑）。
カノン：それに、ドイツの人は、本当にパワフルだよね。本番中、お客さんの声が大きすぎて、カウントが聞こえないことがあったよ。
ビル：ドイツのお客さんは体格からも想像できるように、すごくパワフルで声も大きいよね。でも、僕はそういうドイツのファンが大好きなんだ。
カノン：同感！
――日本でのライヴは、まだなんですよね？
ビル：まだやってない。ドイツから考えると、日本はすごく遠い国なんだ。日本でライヴをするのが僕たちの夢だったから、今はすごくエキサイティング。自分たちがいま日本にいるなんて、リアルな感じがしなくてまだ夢みたい。明後日とても楽しみにしてるんだ。
カノン：日本のファンは、すごくシャイだと思うよ。
ビル：僕も、それは感じる。すごいフレンドリーなんだけど、ちょっぴりシャイかな。
カノン：そこは、押して押して（笑）。
ビル：わかった、そうするよ！
カノン：赤坂BLITZはすごくいい会場で、設備も綺麗だし、音もいいよ。
ビル：写真で見たけど、本当に良さそうな会場だよね。日本に来る前は、メキシコシティで1万8千人の観客の前でライヴをやってきたんだ。今回は会場が狭いので、お客さんとの距離が近くて、きっと新鮮だと思う。
カノン：1万8千人！ すごいね！
――記者会見の時、日本に来てから、まだパスタとピザしか食べてないといってましたよね？
カノン：日本のピザって、イタリアとか本場のピザとはちょっと違ってて、日本風って感じがしない？
ビル：ホテルのルームサービスのメニューがよくわからなかったので、適当に作ってもらったんだ。でも、美味しかったよ。ピザとパスタの両方を頼んだお客さんは、めずらしかったんじゃないかな（笑）。
カノン：両方、主食だからね。そういえば、ベジタリアンって聞いたけど。
トム：僕とビルは、そう。こっちの二人は、肉を食べるよ。
ビル：日本って美味しいものがたくさんあるって聞いたけど、ベジタリアンだと難しいのかな。
――日本人は、西洋の方ほど肉を食べないと思います。お魚や野菜料理も、たくさんありますよ。
カノン：やっぱり懐石料理が、お勧めかな。ベジタリアンだと、精進料理とか。お坊さんが食べるみたいな料理に、なっちゃいますね。
――お坊さんは殺生してはいけないので、野菜中心の料理なんです。
ビル：それは、いいね！ あとで、どこで食べられるか聞いておくよ。
カノン：ところで、初めてメイクをした
ビル：小さい頃から、メイクには興味をもってたよ。最初に髪を染めたのは9歳の時。メイクは12歳くらいの頃から始めて、学校にもメイクして通ってた。
カノン：誰かに影響とか、受けたの？
ビル：誰かに影響を受けたわけじゃなくて、小さい頃にハロウィン・パーティでヴァンパイアの仮装をしたのがすごく楽しかったのがきっかけだと思う。もともとヴァンパイア映画が大好きで、小さい頃からよく見ていたし、デヴィット・ボウイも大好きなので自然とメイクをするようになったんだ。誰か一人にすごく憧れて始めたわけじゃなくて、いろんなものから影響を受けて、今のスタイルができたと思ってる。
カノン：なるほど。他のメンバーは、メイクしないの？
トム：ノー。
グスタフ：しないね。
ゲオルグ：しようと思ったこともないよ（笑）。
ビル：このバンドは出会った頃からそうなんだけど、個性を大事にしてるので、何でもやりたい人はやればいいし、いやだったらやらなければいいっていうスタイルなんだ。メイクもイメージを統一するために全員がしなくちゃいけないなんて思ってないし、僕が好きだからやってるだけ。僕は子供の頃から服も自分で決めてたし、メイクも衣装も表現手段の一つだから、いつも自由でいたいんだ。だから、スタイリストもいないんだよ。
カノン：ああ、その気持ち、すごくよくわかる。
――メイクも自分でやってるんですか？
ビル：学生の頃は自分でやってたけど、今はプロのメイクさんにやってもらってる。自分でもできるんだけど、ちょっとレイジーだから（笑）。
カノン：じゃ、今日は？
ビル：メイクさんが一緒に来てくれてるので、やってもらってる。
カノン：そうなんだ。
ビル：僕からも、質問してもいいかな？ アンカフェっていうバンド名は、どこからつけたの？
カノン：競馬の馬から。
ビル：その馬に [illegible] かった？
カノン：昔は……（笑）。
ビル：日本って、競馬は人気あるの？
カノン：そうだね。メンバーが競馬好きで、馬の名前はメンバーが知ってたんだ。
トム：カッコいい名前だよね。
――日本で、どこか行きたいところはありますか？
ビル：これは絶対に見ておいたほうがいいところって、ある？
カノン：秋葉原と原宿。
ビル：原宿は、もう行ったよね？
トム：人がすごく多かった。
ビル：きみは、あの人ごみの中を歩けるの？
カノン：あんまり歩けないかな（笑）。
トム：秋葉原には、何があるの？
カノン：秋葉原は、最新のものがたくさんある街だよ。昔は電気街だったけど、今は何でもある。
ビル：面白そうだね！
カノン：世界中いろいろなところを回ったけど、この二つの街って似てる街がないんだよね。
ビル：なるほど。じゃあ、絶対に行かなくちゃね。
カノン：きっと楽しいと思うよ。
トム：アンカフェ以外に、お勧めの日本のバンドってある？
カノン：ん～……、日本で？
ビル：わかるわかる、悩むのは。自分たちも、『いいドイツのバンドを教えて』っていわれても、TOKIO HOTEL以外考えられないから（笑）。
カノン：そうだね。アンカフェ以外、考えられない。
ビル：OK。アンカフェ、絶対に聞くよ。
――聞いたら、感想を聞かせてくださいね。
全員：もちろんだよ！
カノン：遠いかもしれないけど、また日本に来てね。
ビル：絶対に来るよ。
トム：わりとすぐに帰ってこれると思う。
ビル：きみのCD、聞くからね！
カノン：ありがとう。ちょっとテレくさいな（笑）。

蝴蝶网
hudie.com



Sadie

Deep impact

Live at 新木場STUDIO COAST 2010.12.29

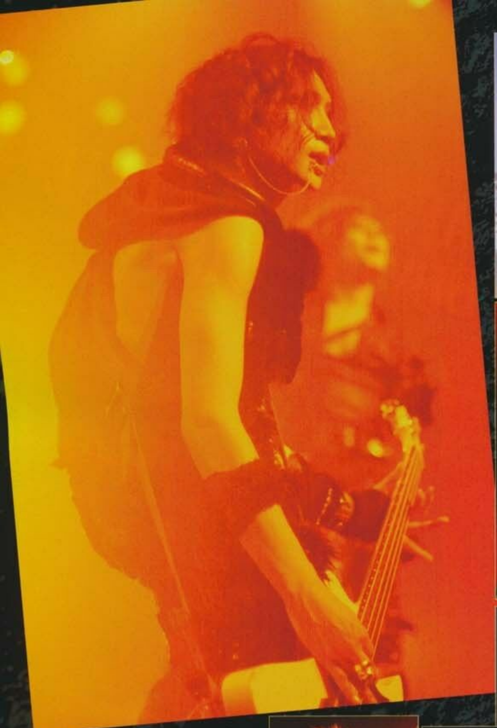
シングル3タイトル発売記念として用意された『Deep impact』ツアー。Sadie史上、最も長いツアーになったわけだが、ファイナル公演の新木場COASTでのライヴは、オーディエンスの涙を誘った。涙の理由、それをライヴの展開を追いかけるとともにお伝えしていこう。3月18日には念願のなんばHatchで6周年記念ライヴを決行する彼ら。この日、きっと、何かが起こる！

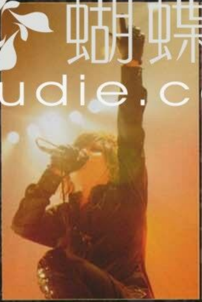
Photography:MIWA OHYA／Report:ERI MIZUTANI

鋼のような強さを求め、立ち向かっていった『Deep impact』ツアー。30ヶ所32公演という、Sadie史上、最長のツアーとなるだけに、彼らの技量が試されることとなった。それには、全てをワンマン公演にするよりも、ツーマンにしてライバルを置き、全国へと繰り出していった方がいい。そのため、ヴィジュアルシーンきってのライヴバンドが揃えられた。このことは彼らに良い影響をもたらした。実際、取材のタイミングで11月4日の新横浜サンフォニクスホールへと足を運んだとき、リハーサルの段階から、凄まじい闘志が燃えていた。きっと、相手があれだけすごいものを見せているのだから、俺らはその倍の力で頑張らなくてはという意識だったのだろう。もし、これがワンマンだったら、ここまでの勢いは出ていなかったはずだ。さまざまなバンドから影響を受けたおかげで、ツアーファイナルとなった新木場COASTのワンマンライヴは、今までのSadieのイメージを覆すものとなった。

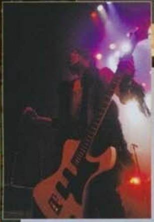
蓄えてきたパワーを一気に放出するごとく、オープニングの「クライモア」は、5つの音が爆発した。〝ファイナル・新木場、かかってこい！〟それが戦闘開始の合図となり、ステージもフロアも、ド頭から混戦状態。攻めの体勢のまま「心眼」へと突入すると、バネのようにしなやかな動きで弦を弾く亜季の姿に目を奪われる。o-i-o-iコールとともに揺れるフロア、何と、2階席までふわりふわりとしているではないか。コーストの性質上、フロアから離れた2階席が揺れるなんてことは滅多にない。だが、そう感じるということは、今日がいかに熱いかというのがわかる。「MADROID」「CHAOTIC WORLD」「BURST ZERO」と、たたみかけるようにライヴは展開されていく。高速チューンを並べたことで、バンドの特性をハッキリと出し、オーディエンスにも、あれこれと考える隙を与えなかったのは見事。

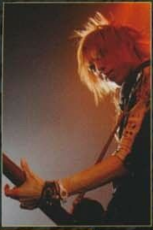
SEを挟んでの「棘-toge-」は美しいメロディが特徴的な1曲。ここでは、剣の動きが目立った。過去のライヴでは比較的大人しい動きをしていた彼だが、ここにきて、激しさと切なさを兼ね備えた





【SET LIST】
1.クライモア
2.心眼
3.MADROID
4.CHAOTIC WORLA
5.BURST ZERO
6.棘-toge-
7.Ice Romancer
8.ドレス
9.淡き群青
10.アゲハの亡骸
11.サイレントイヴ
12.Juggernaut
13.CHILDREN OF DESPAIR
14.Crimson tear
15.GREEDY EMOTION
16.VIRTUAL FAKEMAN
17.サイコカルチャー
18.迷彩
EN1.true world
EN2.little player
EN3.BLACK STARS
EN4.陽炎
EN5.Grieving the dead soul





インギターの音色がさらに栄える結果となった。また、「ドレス」では、景のドラミングにフロアから感嘆の声がもれる。鮮やかすぎるスティックさばきは、指揮者のようであり、全体の音が流れよく聴こえたのは、そのおかげかもしれない。

〝全開で来い！　いいな！〟サードブロックの始まりを告げたのは、鋭さが光る「Juggernaut」。シングル3タイトル連続リリースの最終作となったこちらの楽曲、タイアップが付いていただけに、多くの人から聴いてもらえたようだ。この日も、初めて彼らを目にしたオーディエンスは、この曲でよく盛り上がっていたように思う。「迷彩」では、久しぶりのパフォーマンスも飛び出し、フロアを大いに沸かせた。そして、最後のブロックでは、〝これだけの人たちとファイナルを迎えられたことに感謝を込めて〟と「true word」や「陽炎」、「Grieving the dead soul」を披露。何度も何度も〝生きているか！〟と問いかける真緒の瞳には、固い決意が宿っていた。

〝俺、最初は、暴れて歌っていればいいやって思っていました。けど、いつの間にか、自分が発した言葉っていうのがオーディエンスに影響を与えてしまうって気付いてからは、自分の声と体と人生を賭けて多くの人を導いてやろうって。しんどいと感じるときでも、みんながいてくれるからやれるって思ってる。これだけの人たちが集まってくれるなんて、俺たちは幸せものです。バンドやっててほんまに良かったって思います。だから、俺ら5人、お前たち全員とデッカいとこ目指していこな！〟この日の夜、最後に真緒が流した涙は、どこまでも純粋だった。Sadieを結成してから5年。リーダーとして責任感の強い彼は、人前で弱音を吐くことなどなかった。いや、言いたくても言えなかったのだ。だから、歌詞に自分のメッセージを託した。オーディエンスに〝生きろ〟ということで、自分自身が強くなれるように。けれども、いつしか、応援してくれるみんなに〝生かされて〟いたのかもしれない。鳴りやまぬ歓声の中、Sadieは6年目のスタートラインに立った。

——快進撃はこれからだ。

(問) 〒550-0015大阪市西区南堀江1-18-27-506 FACE MUSIC
TEL：06-6543-3338(平日12:00〜18:00)

蝴蝶网
hudie.com

lynch.

「THE JUDGEMENT DAYS」TOUR FINAL 2010.12.19 SHIBUYA O-EAST

蝴蝶网
hudie.com

死闘を勝ち抜いた男たちの、新たなる運命の道

全身全霊を賭した闘いに、彼らは勝った。
lynch.にとって、バンド史上最長のツアーとなった
[THE JUDGEMENT DAYS]。途中、予想外のアクシデントに見舞われながらも、
全てを糧にしては自らの血肉として、より強靭なライヴバンドへと変貌していったのである。
3月26日には、渋谷AXにて今年最初のワンマン・ライヴ[I BELIEVE IN ME]も決定。
運命の扉は、開かれた——

Photography:TAKASHI HIRANO Report:YUKI SUGIE

審判の結果は、言うなれば逆転勝利といったところだろうか。

昨秋から始まったｌｙｎｃｈ．史上最長のツアー「THE JUDGEMENT DAYS」は序盤早々から彼らに多くの収穫をもたらしていた。だが、しかし。一方では皆様方もご存知のとおり、11月に入った直後にはヴォーカリスト・葉月が急性咽頭喉頭炎及び声帯浮腫を併発し、一時的に戦線離脱せざるをえないという危機的事態が勃発。幸い、2週間強で復帰を果たしたものの、それまでの間については何と楽器隊のみでツアーを廻る、という厳しい試練に彼らは見舞われてしまう。

ある種、劇的といえば劇的な展開ではあるが、ラストインディーズツアーにして、「THE JUDGEMENT DAYS」と銘打ったツアーがここまで波乱含みなものになるとは、何たる皮肉！　一体誰がこれを予測できただろう？　けれども、さすがは百戦錬磨の輩が揃ったバンドだけのことはある。ｌｙｎｃｈ．は、最後にはこのアクシデントをも糧として、自らの血肉へと代えてみせるに至る。

２０１０年12月19日、渋谷Ｏ－ＥＡＳＴ。今回オープニング・サポートとして全ヶ所に帯同したＤＥＡＴＨＧＡＺＥのパフォーマンスを受けるかたちで、彼らｌｙｎｃｈ．は晴れの舞台に凛として立った。振り落としの紗幕にバンドロゴが投影された後、鮮やかなカラーレーザー光たちが飛び交う中、まず最初に放たれたのは激情と叙情性がクロスオーバーする「All this I'll give you」。

『渋谷を破壊しに来ました。オマエら、今日は何も考えず思いっきり楽しんでって下さい。行けるよな？』

最前線に復帰して、約1ヶ月。本編前半から、この夜の葉月の声は間違いなくベストパフォーマンスを提示できるレベルにまで復調していた。と同時に、このツアーを通しては演奏面のみならず、おそらくメンタルサイドまで鍛え上げられたであろう楽器陣の繰り出す音も、以前よりさらに引き締まって頼もしくなっているではないか。

晁直の持つ抜群の安定感と表現力が存

蝴蝶网
hudie.com

【set list】
SE
1.All this I'll give you
2.I'm sick,b'cuz luv u.
3.EVILLY
4.THE BLASTED BACK BONE
5.DOZE
6.dizzy
7.the universe
8.melt
9.prominence
10.AMBIVALENT IDEAL
11.JUDGEMENT
12.59.
13.vernie
14.alien tune
15.DAZZLE
16.ADORE
<encore Ⅰ>
17.roaring in the dark
18.unknown lost a beauty
19.pulse
20.A GLEAM IN EYE
<encore Ⅱ>
21.JUDGEMENT

ながら、玲央が迸る感情を音に託した「JUDGEMENT」…。どの曲をとってみても、全く隙がない。そして、なにしろ音の活きが良い。lynch.は、ここに来てライヴバンドとして大きく躍進することに成功したのである。
『俺たちとオマエらの絆を歌います！』
本編最後で歌われた「ADORE」においても、lynch.が感じさせたライヴバンドとしての輝きには圧倒的なものがあった。こうなって来ると、オーディエンスがそれに強く惹きつけられ、高揚してしまうのは当然のこと。
なお、この後のアンコールでは今ツアーから参加していたサポート・ベースの明徳がこの日をもって正式メンバーになり5人体制の完全体となったこと、さらに来る3月26日に渋谷AXにて今年最初のワンマン「I BELIEVE IN ME」を行なうことが、葉月より発表された。
『僕らは、別に音楽業界を変えてやるんだ！とか、そんなことは微塵も思ってません。ただ、今こうして好き勝手やらせてもらってるみたいに、今後はこのままらないって言われてるメジャーシーンを、土足で踏み荒らして行こうかなと思ってます！』
かくして、「A GLEAM IN EYE」を含む全4曲をアンコールにて披露した彼らだが、それらが全て終わっても盛大なアンコールを求める声がやむことはなかった。中には、男性の野太い声もかなりの割合で混じっている。だが、lynch.がWアンコールにまで応えるというケースはそうそうない。と、思いきや。
『そりゃやるでしょ！（笑）』
と、満面の笑みを浮かべながら葉月はじめメンバー全員がステージ上に再来。
『そうだ。大事なことを言い忘れてました。ツアーの途中、俺がダメになった時に支えてくれて、待っててくれて、ありがとうございます。みんなからの声に、ホントに助けられました。感謝してます』
この場面で選曲されていたのは、今宵二度目の「JUDGEMENT」。厳正な審判の末に導き出された逆転勝利を飾る歌は、これしかありえない。
死闘を勝ち抜いたlynch.は、今あらたな運命の門の前に立ったのだ。

ZORO

ONEMAN LIVE【ハレルヤ】

2010.12.29 SHIBUYA C.C.Lemon HALL

【set list】
1.DYNAMITE FLAVOR
2.warp
3.COSMO「S」フューチャー
4.GOLD CARD
5.live for LIVE
6.ビターオレンジ
7.roulette
8.レイテンシー・スノウ
9.green
10.猿愛
11.パノラマHOP
～メンバーコール～
12.ハラ■■ show time
13.NANA
14.CUBE
<encore>
15.閃光
16.連弾_pianoduet
17.1888
18.ライオンベイビィ
19.KITSUNE

日のライヴをもって、この4人で音を奏でるのは最後です』
に活動休止が告知されていた、ゾロの渋谷C.C.Lemonホール公演。そのアンコールで口を開いた龍寺が告げた言
、衝撃すぎる内容だった――。ゾロを結成してから一つの目標としていたという渋谷C.C.Lemonホールでの初の
マン公演は、彼らにとって一つの分岐点ともなるステージになった。しかし、ゾロの歴史が続く限り、彼らは決し
ける気はしない！

Photography:TAKEHIRO SUGANUMA　Report:YUKA SUGIE

人にはそれぞれ、進むべき道がある。お互いに異なる個性があり、主張がある以上、たとえ同じバンドのメンバーであったとしても、袂を分かつことだってある。

とはいえ、アルバム『KIGA』で有り余る表現欲、挑戦欲を感じさせてくれた直後にして、バンドが活動休止し、しかもメンバー2人が脱退するという決断は、どうしたって衝撃的だった。

活動休止に関しては、このライヴの直前にホームページ上で発表されていたわけだが、それに加えてタイゾ、裕哉の2人が脱退してしまうことが告げられたのは、アンコール。

『本日のライヴをもって、この4人で音を奏でるのは最後です。急な発表だけど、何度も話し合って、自分たちがちゃんと出した答えなので、一方的でワガママかもしれないけど…受け入れてほしい。4人共通して、出す音に対してウソをつきたくなかったし…それは、みんなに失礼だから…』

龍寺の突然の言葉に、場内が不安そうにどよめく。

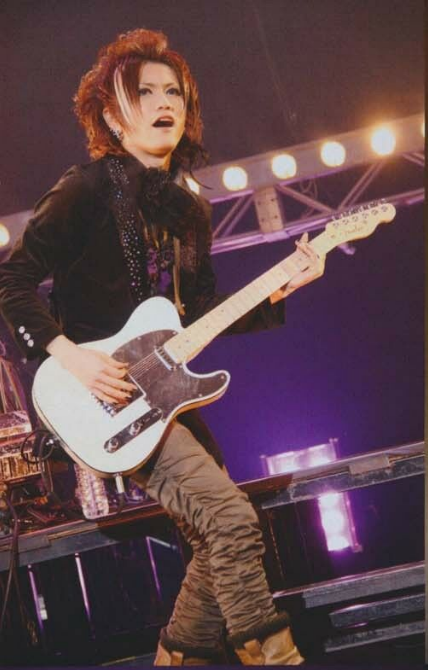
『今日、ここに立つのに（心の）整理がつかないままだったけど…どんな状況でも、やっぱりライヴは楽しいですね。…期待に応えられなくてごめんなさい、今まで応援ありがとうございました』

溢れる感情を必死に抑えながらも、嬉しい本音を垣間見せてくれた裕哉。

『みんな、我が強くて、イベントのセットリストを決めるのも大変だったけど（苦笑）…この3人とゾロをやってこれて良かったです。急すぎてふざけんなって思われるかもしれないけど…（脱退は）本心で決めたことです。今まで、応援ありがとうございました』

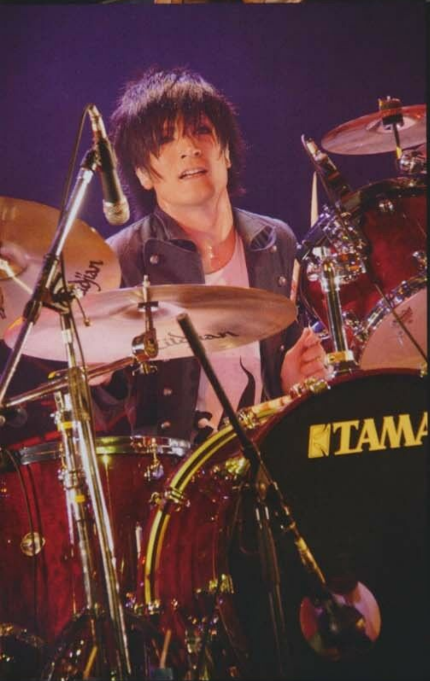
波乱に満ちた過去を慈しむように、決意と感謝を述べたタイゾ。

〝なんで脱退しちゃうの!?〟という哀しみや憤りの答えにはならなかったかもしれない。だが、彼らの真っ直ぐな想いと言葉たちには、せめて快く送り出してあげたいと思わせる力があったし、それを後押ししたのは、たつひが涙ながらに絞り出した言葉だった。



ゾロはこれからも生き続ける

蝴蝶网
hudie.com



心の中でずっと愛してください…』

渋谷C.C.Lemonホールは、龍寺と裕哉がバンドを始めた当初、〝絶対ここに立つ！〟と心に決めた会場。

『この4人だったから今日のワンマンが出来たし、この4人で出来て本当に良かったです！』

そう言い切った龍寺だが、その言葉は決して虚しいものではなかったように思う。

結果的に〝運命の日〟になってしまったが、明記しておきたいのは、ライヴそのものは、筆者がこれまでに観た彼らの公演の中でも、もっとも血がアツくなったし、もっとも無心で楽しめたし、もっとも底なしに惹き込まれるものであったということ。完全に、C.C.Lemonホールという大舞台をモノにしていた。別れを告げる側にしろ、見送る側にしろ、それぞれに筆舌に尽くし難い感情を胸に渦巻かせながらのことだったのかと思うとなおさら、彼らの一男子としての精神力と、音楽人としてのプロ根性には脱帽するしかない。

そして、終わりは始まりでもある。龍寺とたつひは、ゾロを解散させないということを宣言した。

『こんな素敵なバンド、終わらせません！この選択も勇気が要ったけど…でも、すごいゾロが好きなんですよ。だから、俺とたつひでゾロを守っていきます！』

メンバーの脱退が決まってから日が浅いわけで、彼らだってまだ心の整理がついていなかったかもしれない。それでも、前を向いていたのだ。

その上で、最後に演奏されたのは「KITSUNE」。これまで幾度となくライヴで昂ぶってきた思い出深い曲だが、感傷モードは意外にもすっかり越えていた。〝行こう行こう一緒に〟〝負ける気なんてしない約束する連れていくから〟というフレーズは、まさにリアルメッセージだった。

常に新しいこと、刺激的なことを貪欲に採り入れてきたゾロである。その歴史が続く限り、どう転んでも、やっぱり負ける気はしない

boogieman

蝴蝶网
hudie.com

“新生”boogieman登場!!

boogiemanが、こんなにステキなヴォーカリストを携えて、ついに帰ってきた!! 前任者の脱退により、活動休止を余儀なくされていたboogieman。その後、ヴォーカリストのオーディションを行なっていたというニュースは記憶に新しいところだが、そのオーディションを経て、このたび柊(シュウ)が加入、バンドとして再びその鼓動を始めたのだ。“新生”boogiemanの現況を聞くべく、彼らに久々にコンタクト。柊の魅力とバンドの今後について、じっくりと語ってもらった。

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

——まずは、前任ヴォーカリストが脱退してから、柊さんが加入するまでの流れを話してもらえますか。

万作：前任者が辞めると言い出したのは、本当に突然だったんです。しかも辞めることは、もう受け入れるしかない状態で。その時は、このまま解散しようか…という空気もありました。でも、その後みんなで何回か話をして、解散なら解散でちゃんとした形を示さないと、それまでboogiemanを見ててくれた人に対して、あまりにもヒドいことになってしまうと思って。それはすごく悔しいことだし、まだやりたいこともある。それで、続けることを決断しました。

晃：俺の中には、〃これで止めてしまったら、boogiemanは何だったんだろう？〃という気持ちがあって。それがすごく大きかったですね。万作も言ったように、まだまだやりたいことがあったし。だから、違うヴォーカルで続けたいと思ったし、バンド名を残す意味もみんなで話し合って。〃boogieman〃という名前を残して、新しいヴォーカルを探すことにしたんです。

ユアナ：ヴォーカルが辞めた時は、〃続けるのか？〃と思いました。続けることに少し懐疑的だったというか。でもみんなで話してるうちに、確かに、これで終わるのは消化不良だなと思うようになって。それで、やるかと。ヴォーカル探しを始めた時は、みんな前向きな気持ちになっていましたね。

ユウイチロー：アルバムをリリースした1ヶ月後だったじゃないですか。だから、〃このまま終われねぇよ〃と思って。万作も言ったように、終わるならちゃんと形を示したいけど、それも出来ない状況だったから。メンバーを替えてでも続けるべきだと思った。

——柊さんは、どういう経緯でオーディションを受けることにしたんでしょう？

柊：去年の8月の終わり頃に、自分のバンドが解散してしまって。でも、そこで音楽をやめる気はなかったんです。次に向けて曲を作ったりしていたんですけど、どんどん欲求不満が溜まっていってて。そういう中で、boogiemanがオーディションをしているという話を聞いて、YouTubeでチェックしたんですね。その時に、〃この演奏に自分の歌を乗せてみたい〃と思ったんです。それ

バンドとしては変わりはない。

[illegible]

——初めてセッションした時の印象はいかがでした?

柊：boogiemanの音源は、あまり聴かないようにしていたんです。メロディと歌詞だけを覚えて、自分の歌い方で合わせてみたかったので。それがどういう結果を生むかは、音を合わせてみないと分からないじゃないですか。実際に音を合わせてみたら、"ああ、こうなるんだ"と思って。すごくカッコいいんじゃないかなと思いました。

晃：柊は、すごくセッションを楽しんでることが伝わってきて、それが印象的でした。今回のオーディションに来た人は、すごく緊張したり、気負ったりしてる人が多くて。バンド名を残しているから、そこに照準を合わせてくる人が多かったし。悪い言い方をすると、過去のboogiemanに合わせてくるというか。柊にはそういう部分が全くないのが、すごくいいなと思いました。それに、ヴォーカリストとしては、前任者と真逆に位置する感じなので、それが面白いかなというのもありましたね。

ユアナ：僕も、そのほうが面白いものが出来るだろうなと思いました。それが大きかったかな。その時点で、全部を分かるのは無理なので、あとは柊の可能性に賭けてみようという感じでしたね。

万作：柊は、1曲目が始まった瞬間に足とかをバタバタさせながら、"ワオッ!"みたいな感じで叫び始めて（笑）。コイツはバカだなと（笑）。

一同：ハハハ!!（笑）

万作：いや、それがすごくいいなと思ったんです。歌は完璧ではなかったけど、楽しむことを重視する姿勢が見えたので。もしバカだったとしても、そういうヤツがいいなと思って（笑）。

ユウイチロー：柊の前にも何人かとスタジオに入ったんだけど、柊はフリーに歌ってる感じがいちばんあったね。それに、みんなの音をちゃんと聴いていることが伝わってきて。人的にも雰囲気がよかったし、俺は今回は彼がいいんじゃないかなと思った。

——柊さんは、どういう人なんでしょう?

晃：真面目です。いい意味でも悪い意味でも真面目というか。あとは、吸収しようという欲が強いですね。それも真面目さの表れだと思いますけど。

万作：僕の中では、古いタイプの人間という印象がありますね。聴いてる音楽とかも僕らの父親世代のものだし（笑）。

——そうなんですか?

柊：はい。エアロ・スミスやクィーン、ボン・ジョヴィとかが好きなので。父親がロック好きで、家にそういうCDがあったので[illegible]聴き漁っていたんです。でもboogiemanはハードロック・バンドではないので、そこだけを押すのは違うな…というのがあって。boogiemanの世界観に合った歌を歌っていきたいと思っています。時間をかけてboogiemanを理解すれば、自分の持ち味を活かしつつ、このバンドに落とし込めるテイストも見つかると思うし。

——楽しみです。柊さんを迎えたことで、boogiemanの音楽性は変わるんでしょうか?

晃：いや、大きく変わることはないです。バンド名を残した意味も、そこにあるんですけど、枠や制限を作らずに、いいと思うものを貪欲にやっていく。そのスタンスは、変わらないので。

ユアナ：音楽性は、今までもあってなかったようなものですから（笑）。これからも、みんなで面白いものを追求していくと思います。ヴォーカルが変わったことで、今までとは違う化学反応が起こるだろうし。そういうところも楽しみたいですね。

ユウイチロー：ヴォーカルが替わったからといって無理してバンドのスタイルを変える気はないし、何かを捨てる気もなくて。それぞれが目指しているboogiemanの色を、もっと出していくことになるんじゃないかな。

柊：みんなが曲を持ってくるんですけど、全部タイプが違うんですよ。しかも、今まで自分がやったことがないし、自分のバックボーンにもない音楽なので。それを俺が昇華することで、また新しいboogiemanの魅力や武器になるように頑張ります。

万作：今は、急ピッチでこの5人のboogiemanを形にする作業をしています。だから、出す曲は全部違っているし、全部を成立させたい。どんな音楽をやってもboogiemanになる…というところに持っていきたいので。

晃：今は、柊をバッターボックスに立たせて、あとのメンバーが順番に全力で投げてるところです（笑）。"いろんな球を投げるけど、全部打て!"と（笑）。

——スパルタですね（笑）。早く音源が聴きたいし、ライヴも楽しみです。

柊：ライヴに関しても、今まで自分がやってきたスタイルというのももちろんありますけど、それだけを突き通しても[illegible]月のツアーで、いろいろ試してみようと思っています。boogiemanは、とにかく存在感の強いメン[illegible]いるので、肩を並べられる[illegible]気合いを入れていきます。

晃：新しいヴォーカルだ[illegible]て、柊を立てようとかいう[illegible]全くなくて（笑）。2月のツアー[illegible]"MIND KILLING MONSTER"というタイトルにふさわしい"皆殺しツアー"になると思うので、期待してくださ[illegible]

ユアナ：ヴォーカルが替わ[illegible]は僕なので。2月のツアーでも、いつもどお[illegible]り会場の空気を、ジクジクぐ[illegible]ぐしゃにしていこうと思っています（笑）。

ユウイチロー：boog[illegible]emanは毒と華を併せ持ったバンドだと[illegible]うんだ[illegible]。俺は、その毒の部分を担って、どんどん毒を出していこうと思ってるよ。より濃くなったboogiemanを、ぜひ見にきてほしい。

万作：ライヴは、もう地獄絵図にしたいです。コンセプトは、"阿鼻叫喚"なので（笑）。生き残ってるのは、自分だけでいい…みたいな（笑）。前は、バンドの意識として、ヴォーカルを立てている部分があったんです。でも、そうあるべきじゃないなと思って。なので、今後のライヴは毎回全力でいきます。ヴォーカルも殺すくらいの意気込みというか。柊を、後ろから喰い殺してやろうと思っています（笑）。

boogieman主催MIND KILLING MONSTER

2月5日・仙台darwin
出演:boogieman / Mix Speaker's,Inc. / Dolly / AYABIE

2月11日・KYOTO MUSE
出演:boogieman / Mix Speaker's,Inc. / Dolly / AYABIE

2月12日・心斎橋FANJ Twice
出演:boogieman / Mix Speaker's,Inc. / Dolly / AYABIE

2月13日・名古屋クラブクアトロ
出演:boogieman / Mix Speaker's,Inc. / Dolly / AYABIE

2月27日・恵比寿リキッドルーム
出演:boogieman / Mix Speaker's,Inc. / Dolly / heidi.

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

TOON-FACTORY

2Logic

V慧美网
vimee.net

3ヵ月連続リリース、遂に最終章へ

2010年12月29日リリースの「Fiction」から、2011年1月26日リリースの「Chloris」、そして、今作2月23日リリースの「2Logic」と、3ヶ月連続リリースを企てたTOON-FACTORY。3部作ラストを飾る「2Logic」は、いったいどんな作品になったのだろう？「ストロベリー」と「Trust」という2タイトルは、雫·夢叶による作曲曲である。メインコンポーザーである2人の個性がハッキリと浮かび上がる今作について、じっくり語ってもらいました。

Photography:MASAKAZU KOBAYASH（SHOXX）
Interview:NAOKO TAKEICHI
Hair&Meka-up:NAZU

レガ：ですね。今回も、雫くんと夢叶くんの個性がハッキリ出た2曲になったんじゃないかなと思いますね。

――1曲目の「ストロベリー」が雫曲なんだよね。

雫：そう。この曲は、自分的にはアルバム曲とか、カップリング曲っぽいイメージで書いた曲だったんですよ。

――たしかに、印象としては、夢叶曲の「Trust」の方がキャッチーだし、表題曲っぽい色は放ってるよね。この2曲に絞った意図は？

レガ：自分たちの中で、アルバムに向けて、いろんな曲を作ろうという思考の中で生まれた曲のひとつだったんです。その中から相性のいい曲を選んで1枚にしました。

雫：「ストロベリー」は、2010年の8月とか9月くらいに作っていた曲なんですよ。〝一発録り的な印象の、ちょっと荒っぽさのある曲にしたいな〟っていうイメージから膨らませて作っていったんです。なので、わざと綺麗な音じゃなく、スタジオ感を出したような、そこを味とした楽曲に仕上げましたね。最近、自分的に速い曲を作るのが多かったんで、同じ感じにならないように、頑張りました。

レガ：雫くんがこの曲を持ってきたとき、〝ライヴでひかるくんがぶっ倒れてる感じの曲を持ってきた〟って言ってたんで、そこに向けてみんなで頑張ろう！って思ったんですよ。ライヴでの経験を重ねることによって、そういう感情でも曲を書けるようになったんだなっていう想いもあったんで。雫くん、そういう良いことをインタビューでも言って下さい。

雫：あ、はい。すいません。

一同：（爆笑）。

雫：楽器隊ももちろん、まずは、ひかるくんの歌が激しくも楽曲の中でちゃんと立ってくれることが一番だなと思ったんで、そこを第一に考えて作ったんです。

ゆーぃち：速いし激しいし、ひかるくんの歌はちゃんと立ってるし。雫くんがこの曲で描きたかったことは、ちゃんと形になったんじゃないかなと思いますね。でもね、何故に、この激しい曲に「ストロベリー」っていうタイトルがついたの

ひかる：そこは、まさに、裏切りたかったところだったりするんですよ。「Dessert」もそうだったんですけど、タイトルから想像するのって[illegible]、もっとキャッチーな可愛い感じの曲だと思うんですけど、その印象を裏切りたかったんです。だから、曲聴い[illegible]可愛いタイトルにしようって思いついたんです。歌詞は、〝綺麗な薔薇には刺がある〟的な、騙しキャンペーンでしたね。

――騙しキャンペーン!?

ひかる：あははは。はい。今、メンバー内で、流行ってるんですよ、〝[illegible]良か[illegible]キャンペーン〟っていうの（笑）。自分自[illegible]二重人格的な性格でもあるんで、そんなことを書いていこうかなって思ったんです。二面性のある人格というか。それを描いた歌詞でしたね。完璧に、この曲の歌詞は、悪いひかるを書きました。

レガ：ひかるくんはAB型なんで、本当に日によってまったく人格違いますからね。びっくりしますよ、ホント。

ひかる：本当にそうなんですよ（笑）。俺、集団生活の中だと、すごい【悪ひかる】になるんですけど、一人だと本当に自分で言うのもなんですけど、すげぇいいヤツなんですよ（笑）。

レガ：ホント、驚きますよ。みんなが右に行こうって言ってんのに、絶対に左に行こうって言うタイプなんですよ（笑）。で、話を戻しますが。俺、最初、エロさ全開の歌詞だと思ってたんで、さらにエロさ全開のリリック書いたんですよ。そしたら、ひかるくんに、〝あのさ……そういう歌詞じゃないからちょっと変えてくれる？〟って言われて書き直したんです（苦笑）。で、ひかるくんのリクエストどおり、詐欺師っぽい感じのリリックに書き直したんです。録りも一発でしたね。

雫：ラップに関しては、レガくんは天才だと思いますね。ホント。今回も才能感じましたもん。レコーディングのときも、みんなで褒めてたんですよ、実は。

レガ：マジ？ 雫くん、俺のこと褒めたことないじゃん！ 初めてじゃない？ うわ！ 超嬉しんだけど。レコーディングのとき、録りが終わった瞬間にみんなの笑い声が聞こえてきたから、完璧に

雫　夢叶　ゆーぃち

レガ　ひかる

一同：（爆笑）。

――（笑）。ギターはどういうアプローチを加えようと？ 前作は、間奏でかなり弾きまくったギターを加えていたけど。

夢叶：そうなんですよね（笑）。でも、今回はそこまでギターを弾きまくるって感じにはしませんでしたね。今回のギターは、フレーズはそんなに派手にせず、音色にすごい時間をかけたんです。

――リフの音色がカッコ良かった。

夢叶：そこは、メサブギーっていうアンプを使って、ガツガツした音にしたんです。最初はマーシャルの800に、チューブスクリーマーっていうエフェクターを噛ました音にしてみたんですけど、意外と合わなくて。

雫：だよね。マーシャルの800に、チューブスクリーマーの音は、「青空メロディー」みたいな音になっちゃって、この曲には合わなかったんですよ。なんかね、ちょっと古過ぎるっていうかね。

夢叶：そうそう。ちょっとライトな感じになっちゃうんだよね。ディープパープル世代の、あんまり歪まないギターの音になっちゃうんですよ。

――さぁて。読者には結構難しいマニアックなコメントになってきたけど（笑）。でも、すごく解りやすい説明だから、これを期に、読者のみんなにも、ディープパープルの音を知って、夢叶や雫が言ってることを体感してほしいなと（笑）。

夢叶：（笑）。なんかね、真空管の温かみがあるような音になっちゃうんですよ。

雫：そうそう。テープっぽい音にね。

夢叶：中音が強い音になっちゃったんで、メサブギーアンプを使って、現代っぽい激しい音にしたんです。ギターのフレーズ自体は簡単でしたけど、音色選びには本当に何日も費やしましたね。

――リズム隊は？

レガ：今回もゆーぃち先生にお世話になって頑張りましたよ！ でも、今回は、リズムをガッツリ合わせるというより、勢い重視で攻めて行った感じのベースなので、案外スムーズでしたね。

ゆーぃち：きっちりと構築していく感じの曲ではなかったので、勢いに任せましたね。

――「Trust」は夢叶曲ですが。

ロックを作ろうと思って作った曲でしたね。

ゆーぃち：夢叶くんの言うように、この曲はすごくシンプルなんだけど、カッコイイし、いい曲ですよね。まさに、夢叶ロックを感じますね。個人的にもすごく好きな曲でした。

雫：俺的には、この曲はドラムが命の曲だと思ってるんですよ。ドラムを軸に前パートがユニゾンしてるところが、相当カッコイイんで。そこをしっかり聴いてほしいですね。ギターとしては、夢叶くんの曲って、Aメロにいろんな音が入ってるんで、ギターを入れようかどうしようかすごく迷うんですよ。それもあって、今回もすごくAメロに頭使った感じでしたね。

レガ：俺、実はこの曲、夢叶くんが作った曲の中で一番好きな曲なんです。デモ聴いた瞬間に、〝たまんね！〟って思いましたからね。最高だなって。こんな曲を中心にやっていけるバンドになれたらいいなと思って。後ね、ひとつ心残りがあるとすると、この曲に、ラップを入れたかったってことですね。ゆくゆくは、激しい曲だけじゃなく、こういう曲にもラップを入れていけるようになるといいなと思ってます。

ひかる：「Trust」の歌詞は、「ストロベリー」とはまったく別の人格になってます（笑）。〝信頼〟とかっていう意味なんですけど、片想いの心情を描いたものです。「ストロベリー」はチャラい俺なんですけど、「Trust」は本当に真面目な俺なんです。両方居るんですよ、俺の中に、この2つの俺が。

――つまり、合コンとかに行くと「ストロベリー」なひかるになり、一対一で付き合うときは、「Trust」なひかるになると。そういうことですね？

一同：そういうことです！

ひかる：あははは。そういうことです（拍手）！

夢叶：僕的には、「Trust」の歌詞、大好きです。個人的に、〝会いたくて会いたくて〟みたいなドストレートな歌詞が大好きなんで、最高の歌詞でしたね。

ゆーぃち：5月からは、名古屋・大阪・仙台でのツアーもありますからね。この3部作を聴き込んで、遊びに来てくれたらいいなと思います。

（問）〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-2 フィヨーレ西新宿102
http://www.toonfactory.jp/

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

2ndシングル『colours』早くもリリース!!

2010年末に始動したBlu-BiLLioNの2ndシングル『colours』が、1月26日に早くもリリースされる。6人のアンサンブルで紡がれた前向きな世界観は、バンドの進みゆく先も照らし出しているかのような輝きを放つ。2011年に入り、ライヴも次々と決定している彼ら。シーンを牽引する存在になるか!?

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

スで爽やかな味わいの曲ですね。

龍耶：「colours」は、自分なりにBlu-BiLLioNらしさをイメージして作った曲です。今回のシングルを作るにあたって、それぞれが楽曲を持ち寄ったんですね。その中から「colours」が選ばれたことで、みんなが同じ感覚でいることを再確認できました。

ミケ：「colours」の歌詞は、夜中にレコーディング・スタジオから最寄りの駅まで歩いている時に、〝自分と同年代の人たちは、いろんな仕事をしているんだよな〟と思ったことが元になっているんです。そこから、〝もし自分がサラリーマンだったら、どんな生活だろう？〟といったことも考えて。そこから始まって歌詞を書きました。内容的には、〝子供の頃に夢見ていたのとは違う人生を歩んでいたとしても、それがそれぞれのカラーだから。子供の頃とは違う夢を持つようになったとしても、それは間違いじゃないんだよ…〟ということを歌っています。

――前向きな歌詞ですよね。レコーディングは、いかがでしたか？

Seika：この曲のデモを聴いた時に、どことなく切なさを感じたんです。なので、感情が伝わるドラムを叩くことを

作の「Count Down」よりも進化しているところを見せたかったので、小難しいことも採り入れようと思って。それで、ビート・チェンジを多用したリズム・アレンジになりました。後半に向かって盛り上がっていく流れを、上手く作れたんじゃないかなと思います。

珀：僕は、デモを聴いた時に、心の奥から滲み出るような力強さを帯びた曲だなと感じて。そういうものを表現するため

6色の“color”で突き進む

に、自分で自己陶酔できるポイントが欲しいなと思って。そうしたら、ちょうどBメロがハーフ・ビート（テンポが遅くなること）になっていたので、自己陶酔できるフレーズを作って入れ込みました。あとは、楽曲的にまずメロディを活かしてほしいというのがあって。だから、ミケの歌を聴いてもらいつつ、うまく出しゃばるベースを目指しました（笑）。

teru：最初の第一印象で、サビはオルガンだなということがパッと浮かんだので、王道的なオルガンを核に、[illegible]、ピ

hudie.com

ます。歌中は、歌詞を見せてもらったら、〝コンクリート〟とか〝車〟〝冷たい音〟といった言葉が並んでたから、切なさを表現したいなと思って、丸い音色をポンポンと入れていきました。あとは、ギター・ソロ前に、ピアノを活かしたセクションがあるんですね。そこは自分の中で、季節感的に冬だなというのがあったので、寒い感じを出しながらリスナーを泣かせるようなピアノを目指しました。

mag：龍耶くんが持ってくるデモは、いつもギターが2本入ってて。そういう中で、自分らしいギターを弾くことにいちばん苦労しました。結果的に、龍耶くんが考えたフレーズをほぼ活かす形になったんですけど、自分のタイム感とか好きな音色を活かして、うまくツイン・ギター感を出せたかなと思ってます。

龍耶：ギター・アレンジに関しては、特にこだわったことはなくて。曲の流れに重点を置いたギターになっています。僕は自分の曲だと、カッコいいリフを入れたり、目立つギター・ソロを弾いたり…といったことが出来ないんです。ギター！リフとかを元にして曲を作るタイプではなくて、メロディを主体にするので。そうなると、自然とギターは一歩引いたアプローチになりますよね。

ミケ：歌に関しては、こういうメロディアスな曲を歌うのは好きだし、得意としているので、気持ちよく歌えました。歌中は、切ない表情を出すようにして、サビは前向きさや強さが伝わることを意識して歌っています。

――カップリングは、洗練感のあるロック・チューンの「Communication Break」と、ダンサブルな「Bright」です。

珀：「Communication Break」は、ライヴで盛り上がれる曲をイメージして書き始めたんです。僕が作る曲は、だいたいサビ・パートとかが切なくなることが多いんですよ。だから、今回こそは明るくいこうと必死で頑張ったんですけど…やっぱり切ない感じが出てしまいました（笑）。

ミケ：「Communication Break」は、Blu-BiLLioNの曲にしては珍しく、ネガティヴな歌詞なんですよ。曲を聴いた時に、哀愁みたいなものが感じていることからは怒りも感じられたので、そういう歌詞にしました。自分の中にどんどん閉じこもっていって、他人との関係とかを遮断していく人を描いています。「Bright」は、分かりやすい歌詞ということをいちばん重視しつつ、応援ソングに仕上げました。

teru：僕は、シーケンスを活かしたダンサブルな曲を作ることを得意としているので、「Bright」は、それをバンド・サウンドにした時に、どれだけ変化するかを見たくて作りました。ただ、僕が作る曲は、鍵盤がガッツリ入っているので。ギター／ベース隊に申し訳ないなという気持ちもありましたけど…。

mag：デモを聴いて、〝これ、ギターいらなくないか？〟と思いましたから（笑）。

龍耶：もう、打ち込みで、全てが完結してた（笑）。でも、俺は「Bright」がいちばん楽しめましたね。Blu-BiLLioNでは、わりとハードロック寄りだったり、テクニック指向のギターを弾いているんですけど、この曲は違ってて。新しい部分を出せて満足しています。今回は、録りの現場で自分がやりたいことをどんどん詰め込んでいった結果、面白いことが出来たなと思ってて。ギターに関しては、「colours」以外の2曲を聴いてほしいですね。純粋にギタリストとしてのスタンスで取り組んだので。

mag：「Communication Break」は、聴いた時に面白いギターを入れたいなと思って。それで、ディレイを使ってみたら意外とうまくハマったので、それを活かすことにしました。「Bright」は、曲調に合わせて、カッティングをメインにしています。カッティングは好きなので、この曲は楽しく弾けました。

Seika：ドラムに関してはカップリングに限らず、3曲ともファースト・テイクを活かしています。今回ドラム録りは、全部一人でしたんですよ。誰もいないスタジオに一人で行って、ドラムをセッティングして、録音ボタンを押して叩くという（笑）。しかも、夜中だったんです（笑）。もう、淋しさと悲しさを振り払うこととの戦いでした（笑）。それで、〝このやろぉー！〟と思って叩いんです（笑）。

珀：ベースに関しては、「Bright」は、リスナーがイントロを聴いた時に、〝あ、イントロだな！〟と分かるような形にしたいなと思って。そこが生まれたお陰で、あとはもう全部一瞬で出てきました。「Communication Break」は、曲を作った時と同じように、ライヴを意識したベースになっています。僕は、ライヴの時はステージの前に出て、みんなを楽しませるスタイルなんですね。でも、自己陶酔するのも大好きで（笑）。この曲は、サビ・パートでいかに自己陶酔できるかというのがあって。無意識に弾けて、なおかつショボくないフレーズを持ってきました（笑）。

teru：「Communication Break」は、効果音っぽい役割というか。スクラッチ・ノイズを入れたり、ブレークのところで激しめのループを使ったりして、楽曲にフックをつけることを意識したアプローチになっています。「Bright」は、デモに入れた鍵盤から、必要なものを絞り込んでいく作業でしたね。

ミケ：歌に関しては、今回の3曲はそれぞれ歌い方が違っています。「colours」は、芯がありつつ息も混ぜつつ…みたいな歌い方をしてて。「Communication Break」は、ローを多めに出した声で歌ってて、「Bright」では、かなりポップな歌い方になってる。聴いた人が分かるくらい表情を変えました。そこも、〝colours〟というシングルのタイトルに合っているかなと思います。

――さすがです。『colours』を皮切りに、2011年はBlu-BiLLioNが本格的に始動する年になりますね。

Seika：自分たちの中には、音楽性に関しても視覚的な部分に関しても目指しているヴィジョンが明確にある。今年は、そこに向けて攻めの姿勢で突き進んでいきます。Blu-BiLLioNで新しいものを見せたいという想いがあるし、誰かの真似をする気はないので、試練も多いと思うんですけど、それを乗り越えていける自信はあるから。どんどん進化していって、シーンを牽引するような存在になることを目指していこうと思っています。

蝴蝶网
hudie.com

ケミカルピクチャーズ

決意を胸に

2011年のCPSから目を離すな!!

前号にて、2010年9月17日の渋谷O-WESTでのワンマンライヴから正式加入した、上手ギターのruiの初登場インタビューを届けたが、そのインタビューの最後で、なんと、ベースのJimiが脱退を告知した。“ビザの関係で、バンド活動を続けるのが困難になってしまったんです……” ケミカルピクチャーズを愛して止まなかったJimi。突然の告知に驚きを隠せなかった。今回は、Jimiが安心して自分の後任を頼んだという新メンバーを紹介しよう。

—前号も上手ギターのruiくんが加入ということで、新メンバー加入インタビューってテーマで話したばかりですが。

平一洋（以下：平）：ホントに。いろんなことが重なっちゃって、みんなには申し訳ないなって思ってます。でも、ホント、今回ばかりは、Jimiも自分の意志ではどうにもならなくて、すごく辞めたくないっていう中での脱退だったんで、どうしてあげられようもなくて……。泣く泣く見送ることになっちゃったんですよね。Jimiは最後の最後まで、ケミカルピクチャーズのことを心配して、最後までずっとリハに足を運んでくれてましたからね。

—そうだったんだ……。前号でも、最後に、ケミカルピクチャーズのことよろしくお願いしますって言ってたもんね。新たにメンバーになったベーシストの拓くんは、どういう経緯で？

平：俺が3年前くらいにやってたソロ・プロジェクトのときに、サポートでベース弾いてくれてたんですよ。それ以降もずっと交流はあって。正直、メンバーチェンジばっかり続くのもなぁ……って思って、最初はサポートメンバーでやっていこうと思ってたんですけど、人間的にも問題ないし、というか、すごくケミカルピクチャーズをすごく愛してくれてたってのもあって、だったら、ruiが加入したこのタイミングでオリジナルメンバーとして拓に加入してもらうのもいいんじゃないかなって思ったんです。

—平以外との接点は？

Joe：まったくなかったですね。

子雲：平から存在を聞いてたくらいで。でも、話を聞いてるだけでも、すごくケミカルピクチャーズのこと好きそうだったし、いいんじゃないかなって。

Joe：一緒に合わせて見たときも、すごくしっくりきましたからね。そこって、バンドにとって、すごく大事なとこなのかなって思ったんで。

—ruiくんはどうだった？

rui：正直、自分のことで精一杯なんで、一緒に頑張れる人だったらいいんじゃないかなって感じでしたね。

—たしかに、まだ自分のことで精一杯だよね（笑）。拓くんは、誘われたとき、どうだったの？

拓：最初、平さんから電話があって事情を聞かされて、〝もし時間が合うようなら、サポートとして手伝ってくれないか〟っていう話をされたんですよ。もちろん、ケミカルピクチャーズの音は知っていたし、本当にカッコイイバンドだなって思っていたので、〝ぜひ！〟って感じだったんです。そこから、〝正式メンバーでどうか〟っていう話の流れだったので、すごく自然に正式加入になっていったって感じでしたね。

平：正直、怖かったんですよ。何度もメンバーチェンジしちゃってるから、また加入してすぐ脱退とかになったらどうしようって。やっぱりそういうのって、バンドにとってもいいイメージは持たれないし。でも、一緒にリハをしていくうちに、他のメンバーともすごく自然に溶け込んでくれたし、Jimiも拓が慣れるまで毎回リハーサルしてるスタジオに来てくれて、いろいろと拓に教えてくれていたし、拓も一生懸命吸収しようとしてたし。今はこの5人で頑張っていけたらいいなって、真面目に思ってますね。

—仲良くやれてる感じ？

子雲：表向きにはね（笑）。

平：なんでそういうこと言うんすか（笑）！

Joe：いやいや、でも、本当に、最初に一緒にスタジオ入ったときから、すごく自然に打ち解けてましたからね。〝あ、いい感じだな〟って思いましたもん。

—ruiくんと拓くんは、同じくらいのタイミングで加入してるから、すごく心強いんじゃない？

子雲：いや。それがそうでもないっぽいですよ。さっきも言ってましたけど、お互い自分のことで必死だから（笑）。それに、もしかしたら、ruiが拓のこと、影でこっそりチネったりしてるかもしんないし（笑）。

—チネったり!?

一同：チネったり（大爆笑）!?

子雲：なんだよ！　オマエら！　北海道ではそう言うんだよ!!!

—あ、今ので解った。一番仲間はずれは子雲なんだ（笑）。

平：あはははは。

子雲：ちげぇ～し（怒）。

—でも、正直、大変でしょ？　いままでの曲全部覚えるのにも時間かかるだろうし、バンドってライヴを重ねてやっとそのグルーヴに慣れるとこあるからね。

rui：たしかに、そうですね。そこは今、厳しく教えてもらってる最中なので。

拓：はい。かなりスパルタですよ。かなりスパルタで教えてもらってます。

Joe：かなりスパルタで教えてます。

—Joeさんが？

Joe：はい。僕はおもに、同じギタリストであり、パートナーでもあるので、ruiくんを中心に見てるんですけど、いままでは、Jimiも来てくれてたので、ruiくんと拓くんの前に僕とJimiとで座って、子雲さんにドラム叩いてもらって、強化したい部分のフレーズを何度も何度も弾けるまで猛特訓するっていうやり方で鍛えてたんです。かなりやり辛い特訓方法ではあると思うんですけど、2人ともすごく真面目に一生懸命ついてきてくれて。嬉しいですね。

rui：やっぱ、今覚えておかないと、後々大変ですからね。

拓：それは感じますね。Joeさんももちろんなんですけど、Jimiさんなんて、辞めていくのに、わざわざ僕のために時間を割いて教えに来てくれてた訳ですからね。こんなにも愛してたバンドなんだなって思ったら、一生懸命やらないと申し訳ないというか。本当にそれは感じましたね。

子雲：ある意味ね、この特訓って、誰が大変って、何気に、俺が一番大変だったりするんですよ（笑）。Joeが、ホントにスパルタで、〝ダメ！　そこ、なんで出来ないの！　もうちょっとこうだってば。もう一回！〟とかって、かなり細かく教え込むから、その度に音止められて、何度も何度もドラム叩かさせられてんですよ（笑）。

—練習になっていいね（笑）。

子雲：ええ、ほんとに（苦笑）。

平：なんか、今のケミカルピクチャーズって、すごくそれぞれが個性的でいいなって思うんですよ、俺。俺の勝手な思い込みなのかもしれないけど、バンドって、いつの間にか、ずっと一緒に居るからか、バンドの核になる人のセンスに、だんだんみんなが似て来ちゃうとこってあるような気がするんですよ。でも、ケミカルピクチャーズって、全然そういうとこないんですよね。プライベートで聴く音楽も全く違うし、好みも違うし、私服とかも、性格も、タイプもまったく違うし。そんなとこが面白いなって思うんです。そういうのが、音にも出せていけたらいいなって思うんですよね。

—アルバムのレコーディングは11月から12月にかけて行なわれるって言ってたけど、もう始まってるの？

子雲：一昨日から始まった感じです。（取材は2010年12月23日でした）

平：また具体的に言ったね（笑）。でも、正直、かなり大変ですね。

—新メンバーは大変だよね、過去作を覚えながらも、新曲を作っていく作業もしなくちゃいけないっていう。

子雲：それが、ホント偉いんですよ、2人とも。絶対に、大変とか辛いっていう言葉を口にしませんからね。そこは本当に偉いと思う。

rui：そこは入る前から解ってたことでもあったんで。それに、本当に、すごく楽しいんでやれているんで、辛くないんですよね。

拓：そう。僕も同じですね。本当に辛いよりも、今は本当に楽しいんですよ。大変なのは、承知の上だったこともあったんで、それも含め、頑張ろうって決めて入ったから、そこで大変って言うのは違うかなって。

Joe：偉い。偉いですよね。うん。でもですね、ここでみなさんにお詫びしなければいけないことがありまして。1月に予定してましたアルバムなんですが、リリースを3月に延期することになりました。いろいろとメンバーチェンジとかもありましたし、無理矢理1月にリリースしてもということになりまして。

平：待たせた分、絶対にいいモノを届けようと思っているので、ぜひ、期待してほしいです。また、ファンクラブも立ち上げたり、3ヶ月連続ワンマン（次回は2月12日高円寺二万電圧）を行ったり、2011年も年明けから精力的に動いてます。俺ら、本当に2011年かけてるんで。いろいろとゴタゴタしちゃいましたけど、この5人で後が無い覚悟で頑張っていこうと思うので、よろしくお願いします！

Interview:NAOKO TAKEICHI

http://chemical-pictures.net/

蝴蝶网
hudie.com

銀座よろず屋本店 仮想店舗『柿ノ元』

NDER CODE PRODUCTION

011 福袋!! ※CD、DVD、GOODS、バッジ、入手不可能音源、無料配布物等 20000 円以上封入。

¥3,500【UCP-7】

蝴蝶网
hudie.com

DER CODE PRODUCTION
ッション大会写真セット
枚セット
10.12.26 OSAKA MUSE

¥2,000【UCP-8】

追加スケジュールは、OFFICIAL HP をチェック!! http://www.under-code.jp/

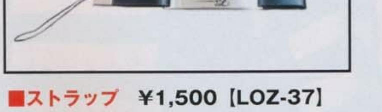
■タオル ¥2,000【LOZ-33】

■シュシュ
¥1,000
【LOZ-34】

■コインケース(黒/紫)
各¥500【LOZ-35】

Natsuki
Aki
Tama
Nao
Zukki

■ピルケース
¥1,000【LOZ-36】



■ストラップ ¥1,500【LOZ-37】

Ash【INFORMATION】〒153-0064 東京都目黒区下目黒 2-18-3 目黒第一花谷ビル 602 号室
(有)ループアッシュ -OZ- web saite ⇒ http://www.territory-oz.com/

UnsraW

リストバンド
¥1,000
【SUN-10】

ミラー ¥1,000【SUN-7】

マフラータオル ¥1,500【SUN-8】

Ap(r)il

メンバー全員入り
チェキ(4人)
¥1,600【SAP-20】

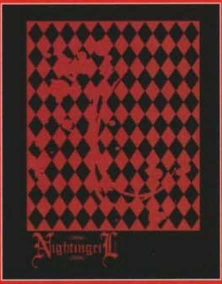
写真 10-B ¥800【SAP-21】

ストラップ
¥1,500【SAP-17】

NightingeiL

限定Tシャツ(Mサイズ)
¥3,500【SNI-11】

写真 10-A ¥800【SNI-13】



コンパクトミラー
¥1,000【SNI-12】

R指定

タオル
¥2,000
【SRS-11】

写真 11-A ¥1,500【SRS-14】

写真 11-B ¥1,500【SRS-15】

Speed-disk

※注意事項
*バックナンバーの受け付けは終了となりました。
*今月号のグッズの締めきりは 1/21 到着分までとさせていただきます。

● SPEEDDISK のイベント
★ SPEED DISK PRESENTS ～『桜華乱舞』
・2/8(火) 高田馬場 AREA
OPEN 16:30/START 17:00
前売り ¥3,000/¥3,500(税込)
Cast:[illegible] / ALSDEAD / キッド / SCAPEGOAT / FEECHE / Blu-BilliON

・2/9(水) 高田馬場 AREA
OPEN 16:30/START 17:00
前売り ¥3,000/¥3,500(税込)
Cast:Ap(r)il / SwallowtaiL- スワロウテイル - / TOON-FACTORY / DragonWAPPPPPPERNeo / V-last. / 他

★ E.L.L&SPEED DISK PRESENTS ～
『森羅万象 in MID SIDE』
22011年2月21日(月)˜24日(木) 名古屋E.L.L
Open/Start
21日→ 17:30/18:00
22日→ 16:00/16:30
23日、24日→ 16:30/17:00
各公演チケット代 前売 ¥3,500/ 当日 ¥4,000

・21日 Cast:R指定
Guest:VIDOLL シュン&ギル セッション / 己龍 / ダウト /DEATHBIE/ v 【NEU】
・22日 Cast:Ap(r)il
Guest:Administrator/AYABIE/ZUCK/xTRiPx/BugLug/V-last.
・23日 Cast:UnsraW
Guest: アンド / − OZ − /SCREW/BORN/Lycaon
・24日
Guest:AUBE/ ケミカルピクチャーズ /spiv states/Sel'm/DuelJewel/ 花少年バディーズ

★ SPEED DISK PRESENTS ～『森羅万象』
2011年2月25日(金)江坂 MUSE
Open/Start 16:30/17:00
チケット代 前売 ¥3,500/ 当日 ¥4,000

Guest:AUBE/ ケミカルピクチャーズ / states/Sel'm/DuelJewel/ 花少年バディー

★ SPEED DISK PRESENTS ～
『森羅万象 DX』
2011年3月7日(月) 渋谷 AX
Open/Start 16:00/17:00
チケット代 前売 ¥4,500/ 当日 ¥5,000
Cast：Moran
Guest:AYABIE/ViViD/SCREW/ ダウト
Speaker' s,Inc./ 少女 - ロリヰタ -23区

SPEEDDISK のイベント詳細は
HP をご覧下さい。
http://www.xxxrecords.jp/speedd

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

■新衣装アーティスト写真 A セット ¥1,000【NAI-32】

愛狂います。
アイクル aicle

衣装チェキ
る ルビ さらん 玲音】(メンバー選択可)
00【LAL-31】

■新衣装アーティスト写真 2L(サイン入)
¥1,000【NAI-33】

■えみるデザインケロ T シャツ
¥2,500【NAI-28】

■ Dolly アクセサリースタンド
¥1,500【FDO-3】

■ Dolly3way 携帯ストラップ
¥1,800【FDO-4】

Dolly 単独公演ツアー
「THE 5COASTER'S CABARET Vol.2」

2011 年
◆ 3/6(sun)
福岡 DRUM SON

◇ 3/9(wed) 大阪 MUSE

◆ 3/11(fri)
名古屋 ell.FITSALL

◇ 3/17(thu)
仙台 JUNK BOX

TOUR FINAL
◆ 4/9(sat)
渋谷 WOMB

公演詳細は
Dolly Official Site を
ご覧ください。
http://www.dolly-web.com/

Dolly

Fuji Production inc.
usic Creative Office

■ Dolly
リボンポーチ
¥2,300【FDO-5】

TOON-FACTORY

■写真 A ¥1,000[WSG-7]

■写真 B ¥1,000[WSG-8]

■マフラータオル
2010 限定ピンク ver.
¥1,500 [WSG-6]

申し込み方法
品をお申し込みの方は、郵便局に備え付けの振り込み用紙にて、定価+送料 700 円を下
口座までお振り込みください。なお、通信欄には下記事項をお間違いないようご記入くだ
。
郵便振替番号 00180-9-603494
金額欄 定価に送料を加えた金額をご記入ください。(複数種お申し込みの方は定価の
計金額+送料 700 円をご記入ください)
加入者名 株式会社 音楽専科社

■通信欄 柿ノ元・希望商品名・商品番号・各商品の数量
■振込人住所氏名欄
あなたの住所、氏名、電話番号を丁寧にご記入ください。
【お問い合わせ先】
株式会社 音楽専科社『柿ノ元』
〒104-8228 東京都中央区銀座 6-2-3
Daiwa 銀座アネックス 5F
TEL03-3574-0203 FAX03-3574-8548

銀座よろず屋本店
仮想店舗
『柿ノ元』

form a connection
Now On Sale

奏楽天使Sary

オベリスク

SMACK-DOWN

JunK

The Noize

Gal-za

れぇぜ

唯×実 ユイみの

CHAOS

Trifolium

紅月

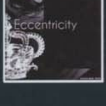
幻奏樂戲 -Gures Amur-

LOVE JUNKIE

ビードロギニョル

タイトル：form a connection（第６弾オムニバス）
価格：2,625円
発売日：2010/12/27
参加アーティスト：奏楽天使 Sary / The Noize / オベリスク / れぇぜ / CHAOS / Gal-za / 唯 × 実～ユイみの～ / ビードロギニョル / 紅月 / Trifolium / SMACK-DOWN / LOVE JUNKIE / 幻奏樂戲 -Gures Amur- / JunK

タイトル：ETERNAL CHILDREN（第1弾オムニバス）
価格： 2625円
発売日：2008/12/24
参加アーティスト：Amaryllis-アマリリス-/ Castle Vellffaria / Lilac / MICA TYPE / Necrophilia / Pinky / RuCe / RUBBISH / 月華 / RESSURECTION / Steal / 学園ロザリオ class † ZERO



タイトル：Eccentricity（第4弾オムニバス）
価格：2625円
発売日：2010/03/31
参加アーティスト：Discord Cry / evo' L / M.T.S / HITT / ロザミィ / a-ray / Sarah_SYO-ZYU / tyria

タイトル：N clever（第2弾オムニバス）
価格： 2625円
発売日：2009/05/31
参加アーティスト：ホワイトパレット / きらぁ / MAIND / Hot Spepper / 和鶴 / 関西耽美系～ Lilyproject ～ / Mirage / evo' L / BLUETOPAZ / Alfheim / パレッタ

タイトル：SINCE XXXX（第5弾オムニバス）
価格：2625円
発売日：2010/07/27
参加アーティスト：Ma 飴 - メイ - / Grazina, / ADDICT / 槐 真朝 / RULER / MiLiARDO / SCREAM / Curl Deformity / Zodiac / MARIO † CHILD / Kshatriya / GATE

タイトル：Visual Modernism（第3弾オムニバス）
価格： 2625円
発売日：2009/10/31
参加アーティスト：Chat noiR / 架嬢 / [illegible] / Vernal BlaZ' / Darkness resident / [illegible]使 Sary / ライチ / SWEET TRANCE / Vitalmagie / [illegible] / Scherzando / 極東機械人形

タイトル：未定（第7弾オムニバス）
価格：2625円
発売日：2011/04/XX
参加アーティスト：Jo Я ker / ElupiA / Zelve Gasp / トロピカル@メリー / VELCRO / JUSTICE / ロウズ / 他

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网 hudie.com

ム『DOGMA』がリリースされます。

猟牙：BORNは、去年リリースした3枚のミニ・アルバムで、いろんなことに挑戦して多面性を見せたんですけど、今回は自分たちが元々大切にしていたダークなテイストをフィーチャーしました。もう、それのみを見せつけたかったというか。だから、すごくやり甲斐があったし、BORNの濃い部分を強く出せたことに満足しています。

K：猟牙から、そういうアルバムにしたいという話が出た時に、〝ああ、いいんじゃないかな〟って普通に思いました。原点に戻るとしても、3枚のミニ・アルバムを経て一周したことで、また違うものを作れる自信があったし。例えば、〝シンプル・イズ・ベスト〟ということにしても、いろんなことを経験した上でのシンプルと、無知なゆえのシンプルは違うじゃないですか。実際、『DOGMA』は、いいところに落とし込めた手応えを感じています。

Ray：今回のコンセプトは、得意分野と言えば得意分野なんですけど、今までだったら、ただマニアックにしてしまいがちだったんですね。でも、去年の半ばから曲作りに対する考え方や取り組み方が変わったので、今回の自分が作った曲に関しても、得意分野にプラスαしたものを出せたんじゃないかなという気はしています。俺の中では、「棘柘榴」は新境地です。重厚さに妖しい雰囲気をプラスして今までのBORNにはなかった世界を創れたので。

——歌詞も今までとは一味違います。

猟牙：制作に入る前に、〝ドグマ〟という言葉がテーマとしてあって。それと楽曲の世界観を踏まえて、今回は〝カワイイ〟内容は避けることにしたんです。

K：え？ 〝カワイイ〟歌詞もあったじゃん。ボツになったけど（笑）。

猟牙：俺は、カワイイとは思ってなかったんだよ（笑）。いや、「Dammit!!!!!!」に、〝猫すら騙せない〟という言葉があったんです。

一同：それ、カワイイって（爆笑）。

猟牙：そうかな（笑）。あとは、〝ドグマ〟という世界観の中でも、いろいろな面を

なと思って。特に、「RED DESIRE」では冒険しました。今までも恋愛の要素を採り入れた歌詞はありましたけど、こういう風に男女の台詞をうまく混ぜたり、お互いの心境を一つの物語の中で交互に出したりするパターンは書いたことがなくて。こういうアプローチもアリなんだなという発見がありました。あとは、「SIX DAMIAN」みたいにダブル・ミーニングにしてある歌詞もあるし、「RED DESIRE」と「棘柘榴」はストーリーが続いていたり。今回は、今まで以上に歌詞も楽しんでもらえるんじゃないかなと思っています。

——楽しめました。それぞれプレイ面に関しては、いかがでした？

TOMO：今回のアルバムで、どの曲がいちばん好きかと聞かれたら答えられない。もう全曲気に入っています。去年録った3部作では、クリックに合わせることよりもバンド全体のノリを重視して録った曲もあったんです。でも、今回はもうノリだけでは通用しないな…という のがあって。録った後に、〝気持ちいいじゃん〟と思っても、波形でチェックしてクリックから少しでもズレていたら、もう一回叩いた曲とかもありました。逆に、「Dammit!!!!!!」や「Dazzling Mob」は、勢いに任せて叩いてて。そういう風に、1枚の作品の中でメリハリをつけられたのもよかったです。

K-FUMI：ベースに関しては、隙間を作ることで、逆にインパクトが出せることに気づいたんですよね。だから今回は、無意識に休符を活かしたフレーズ作りの面白さを求めていた気がしますね。昔は、休符を使おうとか、ここでスラップをやってやろうといったことが先に来ていたんです。でも最近は、曲をもらって、〝この曲には、どの表現方法が合うんだろう？〟というところから入って、結果的にスラップを使ったり、動くフレーズを出してみたりするようになっていて。「愚弄」みたいに動き回るベースを弾いてる曲もあれば、「棘柘榴」みたいに2～3パターンのフレーズしか弾いてない曲もあって。だから『DOGMA』は、K-FUMIを育んでくれたなと改

BORN TO BE THE BLACK

ミニ・アルバム『DOGMA』、ドロップ!!

2010年にリリースされた3作のミニ・アルバムを経て、BORNの個性を色濃く打ち出したミニ・アルバム、その名も『DOGMA』が2月2日にリリースされる。昨年の活動で、様々な表現方法にチャレンジしたからこそ、彼ら自身が改めて気付いた"BORNたる個性"を存分に見せつける今作。"ブラック・ポピュラー"の真髄、今ここに極まれり！

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

K：今までは、2本のギターのキャラが違ってないと面白くない…という想いがあったんですけど、今回は楽曲を重視した結果、「SIX DAMIAN」や「棘柘榴」みたいに、2本のギターを出来るだけ同じ音にした曲も入っています。フレーズにしても、俺は弾きたがるタイプだったんですけど、Rayがフックになるフレーズを弾いているから、自分はベーシックでいこうと思ったり。以前は、楽曲やアルバムの中で、自分をどう出すか…という思考だったんですけど、今回は『DOGMA』というアルバムの中で自分が果たすべき役割に徹することを楽しむ感覚があって。だからもう、引き算の嵐でした。そういうスタンスでここまで表現できたのは、いい化学反応が生まれた結果だなと思います。

Ray：自分のパートに関しては、いつもどおり色づけ的なことをした上で、遊びのフレーズも入れたいなと思って。今まではあまりなかったんですけど、「愚弄」や「SIX DAMIAN」「Dazzling Mob」といった曲で、一瞬しか出てこない音とかでアクセントをつけられたのはよかったかなと思います。あとは、深く考えないようにしました。俺は、考えすぎるとダメなタイプなので（笑）。

猟牙：今回は、デモの段階で自分の好きなテイストの楽曲が揃っていたんですけど、歌に関してはすごく悩みました。『DOGMA』の世界観を活かした上で、自分らしさを出したい…というのがあって。だからメロディの乗せ方とかもすごく考えました。前はサビ・パートでハイトーンになって突き抜けるのが自分の定番だったりしたんですけど、「SIX DAMIAN」みたいに、サビ・パートになっても一気に突き抜けないで、じわじわヴォーカルが迫ってくるような感じにしたり。そういうことを意識したメロディが多くなっています。

——得意としている多重人格スタイルにも一層の磨きが掛かっていますね。

猟牙：今回は、自分的に流れがすごく気持ちいい楽曲が多くて、うまくそれに乗りたいというのがあって。曲を壊さずに自分を立たせることを考え抜いた結果、

を見せつつ、無理やり感が全くないことには自信があります。

——みなさん『DOGMA』には、確かな手応えを感じているようですね。

K-FUMI：感じています。俺は、どんなに好きなアーティストのアルバムでも全曲をいいと思うことは滅多にないんですよ。でも、『DOGMA』は、曲単体じゃなくて、世界観に入り込めるアルバムになってて。楽曲単位の楽しみ方を超えた作品になっている自負はあります。ズブズブとのめり込んでいけるアルバムなので、ぜひ味わってください。

Ray：『DOGMA』は、今のBORNの100%を出せたアルバムです。あとは、これをどれだけの人に伝えられるかが勝負ですね。だから今は、日本中の人に聴いてもらえるように頑張っていこうという意欲に溢れてます。

TOMO：唯一無二のものが出来たと口で言うのは簡単なことですけど、『DOGMA』に関しては、本気でそう思っています。本当に、この5人でしか出せない世界観を創れたし、それをライヴで構築するのも楽しみだし。暴れる準備は出来ているので、覚悟して待っててください！

K：『DOGMA』が完成した時に、あまりにマニアックすぎたかなと思って。カッコいいことには自信があったけど、ここまで行って大丈夫かな？という不安も感じていたんです。でも、聴いてくれた人がみんな、すごくいいと言ってくれているし、逆に今では、これくらいマニアックでも受け入れてくれるなら、もっといけるよと思ってて。だから、早くもう一周して、次はもっと凄まじいのを作りたい。原点に還ったことで自信が持てたことは、今後のBORNにとって大きな意味があるなと感じてます。

猟牙：危険でマニアックな世界観と、心地好いキャッチーさの融合。これこそ、俺らが掲げる〝ブラック・ポピュラー〟の真髄だと言える作品が出来上がりました。『DOGMA』が、2011年のロックシーンの水準になるのは間違いない。それくらい、俺は『DOGMA』というアルバムに自信を持っています！

慧美网 vimee.net

「一秒」ツアーファイナル！

3/21 mon 渋谷C.C.Lemonホール

【ADV/DAY】¥4,200(税込) 【OPEN/START】17:30/18:00
【 発売日 】1/29 sat ～
【チケット】チケットぴあ 0570-02-9999 Pコード:126-134
ローソンチケット 0570-084-003 Lコード:72851
イープラス http://eplus.jp
【お問合せ】DISK GARAGE 03-5436-9600 (weekday12:00-19:00)

人格ラヂオ 全国ワンマンツアー「一秒」
【ADV/DAY】¥3,500/¥4,000(D別、税込)

2/3 thu 名古屋ell.FITS ALL
【OPEN/START】18:30/19:00
【お問合せ】サンデーフォークプロモーション 052-320-9100

2/5 sat 京都MUSE
【OPEN/START】17:30/18:00
【お問合せ】夢番地大阪 06-6341-3525

2/7 mon 福岡DRUM Be-1
【OPEN/START】18:30/19:00
【お問合せ】キョードー西日本 092-714-0159

2/9 wed 岡山IMAGE
【OPEN/START】18:30/19:00
【お問合せ】夢番地岡山 086-231-3531

2/21 mon 仙台HooK SENDAI
【OPEN/START】18:30/19:00
【お問合せ】キョードー東北 022-217-7788

2/22 tue HEAVEN'S ROCK宇都宮VJ-2
【OPEN/START】18:30/19:00
【お問合せ】サイレン・エンタープライズ 03-3447-8822

人格ラヂオ7年ぶりの
セカンドアルバム発売中！
「一秒」 全11曲収録
¥3,360(税込)

人格ラヂオOfficial Site
http://www.jinkakuradio.com

蝴蝶网
hudie.com

合わせ 株式会社ヒューマン・ドック アーティスト事業部 〒106-0031 東京都港区西麻布3-21-14 覚張ビル2F Tel:03-5770-3378 Email:hda@humandock.com http://humandock.com/artist/ ※住所が変わりました。

葵&涼平 incl.アヤビエメガマソ

電光石火！時の壁を越えて今 奇跡のコラボが動き出す!! 1stマキシシングル『モノクローム』ドロップアウト！

そこで学んだのは速いスピードで回るのは大変危険だってこと（笑）。

涼平が彩冷えるを脱退してから4年…。あれから、葵 from 彩冷えると、メガマソとして、別々の道を歩んできた2人が、“葵&涼平 incl.アヤビエメガマソ”として、奇跡の共演を果たす！ 昨年、ライヴ等でその姿を見た人もいるだろう。何と、その奇跡のコラボが、2月16日に1stマキシシングル『モノクローム』をリリースする。成長した2人がここで奏でる音楽とは。その全貌を訊いた！

Report & Interview:ERI MIZUTANI

葵：読者の方はご存じかと思うんですけど、彩冷えるは2010年の夏にメンバーが脱退しまして。それで、オリジナルメンバーであった涼平くんに、そのことを報告しようと連絡をしたんですね。そこで色々な話しをしているうちに、今度僕がパーソナリティーをやっているラジオ番組に出てくれない？って頼んだんです。彩冷えるの活動休止を発表した一週間後のOAに涼平君が来てくれることになって…僕としては、その場に涼平くんがいてくれたのがすごく心強かったんですよね。で、それからしばらくして、一緒に音楽がやれたらいいねという話しになって。ありがたいことに、周りの方の後押しもあり、今回、このような形でユニットを組むことになりました。

――なるほど、そういったいきさつが。それにしても、衝撃のツーショットです。

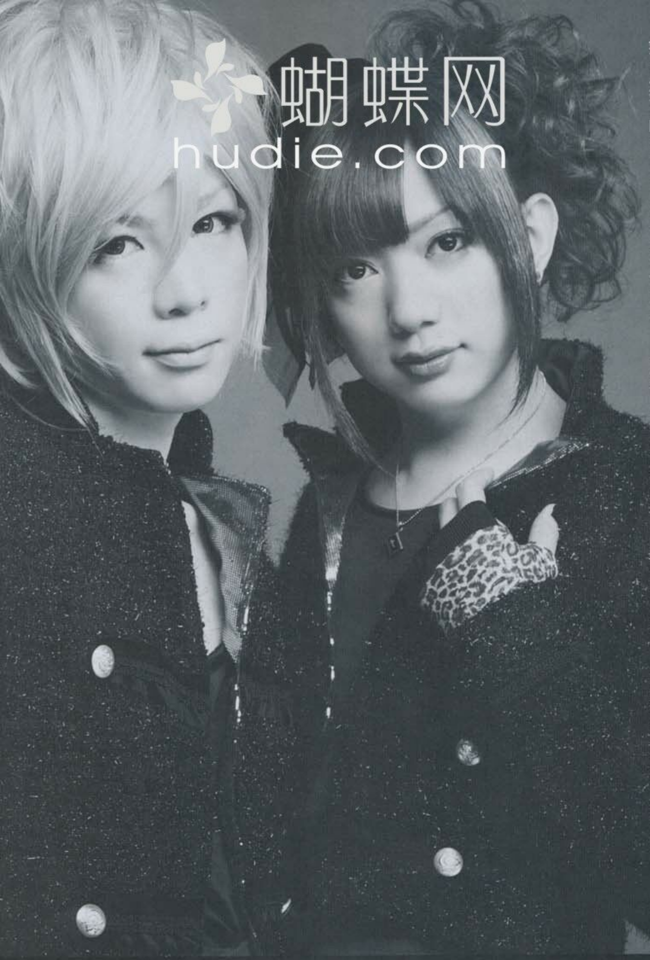
葵：突然だったっていうのもあるんですけど、涼平くんがラジオに出てくれたとき、ファンの方の反響は相当大きかったですね。何せ、一緒にバンド活動していたときも、この2人で行動することってあんまりなかったし、お互いに別の道を歩むことになってからは、交わることもなかったので。

――一緒にユニットを組むことになったとき、涼平さんはどう思われました？

涼平：単純に面白そうだなと思いましたね。とはいえ、よくスケジュールが合ったなぁって。けっこう無理矢理に進めていったんですけど（笑）、僕、最初はここまで話が展開するとは思ってもみなかったんですよ。だって、まず、レーベルが違うし。

葵：それもあって、正直、[illegible]現するには難しいかなと思っていた[illegible]それこそ、インディーズだった[illegible]ける企画かもしれないんで[illegible]がにメジャーともなると、[illegible]ぴって通用しないんじゃないかなって。けど、スタッフさんたちが[illegible]らって言ってくれて。その[illegible]こまでの短期間で、サプラ[illegible]やレコーディングをすること[illegible]できたん[illegible]ですよね。あと、何より、[illegible]たメガマソのメンバーに[illegible]

蝴蝶网
hudie.com



蝴蝶网
hudie.com

──それはすごく大きいですね。

葵：でも、ほんとすいませんって感じですよ。この前も、僕のソロライヴに涼平くん出てもらったんですけど、その次の日、メガマソは博多でライヴだったんです。僕、どれだけ強引なんだって。

涼平：いやいや、そんなことは（笑）

葵：けど、久しぶりに一緒にステージに立ったときは、何とも言えない気持ちでしたね。

涼平：何年ぶり?って感じだもんね（笑）

葵：4年ぶりだっけ。でも、意外と動きを覚えているもんだなって思ったよ。

涼平：そうそう。「アヤビエ」の昔の曲をやったっていうのもあるけど、体が曲を覚えていて。

葵：不思議とね（笑）

涼平：僕は30分間しか参加できなかったんですけど、やって良かったと思いました。

葵：お祭り的なライヴだったんですけど、見てくれたみんなが楽しんでくれたので良かったです。

涼平：それが1番ですよね。何か、このユニットって、お互いの活動でできないようなことも、気楽にやってしまおうかって言えるんですよ。

葵：しかも、特に打ち合わせすることなくアイデアが出てくるんだよね。今回、急だったにもかかわらず、涼平くんはいくつか曲を作ってきてくれたんですよ。また、そのどれもが涼平くんっぽさが出ているんですよね。そこで、改めてこの人は素晴らしいコンポーザーだなと感じましたね。昔からの良さは変わることなく、メガマソで磨かれたセンスが加わっていて。この4年間ですごく成長したな～って。

涼平：それは葵くんも。でも、お互いのファンの中には複雑な気持ちの人もいると思うんですね。彩冷えるのメンバーが脱退したばかりなのに、何でこの2人で活動するの?って。けど、僕は、メガマソの活動をおざなりにする気はないし、葵くんだって、今までどおりソロ活動に力を入れているので、そこは不安に思ってもらわなくて大丈夫です。何せ、2人のモットーは、〝無理をしない〟なので。

──すばらしい（笑）

涼平：だから、お互いの活動の隙間をぬってやっているんですよね。

──こうしてユニットを組むことで、お互いの活動に還元できるのであれば、どーぞどーぞという感じです。

涼平：そうそう、そこなんですよ。だったら、とことん面白いことをやってみようって。なので、ユニットのコンセプトは、〝お互いの良いところを吸い上げよう〟ってところですかね。だから、僕は、メガマソの新しい音源を、早くファンの子に聴いてもらいたくて。葵くんと一緒にやったことで、メガマソの音楽は確実に変わっていると思うので。

葵：僕としても、涼平くんと再会したことでとても良い刺激をもらっているんですよ。それをソロ制作に活かすことができるので、マイナスの要素は1つもありません。

──お互いに良い作用をもたらしていますね。ところで、この長～いユニット名を考えたのは?

葵：涼平くんです! 〝葵&涼平 incl.アヤビエメガマソ〟って書いて、〝アオイアンドリョウヘイ インクルーデッド アヤビエメガマソ〟って読むんですけど、この僕ですら、言えないときがあります。

涼平：あはははは（笑）

──確実に、1回は噛みますね。

葵：そのせいか、最近、ファンの子からは〝あおぺこ〟って呼ばれてます。

涼平：もう、略されてるんだ!（笑）

葵：そうなんだよ。しかも、正式名称がどこも残ってないっていう（笑）

──ちなみに、ここに込めた想いというのは?

涼平：それがねー、ないんですよね。

──衝撃発言ですよ、それ（笑）

涼平：適当ってわけではないですよ、色々と考えましたから（笑）。けど、そこで本気を出したような名前を付けるもの違うなって。それこそ、さっきの話じゃないけど、お互いのファンが心配してしまうんじゃないかって思ったんです。だったら、完全な遊び企画らしい名前にしようって。そこで、〝葵&涼平 incl.アヤビエメガマソ〟と名付けました。

葵：でも、その前は〝メガ冷える〟だったんですよ。リリースも冬だし、寒そうな感じがしていいかって。

涼平：ひどいよねー（笑）。それか、〝彩マソ〟にする?とかも言っていたよね。

葵：今思うと、それも雑だね（笑）まぁ、最終的に、〝葵&涼平 incl.アヤビエメガマソ〟に落ち着いて良かったと思います。

──ですね。ちなみに、楽曲制作の際、心がけていることというと?

葵：計画性を持って作ってはいない、というところですかね。

──本気の遊びというだけに。

葵：ええ、もちろん良い意味で。だから、みんなが楽しんでくれたらいいなって。僕、彩冷えるのメンバーが脱退して

グという形で廻ったんです。そこで、元々の「アヤビエ」の曲を聴きたいというリクエストをもらっていて。「アヤビエ」は、2004年から始まった。それなのに、初期の楽曲に触れないままでいるのはおかしいんじゃないかって。

──そう言われてみれば。

葵：でも、それには理由があって。涼平くんが脱退した後、新メンバーが加入して、新しい曲ができあがっているのに、わざわざ前の曲をやるのはどうだろうと思ったんです。けど、ファンの子からしたら、前の曲も含めて彩冷えるなんですよね。それで、その意見をもとに、活動休止前のライヴで前の曲を歌ったんです。

──もしや、それで涼平さんをゲストに?

葵：ええ。だからこそ、涼平くんに来てもらいたかった。そうしないと、彩冷えるを活動休止させるわけにはいかないと思ったので。

──そうでしたか。

涼平：けど、僕が活動休止前の彩冷えるのステージに立つことは、難しくもありました。さっきも言ったけど、ファンのみんな、それぞれが色んな感情を持っていたと思うんです。僕が抜けた後、彩冷えるを支えてくれた人たちからしたら、僕が葵くんと一緒のステージに立つことは、正直言ってよくは思わなかっただろうし。だから、本当にすごく悩みました。でも、最終的には、アーティストとして、ステージに立つことを決めたんです。

──そこは、音楽をやる者としてのプライドですね。

涼平：自分の中での否定的なところを消して、自分がやってきた音楽の形を、葵くんと一緒に再現したんです。結果、彩冷えるの締めくくりに相応しいライヴになったと思うし、ファンの子も理解してくれたんじゃないかなって思います。

──きっと、音を聴いて納得してくれたのだと思いますよ。

涼平：だと嬉しいです。

葵：ただ、困ったことに、ライヴ当日は涼平くんの方に声援が多くて。何だか、僕は軽く嫉妬してしまいましたね。

──この声援、本当だったら自分1人だけのものなのに!って?

葵：でも、最後にはみんなが楽しんでくれたので良かったです。

——そこで披露された新曲が、2月16日にリリースされるそうですね。驚いたのは、4つの形態で出るとか。

涼平：そうなんです。お互い、レーベルが違うので、だったら、4つ出してしまおうかって（笑）。これ、収録されている内容がすべて違うんですよ。

葵：共通楽曲はもちろんのこと、僕がお世話になっている徳間ジャパン盤は、僕がメインの内容になっていて、avex盤では、涼平くんがフィーチャーされた内容になっています。なので、どちらを聴いても面白くなっているのではないかなと思います。あと、今回、PVも撮ったんですけど、特典として、お互いのマネージャーが僕らのことを真似している映像が入っているんですね。それが面白くて、面白くて（笑）

涼平：あれは本当におかしかった（笑）僕らは、撮影するときに、回転するステージで60のスピードで撮っていったんです。でも、マネージャーバージョンでは120のスピードになっていて。

葵：で、そこで学んだのは？

涼平：速いスピードで回るのは大変危険だってこと（笑）

葵：2人して、これは真似しちゃいけない！って言ってましたからね（笑）。で、そんなこともありつつ。

涼平：2人のトークセッションも見所ですね。

——映像も気になりますが、やはり、1番のポイントは楽曲です。

涼平：僕、作品を作るってなったとき、何曲か葵くんに持っていったんですよ。そこで引っかかったのがこの曲たちで。

葵：なぜ、「モノクローム」を表題曲に選んだかと言うと、涼平くんらしさがすごく出ていると思ったからなんです。歌詞は僕が書いたんですけど、一緒に活動していたときでさえ、涼平くんが作曲した曲に詞を乗せるなんてほとんどなかったので、とても新鮮でしたね。

——葵さんがソロで出している曲とは、まったく異なるタイプの歌詞ですね。

葵：確かに、違います。ソロで出している詞はもっと生々しい感じですからね。だからこそ、敢えて違うものにしてみようと。でも、涼平くんが書くような世界観重視の歌詞とかは僕には書けない。だったら、今の自分が思う感情をストレートなままに出してみようかなって。

——曲と歌詞がすごくマッチしています。

葵：それはきっと、涼平くんが僕の活かし方をわかっているからだと思います。

——それ、わかります。

涼平：自分としては、新しい挑戦だと思っていたんですけど、実は、昔からあった部分を、出し直しただけなのかもしれないなぁって。

——そこに、お互いの成長が加わったことで、より、聴きやすくなったのでしょうね。

葵：改めて、涼平くんの作る曲って良いなぁって思いましたからね。

——2曲目の「真実の詩」も、一目惚れならぬ、一聴き惚れですか？

葵：はい。こっちも、涼平くんらしさが出ていたんですよね。ストレートなんだけど、コアっぽさもあって。ただ、歌うのがすごく難しい。

——こちらの曲は、最近のお二人がやっている音楽を反映しているというか。

涼平：ギターのリフとかそうですね。けど、これをライヴで披露するとなったら、体力的に難しいよね。

葵：レコーディングのときなんか、魂の灯火がゆらゆらと揺れてたからね（笑）

——危ないです（笑）

葵：それほど、息継ぎをどこでしていいのかわからない曲なので、これをライヴでやるとなったら大変かも。

涼平：そういえば、葵くん、歌うたびに痩せていってたよね（笑）。自分で作っておいて言うのも何ですけど、まさかこの難しい曲が選ばれるとは思ってもみなかったんですよ。だから、葵くんが選んでくれたときは嬉しかったですね。

葵：また、カップリングには、昔やった曲が入るんですけど、新曲と比べても違和感なく聴けると思います。

——そのカップリングですが、アヤビエ曲のセルフカバーだそうで。

葵：「景」と「南極」という曲が入るんですけど、今聴いても、どちらも色褪せてないなぁと感じますね。

——「景」は、サプライズイベントでも披露されていましたね。

葵：これ、僕が作詞作曲しているんですが、初めて出したのは2004年。改めて歌ってみると、当時の気持ちが蘇ってくるというか。初心に帰れる曲ですね。それを感じることができただけでも、このユニットは僕にとってプラスなのかなと。

涼平：「南極」は、僕が作詞作曲なんですけど、当時よりも成長した自分を出したくて。以前は、声もエフェクトをかけてヴィジュアル系らしい音にしていたんですけど、今回は触りたくなるような音を目指しました。

——人間味が増し[illegible]ます。そのおかげで、どちらも、前のイメージを裏切ることのない仕上がりになっているなと。

涼平：ありがとうございます。あとは、僕らが周りから受けた影響というものが、良い具合に曲に反映されているんじゃないでしょうか。

——そうですね。充実の内容なだけに、お二人の今後の展開も気になります。

葵：どうしようか？

涼平：ですよね。どうします？

——その様子からすると……。

涼平：これが、全く決まっていないんですよ。僕としては、お互いの予定が合えばやれたらいいかなって（笑）

葵：でも、こうしてユニットをやることで、僕のファンの人たちにも涼平くんが今やっている音楽っていうのを知ってもらえると嬉しいですね。また、メガマソのファンの子たちにも、僕の音楽に興味を持ってもらえたらいいなって。

涼平：うんうん、そうだね。では、また暇があったら声かけて下さい（笑）

葵：あはは（笑）。じゃあ、とりあえず、キャンペーンイベントよろしくね！

神出鬼没 新宿東口を二人がジャック!!

昨年12月6日。新宿のステーションスクエアでサプライズイベントが行われた。突然の知らせにも関わらず、当日はたくさんの人が足を運んだ。そして、本番が始まった瞬間、歓声とどよめきがこだました。それもそのはず、そこに現れたのは、彩冷えるの葵（Vo）と、メガマソの涼平（Gt）だったのだから。涼平が彩冷えるを脱退してから4年。あれから別々の道を歩んできた2人が、"葵&涼平 inc.アヤビエメガマソ"として、もう一度同じステージに立つことになるとは。そんな、まさかの光景に、観客の中には涙する者もいたぐらいだ。

最初に演奏されたのは「景」。タイトルだけ見てピンときたあなたは、相当の通と言えるだろう。これは涼平が在籍していた頃の「アヤビエ」の楽曲。当時から人気だっただけに、この日も多くの人が一緒になって口ずさんでいたほど。2曲目に演奏された「モノクローム」は、涼平曲らしい仕上り。葵の伸びやかな声を最大限に活かしたメロディが特徴的。また、お互い、離れていた時間を感じさせないほど息がぴったりと合っており、ギターを弾きながら葵の傍に寄る涼平は何とも楽しそうだった。さらに嬉しいことに、2月16日には、これらの曲に加え、新曲1曲と過去の楽曲が収録されたシングルが発売されるとのこと。お楽しみに。

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

不良品種
花少年バディーズ

失恋”を歌う『ブランコ』、あなたの想いは…!?

グル『乙女桜』と内容的に関連性を持たせているニュー・シングル『ブランコ』を1月19日にリリースした花少年バディーズ。カップリング曲k-ボクは世界に嘘をついている-」と合わせて、男性観/女性観が色濃く表現された作品に仕上がっているということで、その歌詞世界にも注たいところ。3月12日には赤坂BLITZ公演も決定!!　バディーズのみなさん、何だかますます調子に乗り…ではなく(笑)、勢いに乗ってます!!

Interview:RIE MAKINO

—今作「ブランコ」は、3rdシングル「乙女桜」のアンサーソングなんですか？

ミネムラ：いえ、全然別。ただ、「乙女桜」は〝初恋〟をテーマにしてて、今回の「ブランコ」は〝失恋〟がテーマなんで。たぶん誰もがその両極面を経験するんじゃないかなっていう意味では、関連性はあるのかなって思うんだけども。

—「ブランコ」に対してカップリングの「Blank-ボクは世界に嘘をついている-」はアンサーソングのようですね？

ミネムラ：うん、こっちは狙ったかもしれない。女性目線（「ブランコ」）と男性目線（「Blank」）を色濃く分けているから。

—まず「ブランコ」ですが、「乙女桜」で感じた、爽やかさの中にも切なさのあるメロウな楽曲に仕上がってますね。

ミネムラ：前作「バレリーナ」、前々作「Balloon」と、賑やかで明るい曲が続いたので、そろそろ良いメロディと良い歌、そこをメインとした曲を作りたいなって思って。ちょうど1年前、「乙女桜」を作った時と同じ感覚だったんだよね。

—イントロからグッとくるコード感が印象的で、さらにJ-POP色の強い曲ですよね。何か環境や心境の変化が？

ミネムラ：ああ、制作に関わる方がいっぱい増えたんだよね。僕らは良い音楽を作りたい……良い音楽って何かって言ったら、万人に理解を得られる楽曲。さらにクオリティを上げた、そういう音楽を作りたいんだっていう話をする中で、エンジニアやディレクター、サウンド・プロデューサーなど、いろんな方がそれに賛同してくださったっていう。

獏：それでスタジオの環境から制作過程まで変わって。曲出しに関しても、自分たち以外の意見も取り入れていったんだよね。

—新たな環境での制作はどうでした？

広志：アレンジャーさんから僕たちに対する要望なんかも、レコーディングのその場で出ることが多くて。そういうのに柔軟に対応していくのが面白かったかな。

ツブク：うん。それも、頭で〝やる/やらない〟ってジャッジするよりも、まずやってみて〝どうする？〟みたいな。

琢磨：僕は、さっき言ってもらったコードを弾いてるんだけど……〝俺のおかげです〟

ミネムラ：なんだよ、〝俺のおかげです〟みたいな！（全員爆笑）

琢磨：違う違う！　エンジニアさんなりのアドバイスに納得しながら、曲が良くなっていくのをその場で実感できて。充実した環境でやらせてもらえたなって。

ミネムラ：それこそギターのコード感……ジャ～ンと弾いた時に、6本全部の弦の音が聴こえるくらいのサウンド作りをしたいなって思ってる中で、現段階での満足得られる音が出来たかなって思う。

獏：僕は、環境が変わったことによって、リラックスして気持ちの良い歌を吹き込めるかなっていう不安があったんだけど、〝素敵なスタジオだな〟とか何でもいいんだけど、そういうところから良いテンションでレコーディングできたのは良かったなと思う。

—カップリングの「Blank-ボクは世界に嘘をついている-」もまた面白いアレンジに仕上げてますね。

ミネムラ：ブレイクビーツを活かすような曲で、歌詞の世界からサウンド、アレンジまで〝すごい濃いな！〟っていう曲を作りたいと思って。J-POPとは離れるかもしれないけど、僕ら以前はそういう曲をいっぱい作ってたから。

—ビリー時代ですね？　花少年バディーズになってからは珍しいですかね。

獏：うん。俺たち自身、〝待ってました！〟っていう感じだったよね。

—スパニッシュ風の、フラメンコギターのようなニュアンスも入ってますね？

ミネムラ：それはね、琢磨のアイディアなんだよね！　元々そこの間奏は、ブレイクビーツが入ってるだけの間だったんだけど、琢磨が〝ちょっとやってみたいことがある！〟ってギター弾き始めて。それがまたヘタクソでね！（全員爆笑）周りのスタッフが〝ちょっと待った！それやめよう！〟って止めて（笑）。

琢磨：頭の中では出来てるんだけど、実際に弾くとめちゃくちゃ難しくて（苦笑）。

ミネムラ：でも、琢磨がそこまで自己主張するのって初めてのことだったんで、クオリティの問題は置いておいて、彼の気持ちを買ってあげようと思って。やり

獏 Vo

ミネムラ Gt

男のほうが未練がましいっていうかね！（笑）

たちも、すごく積極的になってくれて。
琢磨：出来て良かった（笑）。
——さっき言ってた"濃さ"の1つの要素にもつながってますよね。
広志：ドラムは、昔から自分の中にあるエッセンスが入ってるのを曲に感じて、久々にヘンタイフレーズっていうのかな？（笑）得意なフレーズをやったかな。
ミネムラ：（べらぼう口調で）何言ってんだよ〜、エッセンスだかナンセンスだか知らんけどっ!!（全員爆笑）
ツブク：この曲は地味に忙しいんだよね、フレーズが（笑）。最初シンプルにやってみたらすげぇつまんなくて。どんどんフレーズを変えていったら、休む間もなく忙しくなっちゃった（笑）。
獏：歌は、ちょっと冒険を入れつつ、冷静と情熱の間って言いますか（笑）。僕はこういう社内恋愛を経験してないけど（笑）、ただ情熱的な部分は1人の男として感じることなので、そういう気持ちを全面に出して歌えたら素敵かなって。
——歌詞では、「フランコ」「Blank」共に、男女の心理がリアルに描かれていて。「Blank」は季節の流れも描き出してますね。
ミネムラ：そこ良いよね〜！ 自分でも書き終わった時に達成感があった、"いいもの書いたな！"って。女性観と男性観を出すのにすごい意識して書いたので、わりと異性の気持ちが汲み取りやすい作りになってると思う、2曲合わせて。
——「フランコ」の"キミを忘れてもその通りて、すごく共感しましたね！
ミネムラ：そう、女性はそうだなって思うんだよね。それに対して、「Blank」の"ずれ違うコートは覚えている 一年前の表情も"は男が共感するところで。男のほうが未練がましいっていうか。
——ああ、そうですね！
ミネムラ："そうですね"!? 確かに（男は）そうですけどっ！（怒）
琢磨：怒ってる！（全員爆笑）
——だって実際そういう人多いし（笑）。
ミネムラ：もし他人が書いてたら、"いいこと書いてら！"って思うよね（全員爆笑）。
——"Type-B"には「ローズヘリコプター」の不良品種Editが収録されてますけど、「フランコ」と「Blank」の2曲を聴いた後なので、ちょっと能天気な歌に聴こえちゃって……（全員爆笑）。
ミネムラ：そうなんだ？（笑） ああ、でもそうかもしれない！
獏：いいかもね、そういう捉え方も。
——悪い意味じゃなくてね！（笑）
ミネムラ：本来の狙いとしては、誰かを好きになる楽しさとか喜びをもう1回思い出してはどうですか？っていう意味合いを込めたんだけど。ただ、能天気と言われれば確かにそうだなって（笑）。
獏："らしいな、バディーズ"っていう。
——そうそうそう！（笑）
ミネムラ：忘れるんだよね、ツラかった思い出を。で、また「乙女桜」に……。
——そう、"これが運命の出会いた！"
ミネムラ：能天気だから、人は（笑）。
——ライヴ感あるエディットですね。
ミネムラ：3曲目はノリノリでライヴ感を出そうかなって思って。バディーズでは珍しくギター・リフを活かしてみて。
ツブク："珍しく"（笑）。
ミネムラ：（ロッカー口調で）ギターのリフを活かして〜、ジャイ〜ンと（笑）。
ツブク：そのジャイ〜ンを何回録り直したことか（笑）。
広志：そこは意外と能天気じゃなかった（全員爆笑）。
——3月12日には赤坂ブリッツで単独公演が行なわれますが、意気込みを！
ミネムラ：前回の恵比寿リキッドルームでは、みんなを楽しませる演出はよくできたなって思ってて。赤坂ブリッツでは遠慮なく、さらにパワーアップさせてやろうかなと思ってる。
広志：今一度、"ハピネス"というバンドのテーマを決定付けるのに相応しい場所にしたいなと。
琢磨：ブリッツのステージに立ってる理想の自分を目指していっぱい苦しんで、当日、笑顔になれればいいなって。
ツブク：ライヴが終わった後、"ブリッツでやったのもったいなかったね"っていう気持ちにさせられるようなステージにしたいなと。
獏："バディーズ次、何してくれんの？"っていうオーディエンスの声がいちばんの原動力なので。その期待を裏切るステージを観せたいなって思ってるかな。

広志 Dr

ツブク Ba

琢磨 Gt

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网 hudie.com

陰陽座

今の時代に生きる人間として――

新たな展開を見せる物語――
シングル「紺碧の双刃」発売

結成10年の歴史を総括する豪華BOXセット
『陰陽大全』のリリースで2010年を締め括った
陰陽座が放つ、2011年第一作は、
2月9日に発売となるシングル『紺碧の双刃』だ。
既発曲「蒼き独眼」の続編となる今作は、
視野や世界をさらに広げ、
〝現代に生きる人間として〟の
思想や理想が描かれている。
これが、今後リリースを控えた
10作目のアルバムへの布石となるのか…!?
瞬火と黒猫に訊く。

Interview:REIKO ARAKAWA

――年末に『陰陽大全』が出て、このタイミングでシングル「紺碧の双刃」が出る経緯というのは？

瞬火：今回のシングルの楽曲は、サミーというメーカーが作ったパチンコ台「CR戦国乱舞～蒼き独眼～」の続編の「紺碧の双刃」という台の主題歌として、続編もぜひお願いしたいとオファーをいただいたんです。で、パチンコのストーリーを伺って、そのストーリーに合わせた楽曲と歌詞を作ったのですが、その楽曲がパチンコの演出のキーになるので、けっこう早い段階で完パケしてパチンコ開発チームにお渡ししていました。ようやくパチンコ台のほうも完成したので、それに合わせてシングルもリリースされる、という流れです。

――パチンコはみなさんやります？

黒猫：陰陽座は誰もやらないですね。

――私もやらないので、どう使われるのか分からないのですが、実際確認もしてるんですよね？

瞬火：すでに前作の「蒼き独眼」は〝蒼き独眼〟っていう台の主題歌として使われているので、実機でどう使われるかはよく分かっています。僕もパチンコは嗜まないんですが、仕組みとして理解してるのは、単純な話ですが、パチンコを打っていて大当たりした時に、この主題歌が流れるということです。パチンコっていうと古いイメージだとバネで玉を弾いて穴に入れるだけ、という感じがしますが、今もやってることは同じなんですけど、ただ玉を入れて出すだけじゃなくて、大当たりになるかどうかの瀬戸際の演出が大きい液晶画面の中で次世代ゲーム機顔負けの美麗なCGムービーで流れるんですよ。信じられないくらい進化してて、台そのものがアーケードのゲームみたいに凄い機械になってるんですよ。

――戦国武将が題材になっているということで、黒猫さんは〝歴女〟的な要素があると思います？

瞬火：ないなぁ。

黒猫：先に言われました（笑）。もちろん、学校で習ってきた程度のことは何となく覚えてたりしますけど、特に歴史が好きで文献を読みあさるとか、調べるっていうことはないです。

と、〝歴史を題材としたゲームを始めとするメディア展開された歴史モノ好き〟のことだと思います。ふと小耳に挟んだ一般の方の会話なんですけど…全然歴史とか興味なさそうなオシャレっぽい女性が武将の話をしてたんですよ。そこで長宗我部元親とか言ってる。〝私、やっぱり長宗我部かな？〟って。長宗我部好きか、マニアック！って思ってたら……〝だって超美形だもん！〟って。えぇ～？って。

一同：（笑）

瞬火：肖像画が絶対ではないですが、少なくともそれを参考にした発言ではないなと（笑）。よくよく聞いてたら、有名な歴史ゲームに出てくる長宗我部元親が美形にキャラデザインされてて、それが好きなんだそうで。そういうことか…と思いました。もちろん全員がそうだという意味ではないですが、少なくともブームとして扱われている〝歴女〟というのはそういうものだと思います。本当に歴史が好きな女性は、自分のことを〝歴女〟だと思っていないと思いますよ。

黒猫：でも、そこから興味を持っていけばいいですよね。

瞬火：そう、別にブームが悪いのではなく、本当はどういう人だったのか？っていうことを紐解くのも興味深いですし、仮に紐解かなくても、歴史を題材にした何かを楽しむということ自体、良いことだと思います。ただ、この曲を例えば〝歴女〟に向けてるか？と言われたら、それは一切向けてないです。

黒猫：（笑）

瞬火：なぜならこの曲にはイケメンが出て来ない。ジャケットを見てもアー写を見ても残念ながらイケメンはいない（笑）。

――このジャケットは迫力ありますよね。

瞬火：迫力だけはね、売るほどあります。

――取材前にレクチャーを受けたんですけど、「紺碧の双刃」の歌詞の内容、難しいですよね？

瞬火：そうですか？　古くて難しい言葉が入ってはいますが内容的には…

黒猫：歴史とかに詳しくないから、ってことですよね？

――そうそう。

瞬火：なるほど。そういう意味で言えば、

蝴蝶网
hudie.com

なく、仮想の展開を絡めたものになっているので、逆に歴史にもの凄く詳しい人だと、こんなはずないだろ!っていうこともあります。なので、そのオリジナルストーリーを元にした歌詞を100%理解するには、ある程度パチンコのストーリーを理解しておく必要があるかも知れません。とは言いつつも、歴史はからっきしなんだよね、って方がこの曲を聴いた時に全然面白くないかと言えばそんなことはなく、純然たるロックチューンとして楽しんでもらえると思います。

――(笑) 唐突ですけど、タイムスリップしたら会ってみたい戦国武将はいますか?

瞬火：うーん…名のある武将ならほとんど全員ですね。三國志の武将もいいですね。三國志も好きなので、三國志も好きなので、でもやっぱり自分が楽曲の題材として取り上げた人物は特に興味深いので、源義経と頼朝の二人にインタビューするとか(笑)。歴史上ではこういうことになっていますが、そこのところどうですか?っていうのを、どっちにも聞いてみて、まとめてみたいですね。

――黒猫さんが会ってみたい人は?

黒猫：武将は詳しくないんですけど作家……私、宮沢賢治が大好きなんですよ。

――どんなことを聞いてみたいですか?

黒猫：彼の作品っていうのは、亡くなった後に、草稿状態で残されてたものを改編して出版されてるものが多いので、真意がよく分からなかったり、これで文章の読み方は合ってるのか?っていう謎が凄くあるんです。造語も凄く多いし、何のことを指してたのか?っていうのは、もういらっしゃらないので聞けないし。だからこれはどういうことだったんですか? 私はこう思うんですけど合ってますか?っていうのを聞いてみたいですね。

瞬火：たぶんね、これらの作品があなたの死後出版されてるんですよって見せたら、出すなよ!って言うと思う。

黒猫：(笑) 言うと思う。それ、そんなつもりじゃなかったのにって。

瞬火：でも、真意が分からないからこそミステリアスな小説として残っているということもありますからね。

黒猫：そうそう。だから分からないままでいいんですけど、会ってしまったらつい聞いてしまいそう(笑)。

[illegible]んですけど、**主人公は人間なの? それとも猫なの?**

黒猫：あれは人間なんですよ。アニメ映画でますむらひろしさんの漫画を元にした猫を主人公として使われたので、猫だと思ってる方が凄くたくさんいるんですけど違うんです、人間なんです。

瞬火：僕も小説は読んだことあって、最近もキッカケがあって読んだんですけど、どうしてもあの猫が出てくるんですよ。話の途中で記述によっては、〝え、猫が? 猫なのに!?〟って思うところがある(笑)。ちょうどあれが焼き付く年頃だったんでしょうね。何回読んでも猫の顔で。

一同：(笑)

黒猫：賛否両論あると思うんですけど、あれはあれで映画の幻想的な雰囲気と合っていて私は好きです。

――話は逸れましたが、今回のシングルにはライヴ・ヴァージョンが5曲入ってます。

瞬火：これはいちばん最近の2010年のツアーからの音源です。

――選曲はどんな感じで?

瞬火：ほぼ全公演分聴いて、いいなと思ったテイクをチェックして、さらに絞り込んで選びました。カップリングとしての新曲がないので、代わりと言ってはなんですけど、せっかく録音されたライヴ音源がたくさんあるんだからケチなこと言わずにいっぱい入れて、楽しんでもらおうと思って。シングル曲を目当てに買われる方がほとんどだと思うんですけど、今までずっと陰陽座のファンだった方にしてみればお馴染みの曲の未発表ライヴ・ヴァージョンが聴けてお得だと思いますし、何となくパチンコを打ってたら曲が気に入ったのでCDを買ってみたよっていう方にとっては、他にはこういう曲があるっていうのが分って、とても有意義かなと思います。シングルCDとしては破格のトラック数、お値段据え置きなので、とても手にとっていただきやすいものになってると思います。

――(笑) これは一括払いですね。

瞬火：そのネタ何人が分かりますかね(笑)。

黒猫：非常にお得な商品となっております(笑)。

蝴蝶网
hudie.com

jealkb

アナタの魂を侵略するアブナイアイテム 此処ニ完成スル。
2ndアルバム『Invade』ドロップアウト!

侵攻開始。jealkbが、ここに来て本格的な攻めの姿勢をとりだした。
2月9日に発売されるセカンドアルバム『Invade』で、彼らはより多角的になった音楽性を提示してみせているのだ。
ムックの達瑯が作品提供していたり、アートワークを鳥山明氏が手掛けていると言う面では、話題性も充分。
2月からはツアー[鳥薔薇ノ空]も開始となる。これは、彼らからの宣戦布告だ!

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

Interview:YUKI SUGIE

蝴蝶网 hudie.com

jealkb

このアルバムにはライヴで培ってきた“陰”の部分を入れておきたかった。

——今作『Invade』で、遂にjealkbは牙を剥いた感があります。昨年、シングル展開的には『makemagic』『傷心マキアート』『super special summer』と、いずれもロックバンドの域にとらわれないポップなアプローチをみせていたのに対し、このアルバムではそれらの楽曲も収録しつつ、他の部分についてはかなり攻撃的でバンド然とした音を詰め込んであるように感じました。

haderu：そこがまさに、jealkbらしさなんですよね。確かに、去年出したシングルではいろんな試みっていうのをやって来てたんですけど、それは別にヴィジュアル系の枠を飛び越えたくてやってたことではなかったんです。むしろ、この枠の中で他のバンドがやってないことに挑戦したい、っていう気持ちからのことだったんです。

——その結果、jealkbは新たな可能性を開拓した感がありましたよ。

haderu：だからこそなんです。その次に出すアルバムって考えたら、今回はもう一回原点に還るっていう意味も含めて、一番自分たちが好きなことや、自分たちの核になっている要素っていうんですかね。さっきの新しく開拓した部分を〝陽〟とするなら、逆に僕らが今までライヴでずっと培ってきた〝陰〟の部分を、このアルバムには入れておきたかったんです。

——あぁ、それでこの『Invade』には、ここまで明暗のはっきり分かれた楽曲たちが収録されていたのですね。

haderu：ただ、もしかしたらこのアルバムから初めてこのバンド、jealkbの音を聴く人は、「それでこのバンド、何がしたいんだ!?」って混乱しちゃうかもね（笑）

——そんなご謙遜を。多面的かつ大胆なつくりで、大変面白いと思います。

ediee：ありがとうございます！

haderu：そうやって、皆が好意的に解釈してくれると嬉しいんですけどねぇ。ほんと、僕らとしてはそろそろうにかjealkbのことを皆に知ってもらいたいんですよ。

——どうにかして、って（笑）

haderu：だって、そりゃそうですよ。いまだにフザけて遊び半分でやってるバンドだとか思ってる人たちが、まだけっこういますから。

ediee：自分たちでやってない（演奏をしていない）でしょ？とか言われると、さすがに最近はカチン！って来ちゃいますもんね。

haderu：ここらでほんと、jealkbとしての本気ってものを見せてかないとダメなんですよ。

——実際、その本気の程は今作を聴けばひしひしと伝わって来ます。メインコンポーザーであるe-saさんとしても、これだけの楽曲をこのクオリティで仕上げるのは、きっとさぞかし大変だったことでしょうね。

e-sa：いやでも、シングルでいろんな挑戦をした分、今回は純粋にライヴで映えるような楽曲とか、「ROLLING」みたいに攻撃的な曲を書く比率が高かったんで、作ってて自分自身も凄い楽しかったですよ。結果的に、シングルの曲たちと新曲たちが混ざった時に、なんか良い意味でのパーティアルバムっていうんですかね。新しいアルバムなんだけど、色合い的にはベスト盤って言っても良いくらい存在感の強い曲たちが揃ったなと思ってます。

——では、そんな今作についても少しずつふれてここから参りましょう。まず、1曲目に入っている「殺気線乱」。こちらは既にライヴでもおなじみの楽曲で、ザ・ヴィジュアル系！ともいうべき毒気たっぷりの王道的楽曲です。詞も音も、濃いですよね。

e-sa：そうなんですよ（笑）。そこはhaderuとも話し合いました。

hideki：まさに、jealkbのアルバムの1曲目はこれしかないだろう、っていう凄くインパクトの強い曲になりましたね。「傷心マキアート」で5人で踊ってたとこからのコレ、っていうのが我ながら凄いなと（笑）

——しかもまた、この歌詞も相当キていますよね。

haderu：確かに過激な表現かもしれないし、スタッフからもTVでは歌えないかもしれないですよ、と言われましたけど、あの感情の感じを出すにはこの言葉しかなかったんです。

e-sa：それに、この詞の世界って実は究極の愛の形なんじゃない？

dunch：僕としては、そこはちゃんと訴えておきたいとこですね。これは、単に物騒なだけの歌ではないですから。

haderu：ちなみにこれ、実はモデルがいるんですよ。僕、詞を書く時に自分の世界の中だけで書いてると視野が狭くなりがちなんで、たまにメンバーのことなんかもネタにしたりするんです。これもそうなんですよね。

ediee：誰か分かりませんか？

——えっ、まさか？？

haderu：そう、edieeなんです（笑）。詞そのものは女性目線で書いているんですけど、この愛すか・殺すかみたいなとこは、この方がモチーフですね。

ediee：つい感情がコントロール出来なくなっちゃう人間なんです、すいません（苦笑）

——いやはや。いきなりの衝撃発言で若干びっくりしてしまいましたが、今作は

蝴蝶网
hudie.com

――その分だけリアリティも持っているということなのかもしれません。

haderu：そうですね。リアルさとか感情移入の度合いとしては、今回は「静かな夜」が一番深かったかなぁ。

――アルバム後半に入っている、美しい響きの大バラードですね。

haderu：これは詞も素直に書いたし、歌う時にも自分のしてきた恋愛の中で最も悲しかった時のことを思い出しながら歌いました。

ediee：僕的には、今回「静かな夜」も思い入れ深いですけどね。ちょうどこの曲をレコーディングする直前、5年付き合ってた彼女と別れちゃったんで、〈愛が少し欠けたみたい〉っていうフレーズが胸に刺さりました。

hideki：少し欠けたんじゃなくて、完全に割れたんだろ?

ediee：いやほんとに…。

haderu：今回はね、他にも周りの人間をモデルにした曲がありますよ。「ト或コイ」なんかも、hidekiの娘をイメージして作ってますし。

――先日、ライヴにダンサーとして参加されていたあのお嬢さんのことですね。

hideki：っていうか、まだ11歳ですよ?そんなまだ恋とかいう年齢じゃないでしょう。

haderu：いや、そう思ってるのはhidekiだけじゃない?言っても、最近の子は発育良いからなぁ。なんなら、中学校くらいで初体験とかあるよ。

hideki：ちょっと、人の家の娘に対してナニ言ってんすか!(笑)

――大体、この「ト或コイ」はピュアでキュートな恋の歌ですよ?

haderu：あ、そっか(笑)。だから、そういう意味ではちょうどモデルとして合ってたんですよ。

――ところで、この曲は以前からライヴでedieeさんがリードヴォーカルをとられていましたよね。今回この音源でも、しっかり歌っていらっしゃいますが、もともとは何故この曲を歌われることになったのでしょう。

haderu：edieeってね、昔ヴォーカリスト志望だったらしいんですよ。高知県に住んでいながら、高校生の頃はわざわざ大阪のスクールまで通ってたんでしょ?

hideki：月1回、飛行機使って通ってたもんね。

ediee：あ、はい。やってました。

haderu：それでまぁ、そんな話も聞いたし、この曲は僕にはちょっとキーが高めだというのもあって、歌ってみれば?ってなったんです。

ediee：前からhaderuのことが羨ましかったんで、そう言ってもらった時は嬉しかったです(笑)

haderu：夢が叶った?

ediee：はい。ライヴと違って、レコーディングで歌うのは凄い難しかったですけど、やれて良かったです。

elsa：この曲には、edieeのこの高い声がぴったりハマりました。

dunch：あと、これはやっと音源化する曲なんで、こうやってアルバムに入ることで皆にもようやく歌詞が分かってもらえると思います。ライヴで皆で歌ってもらう時にも、これからは歌いやすくなるんじゃないですかね。

ediee：あ、それ楽しみです。良かったら、ライヴの時はまた皆で一緒に歌って下さい!

――それから、今作にはムックの達瑯くんが提供してくれたという「恋心」という楽曲も入っていますが、これはどんな経緯で実現したお話だったのですか?

haderu：僕らには、jealkbを始めた頃からずっと見守ってくれてる兄貴みたいな存在が二人いるんですけど、ひとりはAcid Black Cherryのyasuさんなんですね。で、もうひとりがムックの達瑯さんなんですよ。この二人はライヴにもしょっちゅう来てくれるし、時にはいろんなアドバイスもくれるんです。特に、達瑯さんに関しては7人から5人になった時に「絶対5人でも続けた方が良い」って背中を押してくれたし、「5人でやるんだったら、こういうことに気を付けた方が良い」みたいなこともいろいろ教えてくれて、今回はアルバムを出すってなった時にも「何か一緒に出来ないかな」って言ったら、「暖めてた曲があるから、これあげるよ」ってこの曲と詞をくれたんです。

dunch：これ、詞も曲も凄く達瑯さんらしい曲だなと思いました。良いですよね。僕、大好きです。ベースもこれは、シドの明希さんにお借りしたもので録らせてもらいました。

――そんなことがあったのですか。

dunch：カラスのレコーディングをしてた時に、たまたま明希さんがスタジオに遊びに来てて、そこで「今アルバム作ってるんです」って言ったら、「このベース良い音鳴るよ」って貸してくれたんですよ。おかげ様で、良い曲を良い音で録ることが出来ました。

――それに加えて、この曲は達瑯くん本人がゲストとしてレコーディングにも参加してくれているのですよね。

haderu：無理言って、来てもらっちゃいましたね(笑)。たっちゃんの方はツアー中で、スケジュール的にはもの凄く大変だったと思うんですけど、合間に時間作って来てくれたんです。

dunch：ありがたいことですよねぇ。達瑯さんにも、ほんとお世話になりっぱなしですよ。

――達瑯くんは、義理堅い方ですからね。実際、あのツアー日程の中でよくレコーディングに参加出来たなと、感心してしまいました。

haderu：だからね、ここは皆にもちゃんと分かって欲しいなと思ってます。要は、単に仲が良いからコネで参加してくれたっていう以上に、jealkbのことをずっと見守って来てくれて、分かってくれてる上で一緒にやってくれたっていう、その意味を汲み取って欲しいんです。今回の場合、この鳥山先生が描いてくれたアルバムジャケットについてもそうなんですよ。

――なるほど。この『Invade』のアートワークは、あの御大・鳥山明先生が手掛けていらっしゃるということで、これにも非常に驚かされました。

haderu：鳥山先生と僕らの関係っていうのもけっこう深くって、あるとき先生がひょんなことから名古屋でライヴを観て下さったんですよ。そうしたら、それ以来凄く気に入って下さったみたいで、僕らが名古屋行く度に毎回欠かさず来てくれるようになったんです。

――それは凄いですね。

haderu：それで、僕らとしても何時か先生にジャケットを描いてもらいたいなっていう気持ちはあったんですけど、これまでは「まだ今じゃないな」っていう感覚が常にあったんですよね。でも、今回はアルバムが出来た時に「これだけのものが出来たんだから、先生にお願いしよう」って心から思えたんですよ。

hideki：お願いしてみたら、先生も「僕も何時か何かのかたちで力になりたいと思ってた」って言って快諾して下さってたんです。

haderu：先生のイラストが出来上がってきた時は本当に感動しましたね。今回の新しい衣装やメンバーの特徴が、ほんと細かいところまで忠実にイラストに再現されているんですよ!

――感動ですねぇ。

ediee：メチャメチャ感動しましたよ。子供の頃から大ファンでしたから。単なる仕事というのではなくて、何よりも僕らに対する愛情を感じたのが嬉しかったですね。

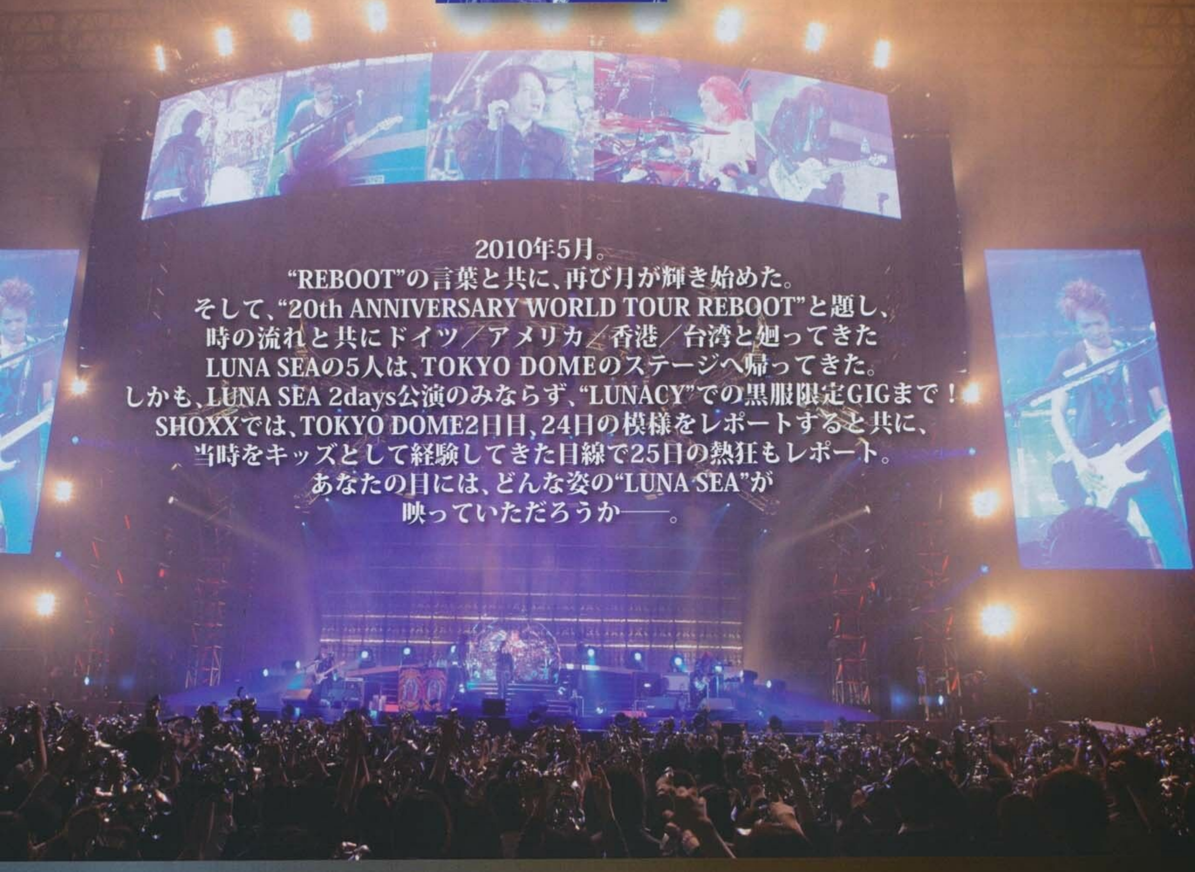
――jealkbは、ファンの方のみならずたくさんの人たちに愛されているバンドなのですね。

haderu：僕らとしては、だからこそもっとjealkbを大きいバンドにしていきたいんですよ。つまり、この『Invade』っていうのは、より多くの人の心の中まで侵略して行きたいっていう意味での『Invade』なんです。

LUNA SEA

20th ANNIVERSARY WORLD TOUR REBOOT
- to the New Moon -
2010.12.24 TOKYO DOME

蝴蝶网
hudie.com



2010年5月。
“REBOOT”の言葉と共に、再び月が輝き始めた。
そして、“20th ANNIVERSARY WORLD TOUR REBOOT”と題し、
時の流れと共にドイツ／アメリカ／香港／台湾と廻ってきた
LUNA SEAの5人は、TOKYO DOMEのステージへ帰ってきた。
しかも、LUNA SEA 2days公演のみならず、“LUNACY”での黒服限定GIGまで！
SHOXXでは、TOKYO DOME2日目、24日の模様をレポートすると共に、
当時をキッズとして経験してきた目線で25日の熱狂もレポート。
あなたの目には、どんな姿の“LUNA SEA”が
映っていただろうか――。

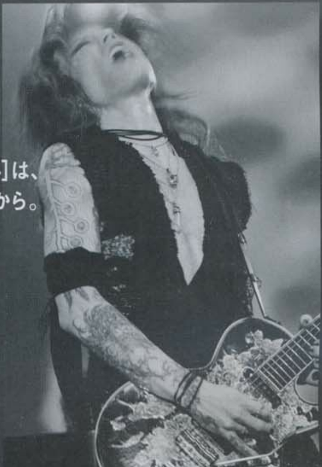
LUNACY

黒服限定GIG
~the Holy Night~
2010.12.25 TOKYO DOME

蝴蝶网
hudie.com

LUNA SEA

20th ANNIVERSARY WORLD TOUR REBOOT
- to the New Moon -
2010.12.24 TOKYO DOME



**聖夜の奇蹟、などという言葉で片付けるわけにはいかないだろう。
LUNA SEAが、このたび東京ドームで行った記念すべきライヴ
[20th ANNIVERSARY WORLD TOUR REBOOT -to the New Moon-]は、
彼らと彼らを愛する者たちにとって、新時代への壮大なる儀式であったのだから。
シーンの礎を築いてきた彼らが、今再びステージに降臨したその時。
黒き新月は天空に浮かんだ。**

Report:YUKI SUGIE

3年前の邂逅とも、2年前の結集とも違う、必然的かつ運命的な甦生。LUNA SEAが、今回の東京ドーム公演[20th ANNIVERSARY WORLD TOUR REBOOT -to the New Moon-]を通して提示したのは、新たなる伝説創成に向けての第1章だったと言える。

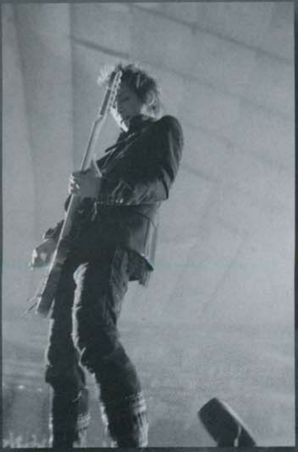
2007年12月24日にも、彼らは東京ドーム公演［GOD BLESS YOU ～One Night Dejavu～］を行なっているが、あれはその名の通りに一夜限りの限定的な復活ライヴに過ぎなかった。また、翌年2008年5月にも彼らは［hide memorial summit］へ特別参加したものの、これは故・hide氏と彼らの間柄を考えれば当然のイレギュラーな一時的集結であり、だからといってその事実が本格的なLUNA SEA再始動へと繋がることはないまま、しばらく時は流れていた。

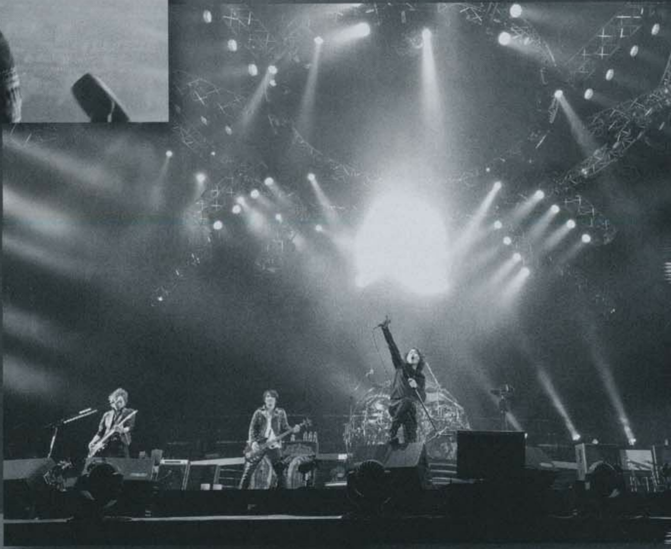
しかし、ついに結成21周年を迎えた2010年5月。突如彼らは〝REBOOT〟することをweb上にて表明することに。8月には香港にてメンバー全員が出席する記者会見を行い、ここでは今回の復活が暫定的なものではなく、新規での音源制作も踏まえたうえでのものだと世に告げた。そして、その後はドイツ、アメリカ、香港、台湾を歴訪しながら彼らはバンド史上初のワールドツアーも敢行し（過去にも海外公演は行っているが、それらは全てアジア圏のみであった）、各地でかなりの歓待を受けたという。

つまり、今回行なわれたドーム公演は、彼らにとって国内での復[illegible]第[illegible]弾であると同時に、凱旋ラ[illegible]でもあ[illegible]たことになる。また、かね[illegible]から決定していた23日と24日に加え、後々になって25日にはLUNACYとし[illegible]黒服限定「GIG」を行なうことも[illegible]るなど、相変わらず話題に事欠かないあたりが実にLUNA SEAらしい。

音楽ファン、音楽業界[illegible]ず、一般マスコミ界隈なども注[illegible]中での再起動2日目、2010年12月24日。彼らがこの夜のオープニングと[illegible]選曲[illegible]いたのは、RYUIC[illegible]の[illegible]カペラから始まった「Time [illegible]as Come」だ。時は来たれり、とはこれいかに！

蝴蝶网 hudie.com





【set list】
1.Time Has Come
2.Déjàvu
3.JESUS
4.END OF SORROW
5.SHINE
6.FACE TO FACE
7.gravity
8.RAIN
9.Providence
10.GENESIS OF MIND
～夢の彼方へ～
11.Dr & Bass Solo
12.IN FUTURE
13.I for you
14.STORM
15.DESIRE
16.TIME IS DEAD
17.ROSIER
18.TONIGHT
-ENCORE 1-
19.IN SILENCE
20.Maria
21.BELIEVE
-ENCORE 2-
22.LOVE SONG
23.PRECIOUS...
24.WISH

傍から見ていてもよく分かった。『約10年の時を経て、ずっと待ち続けてくれていたみんなに、今夜は1曲1曲、僕らの想いをぶつけていきたいと思います』

巧みな真矢のタム回しが、往年の頃以上に小気味よく響いた「Déjàvu」。トリプルネックギターを駆使しながら、SUGIZOがスケール感のあるサウンドを繰り出した「GENESIS OF MIND～夢の彼方へ～」。アリーナ部分にせり出したセンターステージにて、RYUICHIがヴォーカリストとしての真髄を発揮した「I for you」。Jのマイクパフォーマンスと、おなじみのマイクスタンド投げまで拝めた「ROSIER」。躍動感たっぷりなINORANのリフから始まった、本編ラストの「TONIGHT」…。

数々の名曲たちが、新たな息吹を込められながら甦っていく様は、壮観にして感動的でさえあった。そのアンコールでは本日初披露の新曲「Maria」が演奏される一幕も。このラ[illegible]単なる懐古モードに終始するものではなく、これから始まってゆく日々の[illegible]〝REBOOT〟であることを、この場面で再確認した聴衆もきっと多かった[illegible]。『なんだか、まだまだ騒ぎたりな[illegible]だね(笑)。じゃあ、もういっちょ行くか！ドーム全員でかかって来い！』

やまない歓声に応えてのWアンコールでは、堂に入った〝煽り〟でRYUICHIが場内を沸かせ、そこからなだれ込むかたちで、泣く子も黙る初期からの定番チューン「PRECIOUS...」と、LUNA SEAのワンマンにおいては、ある種の印籠的意味合いも持つ、代表曲中の代表曲「WISH」が高らかに放たれた。

『燃え尽きたよ。明日また生まれ変わるために燃え尽きた。明日、今日ここにいるLUNA SEAはいない。明日は、別の〝LUNACY〟で会いましょう！』

この言葉を最後に、2010年のクリスマス・イヴは盛況と興奮のうちに幕を閉じた。この10年というもの、伝説の存在であり続け、現在シーンで活躍する若手世代たちにも多大なる影響を与えてきたLUNA SEAは、浄化の象徴である黒き新月の如く、ここに甦生したのである。

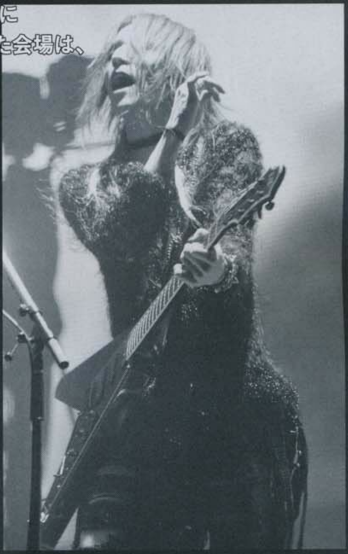
慧美网 vimee.net
蝴蝶网 hudie.com

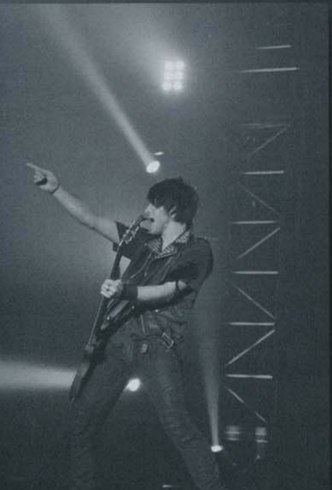
蝴蝶网
hudie.com

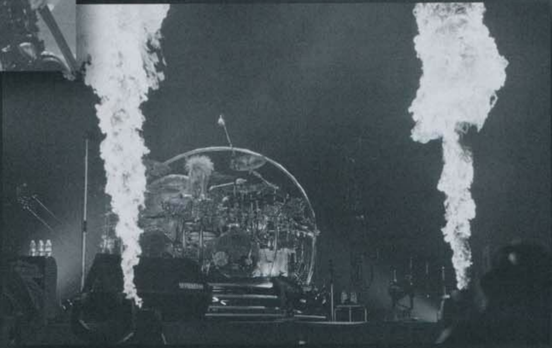
LUNACY
黒服限定GIG
~the Holy Night~
2010.12.25 TOKYO DOME

"REBOOT"と題されたワールド・ツアーが発表された後、
驚くべきニュースが我々に届けられた。それは、今や伝説とも言える
"黒服限定GIG"の開催。"黒服"がドレスコードに定められた、
完全無料での"LUNACY"公演の決定だった。見事なまでに
真っ黒に染まり、開演前とは思えぬほどの静寂さが張り詰めていた会場は、
ライヴが始まると同時に"狂気"に包まれたのだった。

Report:ERI MIZUTANI







中学生の頃、クラスにLUNA SEAファンがいた。〝LUNA SEAって何?〟今思えば、ずいぶんとんちんかんな質問をしたものだが、当時の私ときたら、そういったロックバンドの音楽とはまるで無縁。だが、〝何って、最高にカッコいい5人組だよ〟という一言をキッカケに、LUNA SEAの音楽を知ることになる。その時、友人とよく話していたのは、〝もう少し大きくなったらライヴに行ってみたい〟ということだった。

しばらくして、その夢が叶う日がやってきた。忘れもしない、あれは1998年の夏。『WALT DISNEY PICTURES PRESENTS MULAN MEETS LUNA SEA 1998 REVIVE 真夏の野外』と題された、横浜スタジアムでの2daysライヴ。座席はスタンド席の1番上という、ものすごく見にくい位置ではあったのだが、とにかく生のLUNA SEAが見られることが嬉しくてたまらなかった。地元にもかかわらず、やたらに早い時間に集合したのも今となっては懐かしい思い出だ。そういえばその時、何を着ていくかで相当悩んだ気がする。結局は、Tシャツにジーパンという至って普通の服装にしたのだが、周りのファンは見事なまでに黒服だらけ。メンバーの格好を完璧なまでに真似たSLAVEを目にした時には、いっそのこと、学校の制服にしたほうが良かったのではないかと肩を落としたものだ。しかし、いざライヴが始まってしまえば、そんなことは一切気にならず。結局、米粒サイズでしかメンバーの姿は見えなかったのだが、そこで奏でられた楽曲のひとつひとつは、高校生だった私にとって、言葉では言い表せないほどの衝撃を与えてくれた。と同時に、こんなにもすごいバンドのライヴをどうして今まで見てこなかったのかと後悔した。初期のLUNA SEA、さらには、LUNACYというものを一目でも見てみたかったというのが、帰り道での会話である。…あれから10数年。まさか、その夢が本当になるとは思ってもみなかった。

2010年12月25日、彼らは、〝LUNACY〟として、東京ドームで完全入場無料の『黒服限定GIG~the Holy Night~』を行なうことを発表。インディーズ当時、活動拠点としていた町田プレイ

蝴蝶网
hudie.com

【set list】
聖歌隊
1.FATE
2.Déjàvu
3.MECHANICAL DANCE
4.IMITATION
5.Image
6.SLAVE
7.BRANCH ROAD
8.SANDY TIME
9.SYMPTOM
10.SUSPICIOUS
11.SEARCH FOR REASON
12.Dr & Bass Solo
13.BLUE TRANSPARENCY
14.SHADE
15.CHESS
16.TIME IS DEAD
17.PRECIOUS...
18.NIGHTMARE
-ENCORE-
19.ROSIER
20.MOTHER

を知[illegible]泣いて喜んだはずだ。

そして、ライヴ当日。ドームは真っ黒に染まった。ドレスコードが〝黒服〟とあって、辺り一面、黒だらけ。最近のバンドのライヴではなかなか見ることが出来ない光景なだけに、かなりの迫力。中には、〝こんな黒だけど大丈夫かな?〟という会話をしている子も。そのやり取り、昔の自分を見ているようで何だか微笑ましい。

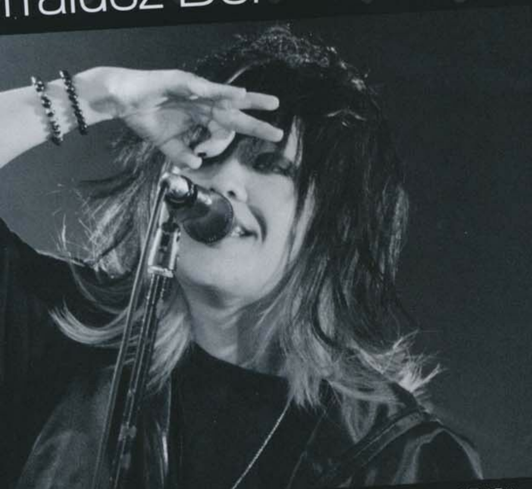
17時半、黒装束に身を包んだメンバーがステージに姿を現した。5万人の観客は、悲鳴に似た声を上げた。それを見たそれもそのはず、彼らは当時の雰囲気を忠実に再現したメイクと髪型をしていたのだから。〝狂気〟という意味を持つLUNACY。20年の時を越え、今、鮮やかに蘇る。オープニングに用意されたのは「FATE」。そこから「Déjàvu」へと移ると、RYUICHIの甘く艶やかな歌声が会場全体に広がっていく。そこに乗るSUGIZOの鋭い刃のような音色と、繊細さを含んだINORANのギターは、Jが奏でるどっしりとしたベースをより一層引き立てた。

『久々に、当時のLUNACYが蘇りました。会いたかったぜ、みんな！ 今夜は真剣に遊びましょう！』その言葉どおり、ここから先は、とてつもない遊びが待っていた。観客の歓声に応えるようにして、メンバーは次々に懐かしい曲を披露。1曲終わるごとに涙を流していたファンもいたほどだ。どの曲も最高だったが、個人的には、ドラム・ソロにいたく感動した。それは、『真夏の野外』を見た時と同じ。真矢のドラマーとしてのセンスに改めて脱帽した。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、誰もがLUNACYの魅力を再確認したその時、RYUICHIは言った。『次は違うLUNA SEAで会おう』

LUNA SEAとして、神戸でのカウントダウン公演を示唆してはいたものの、この後の彼らがどのような形になるのか、いつ頃なのか、まだはっきりとは分からない。けれど、待っていれば必ず、彼らはまた我々の前に現れるだろう。〝遊びの時間はまだ始まったばかり〟そう言いたげな表情を浮かべながら、5人はステージを後にした。

m'aidez Dei



1.モノラル
2.十字架
3.寂漠の空
4.形のない日

SHOCK WAVE アポロ Vol.45

Live at 高田馬場AREA 2010.12.18

2010年最後となる「SHOCK WAVEアポロ」。毎月18日に高田馬場AREAを舞台に開催しているこのイベントも、本当に歴史を重ねてきました。今回出演したのは、m'aidez Dei・Vellga・ヴィデオグラマァ・Annie's Blank・TOON-FACTORY・SCAPEGOAT・我羇道の7バンド。新顔・常連取り揃えたこの日の模様、さっそく報告します。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX）
Report:TOMONORI NAGASAWA

ヴィデオグラマァ

1.虚構天國
2.時代・スパンコール・錯誤
3.蛇の目の目
4.百舌らいと
5.雌号棟
6.警回

Vellga

1.斑雨
2.One more「」
3.Armin arm
4.陽炎

感情的＝叫ぶ、吐き[illegible]るとい うスタイルが目立つ[illegible]ーンの中、線の柔らかい歌声を最大の魅力にした、想いを胸の内[illegible]ける姿勢を軸に据えたバン[illegible]った。m'aidez Dei。メーデ[illegible]「モノラル」で描いた耽美な世界観にまどろんだ、冒頭。次の[illegible]十字架では、激烈なギター音[illegible]けてきた。それでも、歌声[illegible]らかい妖美性はしっかり生きている。量面では発展途上段階だ[illegible]でも、無料配布音源歌「形のない日」を含め耽美メロウな独創的世界観を持ったバンドだけに、今後の成[illegible]が非常に気になった。

この日のVellgaのステージは、これまで応援し続けてきたファンたちにとっては、とてもショックの大きな場になった。ツイン・ギターからワン・ギターへの変貌というアクシデントを乗り越え、ようやく一つの形を作りあげたVellgaだったが、残ったギターも、この記事を目にする頃には脱退。バンドも、活動休止という状態に陥ってしまった。この日のライヴを観ていても、4人のバランスも整い、ライヴハウスという空間を自身の色に染めゆく技量を身につけていただけに、その報告は残念だ。しばし復活の日まで、記憶にとどめておこう。

ディープ・パープルの「スモーク・オン・ザ・ウォーター」の名フレーズをパロッたリフを軸に据えたり、80年代ニューウェイブ・ゴシック（ポジパン）的な香りを内包したり等、洋楽ロックの要素も取り入れたスタイルが、他のバンド群とは一線を隠しているヴィデオグラマァ。彼ら、90年代V系の影響も多分に受けているのだろうか?!「時代・スパンコール・錯誤」など、まさに往時のダークメロ系バンドが醸しだしていた匂いの歌。昨今のV系バンドの形から逸脱した、昭和アングラな音楽性もやたら胸に染みる彼らに、ニューウェイブ宣言された気分だ。

見た目だけを捉えれば、"ラフ美系"。演奏楽曲も、V-ROCKの範疇に寄ってはいるが、比較的J-ROCK寄り。でも、心に突き刺さるメロ展開や歌詞の世界観は、"ど真ん中のV系スタイル"。Annie's Blank、その絶妙なバランスに面白

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

TOON-FACTORY

1.Still alive
2.Squall
3.Sarcastic story
4.イノセント

Annie's Blank

1.Cage
2.amid
3.Call m
4.Ambit
5.expan

我羈道

1.もう泣かないと空に誓った日
2.病んでる時に唄う歌
3.チェックメイト
4.今幸いなことに嘘は付かないで
5.おちゃめPOP
6.ぐりぐりヘヴィ

SCAPEGOAT

1.Strawberry black ma
2.アカイイト
3.ミライグラフィティ
4.サイレン

い。でも奏でる曲は、まさにVメロ系のツボを突いている。要は、見る側がそこに惚れるか、視線を逸らすかということになってくる。中では、B'z風楽曲も提示。まさに、イマドキの感性で音を描き出したバンドだ。

冒頭に奏でた「Still alive」の時点から、会場中の人たちを縦軸に揺らしていったTOON-FACTORY。このイベントの常連さんだからこそ、観るたびに楽曲・演奏の精度が高くなってゆくのを感じている。極上の刹那メロウ歌「Squall」に胸をしめつけられ、「Sarcastic story」では、甘美なまでに心吸いよせらる美メロな歌と演奏に、身を捧げゆく気分さえ抱いていた。ラストは、激烈ディスコロック・ナンバー「イノセント」を通し、会場中の人たちを熱く熱く揺さぶり続けていった。

ド頭から、観客たちの頭をガシガシ揺さぶっていったのがSCAPEGOAT。フリーキー&メロな二面性をミックスアップした「Strawberry black market」を通した、熱狂の絵図。SCAPEGOATの場合、会場中を熱く掻き乱してゆくライヴノリを魅力にしたバンドという印象強いが、「ミライグラフィティ」のようなハートをガシッとつかむ歌心あふれる楽曲を届けられたら、また違った感情の琴線を刺激され、ますます惚れてしまう気持ちも納得だ。激煽り歌「サイレン」など、この日も多彩な表情で魅了してくれた。

舞台上にメンバーが並んだ時点で、華あふれる印象を抱かせた我羈道。「もう泣かないと空に誓った日」の時点から、ヴォーカリストが次々マイクをリレー。それぞれの歌声へ2人のハーモニーが重なりあい、重奏な声の虹を描きあげてゆく。もちろん、雅びやかな歌声たちを彩る激しくもドラマ性を持った演奏も、感情を嬉しいくらいに揺さぶっていく。激しめな表情を軸に置きながら、歌声は美しい声のタペストリーを魅せてゆく。たとえヘヴィ系の楽曲でも、多声活かした歌を届けてゆく姿勢こそ我羈道らしさ。会場中の人たちが我を忘れ熱狂してようが、胸に想い残るのも、そこに軸があることを忘れてないからだろう。

蝴蝶网
hudie.com

ゴールデンボンバー 旧譜フェア 開催中

3000円お買い上げ毎にオリジナル特典プレゼント！

オリジナル特典：カレンダーカード
集合写真柄+個人写真柄（4種類のうちランダムで1枚）さしあげます

NOW ON SALE ゴールデン・アワー 〜下半期ベスト2010〜
特典あり 初回限定盤A・B：コメントDVD 通常盤：ポストカード
初回限定盤A・B ¥2,500／通常盤 ¥1,980

...e0AGe ...ini Album FATE ¥2,500
★封入特典：トレカ

girugamesh 1/26 Full Album GO 激アツ盤 ¥5,555 通常盤 ¥3,150
★オリジナル特典：ポストカードセット

TOON-FACTORY Maxi Single 連続リリース 1/26 Chloris ¥1,260 / 2/23 2Logic ¥1,260 イベントあり

DIR EN GREY NO IMAGE Maxi Single 1/26 LOTUS 初回限定盤 ¥1,890 通常盤 ¥1,260

Blu-BiLLioN イベントあり Maxi Single 1/26 colours 初回盤 ¥1,890 通常盤 ¥1,260
★オリジナル特典（初回盤）DVD（全店舗共通映像）&フォト（通常盤）フォト5枚組

...修羅 ...axi Single 贖い ¥1,260

PANIC☆Ch パニックちゃんねる Maxi Single ¥1,260 2/2 泣き顔フェチ/Best way!!

マイドラゴン Maxi Single 2/2 二次元コンプレックス TYPE A ¥1,890／TYPE B・C ¥1,575
★オリジナル特典：メッセージDVD（別内容）封入特典：トレカ

雅-MIYAVI- Maxi Single ¥2,980 2/2 WHAT'S MY NAME? e.p.

Alice Nine Full Album 2/9 GEMINI 初回限定盤 ¥3,780 通常盤 ¥3,150

...京ミカエル。 ...LBUM ¥3,675 ...ベリー ベスト オブ 東京ミカエル。

DOG inthe パラレルワールドオーケストラ イベントあり Full Album 2/9 ONE 初回限定盤 ¥3,990 通常盤 ¥3,150
★オリジナル特典：アーティストフォト5枚組（別柄：名古屋・大阪店のみ直筆サイン入り）さらに初回盤のみオリジナルDVD／メーカー特典：ポスター（別柄）

NightingeiL 2/9 Maxi Single 水銀 ¥1,575

ADAPTER。 Maxi Single 限定盤 ¥1,890／通常盤 ¥1,050 2/11 Please Please You c/w Began to run there

cali≠gari 2/11 Full Album ¥7,980 再教育 改訂版 Goods ¥1,500 cali≠gari×[BE@RBRICK]

...iBi ...D ¥3,800 ...NEXT NEW STAR

SaT イベントあり Maxi Single ¥1,500 2/14 BEST FRIEND

ムック NO IMAGE LIVE DVD 2/14 WINTER CIRCUIT 2010 @NHKホール 初回限定盤 ¥6,090／通常盤 ¥4,800

葵&涼平 incl.アヤビエメガマソ 2/16 Maxi Single モノクローム
徳間ジャパン盤：初回限定盤 ¥1,890／通常盤 ¥1,260
エイベックス盤：初回限定盤 ¥1,890／通常盤 ¥1,260

我羅道 イベントあり Maxi Single 連続リリース 2/16 happymaker ¥2,100 ★メーカー特典：コメント4+マル秘映像
3/16 言葉 ¥2,625 ★メーカー特典 コメント5+マル秘映像

...ガマソ ...um Loveless, more Loveless 初回限定盤 ¥3,800／通常盤 ¥3,150
★封入特典：トレカ

AYABIE Maxi Single 2/23 Melody 通常盤 ¥1,260 限定盤A ¥1,260 限定盤B ¥1,890

シド NO IMAGE 2/23 Full Album dead stock 初回限定盤A・B ¥3,800／通常盤 ¥3,100
3/16 LIVE DVD SIDNAD Vol.6〜LIVE 2010〜 限定盤 ¥9,800／通常盤 ¥7,800

Kazutoshi Yokoyama, Hitoki, Death-Oからなる Dummy's Corporation LIVE DVD ¥3,150 2/23 Road to set tie II 〜参上！参拝！SUN HIGH ツアー 2010〜ファイナルプレゼンテーション

ワン★スター Maxi Single 連続リリース 2/23 CHAMELEON DISCO ¥1,500 / 3/30 EAGLE TEXTURE ¥1,500

... ...um 夢幻鳳影 イベントあり 初回限定盤 ¥3,675／通常盤 ¥3,150
...典：トレカ2枚+特典応募ハガキ&応募券

Synside Maxi Single 3/2 TRUTH ¥1,575

PlasticTree 3/2 Full Album ammonite 初回限定盤 ¥3,675／通常盤 ¥3,150

MoNoLith Maxi Single 連続リリース！ 3/2 3月2日、桜色 ¥1,575 / 4/6 タイトル未定 ¥1,575 / 5/11 タイトル未定 ¥1,575

yuina NO IMAGE ex.Dolly yuinaソロ活動始動！！ Maxi Single 3/2 花言葉 TYPE A・B ¥1,260

...5 ...axi Single タイトル未定 ...回限定盤 A・B ¥1,800／通常盤 ¥1,260

the GazettE NO IMAGE LIVE DVD 初回限定盤 ¥9,765／通常盤 ¥6,090 3/23 THE NAMELESS LIBERTY AT10.12.26 TOKYO DOME
BEST ALBUM BEST ALBUM TRACES BEST OF 2005-2009 ¥3,150

お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】 3/23 Mini Album albare TYPE A ¥2,940／TYPE B ¥2,625

Re:dis Mini Album ¥2,500 3/30 Can you hear it?

Lycaon Mini Album 4/27 情欲のアクメ ¥2,500

...n Edison.com ラフォーレ原宿店イベント情報

- ...-BiLLioN スタンプサーキット ...PM6:00〜 内容未定
- STEALTH 1/29 PM6:00〜 トーク＆握手会
- ...ie's Black ...会場：渋谷STAR LOUNGE ...サイン&6ショット撮影&ハグ会
- LOST ASH 2/5 PM6:00〜 ...&握手&サイン会
- ...手バディーズ PM3:00〜 ...バディーズと写るんですの会』
- DOG inthe パラレルワールドオーケストラ 2/19 PM2:00〜 トーク&サイン&5ショット撮影会

ライカエジソン WEBショップ Like an Edison.com
ライカエジソン通販改革！ さらに便利になりました！
ライカエジソンのWEBショップがオープンしました！
これまでの電話受付、携帯サイト受付に加えパソコンからのご注文も出来るようになりました！
どんどん便利になっていくライカエジソン通販を是非ご利用下さい！詳しくは「ライカエジソン」で検索！！

PC>http://www.like-an-edison.com/

通信販売専用ダイヤル 0120-624-999
もしくはライカエジソン東京店（03-3369-3119）まで！
お問合せはお電話で！ 全国一律送料400円！！
*代金引換の場合は手数料が別途300円です。

通信販売をご利用で、名古屋／大阪のイベントへご参加希望のお客様へ
通信販売でもイベント参加可能です（但し枚数制限がございます）※一部対象外のイベントがございます。詳しくは通販センターまでお問合せください。
通信販売は東京店で受付しております（名古屋店／大阪店では通信販売を行っておりません）
尚、イベント参加希望のお客様の通信販売の受付は現金書留のみとなります。

ライカエジソン東京店
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-15-14 坂本ビル1F／2F
☎(1F)03-3369-3119／(2F)03-3369-3708

ライカエジソン名古屋店
〒460-0011
愛知県名古屋市中区大須2-1-15 伏見ヨックスビル2F
☎052-229-8211

ライカエジソン大阪店
〒542-0086
大阪府大阪市中央区西心斎橋1-6-8 トムズハウスビルディング2F
☎06-6252-6262

Like an Edison.com ラフォーレ原宿店
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿B1F
☎03-3746-6002

蝴蝶 hudie.com

Like an Edison Release Information

ライカエジソンのブログ オープンしました！

★東京店、原宿店、名古屋店、大阪店の日常や情報が満載の「スタッフブログ」▶ http://ameblo.jp/like-an-edison-blog/
★全スタッフより音源の聴き所などをお伝えする「ヴィジュアル・ソムリエ」▶ http://ameblo.jp/like-an-edison-sommelie

■ライカエジソンディストリビューション 今月のおすすめ

※価格はすべて税

専門店ではライカエジソンのみの販売！！

cali≠gari

2/11 Full Album ¥7,980
再教育 改訂版
Goods ¥1,500
cali≠gari×[BE@RBRICK]

yuina

NO IMAGE

ex.Dolly yuinaソロ活動始動！！
2009年11月5日にDollyを脱退後、自分の音楽性を見つめ直し、約1年に渡る楽曲制作を経て活動再開！！
プロデューサーにDIE(hide with Spread Beaver)を迎えた注目作！！

Maxi Single
3/2 **花言葉** TYPE A・B ¥1,260
A type 収録曲 1.「花言葉」 2. 猫被りな O 型女の本音の唄
B type 収録曲 1.「花言葉」 2. セミセラ、セミセラ、ソプラン

呀修羅

Maxi Single
1/27 **贖い** ¥1,260

PANIC☆Ch パニックちゃんねる

Maxi Single
2/2 **泣き顔フェチ/Best way!!** ¥1,260

Dummy's Corporation

Kazutoshi Yokoyama, Hitoki, Death-Oからなる

LIVE DVD
2/23 **Road to set tie II**
～参上！参拝！SUN HIGH ツアー 2010～ファイナルプレゼンテーション
¥3,150

MoNoLith

Maxi Single 連続リリース！
3/2 **3月2日、桜色** ¥1,575
4/6 **タイトル未定** ¥1,575
5/11 **タイトル未定** ¥1,575

Shimizuya Records リリース情報

Lycaon

Mini Album
4/27 **情欲のアクメ**
¥2,500

Re:dis

Mini Album
3/30 **Can you hear it?**
¥2,500

ワン★スター

Maxi Single 連続リリース
2/23 **CHAMELEON DISCO** ¥1,500
3/30 **EAGLE TEXTURE** ¥1,500

★東京店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

葵 from 彩冷える	1/21(金)	PM6:00～ GAME(私物プレゼント有)&サイン会
Ricky	1/22(土)	PM6:00～ トーク&サイン会
花少年バディーズ	1/23(日)	PM3:00～『笑ゥ花少年バディーズ～ココロのスキマお埋めします～』&サイン会
ヴィドール(ジュイ)	1/23(日)	PM6:00～ トーク&握手会
アヲイ	1/28(金)	PM6:00～ トーク&握手&サイン会
東京ヒーローズ	1/29(土)	PM3:00～ トーク&握手&サイン会
HERO	1/30(水)	【1部】PM3:00～【2部】PM5:30～ トーク&5ショット撮影会
Annie's Black	2/ 5(土)	PM3:00～ トーク&サイン&6ショット撮影&ハグ会(会場:渋谷STAR LOUNGE)
PIECElang	2/ 5(土)	PM5:00～ トーク&握手&サイン会
マモノ	2/ 6(日)	PM3:00～ トーク&握手&サイン会
DOG intheパラレルワールドオーケストラ	2/19(土)	PM6:00～ トーク&5ショット撮影会♣
SaT	2/20(日)	PM6:00～ アコースティックライブ&トーク&握手&サイン会
TOON-FATORY	2/26(土)	PM5:00～ トーク&握手&サイン会+α
我籠道	3/19(土)	PM6:30～ 握手&サイン会
己龍	3/27(日)	PM2:00～ 九条武政プレゼンツ トーク&握手&サイン会

★名古屋店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

ヴィドール(ジュイ)	1/22(土)	PM2:00～ トーク&握手会
STEALTH	1/22(土)	PM6:00～ トーク&握手会
東京ヒーローズ	1/23(日)	PM1:00～ トーク&握手&サイン会
SEX-ANDROID	1/23(日)	PM2:30～ トーク&握手&サイン会
人格ラヂオ	1/23(日)	PM4:00～ トーク&握手会
LOST ASH	1/29(金)	PM6:00～『私物争奪！?じゃんけん大会～名古屋編～』トーク&握手&5ショット撮影会
花少年バディーズ	1/30(土)	PM1:00～『花少年バディーズのちょっと○○な話』&握手&サイン会
DOG intheパラレルワールドオーケストラ	1/30(土)	PM3:00～ トーク&5ショット撮影会♣
DaizyStripper	2/27(日)	PM12:00～ トーク&握手会
己龍	3/20(日)	PM2:00～ 一色日和プレゼンツ トーク&握手&サイン会

★大阪店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

SEX-ANDROID	1/21(金)	PM6:30～ トーク&握手&サイン会
東京ヒーローズ	1/22(土)	PM1:00～ トーク&握手&サイン会
人格ラヂオ	1/22(土)	PM4:00～ トーク&握手会
ヴィドール(ジュイ)	1/22(土)	PM7:00～ トーク&握手会
葵 from 彩冷える	1/23(日)	PM1:00～ GAME(私物プレゼント有)&サイン会
STEALTH	1/23(日)	PM6:00～ トーク&握手会
DOG intheパラレルワールドオーケストラ	1/29(土)	PM2:00～ トーク&5ショット撮影
花少年バディーズ	1/29(土)	PM4:00～『ビストロバディーズ』&サイン会
Kaya	1/29(土)	PM6:00～ トーク&握手&サイン会
LOST ASH	1/30(日)	PM5:00～『私物争奪！?じゃんけん大会～大阪編～』トーク&握手&5ショット
DaizyStripper	2/27(日)	PM6:00～ トーク&握手会
己龍	3/18(金)	PM6:00～ 黒崎眞弥プレゼンツ トーク&握手&サイン

SHOXX MODE

蝴蝶网 hudie.com

SHOXXが厳選してお届けする最新情報!!

DEATHGAZE

SHOXX VOICE!!

2010年はライヴ三昧だったというDEATHGAZE。lynch.のツアーに同行し、オープニングサポートとして強烈な印象を与えたのも記憶に新しい。そんな、一回り成長した彼らが、待望のフル・アルバム『BLISS OUT』をリリース。作品の中で、"闇"と"光"を表現しているというだけに、聴き応えあり。今年は、昨年同様、ライヴをたくさんやっていくとのことなので、ぜひ、どこかに足を運んでいただきたい。

Interview:ERI MIZUTANI

核は残しながらも一歩先に行けた『BLISS OUT』

——昨年はlynch.のツアーでオープニングサポートとして活躍されました。

藍：33ヶ所、ガッツリと全国を廻ったんです。ライヴを終えてみて思ったのは、僕らにしか出来ないことを見せられたということでしたね。また、足りないところにも気付くことが出来たので、とても充実していました。

——そんな中、ニュー・アルバム『BLISS OUT』がリリース。これは、ツアーの合間をぬって制作をしたのですか？

藍：始めたのは、出る前ですね。それこそ、一昨年の年末ぐらいから、2010年はアルバムを出したいなと考えていたんです。それで、曲が集まった時点で、制作を始めていって。なので、曲メインで他を決めていったという感じですね。

——藍さんとしては、どのような想いでアルバム作っていったのでしょう？

藍："至福を与える"という意味のタイトルなだけに、感謝の気持ちを表したかったんです。僕らがこうして活動できているのもいろいろな人の協力があってこそ。そういった想いを込めて作っていったんですけど、最初にアルバムを作りたいと漠然と思った時は、僕らにしか出来ないというものを作りたくて。それで、2枚組という形でリリースしようと。ここには、過去に出した曲がリテイクで収録されているんですけど、なかなか面白く仕上ったのではないかなと。あと、新曲に関して言うと、ボトムを重視させたものがほしくて。

——確かに、以前と比べると、よりしっかりとした印象を受けます。そこは、リズム隊で話し合いを？

直樹：簡単には。

孝介：毎度のことなんですけど、そんなにはしてないんですよね(笑)。

藍：今回、特にそうだったよね。作り込むというよりは、ラフにやっていったというか。まぁ、それも、レコーディングを重ねて気付いたことなんですけど。

——なるほど。ちなみに、各々、これは！という曲はありますか？

直樹：個人的には、「GOD BLESS YOU」が気に入っています。この曲、いちばん最初に聴いた時の衝撃がすごくて。藍ちゃ

よね。DEATHGAZEの良いとこ取りっていうか、激しさとメロディアスなところがうまく絡んでいる1曲だと思います。だからこそ、オープニングに相応しいと思ったし。

──そうやって、どこの位置に入れるかが明確になると、自分の出したい音も早い段階で決まってくるのでは？

直樹：そうですね。ただ、テンポがめちゃくちゃ速い曲なので、ライヴでやるときはランナーズハイのような気分にならないと叩けないんですよ。

──それは大変（笑）。

直樹：ドラム泣かせなんですよ、「GOD BLESS YOU」と、その次の「CRASH DOWN」は。テンポ速いし、手数多いし。まぁ、いつものことと言ったら、いつものことなんですけど、このレコーディングは鬼でした（笑）。でも、どの曲に対しても、曲を感じたままに叩けたので、自分というのはこれだ、というのが出せたと思います。

──そのおかげで、ボトムがしっかりとしました。

孝介：ベース録りは、相変わらずサクッと終わったんですよ。

──それこそ、ラフな感じで？

孝介：部分的に苦戦したところもあったんですけど、わりとそうですね。今回、アルバム制作にあたって個人的な目標というと、ベースっぽくいこうってことだったんです。あれは確か、名古屋でのライヴだったかな、ベースっぽい音を出しているなって思ったんですよ。同時に、今までは変にやりすぎていたなぁって。それで、そこを意識しつつ、レコーディングに臨んだので、大人な感じの音に仕上っていると思います。

──その、やりすぎていたなというのは、誰かに言われて気付いたのですか？

孝介：いや、自分で、ですね。何ていうか、他の楽器の音との兼ね合いを考えたら見えたんですよ。前は、ギャンギャン鳴っていればいいっていう考えだったんですけどね。きっと、成長したんだと思います（笑）。

──成長した自分を出せた曲というと？

孝介：直樹さんと一緒になっちゃうんですけど、1曲目ですね。初めて聴いた

これはベースが重要になってくるって感じたし、自分でもやりたいようにやれたので満足しています。

──闇を出しながらも光を感じさせる音といいますか。

孝介：その2面性がこの曲には表れているんですよね。だからこそ、他の曲も引き立っているんだと思うし、こうして出来上がったものを聴いてみると、DEATHGAZEってカッコいいなって。

──ご自身でも、けっこうな回数聴いているそうで。

貴樹(Gt)

藍(Vo)

直樹(Dr)

孝介(Ba)

孝介：珍しく、リピートしていますね。さすがに、レコーディング中は同じフレーズばっかり聴いているので腹いっぱいなんですけど（笑）、聴けば聴くほど、みんなやるなぁって思うんです。

藍：俺、ずっと2010年はベースが目立つから！って孝介に言っていたんですよ。そのおかげで、骨太な音を作ってくれたのですごく嬉しくて。でも、逆に、ギターには特に要望は出さなかったんですね。聴いたままに弾いてくれって言ったぐらいで。

──それを受けて、貴樹さんはどう思わ

貴樹：俺の心がけたことは、闇の部分を出すということで。ぶっちゃけ、今までのDEATHGAZEにはなかった部分が多く詰め込まれた作品になっていると思うんですよ、この『BLISS OUT』というアルバムは。

──そう思います。

貴樹：だから敢えて、激しさを大事にしたいと思ったんですね。全体を通して、だいぶ聴きやすくはなっていたので。

──"闇"の部分がいちばん引き立った曲というと、どれになります？

貴樹：「CRASH DOWN」ですかね。何か、始めの辺りが好きなんですよ。こういった部分をもっと攻めていきたいなって自分では思っているんです。あと、激しさとは対象的に、ミディアムテンポな楽曲では、気持ちを大事にして弾いていきました。やっぱり、気持ちを入れると音に表れてくるんですよね。

──でもそれって、かなりの感情を持っていないと出せないことですよね？

貴樹：そこはもう、曲の主人公になりきるしかないです。で、気持ちを高めて、こうやって顔で弾くっていうか（笑）。同

てきますから。

──確かに、感情が詰まっていないと、とても平面的に聴こえてしまいます。

貴樹：今回のレコーディングはそこを学びましたね。

藍：そこはヴォーカルも大事なことで。今回も、歌に関しては、自分のジャッジで作業を進めていったんです。今までは納得できないと何時間もかけて録っていたんですけど、ラフな気持ちで歌ったせいか、そこまで時間もかからなくて。そうやって力を抜いたおかげで、曲ごとにいろいろな面を見せられたと思います。

──良いアルバムになりましたね。

藍：DEATHGAZEの核は残しながらも、そこから一歩先に行けた感じがします。だからこそ、これから何でも出来そうだなと思えたし。

──そう思えるということは、2010年が充実していたからですよね。

孝介：常にライヴをやっていたり、スタジオにいたりと、忙しくしていたので、とても充実していたなぁと。

貴樹：ライヴそうですけど、このアルバムも、いろいろとみんなとやれて良かったです。ホント、楽しい1年になりました。

直樹：振り返ってみると、本当にライヴが多かったなって。過酷なこともあったけれど、そこで気が付いたこともあったし、芯から強くなれたんじゃないかなと思います。

──2011年はアルバムを引っ提げてのツアーが待っています。どのような年にしていきたいと考えていますか？

藍：2010年はライヴイヤーとしてアグレッシヴに動いた分、今年も引き続き頑張っていきます。何せ、年明けからライヴが始まってしまうので（笑）、無駄なものを省きつつ、自分たちがやりたいと思ったことをちゃんと出来る活動をしていきたいなと。今が良い調子で出来ているので、2011年は結果を求めてやっていきたいですね。

──3月に名古屋で行なわれる2daysワンマンでは、さらなる成長に期待していていいということですね。

藍：はい。そのためにも、楽曲を育てて、ライヴのたびに成長していきたいなと思っています。

SHOXX VOICE!!

the Riotts.

蝴蝶网
hudie.com

品ごとヴォーカルを変えてゆくスタイルで表現し続けています。待望のアルバム『RIOT STAR』は、3枚目の作品でヴォーカルを取っていた歩さんに歌を統一する形で作り上げました。

たら：先に、改めてthe Riotts.の成り立ちを説明しておきたいんですけど、このバンドは、176BIZのメンバーとして活動してきた雪希と楓栖。同バンドを家庭の事情から先に脱退していた僕が、雪希が当時作りあげながら、発表にまで至らずにいた楽曲たちを、ファンのみんなへ届けたいという想いに賛同して集結。さらに、前のバンド時代か活動をズッと待っていてくれてるファンの声に応える形で、雪希の届けたかった曲たちのすべてをみんなへ届けるため、活動を行っています。the Riotts.は、これまで3枚の作品を発売。1作1作が意味を持ちながら、また、あえてレギュラーのヴォーカリストを置かずに、作品ごとに似合うヴォーカリストを迎えが不在のバンドという特異な形態を活かして1枚1枚作りあげてきました。しかもありがたいことに、すべて完売。それらの楽曲の一部も伝えつつ、雪希の書き貯めていた曲を全部形にする想いを胸に、アルバム制作をスタート。そのうえで「異なる声の表情を1枚に散りばめるよりは、1人のヴォーカリストでアルバム1枚を統一しよう」との想いから、3枚目の作品に引き続き、歩くんの歌声で今回の作品も作りあげました。

雪希：このバンド自体が、応援してくれたファンのみんなへ伝えたかった楽曲たちを作品にして届ける使命感を持って始まったバンドだったことから、楽曲に似合う歌い手と組むことで、作品ごとの化学反応を楽しんできました。過去の楽曲も、表現力豊かな歩くんの歌で統一したことによって、また違った見え方がしてきたのも面白かったことでしたね。

たら：これまでthe Riotts.として発表してきた作品が、嬉しいことにすべて完売。この『RIOT STAR』は、そんなバンドの歩みを集大成的な面も持ったアルバムとして出すんですけど。これまでの僕たちは先に語ったような理由か

ス活動の多いバンドではなかったんです。そのぶん、音源を出すなら、1作1作に〝その作品だからこそ〟という明確な意志や想い、必要性を詰め込んできました。そして作品ごとに、しっかり完結したものを作りあげてきました。一度完結させた作品たちだからこそ、3枚の作品たちの楽曲を収録するに当たっても、歌い手が3人いると、もしかしたらオムニバス盤的な雰囲気にもなってしまうんじゃないか？という懸念も、じつはあったんです。

——それもまた、面白そうだけどね。

たら：確かに、そうなんですけど。でもあえて今回は、アルバム全体を統一した色で染め上げたかった。だから歩くんという一人のヴォーカリストへお願いする形を取りながら収録する楽曲の歌声を統一させたわけなんです。むしろ、過去の作品と聴き比べられる人たちは比べて欲しいなと思ってるんです。そうすると、「同じサウンドや同じ歌詞、同じメロディでも、ヴォーカリストが違うだけで、こんなにも楽曲の見え方が違うんだ」という別の楽しさも味わえるはずなので。

——『RIOT STAR』は、これまでのバンドの歩みをひとまとめにした作品でもあるわけですよね。

たら：そうです。この『RIOT STAR』は、今後the Riotts.が新境地を開拓していくうえで、その前にどうしてもやっておかねばならなかったことをまとめあげた、これまでの活動の集大成作になっています。

雪希：the Riotts.は、僕や楓栖、たらが胸の中のしこりとしてあった〝176BIZとしての活動の夢の続き〟を、ファンのみんなからの後押しを受けながら行い続けてきたんです。だからこそまずは、これまでに描きたかった物語の完結となる姿を、アルバム『RIOT STAR』と、2月16日に渋谷O-WESTで行う主催ライヴを通し、支え続けてくれたファンの人たちの瞼に、しっかり焼き付けておきたかったんですよ。

たら：そう。一つ目の総決算としてね。

——楓栖くん自身は、アルバム『RIOT STAR』をどのように捉えてます?!

楓栖：雪希の想いを受け止めつつ、この

そして最期の衝撃がアナタの心を斜め斬り。

音源制作を中心に。作品ごとにゲスト・ヴォーカルを迎えながら活動
続けているthe Riotts.。彼らが1月26日に、待望となるアルバム『RIO
STAR』を発売する。2月6日には渋谷ZEAL LINKでのインストア・イ
ベント。そして2月16日には主催ライヴを渋谷O-WESTで行う。約1年
りのライヴだけに、滅多に見れないその勇士を、君の瞼に焼き付けてお
う！

蝴蝶网
hudie.com

Interview:TOMONORI NAGASA

動しているので、3人が表現したい想いを理想とする形で作りあげた、現状でのthe Riotts.の集大成な作品として完成しました。とにかく、メンバー3人の純粋な想いを、一切濁す事なく…まさに透明な想いを持った音楽として詰め込めた事こそが、何よりも嬉しかったんです。僕らはライヴ本数が非常に少ないバンドなので、僕らにとって大切なこの想い（音源）を、いかにライヴでみんなへ伝えていくかじゃないですかね。

——歩くんは、どうですか？

歩：他のジャンルで活動していた僕を招いてくれた3人と一緒に制作活動をしたことで、たくさんの経験を得ることが出来ました。アルバムでは、他のヴォーカルさんが表現した歌をカバーさせてもらったのですが、僕なりのスタイルで染め上げたので、以前とは異なる表情で楽しめると思います。僕としてはそこを感じてもらえたら嬉しいです。

たら：歩くんとはまた機会があったら、うちらにも参加して欲しいよね。

歩：いや、ぜひ呼んでください。僕にとってもthe Riotts.を通して経験したことは、大きな糧になってると言いますか。正直、僕自身アルバムを出すのも、初だし。渋谷O-WESTという舞台に立つのも初めて。いきなり、いろんな大きな経験をさせてもらえてるのが、すごく嬉しいんです。

——歌い手は統一性がありつつも、楽曲面では、多彩な表情を描きました。だけど、どの作品もクオリティが高いからこそ、曲ごとの表情にしっかり感情移入や気持ちを没入していける。アルバムを聴きながら、そう感じていました。

たら：カラフルな楽曲を描きあげゆく面こそが、雪希の持ち味。それにこのバンド自体が、ライヴ活動を主体に置くのではなく、雪希の曲を音源にして届けるという想いのもと活動をしてきたからこそ、それが良質な音楽を生み出す背景になったというか。これがライヴを中心に活動をしていたら、ライヴを盛り上げるために、こういう曲もやらなきゃいけないとか、いろんな邪念が生まれてくるんですよ。もっと言うなら、〝売れなきゃいけなしたら、どういう曲が必要か〟など、いろんな考えが曲制作の中にも出てきてしまう。だけどthe Riotts.は、ほとんどライヴ活動もやっていないので、そういう邪念が一切なく、ただただ純粋に、雪希の持ってきた良い楽曲を、本当に輝きを持った形にしようという気持ちにのみ突き動かされながらやってきました。結果それが、何事にも左右されず、ズッと聴き続けていける良質な音楽を詰め込んだ作品に仕上がりました。それは、アルバム『RIOT STAR』にも言えること。うちらはライヴ活動がほとんどないにも関わらず、嬉しいくらい支持を得続けてきたのも、そこに要因があったのかなと思ってます。

——もともと歩みのゆったりな。しかもライヴ活動をほとんどしないthe Riotts.だけに、今後の活動も焦ることなく…という形になるのでしょうか？

雪希：そうなります。the Riotts.は解散しないバンドであり、またゲスト・ヴォーカルを迎え活動するというテーマでやりつつ、一つ一つの活動を濃密に演ってきたバンド。最近のライヴはアンコールまで予定調和で決められているじゃないですか。でも本来アンコールって、その場にいた人たちが本気で、もう一度聴きたいと声を上げるものだと思うんです。the Riotts.は、僕らの想いもありますけど176BIZの頃の僕らへ抱いてたファンの人たちが出したアンコールの想いへ応える形として生まれ、the Riotts.と名を変え、ここまで続けてきました。そのために用意した長いアンコールの活動は、ひとまずアルバム『RIOT STAR』と、2月16日に渋谷O-WESTで、しっかり蹴りを付けようと思っています。またthe Riotts.の歌には前向きな想い詰め込んだ内容が多いように、何かに躓きそうになったとき、『RIOT STAR』がみんなの背中を押してゆく糧となる作品になっていけたら嬉しいなと思っています。僕ら自身が、つねにそういう存在であり続けたい。だから、またみんなからアンコールの声がかかったら、動く時期は変わっていくかも知れないね。

蝴蝶网
hudie.com

Interview:MIYUKI MURAYAMA

LOST ASH

汚れてもいい 焦がれた愛を掴んで
全てを乗り越え2人の世界へ

エモをコンセプトに、結成一年目ながら着実に成長を重ねているLOST ASH。一周年記念となる初ワンマンも見事成功に収め、3rdシングル『overHORIZON』を発売、2月3日高田馬場AREAでの発売記念イベントをはじめ、2年目へとさらなる前進を続けている。5月21日渋谷WOMBでのワンマンでは、「DEAD or ALIVE」なる挑戦的なタイトルを掲げ、勝負を賭けていく彼ら。そんな熱い想いをしっかり受け止めてほしい。

──前々作『superNOVA』、前作『innerCORE』と続き、今回の『overHORIZON』もしっかりとしたコンセプトに基づいた作品になっていますね。

Dye：三部作の三作目みたいな感じですね。『superNOVA』を作ったときに、星の話っていうテーマがあったんです。

Daiki：『overHORIZON』は、ブラックホールが関係していて、ブラックホールって、ここから吸い込まれるっていう境界線みたいなのがあるんですよ。

Sai：その線を『overHORIZON』っていうんです。

Dye：それで、ブラックホールを自分たちにたとえて、これ以上近づくと自分たちに吸い込まれる、その境界線を超えて来いと。

Show：何かを引き付けるものとして、人を惹きつける魅力を4つ考えて、それを各々の曲のコンセプトにしたんです。

──まず、「overHORIZON」のテーマが"爽やかさ"ですね。

Daiki：デモで仕上がった段階で、サビですごく開ける、スカッと爽快感の

ある、灰色からサビで白に変わるようなイメージを感じて。すごく爽やかな曲だなっていう印象があったんです。

――資料には、「LOST ASHの音楽性をそのまま投影してる」という紹介がありますが。

Dye：サビで開けるっていうのは、ここで言おうかな…、エモ、というテーマが出てるんです。

――どこでエモと言うか、ねらってましたね？

Dye：はい（笑）。エモーショナルというテーマを掲げてる以上、そこは準じなきゃいけないと言うか。一曲目はいつも僕たちを象徴するような名刺代わりの曲を持ってきたいんです。

――この曲はかなり同期がかなり入ってますよね。

Dye：今までで一番打ち込みの多い曲になってますね。

Show：なので、同期が主張するところは、ギターも抑えて支えていく感じにしたり、ギターはそういうバリエーションをつけてます。

Sai：ベースは、音作りのほうを気にしましたね。同期がたくさん入ってるので、重なった帯域にならないように、ダイナミックに聴こえるように考えました。

――歌詞の内容は、その境界線を人の心にたとえてるんですよね。

Daiki：昔から日本って縦社会で、身分の違いみたいなものはあっても、恋愛をしてしまったりとか、そういうところには絶対壁とか生じるじゃないですか。でも、そんなものも飛び越えて、壁をぶち壊して行こう、そういう意味合いを込めて歌詞を書きました。

――次の「SOUL OF LIBERTY」は"楽しさ"がテーマ。ライヴの楽しさが伝わるノリのいい曲です。

Dye：音楽的にも遊んでみたくて。中間でガラッとテンポが変わって、跳ねるリズムが入ったり、僕たちの中では新しい試みが入ったりしてます。

――それで、ラップも入れようと。

Daiki：このタイトルは、自由な魂っていう意味なので、歌い方も自由に遊んでみようよっていうところからラップが出たんですけど。

――バンドとしては挑戦的な部分が大きいかと思うんですけど。

Dye：俺たちの可能性を広げるためにも必要なことだったと思いますね。ヴィジュアル系はこうだっていう制限を取っ払ってやってみたかったんです。

――新しいことをすると、やっぱり苦労があったりしましたか。

Dye：中間の跳ねるリズムがちょっと。慣れてなかったんで。

Sai：苦労したね。

Dye：作っといて出来なかったです（苦笑）。

――そして「starlight」は"優しさ"がテーマで、これはShow君の曲ですね。

Show：この曲に関してだけは、優しさからイメージして作ったんです。柔らかいイメージがあったんですけど、LOST ASHの曲って激しかったりするんで、ガラッと変えてみようかなと思って。まず、ストリングスとか優しい音をメインで入れて、柔らかいイメージに仕上げた曲になってます。

Dye：それプラスピアノもちょろっと入ってますし、その辺で新しいものになったと思います。でも、リズムに関しては、個人的にはバラードでもフルストロークなんで。それは貫かせていただきました。

――そこで、ベースは？

Sai：僕は、優しさがテーマってShowちゃんから聞いていたんで、いつもより優しい曲にしたくて、ベースも耳に残るようなフレーズを弾いてます。結果、新しい感じの曲になりましたね。

――この歌詞はラブソングですね。

Daiki：これは男の人の本音なんですかね。わかんないですけど、結末を言うと別れちゃってるんですけど。別れをすぐは受け入れられなくても、時間が経つと、人生の中でいい時間を過ごさせてもらったなってプラスに考えられることってあるのかなって思って、そういうのを書いてみました。

――あるのかな？、と思って？

Daiki：人は、人はあるのかなと。

Dye：自分ではないと（笑）。

Daiki：そうですよ（苦笑）それに、優しさがテーマなんで、歌い方も吐息交じりと言うか、そこは意識してレコーディングで挑戦しました。

――最後の「brave」は、タイトルどおり"男らしさ"がテーマで、がっつりと。

Daiki：手のを平を返したように。

Dye：僕たちよりもさらに男らしい系ですね。それは極端に見せてます。

――それで生のバンドの勢いを出してるんですか。

Dye：あえて打ち込みを減らそうっていうのはありました。ストレートに男らしく潔く、力強い感じを出せるように。ライヴでもすごい盛り上がる曲なんで、前へ前へ、そのイメージのまま届いたらいいなっていう感じで作ってました。

――レコーディングも違いました？

Show：イントロもいきなりギターが入ってくるし、ハモりパートも結構あって、左右違うことをやってるんですよ。そこがまた聴き所ですね。打ち込みがない分、ギターで引っ張っていこうっていう気持ちで弾いてますね。

Sai：僕の場合はひたすらライヴで弾きやすく。ドラムとベースはひたすら疾走感っていう感じです。

――歌い方も男臭いですよね。

Daiki：間奏の最後にデスボイスが入ってたりもそうですけど、息の量とかを多く、一音一音を爆発させるようなイメージで発声するようにレコーディングしました。

Dye：少々荒々しいようなテイクでも生かしちゃってる感じなんですよ。

――この4つのテーマは、LOST ASHが持ってる魅力の幅でもあるんでしょうか。

Show：自分達の中から出てきた言葉なんで、おそらく持ってるだろうと。

――人間的にも？　男としても？

一同：（苦笑）

Dye：持ってると信じたいですね（笑）。

――曲調に幅があっても、各々の曲にエモな部分は打ち出してるわけですよね。

Dye：それは、どの曲にもありますね。僕が思う、エモみたいなギターフレーズを入れてもらってるんで。

――各々の曲調に合わせたエモを盛り込んでると。

Show：そこは幅が広がっても変わらないですね。

――2月3日には、発売記念の主催イベントもあるんですよね。

Daiki：この4曲を中心に面白いライヴをやりたいですね。

Dye：面白い企画を用意しようかなと。

Daiki：ライヴ中に罰ゲームやったりしてるんですよ。わさびパンを食べるとか（笑）。

Dye：たまにそういうバカなところも見せていきたいなって。

――最初のバンドのクールなイメージから、かなり違うんですけど（苦笑）。

一同：（笑）

Dye：演奏中はとにかくカッコよく、ギャップを作りたくて。

――そして2011年はどんな活動をしていきたいですか。

Daiki：夏ぐらいにアルバムを出す構想があります。その前に。5月21日渋谷WOMBでセカンドワンマンをやります。

Dye：ファーストワンマンより大きいところで絶対成功させるっていう意気込みを込めて、「DEAD or ALIVE」というタイトルを付けてます。生きるか死ぬかと。

Daiki：僕ら自身、腹をくくって。自分たちの音楽を信じてやっていきたいからこそ、勝負して勝って見せたいんです。絶対ソールドさせて見せます！

hudle.com

ギャロ
リリース&ライヴ情報

ギャロから、リリース&ライヴの情報が届きました。

●2011年春、会場限定シングル『魔王』の続編、満を持して発売決定!!
待望のシングル『大魔王』解禁。詳細は決まり次第、HPにて。

●ギャロ主催ヒカル生誕祝賀公演『東京破廉恥大サーカス-裏世界-』
2011年2月26日（土）高田馬場AREA
開場：16時00分/開演：16時30分
前売：2800円/当日：3300円※ドリンク代別途
出演：ギャロ / aim /ALSDEAD/ dolore / 他

●ギャロ単独公演『玉砕アヴァンギャルド』
2011年3月23日（水）高田馬場AREA
開場：18時00分/開演：18時30分
前売：3000円/当日：3500円※ドリンク代別途
http：//www.9allo.com/

Versailles
バラエティ・ミニドラマ放送決定!!

3月16日にニュー・シングル『Philia』のリリースが決定したVersaillesだが、その曲がテーマソングとして使用され、彼ら自身も出演する新番組『おねがいかなえてヴェルサイユ』の放送が決定した。

この番組は、とある少女の"お願い"を、Versaillesの面々が身体を張って解決していく…という、バラエティ・ミニドラマとのこと。番組収録に先駆けて、去る12月末日、記者会見が行なわれた。

"番組についての意気込み"を問われた5人。『視聴者の願いも叶えてあげたい』とKAMIJOが言えば、『楽しんで、それが視聴者に伝われば』とMASASHI。『面白い番組を作りたいなと思ってます』とHIZAKI。"バラエティ"と"ドラマ"というものが混在する形態に関して問われると…『個人的には舞台の経験があるので、それが生かせたらと。自分なりに"バラエティ"というものを昇華して、自分の好きな"ドラマ"を作りたいなと思います』とKAMIJO。そして、みなさんの叶えたい夢を問われると…『(番組が）無事に成功すること』とYUKIが言えば、TERUからは『お茶の間にメタルを広めたい』と熱い言葉が！ そして、『みなさんの夢を叶える番組です。2011年、素敵な夢を咲かせましょう』というKAMIJOの言葉で、会見の場は締め括られた。

■新番組『おねがいかなえてヴェルサイユ』
■出演：Versailles、小池里奈
■初回放送：毎日放送1月17日（月）26：20〜26：25
テレビ神奈川1月21日（金）24：30〜24：35

V-last.
新星誕生!!

"VISUAL ROCK TERRORIST"をバンドコンセプトに2010年1月より都内を中心に活動しているV-last.（ブラスト）。メンバー全員平成生まれという彼ら5人が、2011年、シーンを席巻する!! 彼らの武器はその若さはもちろんだが、ハード&メロディアスなサウンドとアグレッシブで妖艶なそのステージパフォーマンスにある。1月26日には最新音源『対象年齢15歳未満』をリリースする。本作にはPVは付き。しかも2月13日に行われるイベントの参加券付。是非この機会に彼らに触れて欲しい。

【シングル『対象年齢15歳未満』1月26日発売】

●Aタイプ（CD+DVD）¥1,890（税込）/Bタイプ（CDのみ）¥1,575（税込）

※2月13日先行逆バレンタイン・アプローチテロイベント参加券封入

NEO VOLTAGE
今回も豪華絢爛！ 至福の時をレポート!!

音源とライヴイベントとのクロスメディア・ブランドである「NEO VOLTAGE」のライヴが12月29日渋谷O-EASTで賑々しく行われた。去年に引き続き東京で2回となる本イベント。今回も2010年のシーンを牽引し、また2011年の活躍が大いに期待される豪華ラインナップで開催された。

オープニングはV系エンタの魔術師Daccoのハートフルなステージからスタート。V系エレポップの雄v［NEU］。今絶好調のHERO、シーンの誇り高き継承者であるKISAKI率いる凛などなど、白熱のステージを展開。最後にゲストバンドとして出演したPENICILLINまで超ハイテンションのままステージは展開。場内は年末ということもあって上へ下への大騒ぎ。大成功のうちに幕を閉じた。そしてこの宴には続きがある。今年2月から東名阪をサーキットする次のNEO VOLTAGEも決定!! 今回見逃して大損したあなた。次のライヴは見逃すな!!

【NEO VOLTAGE東名阪TOUR2011】
●2月27日：大阪MUSE●2月28日：名古屋E.L.L●3月5日：川崎CLUB CITTA'
【チケット】
★1/8（土）より発売中
・ローソンチケット/TEL：0570-084-003（L：78798）
・チケットぴあ/TEL：0570-02-9999（P：128-578）
・イープラス：http：//eplus.jp
・ライカエジソン東京店/TEL：03-3369-3708（発売初日は電話予約のみ11：00〜）
・ZEAL LINK/TEL：03-5784-9666（店頭販売のみ12：00〜）
（問）クラブチッタ/TEL：044-244-7888

慧美网 Vimeo.net
蝴蝶网 hudie.com

ARENA37℃ 2011年1月号増刊

ARENA INDEX 2011

毎年大好評の"イヤーブック"2011年度版、ついに登場!!

A4ワイド判
オールカラー164ページ
定価1,890円(税込)
URL:http://www.ongakusenkasha.co.jp/

the Gazette 37

AAA 40P

UVERworld 38

GACKT 42P

絶賛発売中!

書籍注文書 ＊書店に置いてない場合は最寄りの書店にてご注文ください。

書店（番線）印	雑誌コード：01594-1	受注：　月　日	部数：　部	担当者：
	書名：『ARENA37℃ 2011年1月号増刊　アリーナ・インデックス2011』定価1,890円（税込）絶賛発売中!!			
	住所〒			
	氏名			TEL：
書籍扱い	出版社名：㈱音楽専科社　〒104-8228 東京都中央区銀座 6-2-3 Daiwa 銀座アネックスビル5F　TEL 03-3574-0201　FAX:03-3574-8548			

＊この注文書は切り取らないでコピーでもかまいません。

hudie.com

ARENA37℃ SPECIAL
アリーナ サーティセブン スペシャル
URL=http://www.ongakusenkasha.co.jp/

2月号 2011 FEB vol.77
A4ワイド判
特別定価1200円(税込)

絶賛発売中!!

豪華3大付録付!&16ページ増!
特別仕様メガプレミアム号!

豪華3大付録!
★ビッグポスター:
①ViViD/ココア男。
②超新星/SM☆SH
③とじ込みピンナップ:
松下優也

巻末特集 21P

ViViD

メジャー・デビュー・シングル
「「夢」〜ムゲンノカナタ〜」
2011.1.19 Release!
本誌独占!のPV撮影密着取材&
メンバーの今に迫る!

表紙巻頭特集 20P

超新星
Choshinsei

SM☆SH 三代目 J Soul Brothers 2PM
松下優也 BEAST ココア男。 pixy

*ご購入方法は書店で注文するか、当社HPをご覧ください。

蝴蝶网 hudie.com

雑誌注文書 *書店に置いてない場合は最寄りの書店にてご注文ください。 *この注文書は切り取らないでコピーでもかまいません。

書店(番線)印	雑誌扱い	雑誌コード:11465-02 受注: 月 日 部数: 部 担当者:
		書名:『アリーナ37℃スペシャル2011年2月号vol.77』特別定価1200円(税込)発売中!
		あなたの名前: あなたの住所:〒 TEL:
		出版社名:(株)音楽専科社 〒104-8228東京都中央区銀座6-2-3 Daiwa銀座アネックス5F TEL03(3574)0201 FAX03(3574)8548

CD DVD グッズ

買取大募集中

期間限定買取査定額大幅アップ 2.1-2.28

キャンペーン 20%UP 対象アーティストのアイテムは査定額20%UP

KYOKUTOU GIRL FRIEND ギルガメッシュ Versailles アヲイ 人格ラヂオ
DELUHI DEATHGAZE ゴールデンボンバー 摩天楼オペラ lynch.

貴重盤超高価買取中!! 更に詳しい買取表はウェブで

- ●R指定 人間失格［初回限定盤］CD+DVD ¥1,800
- ●Versailles JUBILEE［初回限定盤］CD+DVD ¥2,160
- ●ガゼット 別れ道(2nd) CD ¥7,500
- ●ゴールデンボンバー ザ・ゴールデンベスト～Pressure～［初回限定盤A］CD+DVD ¥3,600
- ●ゴールデンボンバー STYLISH WEAPON'10～春のそよ風～(初回2枚組) 2DVD ¥6,000
- ●ゴールデンボンバー 初 恐怖の全国ワンマンツアー-ワンマンこわい-追加公演 DVD ¥2,400
- ●girugamesh-ギルガメッシュ- GO［激アツ盤］2CD+DVD ¥3,000
- ●SHULA(シドVo.[illegible]在籍) [illegible] CD ¥[illegible]
- ●Dir en grey [illegible] DAYS [illegible]
- ●NoGoD INDIES BEST SELECTION2005-2009 2CD ¥3,500
- ●Moi dix Mois [illegible](限定盤) DVD ¥4,500
- ●lynch. greedy dead souls CD ¥3,600

アーティストグッズ買取大強化中!!

ツアーグッズ・ファンクラブグッズ・物販写真・ツアーTシャツ・コラボアクセサリー・写真集等
ガゼット・シド・PlasticTree・ナイトメア・DIR EN GREY・Gackt・雅等大歓迎!!

高価買取一覧表はHPでご確認いただけます!! 毎月2万点以上のヴィジュアル系の商品買取

宅配買取

宅配買取大募集中!!10点以上は送料無料!!

宅配買取用段ボールご用意致します
宅配買取をご希望の方に梱包用の段ボールと郵送用の伝票をご自宅まで無料でお送りいたします。

STEP1 お売りいただける品をダンボール等に梱包下さい。
STEP2 佐川急便で送料着払いでお送り下さい。
STEP3 査定担当者が1点1点お見積もりを致します。
STEP4 査定額をメール、もしくは電話にてご連絡致します。
STEP5 了解いただけましたら、指定口座へご入金となります。

梱包用ダンボールお届けいたします!!買取/対象ブランドの詳細はWEBで!!

ご不要なCD/DVD/アーティストグッズ/お洋服等お買取させて

買取対象ブランドは下記HPをご覧下さい。
遠方/数量の多いお客様には宅配での買取をお勧めしております。段ボール等に梱包し、必要事項（氏名・住所・電話番号、メールア
支店名・口座番号・口座名義人名（フリガナ・雑誌名）を記入した用紙と身分証のコピーを同封し、下記住所までご郵送下さい。
※宅配買取システムの詳細は弊社HPを必ず参照下さい。
※必ず佐川急便をご利用下さい。送料無料!!

宅配買取受付窓口・お問合せ先
160-0023 東京都新宿区西新宿7-16-12YSビル1F
クローゼットチャイルド TEL 03-3365-6316 webtakuhai@closet-child.com

最大!!ヴィジュアル系中古専門ウェブショッ

総アイテム8000点以上
日本一の取り扱い量!

クローゼットチャイルドのCD/レア盤
グッズ等が携帯電話&PCにて購入いただけます!!

http://www.closetchild-cd.jp/

ゴシックロリータブランド古着オンラインショップ

h.NAOTO / Moi-meme-Moitie / alice auaa / BPN / ALGONQUINS / Angelic Pretty
BABY,THE STARS SHINE BRIGHT / Emily Temple cute / MILK

人気ゴシック・ロリータブランドのユーズドオンラインショップ!!入手困難な予約完売品/今期物
定番物までを随時800アイテム取り揃えたゴスロリ専門オンラインショップ!!

http://closetchild.ocnk.net

Vivienne Westwood 専門オンラインショップ

80年代の貴重なヴィンテージアイテム 入手困難なオーブライター等のレア物 人気のアクセサリー等の定番アイテム
のリーズナブルなユーズドアイテム、更に市場価格より最大7割引きの財布などの新作新品等を随時300点以上出品中！！
ヴィヴィアンマニア ビギナーまで満足いただける専門ショップです！！

http://www.rakuten.co.jp/ainahaina/

closet child

新宿店 原宿店 池袋店 横浜店

e SOUND

ヴィジュアル系専門店
販売・買取

日本最大のヴィジュアル系中古SHOP。品揃えは西日本一！1フロアに5万点の品揃え！
只今、ゴシック＆ロリータ古着コーナー拡大中！大阪と言えばピュアサウンドです。

■商品ラインナップ■CD/DVD/VHS/テープ/FC会報/ツアーパンフ/ヴィジュアル系雑誌・書籍/アーティストグッズ/ゴシック＆ロリータ古着

ゴスロリ専門サイト
~maiden clothing~
http://www.maidenclothing.net

モバイル版 遂にOPEN!! ▶▶▶

郵送買取キャンペーン
期間▶1/21～3/20 着まで

下記高価買取ブランドに記載されているブランドの商品
1点以上で全体の査定金額が20%UP!!
（※状態が悪い物/デザインが古い物は対象外となります。）

高価買取ブランド
◆QutieFrash◆HIDE ROCK Design◆monomania
◆Moi-meme-Moitie◆Q-pot◆MILK（デザインの古い物は除く）
◆MALKOMALKA◆alice auaa◆JESUS DIAMANTE
◆STIGMATA◆Vivienne Westwood◆GADGET GROW

メンズ高価買取ブランド
◆BAFFALO BOBS◆NO ID.◆Justin Davis◆FUGA
◆DEAL DESIGN◆Roen◆VANQUISH◆discord
◆BACK BONE◆h.naoto Sixh.◆GLAD NEWS
◆VICE FAIRY◆monomania◆ROYALORDER

◆ATELIER-PIERROT◆ATELIER BOZ◆ACID JAZZ MEN◆alice auaa◆ALGONQUINS◆Angelic Pretty◆Innocent World◆Victorian Maiden
◆VISIBLE◆Vivienne Westwood◆Vivienne Westwood MAN◆Vivienne Westwood RED LABEL◆A+Lidel◆h.NAOTO◆h.NAOTO(Hn+DIE)
◆h.NAOTO(Sixh.)◆h.NAOTO(H.naoto Freak School)◆h.NAOTO(h.ANARCHY)◆h.NAOTO(H.ANARCHYISM for PLUS)◆h.NAOTO(H.ANARCHYISM from LONDON)
◆h.NAOTO(Sixh.)◆h.NAOTO(Hn+DIE)◆h.NAOTO(h.NAOTO Blood)◆h.NAOTO(H.jelly Honey)◆h.NAOTO(GRAMM)◆h.NAOTO(FRILL)
◆h.NAOTO(SEVEN)◆h.NAOTO(CHANNEL H)◆h.NAOTO(rockers H[illegible]aby)◆EXCENTRIQUE◆Emily Temple Cute◆Ozz On◆OZZ CROCE
◆Carina et Arlequin◆CANDY STRIPPER◆Qutie Frash◆Cornet◆[illegible]◆Jane Marple◆[illegible]◆Jean Paul GAULTIER◆Juliette et Justine
◆SUPER LOVERS◆SEX POT ReVeNGe◆SEXY DYNAMITE◆[illegible]◆SEXY DYNAMITE LONDON◆CHOCO CHIP COOKIE
◆T.KUNITOMO◆DEORART◆DelilaH◆Dangerous nude◆no fu[illegible]◆Hear[illegible]◆BANANA FISH◆HIDE ROCK◆HYSTERIC GLAMOUR◆PEACE NOW
◆BLACK PEACE NOW◆BLACK PEACE NOW(FOR MEN)◆PUTUM[illegible]◆HELL CAT PUNKS◆BABY, THE STARS SHINE BRIGHT
◆BABY、THE STARS SHINE BRIGHT ALICE and the PIRATES◆MARBLE◆MAD Girl◆MAD PUNKS◆MAXICIMAM(MA)◆MAM◆MIHO MATSUDA◆MILK
◆MILKBOY◆Mary Magdalene◆metamorphose◆Moi-meme-Moitie◆UNION JACK◆LAPIN AGILE◆LISTEN FLAVOR◆ROMANTIC NEUROSIS
◆WORLD WIDE LOVE！◆Q-pot◆MALKOMALKA◆STIGMATA◆GADGET GROW◆monomania◆JESUS DIAMANTE

冬服高価買取中!!
期間▶1/21～2/20 着まで
記ブランドの冬服は通常査定から30%UP!!
◆QutieFresh◆monomania
◆Moi-meme-Moitie◆MALKOMALKA
◆alice auaa◆JESUS DIMANTE
◆Vivienne Westwood◆GADGET CROW
のブランドの冬服も通常よりUPにて買取させて頂きます！

ゴスロリ専門店OPEN SALE開催！
店内全品30%～50%OFF！
場所：旧ピュアサウンドアメリカ村店4F
（※詳しくはHPにて告知させて頂きます。）

メンズブランド高価買取中！
下記の商品1点以上で
全体査定金額が
20%UP!!

◆BAFFALO BOBS◆NO ID.◆Justin Davis◆FUGA
◆DEAL DESIGN◆Roen◆VANQUISH◆discord
◆BACK BONE◆h.naoto Sixh.◆GLAD NEWS
◆VICE FAIRY◆monomania◆ROYALORDER

邦楽・洋楽etc)■DVD(ミュージック・映画・アニメetc)■音楽雑誌■ツアーグッズ各種■FC会報■ゴスロリ服（その他V系古着）

送買取なら絶対ピュアサウンド!!
らでも**無料!**着払いでお送り下さい。送料代金は、**当店が負担します!**

①商品の送付
お売り頂く商品
身分証明書のコピー
(運転免許書・保険証・パスポートのいずれか1点)
買取依頼書
親権者同意書（18歳未満の方のみ）
必ず同封の上お送り下さい。

②査定
当店到着後すぐに
専門スタッフが1点ずつ
丁寧に査定。

③結果
査定結果を
メール or 電話
にてお知らせします。
査定にご納得頂けない商品は
キャンセル可能です。

④お支払い
お客様からの承諾を頂き次第
ご指定の口座にお振込♪
お振込の際には、査定金額より
送金手数料400円を引かせて頂きます。

店頭にて持ち込みでの
買取も行っております。
その場で専門スタッフが査定。
即現金にてお支払い★

詳しくはこちら▶

について】ピュアサウンドホームページにてプリントアウト出来ます。手書きの依頼書でも結構です。以下の点を記載した用紙を同封して下さい。
融機関情報、氏名、住所、連絡先、メールアドレス】【親権者同意書について】18歳未満の方のみ。ピュアサウンドホームページにてプリントアウト出来ます。
書でも結構です。「CD・DVDを売ることに同意します。」と、ご家族の方にご記入頂き、親権者氏名、本人氏名、住所、連絡先を記載した用紙を同封して下さい。
の商品返送について】即日ご返送させて頂きます。その際の送料はお客様のご負担となります。ご了承下さいませ。

買取の極意
■高価買取ポイント■
・今期物、人気アイテム、付属品完備、状態良好の物。
やはり美品・完品が1番です！

■査定減額ポイント■
・シミ、汚れ、ほつれ、生地の傷み、ペットの毛や臭いなどが付着してる物。
・アクセサリー、小物などの箱やギャランティーカードなどの付属品が無い場合。

e Sound Amerikamura ピュアサウンド

〒542-0086
大阪市中央区西心斎橋 2-10-34 サンエースビル 5F
☎06-6214-2549
▲こちらの宛先まで「佐川急便着払い」にてお送り下さい!!▲

佐川急便QR

買い取り価格などはピュアサウンドホームページへ■ http://www.puresound.co.jp 携帯版 http://psound.jp

http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.

hudie.com

HERO/Life
[初回限定盤] ¥1,800
[通常盤] ¥2,800
インストアイベント開催
・2011年2月6日（日）
・第1部PM5:00〜
・第2部PM8:00〜

DIR EN GREY
「LOTUS」
待望の新作! 1/26発売!!
初回盤CD+VD¥1,890
通常盤CD¥1,260
オリジナル特典付!

KYOKUTOU GIRL FRIEND
★エクスタシー
3/30発売 ¥1,575
◆オリジナル特典
映像内容企画中!
◆4月9日イベント開催
開催内容企画中!

メガマソ
-Loveless,more Loveless-
[2011/2/16発売]
[ジャケットA] ¥3,800
[ジャケットA] ¥3,800
◆オリ特考案中!
◆イベント企画中!

Annie's Black
発売中【departure】
10曲入アルバム¥3,150
※待望の新作が発売決定!
オリジナル予約特典等はwebにて!

マイドラゴン
2/2発売【二次元コンプレックス】
・[TypeA]¥1,890・[TypeB]¥1,575
・[TypeC]¥1,575
オリジナル予約特典の詳細はwebで

Kagrra,
百鬼絢爛（ヒャッキケンラン）
2/2[初回盤]
CD+VD¥3,990
2/2[通常盤]CD¥3,150
※オリジナル予約特典等、
詳細はWebにて!

V-last.
2011/1/26発売【NEW SINGLE】
・[初回盤]¥1,890・[通常盤]¥1,575
オリジナル予約特典など
詳細はWebにて!

我羈道
待望のNewシングルリリース!
2/16発売「happymaker」¥2,100
オリジナル特典付!
インストアイベント開催決定!
詳細はWeb siteにて!

TOON-FACTOR
3か月連続リリース!
発売中[Fiction]¥1,
2011/1/26発売[Chloris
2011/2/23発売[2Logic
◆インストアイベント企画等

NightingeiL
2/9発売【-水銀-】M-CDs¥1,575
◆オリ特：コメントDVD!
◆インストアイベント開催!
日程などの詳細はWebにて!

ViViD 夢〜ムゲンノカナタ〜
☆発売中M-CDs+DVD[初回限定盤A]¥1,890
☆発売中M-CDs+DVD[初回限定盤B]¥1,890
☆発売中M-CDs[通常盤]¥1,260
オリ特やイベント開催情報の詳細はWeb Siteにて!

DaizyStripper
【BIRTH or LIVE?】
★大好評発売中! CD¥2,500
オリジナル予約特典
LIVE映像収録DVD!
期待のライブアルバム!

A[エース]
【夜明けのアンセム/NUDE】
★発売中¥1,260
期待のNEWバンド!

Moi dix M
▼発売中「D+SECT」
13songs CD¥3,360
3年ぶりとなるアルバムが
発売!

DaizyStripper
ヴィジュアル業界を震撼させる
Newアイテムが遂に登場!
☆発売中!! 4D-BOX ¥4,500
【〜Perfect Visual Archive〜】

heidi.
「月光ショータイム」
待望のNEWアイテムリリース決定!
☆2/2発売M-CDs+DVD[限定盤]¥1,890
☆2/2発売M-CDs[通常盤]¥1,260
※インストアイベント開催決定!
※スペシャル特典考案中!

Sadie
「Juggernaut」
▼発売中 CD+DVD[限定盤]¥1,800
▼発売中 CD[通常盤]¥1,200
3タイトル連続リリース第3弾♪

ADAPTER。
「Please Please You」
▼2/16発売 CD+VD[限定盤]¥1,890
▼2/16発売 CD[通常盤]¥1,050
待望のNEWシングル!
◆オリジナル予約特典交渉中!

愛狂います。
東京浪漫帝國
[初回限定生産]
▼2011/1/19発売 DV
◆オリジナル予約特

葵 from 彩冷える
ソロプロジェクト、アルバムリリース!
▼NOW ON SALE【ONE】
・[初回限定盤A]CD+DVD ¥3,500
・[初回限定盤B]CD+DVD ¥3,500
・[通常盤]CD ¥3,000
※オリジナル予約特典等、詳細はwebにて!

the GazettE
THE NAMELESS LIBERTY AT
10.12.26 TOKYO DOME
3/23 ON SALE
[2DVD+特典DVD付初回限定DVD]¥9,765
[2DVD 通常盤] DVD¥6,090
◆「TRACES BEST OF 2005-2009」¥3,150
※LIVE CDとBEST CDが同時リリース!

BORN
★2/2発売【DOGUMA】
[初回限定盤]
CD+VD¥2,835
★[通常盤]CD¥2,835
※オリ特等はwebにて!

D
▼待望のNEWアルバム!
「VAMPIRE SAGA」
★初回盤A CD+CD ¥3,990
★初回盤B CD+DVD ¥3,800
★通常盤C CD ¥3,000
オリ特付!

▼インストアイベント開催決定!)
※参加方法やオリジナル
予約特典の詳細は
web siteにて!

◆◆◆ 送料改定のお知らせ ◆◆◆
送料全国一律500円⇒400円
日頃の感謝の意を込めて、従来の送料より100円値下げ致します。送料はプライスダウンさせて頂きますが、現状と同様にヤマト運輸を利用し、変わらぬ配送サービスにて、お荷物をお届け致します!
※2010年3月31日までに受注致しましたオーダーに関しましては上記の価格は適用されません。

◆◆◆ 送料改定のお知らせ
送料全国一律500円⇒400円
日頃の感謝の意を込めて、従来の送料より100円値下げ致します。送料はプライスダウンさせて頂きますが、現状と同様にヤマト運輸を利用し、変わらぬ配送サービスにて、お荷物をお届け致します!
※2010年3月31日までに受注致しましたオーダーに関しましては上記の価格は適用されません。

Blu-BiLLion
【colours】
[2 TYPE]リリース!
▼1/26 ON SALE!!
★【初回盤】
CD+DVD¥1,890
★【通常盤】CD¥1,260
◆オリジナル特典付!
◆イベント開催決定!
・1月29日(土)開催!
※詳細はWebsiteにて!

Brand X

Kagrra,
【百鬼絢爛】
☆「初回限定
☆「通常
★インストアイ
・2月3日(木)PM9
オリジナル
こちらの詳細もW

現在、店内にて破格値コーナーを設置!
様々なアイテムが¥100、¥300、¥500、¥700と
4つの価格帯にて大奉仕中!
お近くにお寄りの際は是非ご覧下さい!

現在、店内にて破格値コーナーを設置!
様々なアイテムが¥100、¥300、¥500、¥700と
4つの価格帯にて大奉仕中!
お近くにお寄りの際は是非ご覧下さい!

花少年バディーズ
★1/19 on sale『ブランコ』
★「初回限定盤」M-CDs+DVD¥1,890
★「通常盤」M-CDs¥1,260
◆オリジナル予約特典：[限定盤/超アツイDVD][通常盤/超ヌルイDVD]

花少年バディーズ
◆インストアイベント開催決定!
・2011年2月12日(土)※赤坂BLITZワンマン1ケ月前夜!
・「花少年バディーズの事どれだけ知ってるんだゲーム」&手形会!
・PM6:00 スタート!（トーク&ゲームは人数制限あり）

我羈道
◆「病んでる時に唄う歌」
PREMIUM EDITION
・1/19発売 CD¥2,100
◆「happymaker」
・2/16発売 CD¥2,100
◆「言葉」
・3/16発売 CD¥2,625
※各タイプにオリジナル特典やイベント企画等、盛りだくさん! 詳細はWebにて!

DOG inThePWO
【ONE】
2/9 ON SALE!!
[初回盤]CD+DVD¥3,990
[通常盤]CD¥3,150
◆各アイテムにオリ特付!
◆インストアイベント開催決定!
2月20日PM6:00 START!!

AYABIE
▼「Melody」待望のNewシングル!
2/23発売決定!
・初回限定A盤 M-CDs¥1,260
・初回限定B盤M-CDs+DVD¥1,890
・通常盤M-CDs¥1,260
イベント開催決定! 詳細はwebにて!

アンド
【ニューシングル2種の
同時発売が早くも決定♪】
▼BLINDNESS[A-TYPE]
発売中 ¥1,890
▼BLINDNESS[B-TYPE]
発売中 ¥1,575
※オリジナル特典等、詳細はwebにて

葵&涼平
incl.
アヤビエメガマソ
【モノクローム】
avex version/徳間version有り。
★2/16発売[初回限定盤]¥1,890
★2/16発売[通常盤]¥1,260
※各タイプにオリジナル特典付!
※Specialインストアイベント開催決定!
2011年2月23日(水)
豊島区民センター・イーストステージ
夕刻開催予定!

己龍
【夢幻鳳影】
★[初回限定盤]CD+DV
★[通常盤]CD¥3,
◆各対応にオリジナル予約
◆インストアイベント開催
・2011年3月5日(土)開
※詳細はWeb siteに

PICK UP ITEM

ゴールデンボンバー
★ゴールデンボンバー過去作品
キャンペーン開催!!
ゴールデンボンバー対象商品を
合計3,000円以上お買い上げのお客様に
アーティストフォト5種
（集合Ver.1種と個人Ver.4種）のうち、
2種をランダムでプレゼント!!

※自主制作の音源持ち込み大募集!!
※委託販売、承ります。
詳しくは一度お店にお電話にてご連絡下さい!!

池袋駅 サンシャイン60 B1F

Brand X webshop

通信販売をご希望の方へ

通信販売をご利用の際は必ずお読みください!!
当店の通信販売は①代金引換（着払い）と②先にご送金して頂く方法の2通りがございます。下記の注文方法をご覧の上、どちらかをお選びください!！また、どちらの方法でも「クロネコヤマトの宅急便」によるお届けになります。一度お受けしました商品のキャンセルは固くお断りしております。

①代金引換（着払い）とにかく早く商品がほしい人!!

TEL・FAXまたは、葉書にて希望の商品・あなたの住所・氏名・電話番号をお知らせ下されば、すぐに商品をお送り致します。（FAX/ハガキの場合は第2希望までお書き下さい。）※予約の場合は、商品が入荷次第ご発送致します。

商品到着時に商品代金+送料（全国どこでも¥700）を配達員にお支払い下さい。※商品の到着は、ご注文から1日〜2日です。※予約の商品は当店に入荷してから1日〜2日でお届け致します。

②先にご送金して頂く方法 なるべく安くほしい人!!

TELにて在庫の確認をして下さい。そして先に送金することをお申し付け下さい。
※予約の場合は入金確認後の受付になりますので発売日前までにこちらに到着するようにご送金下さい。

現金書留・郵便為替
商品名、数量を明記の上、商品代金+送料（¥400）をお送り下さい。
※予約の場合も同じです。

郵便振替
商品名を通信欄に明記の上、商品代金+送料（¥400）を下記の口座にお振り込み下さい。
口座名：(株)ブランドエックス
口座番号：00130-9-147670
※振込手数料は、お客様のご負担となります。ご注意下さい。

銀行振込(webshopご利用)
当方から送信される受
ご確認の上、下記口座
振り込み下さい。
銀行名：イーバンク銀行
口座種別：普通
口座番号：7009021
口座名：(株)ブランドエ
※振込手数料は、お客様の
ご注意下さい。

入金確認後、1日〜2日で商品をお届け致します。
※予約の場合は、商品が当店に入荷後、1日〜2日でお届け致します。

ブランドエックス
http://www.brand-x.jp

〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-2-5 池袋サンシャインプラザB1F
TEL. 03-3980-6780 am11:30-pm8:30 年中無休

通信販売をご利用のお客様で来店イベントに参加ご希望の方は、必ずご予約時に当店スタッフまで「イベント参加希望」とお申し付け

vimee.net

楽専科社公認公式サイト
://mobile.ongakusenka.com/

音楽せんか?

Y! Keitai

※ディズニーモバイルでも見られるよ！

SHOXX ARENA37℃と連動したヴィジュアル系・邦楽専門サイト

「ARENA37℃」と「SHOXX」に掲載された記事と連動した企画が盛り沢山!! 撮影メイキングムービー、待ち受け画像、着ボイス、デコメ素材など様々なコンテンツに乞うご期待!!

今すぐアクセス!!

好評アーティスト連載も配信中!!

●黒田倫弘「無限スポンジ」●Dacco「楽ガキ」●マコト(ドレミ團)「週刊モバイルマコトピア」●-OZ-「週間！オズマガジン」●NoGoD「神無の戯言。」●聖(Dolly)「聖、飛び散る」●涼平(メガマソ)「メガマソ涼平の アイスクリーム夜中に食べたくなる！」●ひなた「ひなたの 毎度あり～な♪」●えちうら「えちうら的微熱絵巻」●ご主人様専用奇才楽団Virgil「執事の呟き」●凛「凛画廊」

月額315円の会員になれば、待受け取り放題!! ムービー見放題!!
さらに、発売前の音源の試聴、ライヴスケジュールやイベント情報も調べられるよ。
ほか、アーティスト情報満載の楽しいコンテンツを配信しています！ 詳しくは携帯からアクセスしてね★

http://mobile.ongakusenka.com/

■i-mode:「メニューリスト」→「音楽/映画/芸能」→「音楽情報」→「音楽せんか？」 ■EZweb:「トップメニュー」→「カテゴリー検索」→「趣味・娯楽」→「音楽・映画・芸能」→「音楽情報」→「音楽せんか？」 ■Yahoo!:「メニューリスト」→「芸能・映画・音楽」→「音楽情報」→「音楽せんか？」

株式会社 音楽専科社 〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 Daiwa銀座アネックス5F
E-Mail:ongakusenka@ongakusenkasha.co.jp

葵 from 彩冷えるの ヒナタごっこ

第58回

「新年明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします」という挨拶。僕が学生の頃は年賀状にてこの挨拶を交わすのが一番多かったと思います。お正月になると毎朝ポストに年賀状が届いていないか郵便配達の人が来るのを待ちわびていたっけ。

それから文明は進化し携帯電話のメール機能でのやりとり「あけおめメール」で簡単に新年の挨拶を済ますようになり、年賀状のやりとりの数は減少したと聞きます。確かにここ数年、僕のポストに届く年賀状はショップからの営業交じりのものが大半。あっ、僕が友達少ないからかな…。

新年を迎えた瞬間、みんなして「00:00」にメールをしようとするから、メールの送受信が困難になり、これはこれで大変。最近ではmixiと郵便局が一緒にmixi上で年賀状を送れたり、その他にも色んなシステムができているようですが、そういう最先端ものに弱い僕としましては、やっぱり手書きの年賀状がいいな～なんて思ってしまいます。流行ものに弱いのは置いておいて、メールやパソコンで作ったものは誰でも作れるけれど、やっぱり手書きのものって世界で1つしかないから、と、やっぱり手書きの年賀状がいいな。そんなことばかり考える僕もやはり年をとったのだろうか。あ～やだやだ。

今年の年明けもありがたいことにステージで迎えられました。

今年は池袋サイバーのステージにてカウントダウン。サイバーのステージに立ったのなんて6年以上ぶりでした。彩冷えるを初めてからはサイバーに行ってなかったから。

でも、僕が上京してすぐからお世話になっていたのは池袋サイバーでした。初めてワンマンをしたのも、初めてフロアに三人しかいないライヴを経験したのもその他たくさんの楽しいことや悔しいこと、色んなものを学んだライヴハウス。僕にとって初心に戻れる1つの出発地点。

2011年のスタートにサイバーのステージに立たせてもらったのには訳があって、今年2011年は「初心に返り一歩一歩大事に歩もう」というコンセプトがあってその第一歩として、サイバーで新年を迎えることほど意味のあるものはないと思ったんです。いざステージに立ってみると昔観ていた景色や想い出、色んなものが浮かんでは消えて、そこに今の僕の音楽が流れ歌ってみると、それはそれはとても心地のいい空間でした。出演してよかった。急な出演の発表にも関わらず駆けつけてくれたみんなにも感謝。そして池袋サイバーさんにも感謝。ありがとうございました。

さて新年がスタートしてもうすぐ早いもので一ヶ月が過ぎます。今年はどんな一年にしよう。みんなはどんな一年にしますか？　僕は今年、自分に素直に自分の音楽に誠実に何も包み隠さずに歌っていこうと思っています。音楽という枠組みを狭く感じるときもあったけれど、音楽は無限大の大きさがあって、その音楽に繋がる活動であれば何でもやっていこうと思っています。今年は「チャレンジの年」にしようと思います。怖がって守っていたって何も変わらない。僕は攻めていこうと思います。その攻めの姿勢がうかがえるであろう（?）今回のSHOXX撮り下し写真。見てくれました？　志田嬢がSHOXXのtwitter上で「葵のどんな表情が見たい?」と募って戴いたところあんな感じになりました。"卯年"だもんね～。で、ウサギのつけ耳かいッ!!"ってツッコミながらも意外とすんなり装着しカメラの前に。"まだまだいけるな～"。そう今年は初心に返ってチャレンジの年に…ちょっと方向性違う??　いいんです。この歳になってもまだまだつけ耳で誌面を飾れる人はなかなかいないであろう。ん?

永遠の19歳だけどね♪　もし、ご要望があればまたやりますので、どしどし志田嬢まで

今年は1月から色んなことがあります。1月は僕にとって初めてのソロでのフルアルバム『ONE』のリリース。(詳しくはインタビュー読んでね☆) そして2月はメガマソの涼平君とのユニット。3月は1年ぶりの全国ツアー楽しみ満載!!!　アグレッシブに活動していきますよ。

どうぞ本年も宜しくお願いします。

あおい

夢のぐるぐる大回転

第34回

アーティストがつなぐ、リレー連載☆

葉月(lynch.)『ライヴをする事』➡弐（ギルガメッシュ）

Sadie亜季さんよりバトンを頂戴しました、lynch.のヴォーカル、葉月です。

亜季さんから振られたテーマ「LIVEをする事」とは。
LIVE…自分にとってあまりにも大きな存在なので、たくさんの答えが存在します。

楽曲が最も輝く瞬間であり、挑戦であり、仕事であり、最高の趣味でもあり…言い出したらキリがありませんが

中でも、最近よく実感するのは「幼い頃に描いた夢が具現化している瞬間」だということ。

CDを出したいとか、PVを撮りたいとか、憧れのアーティストに会いたいとか、メジャーデビューしたいとか…規模の大きなものから小さなものまで沢山の夢をみていましたが、やはり一番の夢は、大勢のファンの前でLIVEをすることでした。
しかも激しいロックで、シャウトしまくってる事が絶対条件（笑）。

いつからその夢が叶ったのか…というラインは曖昧ですが、最近はステージに上がるたびに当時のことを思い出します。

これを読んでくれている子の中にも、夢を持っている子はたくさんいるでしょう。
その夢に向かって必死に頑張っている子、夢を追うことを恐れている子…いろんな子がいると思います。

僕はただガムシャラに夢を追いかけてきただけの人間なので、あまり器用なことは言えませんが、夢を追う事を恐れている子達には「人生は一度しかない」という事を、ぜひ一度考えてみて欲しいなと思います。

もちろん夢を追う事だけが正解ではないし夢を叶えた人が成功者とは限らないけど、当たらずして砕け散るのは勿体ないですよね。

話が逸れてしまいましたが、僕にとってLIVEとは読んで字の如く、生きていく上で絶対に欠かせない物事のひとつなのです。

さて、次回はギルガメッシュのギタリスト弐にバトンを回したいと思います。
自分の音楽、ギタープレイに関しては異常なまでにストイックな彼、後輩ながら尊敬に値します。

そんな彼には「思い出」について語って頂きたいと思います。
お楽しみに。

第八回 ユ≠キ

女ーロリキター23区

THE コラム

ましておめでとう 初夢は見ただろう

に会話の中で「最近夢見ない」「昨日夢
かった」とゆう会話が耳に入る

し自分の夢を録画したいと思うほど夢を
事が好きな俺からしたらその発言は頂け

なら人は眠った瞬間に誰しも必ず夢を見
るからだ
なのに何故昨日の夢の記憶がないのかと
と 答えは簡単で起き方に問題がある

覚めたら真っ先に何をする？

顔洗う シャワー浴びる以前に必ずしてし
まっているものがある

それは「伸び」だ

この「伸び」の行為が それまで見ていた夢
の記憶を掻き消してしまう

実際数十年生き続けている自分で検証してい
るから間違いない
明日の朝起きたら　この内容思い出して「伸
び」をするのをやめてみよう

完全にとはいかなくても 夢を思い出すこと
が出来る

ただこのデメリットとしては 俺のように成
長期の学生時代からばんばん始めてしまうと
その時の身長から伸びなくなってしまうとい
う…

どこまでも自由で　果てしない夢の広がる夢
の世界

それは単なる空想の世界ではなく人間の新た
なる可能性が秘められているはずだ

まだまだ夢には魅力が沢山あってこの回だけ
では伝えきれない

なので次回

夢に対して毎日研究　実験し続けた結果
夢の中を現実世界のように自由に行動すると
いう裏技を伝授しようと思う

THE KIDDIE 佑聖

第20回

絶頂モンスターハイゲイン

ハッピーニューイヤー!!（･。･）

2011年もよろしくな!!

我々はツアーファイナルも終わり、次に向け
て動きだしているのである。

そんな2011年はライヴがたくさんやりたいな
と思っているのだ!!

さっそく春にツアーが決まってドキドキワク
ワクしているよ。

最近大人になったなって思うことがある。

ずーっと鍋には興味がなかったんだけど、去
年は鍋を食べる機会が多かったからか、なん
だか最近鍋が好きになった。

俺は極度の猫舌だから、ものすごく冷まして
からじゃないと食べれないんだけど、なんか
冬って感じがしていいよね。

それと同時にあったかいお茶を最近ものすご
く飲んでいる。

猫舌のくせにそういうのが好きになったのが
なんだか大人になった気がしたのさ（･。･）

あっ去年は結局セロリ食べれるようになれま
せんでした…。

今年はにんじん食べるぞーーー!!

そんな感じで先月の問題。

道で拾うことはできても、落とすことのでき
ないものはなんでしょう？
正解はタクシーでした!!

今月の問題
あるものはおおまかに分けると世界に４つし
かない。けど世界中誰の家にも４つあるとい
う。それは何？

じゃらば。

OON-FACTORY

第6回

雫の

れず

××まにあ半島〜一人旅

明けましておめでとうございす
Φ゛）

から酒、そば、お節料理、お雑煮、蟹、
マグロ、ハンバーグ…ひたすら食べて
で寝ての繰り返しで四日ぐらいまで新年
ごしてました（笑）。

から親知らずが痛み、痛すぎて何も食べ
年越しLIVEし、もがき、苦しんだのよ
ш Φ゛）

だからどこもかしこも歯医者が休み
治療不可!!!! 30件近く電話したのよ
Φ゛）

まだ痛みます…
医者行ってません（笑）。
者は怖い←ガキか

早々レコーディングもあったり、全然落
けないが、いろいろな刺激がたくさん
たので、それを音にしてみんなに届ける
ш Φ゛）

ワンマンツアーがまた決まって、春ぐらいに
また地方に行くからみんな楽しみに
しててよ????

もう完全に冬ですな。
親父がスノボショップとか経営してたか
ら、小学生ぐらいからスノボはしてるんだ
けど、最近行ってないから滑りに行きたい
(Φш Φ゛）季節の遊びはやっぱり楽しいよ!!!
夏はサーフィンで冬はスノボ!!!　間はゴルフ
ですね（笑）。

そして、作曲も同じだと思うのだよ。
冬はやっぱりくどいバラードで、夏は爽やか
な涼しい感じ（笑）。いや、曲の雰囲気はそ
の時の気持ちの問題だから、季節関係ないか
←（笑）。

…いや、やっぱある!!
冬に一人、夜道を歩いてると絶対澄んだ星空
見ちゃうもん!!!
そんときやっぱなんか頭に流れるのはゆっく
りしたようなリズムで落ち着いた音だな←

うん。四季も関係あるわ←
なので日本LOVE（笑）。
オーロラもいつか日本で見れるようにならな
いかな←
日本に生まれてきてよかった。
四季が感じられて本当によかった。
本当に日本!!!　これからもよろしくお願いし
ますね（笑）。

あ、[illegible]よろしくね（照）。

ばいちゃこきーん(Φш Φ゛）ノ￣
今年はアニメの年にしようと思う雫より

heidi.

第21回：義彦

『ハイジのアルプス日記』

明けましておめでとうございます！

義彦で〜す!!

皆さん、良い年の初めになりましたか？

俺は年始に休みがあって、たらふくお酒（日
本酒）とおせち料理を沢山いただきました〜
♪♪

今までおせち料理って正直あまり好きではな
かったんだけど、歳かな〜凄く美味しかった!!
笑

のんびり出来て地元の友達にも会えていいお
正月になったよ〜♪

太ったよ〜♪♪
はっ(￣◯￣;)!?

…
さて話しは変わり、heidi.は2/2日にニューシ
ングル「月光ショータイム」を発売します!!

映画「前橋ビジュアル系」の主題歌になって
いますので、是非聞いて下さいね!!

そして、３／５に渋谷O-EASTでライヴ！

何度もイベントでライヴしてきたけど、いつ
も気持ち良く歌える場所で今回はワンマンで

きるから凄く楽しみです!!

今年は去年以上にいい歌を唄ってみせる！
期待して待っててね♪笑

皆様、今年も宜しくお願い申し上げます!!!

うりゃ〜

蝴蝶网
hudie.com

Mix Speaker's, Inc.

seekの凡人大[illegible]

蝴蝶网 hudie.com

第百

「子供は天使だ」なんて事を言う人が居るが。子供は天使でもなければ悪魔でもない。計算も無ければ知恵も無い。そして嘘も無い。自然体に一番近い人間なのだ。嘘で塗り固められた大人達には子供の気持ちというものは見えない。子供は許容の範囲を越えた理解し難い「緑ピアス人間」に遭遇した時全てを吸収し全てを吐き出すのだ。

本屋にて。休日の昼下がり。母と少女が居た。母は本選びに夢中になっていた。それが悪夢の始まりだった。狭い本棚の隙間を覆い尽くすかの様にやって来た緑頭の男。少女は彼に釘付けになった。身動き一つすら取れなくなってしまった。母はまだ本を選んでいる。緑の男が歩みを進めた。その瞬間。少女は走った。何も言わず。只ひたすらに。男が来た方向とは逆に走る。そして本屋を出て行ってしまった。母は未だ本を探している。男は何も言えなかった。「娘さん。今僕を観て走って逃げましたよ。」そんな事言える筈も無かった。その後母と少女が再会したという話は聞いていない。あの時僕が本屋に入ったばかりに罪も無い母と少女は生き別れになってしまった。

とあるパーキングでエレベーターが来るのを待っていた。其処にノコノコとやって来た母と少年。開口一番少年が言った。「お母さん。頭が緑の人が居るよ。絶対悪い人だよね」すると母は「こら。人を見た目で判断するんじゃありません」と優しい目で諭す。母の言う通りである。僕は見た目程悪い人ではない。なので。子供の観ている前で母をシバき回したりしない。なんなら「開」ボタンも押してあげている。それを見ていた母は「ね。良い人なのよ」と言う。少年は何の疑いも無くこう言った「でも。やっぱり悪い人だよ」何度も言うようだが。僕は悪い人ではない。僕が

だ少年くらいの年だった頃。オトンと銭湯

行った。その当時はまだ今程厳しい世の中

はなかったので裸になっても柄付きシャツ

着ているオッサンが悠々と風呂場に浸かっ

いたりした。その時の僕もなんの迷いもな

オトンに言ったそうだ。「あのオッサン背

に金魚の絵描いてるで」と。「鯉」が川昇

するオッサンの背中を前にオトンの血の気

引く様を僕は用意に想像出来る。けれど、

の時の僕にはオッサンの背中に泳ぐ魚が確

に「金魚」に見えたんだ。子供は嘘がつけ

い。全てを吸収し全てを吐き出すのだ。僕

は少年の気持ちが痛い程よく解る。ただ少

よ。君の母が思う程僕は良い人でもないの

よ。夜道に気をつけたまえ。

今月はこの辺で。しいくでした。バイバ

DéspairsRay
マニアの覗き穴

第101ブレイク HIZUMI 編

ど～もHIZUMIです。あけましておめでとう。2011年になりましたが今年の年始はこれでもかっ！てくらいのんびりしましたね～。毎年言ってるやり残した事ってのも特になくて新年を清々しく迎えられました。まあのんびりしつつ1日から肉体改造計画は進行してるけど、とりあえず今年は俺元々体が強くないから心肺機能の向上等、体を鍛えて食を整え内から外からダブルアタックで体をとことん創り直そうと思ってます。

そんな感じで今年もよろしく！　はい。年賀状。

ギルガメッシュ
CRAZY=CHAIN

第8回 ■Яyo■

どーもどーも！　りょうですー！
この号が出てる頃は明けましておめでとうなんですが。。。
只今、OTE『仕事納め編』の最中にこの原稿書いてます～。
今日は久々のトップバッターで、特効も使わせていただきオープニングに相応しいライヴができたんじゃないかと思います。
爆薬に少しビビってしまいましたがイベント開幕の導火線としての役割が果たせたと思います。

もちろん、基本はリハ無しのイベントなのですが、トップバッターは入り時間も早いです。
五時半起きです。

もう起きてから12時間以上が経過しています。
眠いです。
目が飛び出そうです。
でも楽しいです。

やっぱり久々のバンド友達に会えるって良いですね！
半年間隔でしか会えないので、話したいこともたんまり溜まっています。

最近のバンドの状況や、機材の話やら、砕けた話まで。
唯一わかり合える仲間だと思います。

で、今回思ったのが、毎年このイベントに出演するバンドさんの中で俺より年下がいません。
先輩オンリーです。

俺もね、後輩欲しいの。
威張り散らしてみたいです。
でもね、決して嫌な先輩にはならないと思う。

色々なアドバイスとかしてみたい。
いつももらってばかりだから。

事務所に後輩なんて何年先なんだろうか？
楽しみでしょうがないね。

結論、俺も尊敬される良い先輩になりたいってことです！

では今回はこの辺で！
〇〇吐いてきまーーーーーーす！

ぽえ。

りょ。

Moran Hitomiの「瞳孔反射」

第34回　『You Got Mail』

…1年になりました。喪中ということで新
…挨拶は控えさせて頂きますが、今年も
…お願い申し上げます。
…は新年の挨拶といえば年賀状が主流で
…が、最近はメールでの挨拶で済ますこ
…く見られるようになってきている。今
…関係者やバンドマンから挨拶メールを
…頂いた。俺ははっきりいってメールと
…連絡ツールが非常に苦手である。筆不精
…ね極度のメール不精といったところか。

要するに物凄くめんどくさいのである。

つい先日とあるテレビ番組で、一日に200通ものメールのやりとりをするというカップルが密着取材されていた。彼女「おはよう」彼氏「おはよう」彼女「今バス待ってる」彼氏「バス遅れちゃってるね」彼女「うん」彼氏「今日は体調大丈夫？」彼女「あんまり」彼氏「(凹んだ絵文字)」彼女「寒〜い」彼氏「よしよし」彼女「(悲しい絵文字)」彼氏「(悲しい絵文字)」……。最後の方とか、もはや文章ですらないっていう。こんな調子で起きてから寝るまでメールを続けていると一日平均200通にもなるわけである。二人が会う約束をしている日ならまだしも、職場に向かうバスを待っていることを報告する必要なんてどこにあるというのだろうか。内容のないメールをダラダラと続けることに何の意味があるのか。電話すれば5分で済む内容でも、メールにすると20分は消費してしまう。なぜその効率の悪さを気にしないのか、俺にはさっぱり理解できない。とは言え破滅的にメール不精なこの俺に、そのマメさを少しくらい分けてほしい気もするが。

因みに俺がどれだけメール不精かというと、1．基本的に"?"で終わる「問いかけ文」以外のメールは返さない。2．"?"がついているメールでもたまに返し忘れている。3．携帯のメールボックスで返信済のチェックがつくのは十通に一通くらい。といった具合だ。自分で言うのもなんだが、基本的な社会生活に支障を来すレベルだと思う。しかしそこに悪気はないのだ。返信が出来ないのは、俺の中で無視しているのとは全く別物である。メールが来る→読む→自分の心の中で返事をする→勝手に返信した気になって自己解決、という魔のスパイラルに陥ってしまうだけなのだ。もちろん故意的に返信しないものもある。わざと返信していないのに、その後何事もなかったかのように連続してメールが来るときほど怖いものはない。それが何通も続くのはかなりの恐怖である。それと似たようなケースだが、こちらがメールでのやりとりを終了させたいがために"?"を一切入れずに簡素なメールを送り続けているのに、それに対し相手のメールは全て疑問形で返って来ることがある。もうね、バカかと。こちらの意図を汲み取ってもらえていないのか、それとも新手の嫌がらせなのか。どちらにしろ俺には非常にツライところなのである。

「父　帰る　8時」

きっとみんなのお父さんやお母さんにもいると思うのだが、not携帯世代の方々のメールによく現れる不思議な現象がある。思わず、電報か！とツッコミたくなるようなメールなのだ。単語単語の間に存在する不可解なスペースと、助詞が全く使われていないのが主な特徴である。だけど俺はこれがメールの本来あるべき姿だと思っている。相手に伝えたい内容がきちんと伝わりさえすれば、メールとしての機能はもう十分に果たしているのだ。感じが悪いとかマメじゃないとか正直知ったこっちゃない。だからあれだ。つまりこういうことだ。どうか俺のことはメールが苦手なお父さんだとでも思ってくれ。

そんな俺でも最近ちょっとした進歩があった。以前からメールが感じ悪いと言われ続けていた俺は、仕方なく渋々顔文字をいれるように努めていた。(更に昔は顔文字の存在すら知らず、顔文字を見ても「この記号はなんだろう？」と思っていた）当時、割とお気に入りだったのがこの顔文字(^3^)/で、とにかくこれを使えばなんとかなると信じて多用乱用していた。しかし最近、なんと動く絵文字というものを覚えたのだ。それでも滅多に使わないのだが、中でもなんだか実態のよくわからない白い人のようなキャラクターがかわいくて、たまに使っている。だからあれだ。つまりこういうことだ。俺はメールが苦手だけど動く絵文字は使えちゃうわけだ。そこらのお父さんお母さんよりはちょっとレベル高いわけだ。

今年はもう少しマメになれるよう頑張ります。

…ヴィドールの…美doll？…戯

第八十八体目　ギル の巻

…年！明けましておめでとうございます!!!!

…ドールのギルでございますよ〜

…いえぇ〜〜い

…活動再開もしてないんだけどさ、新年を…ったってコトでハイテンションでいこ〜う…・)/

…は2010〜2011にまたぐ時に風邪をひいた…なぁ〜
…もの日常と同じ生活してただけなのにさ、…急に痛くなって一気にやられたぜ！
…゜)」

たぶんアレだな

いつもなら渋谷C.C.Lemonホールじゃん!?
でも今回は出れなかったから体が異変を起こしたんだな〜

たぶん

そんくらいライヴしたくてしたくてたまらないぜ〜〜〜〜

ちくしょ〜

ってコレを書いてる今は何をしているか？っていうとですな、現在1月3日の夜なのだ

家で普通におでんを作ってるんだぜぃ
(´∀`)

急に食べたくなっちゃったから、土鍋でこしらえてるんだぁ〜
めっちゃいい香りがするよヾ(≧▽≦)ゞ

とりあえず食べたいモノ食べて体を回復させようってコトなのだよ〜
2011最初のライヴは1月19日のセッションだからね(≧∇≦)

って本号が出てる時には終わってるんじゃね!?

しまったぁ〜〜〜(゜∀゜;ノ)ノ

2月もセッションするぞ!!　シュンギルセッションするぞ!!!!

なんかシュンギルセッション定着してきたねぇ〜

いろんな曲をやれるのはソレはソレで楽しいよね

難しい曲にチャレンジできるのもイイ!!!!

あぁ〜

ライヴがしたいぜ〜ヾ(´ー`)

そんなこんななギルオでしたぁ〜〜

おういえい(｡-_-｡)

ドレミ團マコトの♪ 月刊少年マコトピア

第83回　2011 の巻

読者の皆様、明けましておめでとうございます！　新しい年を迎えて既に20日以上経ってしまっていますが、とにかくあけおめなのです。

これが出る頃には毎年恒例の年明け公演「東京姫始メ」も終了し、去年の秋からのロングツアーも無事おわってるとおもいます。それなりに長くやってるバンドですが、まだまだ得る事や発見もあって非常に収穫の多いツアーになりました、参加してくれたみんな。ありがと！

そんなツアー中、12/13名古屋公演でステージでテンション最高潮のギターKENさんと接触、ギターが僕のおしりに激突し、その瞬間はものっすごい痛かったけどその後は痛みも特になく、翌日の公演も普通に気にならなかったのですが、そこから2日程したらなんだかすこし痛みが出て来て、大阪滞在だったので大阪で病院行って湿布もらったのですが、東京に戻ってやっぱりまだ少し痛むので、念のため病院行ってレントゲンを撮ってもらったら、尾てい骨、折れてました…。全治2ヶ月。特に治療法やリハビリも出来ないそうなので時間をかけて治すしかないみたいです。まあ、痛み止めのんでれば歌を歌うのにはまったく影響ないのですがね！　おかげでいつも優しいKENさんですが、僕には特別優しいです(笑)。

去年は、1月に新メンバーユウが加入し、前半はとにかくバンドとしての地盤を固め、5月以降は常にツアーをやりながら、アルバムつくって、気がついたら
年を越してって感じで、そう考えると1年ってあっという間やね。きっと今年もそんな感じなんやろうけど、だからこそ二度と来ないその時、その瞬間を大切にしていきたいと思います。そんな中、何がおこるかわからないこの時代、色んなコトあるかもしれないけどいつも笑っていたいな。

そういえば、個人的に3月に舞台に出演するのですが、今までのような感じとはまた違いかなり本格的な舞台なので、ドキドキやなぁ。今の所、不安しかないぜ(笑)。まあやるからには楽しみたいと思います！

来月の初の台湾公演もそうやけど今年は新しい事もどんどん出来るといいな。あと、今月のカヴァートリビュートアルバムも是非聴いてみてね！

という事で、リキッドルーム姫始メで、結成9周年を迎え、今年も最高のスタートを切ったドレミ團ですが、今年、2011年はなんといっても来年の「結成10周年」へ向けて駆け抜けるとても大きな一年になると思っているのです！

皆様、今年もよろしくお願いします♪
ほな、また来月〜。

蝴蝶风 hudie.com

うしろの正面
—ただしづら—

第139回
by 長谷川 正
/Plastic Tree

皆さまこんちくわ&明けましておめでとうございます！　昨年に引き続き2011年もひとつご贔屓に…よろしくお願いします!!　さて、昨年末は皆さまにご心配をおかけしてしまい、本当にすみません…。とりあえず状況の方はだいぶ落ち着いて来たので、今後は無理のないペースで、なおかつより一層プラにしか出来ない活動を目指して頑張ります！　それにしても今回の件で、色々な方に温かい言葉をかけて頂いて、「プラは本当に幸せなバンドだなあ」と改めて実感出来ました。思い返してみると…プラを始めた頃から何だかんだノンストップで活動して来たような気もするので、神様が「ちょっと一息入れるがよい！」と心配りをしてくれたのかもしれません（笑）。さて、そんな今年の個人的目標を3つほど。一つ目は満足出来る作品作り…これは今年に限らず常に心がけている事ではあるのですが、より一層自分でも聴いてみたくなるような曲を作れたらなあ、と思ってます。二つ目はベースを弾く時間をできるだけ増やす…やっぱり楽しいですからね。それに伴って、今の自分が持っているスタイルをもっと掘り下げていきたいです。三つ目は…プラをもっと素敵なバンドにする事！　それにはまず自分をもっと磨かないとね…というのが総じての目標かもしれません（笑）。という事で、2011年も心に残る経験を重ねて行きたい…と思ってますのでどうかお付き合い下さいませ。今月は新春マリモーランドよりお届けしました…さよーなりーー！

蝴蝶网
hudie.com

麺は固め!!
第152回　by 竹入隆行

2011年が明けました。
今年はどんな年になるんやろう？
今年はタケバン、4thアルバムを出させて頂く事になっていま
しかし曲が今からなので（笑）、曲づくりの事が頭の大半をしめ
いて、新年からボカばかりしてしまっています…。
珍しく、先が思いやられます。珍しく弱気です。ポスターを作
忘れたり…と言うか、例年はすでに決まっている時期のスケジュ
ルを決めかねている自分がいます。
曲を作る時間がうまく確保出来ないのですよね…。
不安いっぱいの新年です。しかし逃げる訳には行きません！
要とされる幸せに感謝して只今がむしゃらに帳尻合わせ中（
空回り気味ですが…。あっ！　自分は割と合理的にこだわるほ
なのですが、今年は合理的にこだわるのはやめよう！　いっは
空回りして、いつも以上にいっぱいいっぱい動いてやっていく
にしよう！　曲を作り、レコーディングをして、それを持って
アーに出る。
それが叶った時はどれ程嬉しいやろう？
なかなか追い込まれてる感じで、この「麺は固め」も上手く書け
書いては消し、書いては消ししていましたが、書いているうち
なんか見えた気がします…。
今年も頑張って書かせて頂くのでどうぞ宜しくお願いします。

ライヴでお会い出来る方々は、今年も一緒に楽しくロックンロールしましょう！
押忍！

SHOCK WAVE アポロ Vol.4

2011年2月18日（火）高田馬場AREA

★★★★★★★★★★★★★★★★出演★★★★★★★★★★★★★★★★

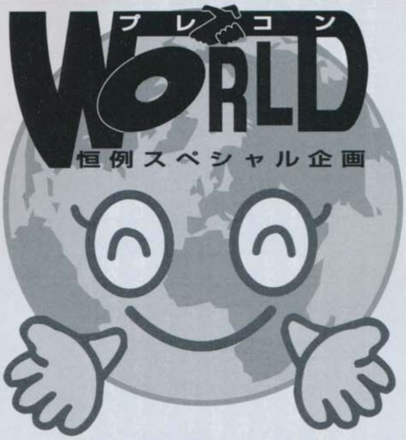
v [NEU] ＊ DuelJewel ＊ レミング
Annie's Black ＊ ギャロ ＊ ZUCK

毎月18日は、本誌イベント『SHOCK WAVE アポロ』の日♪
毎回、多彩な顔ぶれのバンドが競演！　2月のアポロもお見逃し無く♪

チケットは、イープラス（http://eplus.jp）
ローソンチケット（Lコード予約 http://l-tike.com　Lコード：77164）
AREA店頭にて、絶賛発売中♪

詳細は
音楽専科社 HP [http://www.ongakusenkasha.co.jp/]
携帯サイト：音楽せんか？ [http://mobile.ongakusenkasha.com/]

（問）高田馬場AREA ☎03-3361-1



新年あけましておめでとうございます！　本年も、SHOXXをどうぞ宜しくお願いします♪　いや〜、2011年ですって。今年は、何しようかなぁ〜。とりあえず、3年前の引っ越しの時から置きっぱなしになっている【開かずの箱】を、そろそろ開封したいと思います。てか、何入ってるんだろう…(笑)。と、いうわけで、今月は、学生時代美術の評価が2だったぺろちゃんが腕をふるって、初日の出を描いてみました♪　てへっ。

ギルガメッシュ

撮影に使用した過去記事にサインを入れて4名様に
(誰のが欲しいか書いてネ)

2 ミヤ(ムック)

サイン入りフォトを1名様に
※現物にはサインが入ります

一志(Kagrra,)

サイン入りフォトを1名様に
※現物にはサインが入ります

3 葵from彩冷える

サイン入りフォトを2名様に
※現物にはサインが入ります

1 Alice Nine

サイン入りフォトを2名様に
※現物にはサインが入ります

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

8 DOG in Theパラレルワールドオーケストラ

サイン入りフォトを1名様に
※現物にはサインが入ります

6 heidi.

heidi.福袋SHOXX editionを1名様に

9 Alice Age

ヴィジュアル系アパレル通販サイト「Alice Age(アリスエイジ)」から
アルファベットタトゥーシールと非売品リストバンドをセットにして1名様に

7 TOON-FACTORY

サイン入りフォトを1名様に
※現物にはサインが入ります

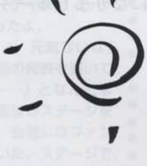


イラスト:ぺろちゃん

プレコンWORLDアンケート用紙 VOL.217

住所	〒 TEL ( )				
氏名	フリガナ	年齢		男・女	

★A. よかった記事の番号を良かった順に3つあげてください。

1	2	3	理由

★B. 好きなアーティスト・バンドは？
( )( )( )

★C. 最近気になっているアーティスト・バンドは？
( )( )( )

★D. 今月号に対する意見・不満・または希望企画を聞かせて下さい。

★E. 希望プレゼントの番号(P140〜141) 番

アンケートのお願い

●アンケートに答えて、用紙を切り取り、はがきに貼って送ってね。コピー不可
●宛先は〒104-8228 銀座6－2－3 Daiwa銀座アネックス5F
音楽専科社 SHOXX 編集部 プレコン WORLD 係まで。
●締め切り：2011年2月21日当日消印有効
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆今月の記事一覧（アンケート）

①Alice Nine ②シド ③ナイトメア ④ミヤ(ムック) ⑤葵from彩冷える ⑥the GazettE ルガメッシュ ⑧一志(Kagrra,) ⑨Kra ⑩SuG ⑪THE KIDDIE ⑫D'espairsRay ⑬ ⑭12012 ⑮heidi. ⑯Lc5 ⑰Versailles ⑱kanon×TOKIO HOTEL ⑲Sadie ⑳ ㉑ゾロ ㉒boogieman ㉓TOON-FACTORY ㉔Blu-BiLLion ㉕ケミカルピクチ ㉖BORN ㉗葵&涼平 ㉘花少年バディーズ ㉙陰陽座 ㉚jealkb ㉛LUNA SEA ㉜S WAVEアポロ ㉝DEATHGAZE ㉞The Riotts. ㉟LOST ASH ㊱DOG inTheパラレル ドオーケストラ ㊲アンド ㊳SCREW ㊴Moran ㊵アーティストBOX ㊶Mission in ほ ㊷早耳情報 ㊸ロックンロール日記

Vol.218予告

くんの主張：男色の思い出よ永遠に！ の巻)

月21日全国一斉発売!

明けましておめでとうございます。

のthe GazettEとシドの東京ドームでのライヴ。SHOXXで取
させてもらっているミュージシャンがドームのステージに立つ
の姿。頼もしい&感慨深いね。両バンドともグッとくる素敵ラ
ヴだった。
れで、それで、みなさん大変お待たせしました。SHOXX FiLE
ーズについに真打登場！ the GazettE Edition.1の発売が決定
ました!! 今回はEditon.1という事で彼らがSHOXXに初登場し
003年3月の記事から『Filth in the beauty』がリリースタイ
ングの2006年10月発売号までにSHOXXに掲載された全記事を
イルしました。340ページを超えるヴォリュームです。
ことで、the GazettEファイルの編集作業を只今、張り切って
てます。昔の記事をつらつら見返しながら色々細かい事を思
出した。
と葵の2ショット撮影での出来事。普段バンドでは出来ない企
という事で、なんと花魁に扮した二人。着付けも特別な技術
必要だというので、その筋の大先生にお願いしました。そして
場に現れた、その大先生（70歳ぐらいの男性）がおネエキャラ
。「う、う〜ん、キレイぃ、キレイぃ♥」と連呼する“おじい
んおネエ”。当惑するthe GazettEのギターコンビ。フォトグラ
ーの宮脇巨匠が半分吹き出しそうになりながら、シャッター
切っていたのを鮮明に思い出した。
んなシュールな現場でも仕上がった写真は最高の出来。評判が
かったです。今回のファイルにもバッチリ掲載されます。気に
る方は是非!!
も明けてお正月。またひとつ歳をとる。いつまでたっても大人
なった自覚を持てないボク、この春44歳になりましゅーぅ。今
もSHOXXをよろしくお願いいたします。

表紙&巻頭特集は
XX Vol.218

人(ナイトメア)

ーメア初のパーソナル特集。構想約1年。
子の入魂の特集。乞うご期待！

バックナンバーを希望の方は、定価に送料（1冊＝¥140、2冊＝¥220、3冊以上は全て¥450）を加えて、
または小為替で、〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 Ｄａｉｗａ銀座アネックスビル5F音楽専科社経理
OXXバックナンバーVol.○」（○の中に号数を入れる）係まで申し込んで下さい（ただし、付録ポスター
ない場合もあります。ご了承ください）。
近くの書店でVol.218（2月21日発売）を買いそびれないようにするには、書店へ予約しておくと便利です。

.216
月号 ¥1200

■ViViD巻頭&表紙16ページ特集■YOMI（ナイトメア）■沙我（Alice Nine）■Plastic Tree■LM.C■D■ギルガメッシュ■D'espairsRay■陰陽座■AYABIE■Mix Speaker's,Inc.■ゾロ■DaizyStripper■アンド■HERO■Waive■NoGoD■東京ミカエル。

Vol.215
11年1月号 ¥1200

■the GazettE巻頭&表紙18ページ特集■ViViD 8ページBook in Book封入!!■シド■Over The Edgeスペシャルセッション■ナイトメア■ムック■Plastic Tree■Alice Nine■AYABIE■THE KIDDIE■Lc5

バック・ナンバーのご案内

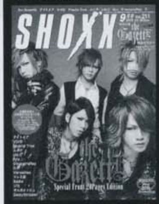
Vol.210
10年8月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■TRIBAL ARIVALL Vol.100レポート■Kagrra,■Kra■Lc5■THE KIDDIE■SuG■長谷川正×コースケ■Over the Edge@OSAKA■12012■boogieman■Mix Speakear's,Inc.■マコト×ユウ■ViViD

Vol.205
10年3月号 ¥980

■カラス巻頭&表紙20ページ特集■YOMI(ナイトメア)■The LEGENDARY SIX NINE■彩冷える■アンティック-珈琲店-■ミヤ（ムック）■Plastic Tree■LM.C■Alice Nine■ヴィドール■12012■ギルガメッシュ■SuG■Versailles■D■D'espairsRay

Vol.211
10年9月号 ¥980



■the GazettE巻頭&表紙20ページ特集■YOMI×RUKA(ナイトメア)対談■シン(ViViD)■Plastic Tree■ムック■LM.C■Kra■D■Versailles■マコト(ドレミ團)■Sadie■ゾロ■ギルガメッシュ■DELUHI■Fatima■BugLug

Vol.206
10年4月号 ¥980

■Alice Nine巻頭&表紙12ページ特集■LM.C■The LEGENDARY SIX NINE■ナイトメア■シド■彩冷える■D■ヴィドール■12012■ガマ■ルガメッシ■Sadie■THE KIDDIE■ViViD■ゾロ■DuelJewel■HERO■boogieman

蝴蝶网
hudie.com

Vol.212
10年10月号 ¥980

■Alice Nine巻頭&表紙14ページ特集■the GazettE■柩&咲人（ナイトメア）■Kagrra,■Lc5■葵 from 彩冷える■LM.C■ヴィドール■SuG■THE KIDDIE■ViViD■ギルガメッシュ■少女-ロリヰタ-23区■heidi.

Vol.207
10年5月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■The LEGENDARY SIX NINE■EXTRA-TERRITORIAL対談■カノン(アンティック-珈琲店-)■Plastic Tree■ムック■D■D'espairsRay■Versailles■Kagrra,■MIX Speaker's, Inc.■ドレミ團■ギルガメッシュ

Vol.213
10年11月号 ¥1250

■創刊20周年特別号■the GazettE巻頭&表紙18ページ特集■ムック8ページブックinブック封入■シド■ナイトメア■Alice Nine■Plastic Tree■Kagrra,■Versailles■LM.C■SuG■ViViD■heidi.■ギルガメッシュ■THE KIDDIE

Vol.208
10年6月号 ¥980

■西川貴教×YOMI（ナイトメア）巻頭&表紙18ページ特集■the GazettE■有村竜太朗■heidi.■Sadie■THE KIDDIE■一志(Kagrra,)■Kra■ヴィドール■ギルガメッシュ■ゾロ■SCREW■ドレミ團■ViViD■TOON-FACTORY■boogieman■人格ラヂオ

Vol.214
10年12月号 ¥980

■SuG巻頭&表紙16ページ特集■LM.C8ページ Book in Book封入!!■ナイトメア■Alice Nine■イガグリ千葉（仙台貨物）■Kagrra,■Lc5■THE KIDDIE■ヴィドール■Sadie■ViViD■Kanon×Kanon■BREAKERZ■jealkb■D'espairsRay

Vol.209
10年7月号 ¥980

■彩冷える巻頭&表紙14ページ特集■ナイトメア■ムック■シド■有村竜太朗■Plastic Tree■LM.C■Alice Nine■Kagrra,■heidi.■ジュイ■D'espairsRay■D■Versailles■SCREW■零乃×伶我(ViViD)■seek

イラスト:AKEMI OHSHI

大島暁美のロックンロール日記

2011年あけましておめでとうございます。今年一年がSHOXX&ロックンロール日記読者のみなさまにとって、素晴らしい年となりますように。1月1日の0時には、V-ROCK FESTIVAL'11開催決定も発表になりました。今年も楽しいことを、たくさんやっちまいましょう!

×月×日

宮脇"巨匠"カメラマンのスタジオで、忘年会。スタジオで忘年会なんて聞くと、つまみはポテチとかカキピーとかを想像しがちだが、なんとフランス料理のケータリングだぜっ! その席でメガマソGouくんに、「この前、渋谷で漫画喫茶に入る大島さんを見かけましたよ」と、いわれた。え? 漫画喫茶? そんなとこ行ったことないよ?と首をかしげたのだが、よーく聞いてみたらよく行くネット・カフェのことだった。ちょっと前までネットカフェって一人で入るのに抵抗があったんだけど、仕事の空き時間に原稿を書くため、重いパソコンを持ち歩いてるわたしに、友達が勧めてくれたの。それで、勇気を出して行ってみたら、静かで仕事はかどるし、ドリンク飲み放題だし、ソフトクリームも食べ放題だし、大満足。なによりもUSB一つ持ってれば、パソコンを持ち歩かなくてもいいって画期的だ。Gouくんがわたしを見かけたのは、そのネットカフェに入る時だったみたい。先月は、「今月のバッタリくん五連発」なんてネタを書いてただけに、「見られてるんですよ〜」とGouくんの不敵な笑いにちょっとビビったよ。渋谷ってわりと自宅から近いので、スッピンでネギ持って歩いてることもあるからさ(笑)。常に緊張感を持って行動せねば……と、背筋が伸びたのであった。

×月×日

Alice Nineのニュー・アルバム「GEMINI」のインタビュー。12分の組曲が収録されていたり、いろいろ新しいことにチャレンジしているアルバムなので、取材もほどよい緊張感。そんな中、Naoがアルバムのレコーディング作業をたとえて、「高尾山に上るがごとく」といったら、瞬時にメンバーから「すぐ上れるよ!」「おばあちゃんでも上れるよ!」と、総スカン(笑)。「富士山じゃいいすぎかなと思って、少し謙虚にいってみただけなんだけど……」と、ちょっぴり困ったちゃんのNaoNao。「じゃ、八幡山で……」といいかけたら、「お願いだから、富士山にしておいて〜!」と将くんに悲鳴を上げられ(八幡山は、山じゃないからね)、渋々「富士山にします」と訂正してた(笑)。それにしても、場の雰囲気を一気になごませてくれたリーダー、さすがだわ〜!

×月×日

LUNACY黒服限定ギグ。右を見ても左を見ても上を見てもどこ見ても、みんな真っ黒〜! すごい、ホントに圧巻だったよ。しかも、開演前の会場には聖歌隊の合唱がおごそかに流れていて、観客はシーンと静まり返っている。とてもロック・コンサートの開演前とは、思えない。思わず「何でこんなに静かなんだろ」とTwitterでつぶやいたら、「チケットの抽選が一人1枚だったので、周りは知らない人だらけで、話ができないんです!」という返事がたくさん来た。疑問をつぶやくとすぐに当事者から返事が寄せられるって、Twitter ってホントに便利だな〜。

LUNACYはLUNA SEAの結成当初のバンド表記で、この日に演奏した曲もインディーズ・アルバムとファースト・アルバムからがほとんど。LUNA SEAは、ライヴハウス時代から見ているわたしも知らない曲が1曲あった。終演後、打ち上げ会場に行くために東京ドーム裏の楽屋を歩いていたら、Dのメンバーにバッタリ。そこで、「LUNA SEAって詳しいんだっけ?」と聞いたら、RuizaくんとHIROKIくんが「もう詳しいなんてもんじゃないですよ!」と、頼もしい返事。で、「『SEARCH FOR REASON』の前にやった曲って、なんだか知ってる?」と尋ねたら、「デモ・テープだけで発表された『SUSPICIOUS』っていう曲です」「RYUICHIさん作曲なんですよ」と、二人で先を争うように解説してくれた。しかも、HIROKIくんは「今でも実家に、そのデモ・テープ、ありますよ。友達にダビングさせてもらって、大切にとってあるんです」とのこと。素晴らしい〜!

3日間を通じて、会場にはホントにたくさんのミュージシャンがライヴを見に来ていた。「LUNA SEAを聞いて、バンドを始めた」という人も多く、脈々と続くヴィジュアル系の歴史を見ることができて、なんか嬉しかったな。

×月×日

Kra現メンバーでの最後のライヴ。ギターの舞っちょがこの日のステージを最後に、体調不良のために引退するという。Kraはずいぶん昔から取材をさせてもらってたし、舞っちょの不思議なキャラクターにはずいぶん癒された。決して饒舌なタイプではないけど、取材の時にはユニークな発言を連発して、わたしと編集嬢を涙が出るほど笑わせてくれた。ひとことで「天然」というのともちょっと違う、アーティスティックなボケは、個性的でホントに面白かったよ。

でも、数年前から「今日、舞っちょ、元気ないな」と感じることが時々あったので、今回の発表を聞いて、「そっか。体調不良で辛かったんだ……」となんとなく納得できてしまう部分もあった。最後のステージを笑顔でつとめた舞っちょだったけど、会場にはファンのすすり泣く声が絶え間なく響いていた。ステージで、「ありがとう」と「これからも、Kraをよろしくお願いします」という言葉を、何回も繰り返していた舞っちょ。終演後の挨拶の時も両手で握手をして、「今まで本当にありがとうございました。これからも、Kraをよろしくお願いします」と、笑顔で深々とお辞儀をしてくれた。3人に囲まれて、関係者に挨拶を繰り返す彼の姿を見て、ついウルウル(涙)。

誰も望んでいない舞っちょの脱退&引退。メンバーもスタッフもファンも、苦渋の決断をせざるをえなかったであろう本人も……。解散とか、音楽性の違いによる脱退とか、そういう別れとはまったく違うだけに、よりいっそう切なく、悲しみが大きかったように思う。とはいえ、Kraは今後も前を向いて進んでいく。「これからもKraをよろしく」という舞っちょの願いに応えるためにも、みんなでたくさん応援していこうね! そして、いつの日か、病気を治した舞っちょが「引退を撤回しま〜す!」とあの素朴な笑顔でひょっこりとシーンに舞い戻ってきてくれることを、祈ってる。

×月×日

ドイツのスーパー・グループTOKIO HOTELがプローモーションのために来日し、kanonくんと対談。20歳にしてキャリア6年、ヨーロッパや南米ではス

TOKIO HOTEL

タジアム・ツアーをするほどの人気バンドで、ヴォ
カルのビルとギターのトムは一卵性双生児で超美
久しぶりにルンルン、大喜びの取材だった♪(記
78ページを見てね)
対談の2日後には、赤坂BLITZでショーケース
イヴ。この日のライヴは、撮影OKだったのね。
しは2階の下手側出っ張りの最前列の席にいたん
ど、座ったまま写メを撮ったら、フレームに柵が
ちゃうの! で、つい立ちあがって、柵のとこ
真を撮ったら、警備員さんに注意されちゃった(
あとでその話をボックンに話したら、「大島暁
ライヴの写真撮ってて、警備員に怒られたって、ス
ブだよね」って、大笑いされた。ん〜、たしかにそ
初体験かもしれないなぁ(笑)。

×月×日

HOT WAVEの公開収録。ゲストは、ViVi
Alice Nineの将くんと沙我くん。この二人の組
わせはめずらしく、特に沙我くんは暴走すると困
で、マネージャーさんがなかなかテレビの仕事に
キングしてくれないそう。「俺を出してくれるH
WAVEは太っ腹です」なんていって収録はスター
たけど、みんなの期待通り、沙我くんはしっかり
してくれた(笑)。
でも、いちばんビックリしたのは、収録が終わり
さしかかった頃、突然、将くんがステージからい
なったこと。その前から後ろを向いて目を触った
ていたので、「ゴミでも入ったのかな?」と思っ
たんだけど、「ちょっと二人に任せます」といって
さと袖に引っ込んでしまった時は、唖然。沙我く
二人、顔を見合わせて「困ったね」といっちゃっ
あの時の会話は完璧に、素だった。自由すぎるよ
くん(笑)。

Viju☆Love☆Night#004

1月23日(日)渋谷SECO今月も盛りだくさん
よ! 遊びに来てね!
詳しくは、http://ameblo.jp/vijulovex

VIJU☆LOVE☆NIGHT 2011.1.23 割引券
huare.com

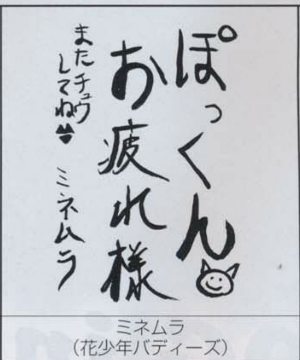
ission in ッション イン ぽっくん

っておめでとうございます。今年もよろしく!! 新年一発目のミッションは"書初め"で
て今月の目玉はV系の印象派の雄、ミヤ画伯の力作(!?)です。凝視して堪能、そして吹き出
さい。 それでは今年も、ヨーイ、ドン!!
月から本コーナーはリニューアルスタートします。お楽しみに!!

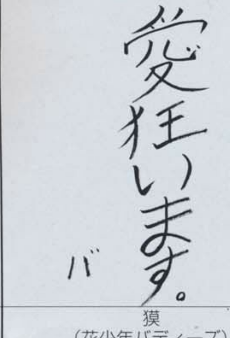
明けまして おめでとう ございます 今年もよろしく	明けまして おめでとう！ 今年は全力で 走るよ。あおい。	あけましておめでたくしましょう 今年こそ Kagrra 一志	ムック十三年で約一八五曲。来年は目指せ二〇〇曲。
涼平 (涼平 incl. アヤビエメガマゾ)	葵 (葵&涼平 incl. アヤビエメガマゾ)	一志 (Kagrra,)	ミヤ (ムック)
うさぎ ryo	あけまして 今年は私 違うんです。	弐	だしょー 左迅
RYO (ギルガメッシュ)	愁 (ギルガメッシュ)	弐 (ギルガメッシュ)	左迅 (ギルガメッシュ)
王冠奪取 DOG kiss me,	一 [illegible] 吉日 ミズキ	オレマジジャニ 準砂糖 リラックス	子作りしない？ DOG in The PWO 2011年もよろしく。
メイ (DOG inTheパラレルワールドオーケストラ)	ミズキ (DOG inTheパラレルワールドオーケストラ)	準々 (DOG inTheパラレルワールドオーケストラ)	春 (DOG inTheパラレルワールドオーケストラ)

ツブク
（花少年バディーズ）

琢磨
（花少年バディーズ）



ミネムラ
（花少年バディーズ）

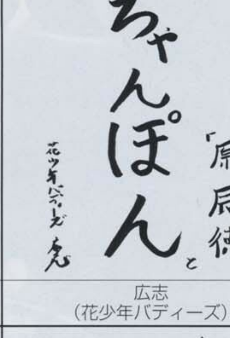


獏
（花少年バディーズ）

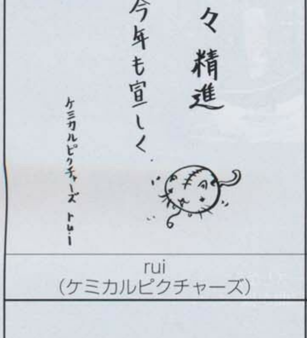
雫
（TOON-FACTORY）

夢叶
（TOON-FACTORY）

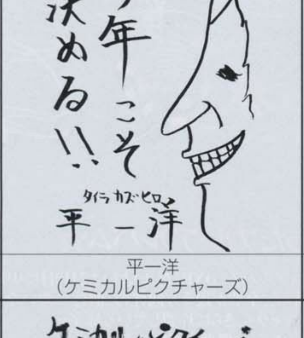
ひかる
（TOON-FACTORY）



広志
（花少年バディーズ）

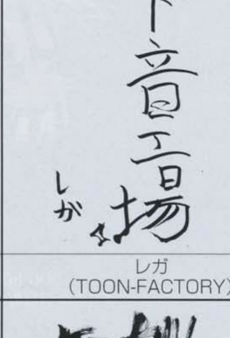


rui
（ケミカルピクチャーズ）



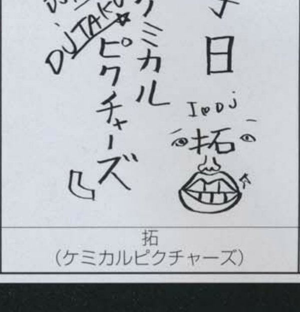
平一洋
（ケミカルピクチャーズ）

ゆーぃち
（TOON-FACTORY）



レガ
（TOON-FACTORY）

子雲
（ケミカルピクチャーズ）



拓
（ケミカルピクチャーズ）

joe
（ケミカルピクチャーズ）

★応募の決まり★

このアーティスト直筆の回答書をプレゼントしちゃいま～す。欲しい人は145ページの左下にある応募券を官製はがきに貼って、あなたの住所、氏名、年齢と希望アーティスト名を書いて　〒104-8228　東京都中央区銀座6-2-3　Daiwa銀座アネックス5F音楽専科社「ぼっくんくれっ！」係まで応募してください。締め切りは2011年2月21日（当日消印有効）です。

ぼっくんくれっ！
SHOXX vol.217応募券

蝴蝶网
hudie.com

DOG inThe パラレルワールドオーケストラ

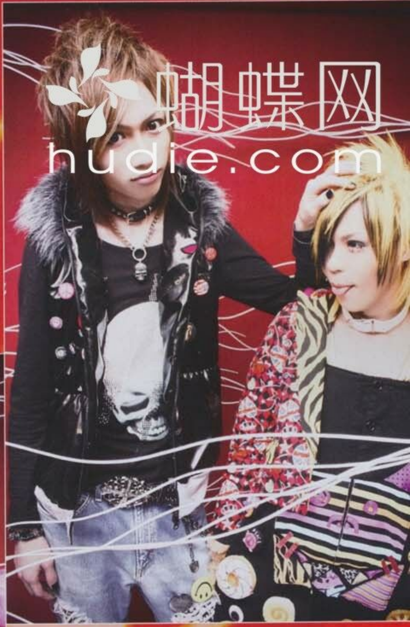
“キミ”のために作ったフル・アルバム☆

DOG inTheパラレルワールドオーケストラの待望の1stアルバム『ONE』が、いよいよ2月9日にリリースとなる。
“聴く人全員に好きになってもらえるアルバム作り”を目指した結果、全曲が違う方向性の、個性の強い全13曲が揃ったという。
と同時に、4人のプレイヤーとしてのキャラも、さらに炸裂している様子…。
今月は、制作途中の彼らに『ONE』の概要を聞いてみた。
ちなみに次号では『ONE』をさらに深く探ります!! お楽しみに☆

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI (SHOXX)
Hair & Make-up:AZUSA KOBAYASHI
Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

蝴蝶网
hudie.com

――アルバムを作るにあたって、みんなで話したことなどはありましたか？
春：いちばん初めに話をしたのは、どんな人が聴いても好きになってもらえるアルバムを作ろうということでした。そのために、まず捨て曲はなくすことにして。でも、それだけじゃ足りないだろうというところから、全曲を気に入ってもらえなくても1曲でも好きになってもらえれば、アルバムを好きになってもらえたことになるんじゃないかという話になって。それで、全曲が違う方向を向いたアルバムにしようと決めました。
――みんなに好きになってもらえるように色を薄めるのではなくて、逆に濃いアルバムにすることにしたんですね。
春：そう。それで、〝激しい〟とか〝バラード〟〝4つ打ち〟というように、大まかなテーマを8個立てて、それについての深い話し合いは一切せずに、全員が曲作りを始めて。曲が揃った時点で、全員で選曲会をした結果、全部準々の曲でいくことになりました。
準々：今回は、短期間でたくさん曲を作りましたね。それぞれのテーマに合わせて何曲かずつ作って持っていって。OKが出なければ、また作って…ということを繰り返したので。
春：30曲弱くらい書いたよね。
――本当に!? 多作ですねぇ…。
準々：でも、曲を作る時間が速くなったので、大変ではなかったです。選曲会まで時間があったので、直前まで何もしなかったんですよ。そうしたら、選曲会の3日前くらいに歯が痛くなってしまって（笑）。曲作りに取り掛からないといけない時に何も出来なくて。選曲会は夕方の5時からだったので、選曲会の日の朝7時に起きて、1時間に1曲のペースで作っていったんです。本当に何もない状態で、まずBPM（テンポ）＝180ということだけ決めて1曲作って、次に170で作って…そうやって進めていったんです。〝ああ、叩けばホコリのように出てくるな〟と思いました（笑）。
――時間がない中で上質な曲を作るのは、さすがです。曲が揃った時点で、それぞれどんな印象を受けました？
ミズキ：新曲を並べてみると、本当に個



く出さないといけないなと思いました。ちょうど前作／前々作のシングルで、それまで自分がやってきたことをうまくまとめられた感があったので、ここからまた新たに幅を拡げていこう、という前向きな姿勢で取り組みました。
メイ：1stアルバムは、DOG inTheパラレルワールドオーケストラ（以下、DOG）の集大成とも言えるものじゃないですか。でも、そこで変に意気込むことはなかったです。ここに至るまでの音源制作やリリースを経て、自分的には自信があったので。あまり考え込むこともなく、今回はフラットな気持ちで挑めました。曲調がバラエティに富んでいることに関しても、今までにいろんな曲をみんなで作って出してきたので、〝こんなものが来たか！〟という驚きはありましたけど、戸惑うことはなかったです。
春：アレンジの面でも、今回は新しいアプローチを採りました。アルバムに入れる曲を決めた後、準々にそれぞれの曲の仮タイトルを聞いたんです。そうしたら、〝ハンサム〟とか〝東京ドーム〟〝ロッキンオン〟みたいなワードが返ってきて。だから、それに沿ってみんなでアレンジを詰めていったんです。そういうワードが出てくることで、最初の〝激しい〟というようなテーマには縛られなくなりますよね。例えば、〝ハンサム〟という仮タイトルの曲では、それぞれが思うハンサムなことをすればいい…という。歌詞を書く時もマジでハンサムなことを言ってやろうと思って出来たのが、「ONE」という曲です（笑）。今回は、そういうスタイルでした。
――すごく、いいアプローチだと思います。それぞれが新たに挑戦していることなども教えてもらえますか。
春：歌詞の面で今までといちばん違うのは、自分のエゴを捨てたこと。今回は、曲に寄り添った歌詞を書こうという意識が強くありました。あるべき姿のものを作りたかったので。今まで、〝俺節〟とか思って歌詞に入れ込んでいたスパイスの部分は、ヴォーカリストとして、歌できちんと表現しようと思って。なので、歌の面ではキャラクターを増やすことをテーマにして取り組んでいます。激しく

蝴蝶网
hudie.com

を感動させたいという想い…それは相反するものなんですけど、両方を活かしたくて。今回、全曲で歌の表情が違うアルバムになると思いますね。

ミズキ：自分のギターに関しては、今までは…わりと1曲通して同じ音で弾くことが多かったんですね。でも、今回は幅を拡げたいな…というのがあって。プレイ面でも音色面でも、いろいろ新しいことに挑戦しています。自分の中にあるイメージを明確に伝えるために、エフェクターとかも使うようになったし、細かいフレーズにもこだわるようになったし。今までにはなかった自分のギターの在り方を、少しずつ形に出来ている手応えを感じています。

準々：今回は、僕がコード感を活かしたバッキングを弾きたくて、ミズキに色づけを頼んだ曲とかもあるんです。それは、「世界再構成魔法リライト」という曲なんですけど。

ミズキ：「世界再構成魔法‐リライト‐」のギターを考えるのは楽しかった。原曲を聴いた時に、秋とかの夜に高速道路を車で走っている情景が浮かんできて。それを表現するために、車のスピーカーから流れてくるラジオの音的なものを入れたりとか。そういうことを考えたアプローチは初めてなんですよね。

準々：自分のギターは、いつもどおりというか。今までの貯金で賄っています（笑）。自分で作った曲だから、弾くべきギターは分かっているし。ただ、細かいところとかを考えるのが面倒くさくて。だから、レコーディングの当日にスタジオに行って、レコーディング・エンジニアが見てないところでフレーズを考えたりしています（笑）。

――なぜ、隠れるんでしょう？

準々：そういうことは家でやってこいと怒られるじゃないですか（笑）。だから、録る時も最初はフレーズが定まってなくてアヤフヤなんですよ。それがバレないように、フレーズを変えて試しているように見せかけて、何度か練習して（笑）。〝うん、やっぱり、このフレーズでいこう〟とかいって録るという（笑）。あっ、忘れてた。今までになかったことをしている曲もあります。ずっとディレイの掛

春：今日そのテイクを聴いたんですけど極悪でしたよ（笑）。準々は、常々〝ヤサグレてる音〟が好きだと言っているんですけど、まさにそういう音です。舘ひろしっていう感じ（笑）。メッチャ彫深い…みたいな（笑）。ただ、最初は〝えっ？〟と思いましたけど、2秒くらいで慣れるんですよ。そういうところは、準々のセンスのよさですよね。

メイ：僕は、ボトムに収まるベースよりも自分流というか、〝ここでこういうフレーズを弾くんだ？〟みたいなものをいつも追求してて。今回もリズム楽器としてボトムを支えるベースとメロディ楽器として前に出るベースの間を、泳ぎました。ただ、我ながら答えを出すのが速くなったなと思って。自分の才能を、改めて感じています！（笑）　あとは、新しい要素を採り入れたい気持ちもあって、昔のポップスのベースとかを、よく聴いていました。ユーミンの「春よ来い」とか。昔のポップスとかのベース・ラインはすごくいいなと思って。それに、洋楽にも触れてみたりとか。そうやってボリュームのある作品にマッチした幅広さを出すことを意識した部分もありましたね。

春：そういえば、メイは「Dear My」というバラードのデモを聴いた時に、〝この曲、桜が舞ってない？〟とか言ってて。〝全然〟と（笑）。でもメイは、〝僕の中では桜のイメージだから〟みたいな感じで。

メイ：桜吹雪を吹かすから、って（笑）。そんな風に、ミズキと同じようにイメージから入った曲もあります。

――「Dear My」は、新境地のバラードだなと思いました。

春：そうですね。最初に話したように、バラードが好きな人にとっては聴き逃せない1曲だと思います。歌録りの時も気持ちよく歌えたし。でも、アルバムの核という感じではないですね。うるさいのが好きな人だったり、尖ったものが好きな人に向けた、とっておきの曲も入っているので、全曲が核です。

準々：僕は、「Dear My」のギター・ソロは早く聴いてほしいです。80年代には、偉大なギター・ヒーローがいっぱいいたじゃないですか。この曲のソロを弾

いた時に、それを超えたなと思ったので。それは、テクニックのことではなくて。ハードロック系のギタリストを、もう完全に逸脱したなと思って。

春：それは、マジで思いました。目から鱗が落ちたというか。ギター・ソロという概念からかけ離れているんですけど、すごくカッコいいんですよ。

準々：もう、スラッシュなんて〝誰だ、それ?〟くらいな（笑）。

――いろんな曲が入っているし、プレイ面の聴きどころも多いみたいですね。

春：曲調は、本当にバラエティに富んでいます。仮タイトルが、〝準々曲〟というのがあったりするし。

メイ：その曲は、もう構成が大変なことになっています（笑）。

春：あと、全員がメイン・ヴォーカルを取っている曲もあります（笑）。準々とメイは、今日この後レコーディングするんですよ（笑）。準々は、華麗なラップを披露するんだよね?（笑）

準々：うん。まだ録ってないから、どうなるか分からないけど（笑）。

ミズキ：それに、激しい曲で、春の新しいヴォーカルが聴ける曲もあります。すごくカッコいいんですよ。その曲を聴いたら、もうDOGのライヴに行かざるを得なくなると思います!

メイ：楽器隊が、それぞれ短いソロを取ってる曲もあるし。こうやって話していると、本当に早くみんなに聴いてほしくなりますね（笑）。

――聴きたいです（笑）。ところで、DOGのレコーディング中は、どんな雰囲気なんでしょう?

春：一言で言うと、実家にいる感覚です（笑）。昨日もも夜中の1時くらいから朝の5時くらいまでミックスが上がるのを待つことになって、一つのテーブルに4人で向かって座っているんですけど、僕とミズキが喋ってて、準々はMTRに合わせてギターを弾いてて。メイはずっと音楽を聴きながら曲の整理とメモリーをしてて。僕が歌詞を書き始めたら、ミズキと準々が喋り始めて…みたいなことがずっと続くという。いい意味での寛いだ感じがあって。レコーディング・スタジオ[illegible]るんだけど、家で作業しているような感じなんです。家にいる時の感覚と変わらない。

ミズキ：そうだね。

準々：なんか、外にいるという感じがしないんですよ。それは、ある意味嫌なことですけど（笑）。録りの時もピリピリしたムードではないですね。DOGのレコーディングの雰囲気は、すごくいいと思います。

メイ：だからといって、ヘラヘラしているわけではなくて。人間は集中すると無言になるじゃないですか。4人が揃って、そうなっている感じというか。そういう緊張感が心地好いし、会話とかがなくても変な空気感ではないですね。

春：ものすごくみんなが集中していることは感じます。みんな、地に足がついているというか。変な焦りとかもないし、肩に力が入りすぎてる感じでもなくて。制作のあるべき姿で進められているなと思っています。

――DOGが充実した状態にあることが分かります。話をして、アルバムのリリースが一層楽しみになりました。

メイ：アルバムは、上質な遊園地みたいな作品になると思います。スリルを味わえるジェットコースターもあれば、ロマンチックなメリーゴーランドもあれば、感動するパレードもあって。で、どれも本当に楽しめるという。そういうアルバムになると思うので、リリースを楽しみにしててください。

準々：このアルバムを気に入る人は、天才だと思います。逆に、理解できない人は、もう音楽を聴かなくていい。それくらいの自信があります。

ミズキ：いろんな人に、〝さすがはDOGだな〟と言ってもらえるアルバムになっていると思います。DOGにしか出来ない作品になっている自信もあるし。早くみんなに聴いてほしいし、僕自身も完成することを楽しみにしています。

春：SHOXXの読者にはいろんな人がいて、それぞれがそれぞれの人生を生きていると思うんですけど、このアルバムは、その一人一人全員に向けて作った作品です。自分のために作られたアルバムだと思ってもらって、リリースを待っててください。

どんな人が聴いても好きになってもらえるアルバムを

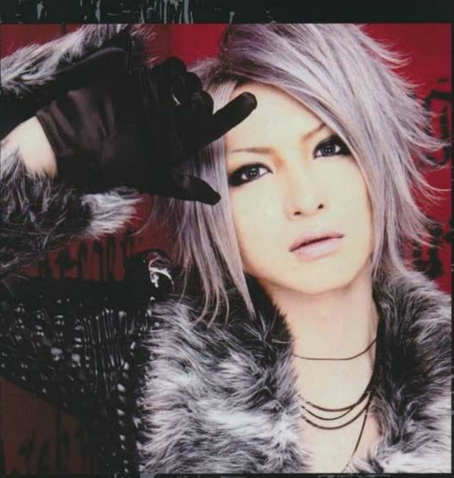
蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

アンド
-ECCENTRIC AGENT-

六大都市単独公演巡業任務決定!!

【SHOXX読者特別先行チケット販売決定



5月28日(土)郡山#9
5月29日(日)仙台HOOK
6月3日(金)博多 DRUM SON
6月5日(日)心斎橋 CLUB DROP
6月11日(土)名古屋 ell.FITS ALL
6月25日(土)新宿 BLAZE

■受付期間 2011.1.21(金)19:00～2011.2.28(月)23:00 ※規定枚数になり次第

■受付について・お申込みはディスクガレージ インターネットチケット販売サイト『GET TICKET』をご利用頂きます。
・初めてご利用の方は、『GET TICKET』への会員登録(無料)が必要です。
・その他詳しくはお申込みページにてご確認下さい。 ●申込ページ【PC・携帯共通】http://www.getticket.jp/g?t=z2gsqc5
※ディスクガレージおよび『GET TICKET』ホームページからはお申込みできません、必ず上記申込ページURLよりアクセスして下さい。
■お申込後の住所変更・申込内容確認 ＜PC＞http://www.getticket.jp/touroku/confirm.html＜携帯＞http://k.getticket.jp/cs/u01.php
【受付に関するお問合せ先】ディスクガレージ 03-5436-9600(平日12:00-19:00)

■一般チケット発売日:3月26日(土)

＜ライブスケジュール＞

2月7日(月)渋谷O-EAST
2月23日(水)名古屋E.L.L
3月13日(日)高田馬場AREA
3月19日(土)横浜SUNPHONIX HALL
3月20日(日)HRさいたま新都心VJ-3
3月21日(月)柏PALOOZA
4月2日(土)HR宇都宮VJ-2
4月3日(日)高崎CLUB FLEEZ
4月10日(日)水戸ライトハウス

ECCENTRIC AGENT本部

アンド携帯ファンクラブ2011年1月末OPEN!!

アンド携帯ファンクラブが2011年1月末にOPENする事が決定致しました!!
※OPEN日は後日ECCENTRIC AGENT本部、プレファンクラブメルマガにて発表!!
オープン記念スペシャル特典として無料プレファンクラブメルマガにキャンペーン期間中にご登録頂いたお客様に最新「BLINDNESS」スペシャル待ち受け画像プレゼント!!

メルマガ登録方法
専用QRコードよりアクセスして頂き、空メール送信の上、
その後に届くメール本文内のURLにアクセスし、お申込みください。
※ドメイン指定している場合は指定アドレスに
@fmb excite co jpを追加してください。

NEW SINGLE「BLINDNESS」NOW ON SAL

■「BLINDNESS(A-TYPE)」EAR-017A ￥1,890(TAX IN) 収録:CD 1「BLINDNESS」、2「blossom」 DVD:「BLINDNESS」PV CLIP
■「BLINDNESS(B-TYPE)」EAR-017B ￥1,575(TAX IN) 収録:CD 1「BLINDNESS」、2「blossom」、3「イノセント」
※初回出荷特典:AGENTバトルカード(No,25～30までをCD対1にてランダム ※商品に関するお問い合わせ:ONG DISTRIBUTION (TEL:

＜「BLINDNESS」インストアイベント＞
1月23日(日)新宿ZEAL LINK 1月30日(日)池袋BRAND X 2月6日(日)渋谷ZEAL

蝴蝶网
hudie.com

2011年を占うアイテムインタビュー!!

曲の意味を深く考えて作るようになって色々な作品が生まれた。

12月29日にリリースされた、アンドのニューシングル「BLINDNESS」は聴いていただけただろうか。
こちらの作品、静寂を前に押し出しつつも、バンドの持ち味である激しさが存分につまった、極上のミディアムナンバーに仕上がっている。
2010年、確実な成長を遂げたアンドが今年打ち出したいこととは。
その謎を解き明かすべく、4つのキーワードを用意した。

Interview:ERI MIZUTANI

I 「炎上地獄車」ツアーファイナル公演ライヴDVDのヒミツ

―昨日のことのように感じられるツアーファイナルのEAST公演。あの熱狂の様子が映像化されるとのことで。

キリ：見所としては、演出ですかね。照明然り、映像になったからこそ見えるアンドの世界観を感じてもらえたらなと思っています。自分でも、映像を見て振り返ってみると、かっこいいことやっているなって。特に、歌もののゾーンはグッときましたね。

―ちなみに、隠されたヒミツとは？

キリ：今回、メンバーによる解説が入っていて。「ここって実はこうだったよね」みたいな会話を入れているんで、ここも楽しんでもらえたらなと。

II 2010年の足跡

―2010年も多忙でした。

けん：大収穫の1年でした。今年に入ってから、自分の曲が多く使われるようになってきたおかげで、自分に責任が出てきたんです。それもあって、アンドのことをすごく考えられるようにもなったし、次はこうしていこうっていうのが見えるようになりましたね。

PECO：俺、2010年は自分探しをしていました。

―それは、1年間を通して？

PECO：2009年からのテンションを繋げつつ、自分を探していた感じがするんですよ。たくさんのことがあっただけに色々と考えることも多くなって。そういうときに、逃げなかったのは自分でも評価できるところだと思うし、この強みを今後にも活かしていきたいって思いましたね。

―精神的に強くなってきたのかな？

PECO：うーん、どうなんですかね、自分ではわからないけど。ただ、考える時間があったからこそ、ツアーファイナルのライヴの成功があったんだと思うし、あれだけのお客さんが俺たちに向けて歓声をくれたというのは、ちゃんとした結果が残せたということなので、まずは満足です。

都磨：毎年、暮れになると、この1年どうだったかなって振り返ってみるんですけど、2010年はバンドが3周年を迎えた

蝴蝶网
hudie.com

するんです。また、個人的にも、自分というものがしっかりと見えてきたかなって。なので、今年はすごく広がった年だったなぁと。

──そうやって言いきれるっていうのはすごく良いことだね。

郁磨：2009年と比べると、だいぶ視野は広くなりました。制作やライヴを通して、バンドの進むべき方向が見えてきたし、歌い手としてこういう風になっていきたいとか、自分が何をしたいのかが具体的に見えてきたんです。だからこそ、活動4年目に向けて、もっともっと視野を広げていきたいなと思ったし。となると、1年間というよりは、結成してから今までが実りあるものだったんだなと感じますね。この3年間があったからこそ、やりたいことに気付けたというか。でも、これからも大人しくなることなく活動していきたいなって（笑）

キリ：ほんと、2010年は、自分たちのあるべき姿というか、これがかっこいいんだっていうのを探していたような気がするんですよね。シングルを出して足りなかったものは次に活かす、そういった意識で進んでいったんです。だからこそ、激しさだけではなく、歌モノも出してきた。それって、結成して1年や2年足らずでは見つけられなかったことだと思うんです。結成当時は自分たちが面白いと感じたことや楽しいと思ったことをただ突き詰めていけばいいと思っていたので。でも、こうしてリリースを重ねる毎に、面白さを引き出すためには他に何が必要なのか、ということを考えるようになったんです。そこで、目を向けていなかった音楽性にも手を出すようになって。意味を考えて作るようになったからこそ、色々な楽曲が生まれたと思うし、メリハリのあるライヴができるようになってきたのかなと。

──確かに、2010年にリリースした作品はタイプが異なるものばかり。音源とライヴの差別化をはかるのではなく、両方が引き立つためにはどうしたらいいのかというのを常に考えてきたんだね。

キリ：激しいものをよく見せるための手段、といったらなんですけど、ライヴを色付けできるものは歌モノしかないと思ったので。そこは、もっと勉強していかなくてはいけない部分ではあるんですけど、新たな武器は確立されたのではないかと思うので、そこは今後も大事にしていきたいですね。

──そういう考えができるようになったのは、KAJIさんが加入したというのが大きいのかも。

KAJI：個人的には目まぐるしい1年でした。一気に違う環境になったこともあって、最初はすごくあたふたしていましたね。でも、ライヴなりレコーディングなり、学んだことはすごく大きかったです。また、自分のドラムプレイについても改めて考えるきっかけとなりました。

──そこは、今年に繋げていかないとね。

KAJI：もちろんです。今年はあたふたしたくないですから（笑）。

──2011年、何を目標にして頑張っていきましょうか？

KAJI：今年の目標は【一致団結】で決まりじゃないでしょうか。って、みんな無反応なんですけど！（一同／笑）

III 都内某所限定任務「AGENT VII ROOM'2011」のヒント

──この限定任務、前にも開催されたんだって？

キリ：前回は目黒鹿鳴館でやりました。このときは、ほぼノンストップで煽り曲しかやらないっていう。

──まさに地獄絵。

キリ：強化任務と謳ってやったはいいんですけど……。

けん：2曲目で疲れちゃって（笑）

──あらら（笑）。次はどんな趣向でやってくれるのか気になるところをなんだけれど。何でもやっていいよ！って言われたら、みんなは何をしたい？

PECO：それだったら、お客さんが5人ぐらいしかいないライヴやりたいです。それこそ、「AGENT VIP ROOM」じゃないかなって。でも、煽り曲やったら、どちらも気まずくなるのかな（笑）

けん：確実だね（笑）。俺は、ギターを弾いて歌いたいです！　元々、ギターをやりたいっていうのもあったので、今でも、キリさんのギターを借りては、ちょこちょこ弾いているんです。でもなぁ、俺が歌うんだったら、郁磨にはどっか行っててもらわないとなぁ。

郁磨：どっかって（笑）。俺は、曲に対しての振り付けをきちんと説明できる時間を設けたいかな。ここでしか見せられないものを見せたいし、みんなで作りあげることによって、アンドの楽曲を唯一無二なものにしたいんですよね。

KAJI：俺は、ホラー映画っぽい演出のライヴがしてみたいですね。猟奇的な感じっていうんですか、パフォーマーとかをバックにバーッと並べて演奏したい。それをPVでというより、ライヴでやってみたいんですよね。見たことのないような刺激を与えたいというか。自己満足かもしてないんですけど、憧れます。

キリ：ドッキリ企画とかも面白いかもしれない。俺たちが仕掛けるんじゃなく、お客さんからとか。例えば、セットリストはライヴ当日にお客さんに決めてもらうとか。

けん：それ面白いね～。

キリ：でも、俺たちは均等に練習してこないとヤバイっていう。できなかったら、即、退場！（笑）

──それいい（笑）。何だか、全部やってもらいたくなってきたよ。

郁磨：こうやって、色んな案が出るほど、くだけられるライヴなんですよ、「AGENT VIP ROOM」って。前回もそうだったので、次も色々なことをして、みんなを楽しませたいと思います。

IV 平成二十三年・六大都市単独公演巡業任務のヒミツ

──大事な任務が決定しておりますので、みんなから詳細と意気込みを！

キリ：5月から始まるこのツアーは、ミニ・アルバム発売に伴ってということなので、アルバムの曲になってくると思います。陰と陽がハッキリと出た作品にしたいと考えているので、勢いや世界観はもちろんのこと、さらに新たな武器を身に付けたアンドが見られるのではないかなと。

──SHOXXではチケットの先行発売もあることだし、アンドの成長を1人でも多くの人に見てもらいたいね。

キリ：はい。良いものになることは間違いないので、ミニ・アルバムとともに、楽しみにしていて下さい。

SCREW

AFTER【DUALITY SYMMETRY】

月5日・渋谷O-WESTでのワンマン・ライヴをソールドアウトさせ、成功に収めたSCREW。3月には新しいCDのリリース、そして
月23日には渋谷O-EASTでのワンマンも決定と、次なる展開が控えている。新メンバー・ルイを迎えて、新たなスタートを切った
10年とO-WESTでのワンマンを振り返りつつ、これからの展望を訊いた。O-WESTのステージで見せた、鋲の涙の理由とは?

Photography:SAWAE HARA　Interview:MIYUKI MURAYAMA

05set list】

UALITY
rsed Hurricane
ァム・ファタール
LLYFISH
irty Revolver
ther Roses
REFLY
ABY☆STAR
wer World
osary
白雪と舞う
NFERIORITY
Barbed wire
M.R.T
RAGING BLOOD
=r&b
ncore I>
スカーレット
VEGAS
惨殺Fiction
七色
ncore II>
KAIROS
DearestWish

—12月5日に行なわれた、渋谷O-WESTでのワンマン・ライヴはいかがでした?

鋲：久しぶりのワンマンで、前半はガチガチでしたね。自分としては初ワンマンぐらいの感じでした。

ジン：2010年はイベント中心だったので、僕も最初はワンマンの流れをつかむのに必死でしたね。中盤のバラード系が終わってから、身体がなじんできました。

マナブ：僕はあんまり緊張してる感じはなかったんですけど、ライヴが始まったら緊張と興奮で固い感じがして。でも、中盤過ぎて冷静になったら、もう終わっちゃいそうだって、名残惜しい気持ちが大きくなりました。

和己：俺はいつもどおり緊張してる感じで、固くっていうのはなく。特に1曲目は、〝ヤベ、楽しい〜〟って気持ちが盛り上がっちゃうじゃないですか。行きすぎると空回りになるんで、そういうところを抑えるようにはしてましたね。

—SCREWとして初ワンマンになったルイくんはどうでしたか。

ルイ：前日緊張しすぎて全然寝られなかったですね。ライヴとかに対して緊張するほうじゃないんですけど、何であんなに緊張してたのか自分でも分からないぐらい、すごい緊張してました。本番前も落ち着かなくて、じっとしてられなくて。実際冷静になったのは数曲やってからだったんで、最初1〜2曲目辺りの記憶がないですね。

—彼がそんなに緊張してるのは、楽屋で気づいてました?

鋲：2〜3日前ぐらいから、緊張するって言ってたんで、相当キテんなって思ってました（笑）。

—で、何か声をかけるとかは…。

鋲：緊張するっていう言葉を発することによってもっと緊張するんだよ、みたいなことは言いましたけど。

ルイ：そう言われたんですけど、もういっぱいいっぱいすぎたんで（苦笑）。でも、つまらないミスとかもなく楽しくいう気持ちです。

—このメンバーになって、たくさんライヴを重ねてきたことが出せたという手応えは感じられましたか。

ジン：イベント・ライヴを廻ってきた5人の団結力をライヴ中に感じましたね。ワンマンで初めて披露した曲もあるんですけど、アイコンタクトとかフィーリングだとかが、イベントを重ねてきたからこそばっちり合うところがあって。そういう意味ではすごくよかったなと思います。

—ソールドアウトしていたこともあって、すごく盛り上がってましたが、それでテンションが上がることも?

ジン：ソールドアウトっていう言葉を聞いた時はすごく嬉しかったですね。でも、実際ライヴをやった時は、ソールドしてるからっていう気持ちではなく、そこはいつもと変わらなかったですね。

ルイ：俺も意識はしてなかったですね、本番中は。ワンマンを発表した時は、メンバー・チェンジもあったし、いっぱい来てくれるのかなって不安もあったんですよ。でも、本当にたくさんの人に見てもらえたし、やっぱり嬉しいですよね。頑張ってきてよかったなってすごく思います。

—鋲くんがアンコールで感極まったのは、ここまでやってきたことに対する想いがあったからですか。

鋲：ん〜〜あの涙はですね…いろいろ思い出しちゃって、一気にこみ上げ[illegible]ものがありました。アンコール[illegible]たら一気に気持ちが高まって。

—自分でも意外なぐらい感情が動いたんですね。

鋲：O-WESTで泣くのかよ[illegible]ですよね（苦笑）。

—O-WESTをソールドア[illegible]たことに対して、そこまで感極ま[illegible]けではないと?

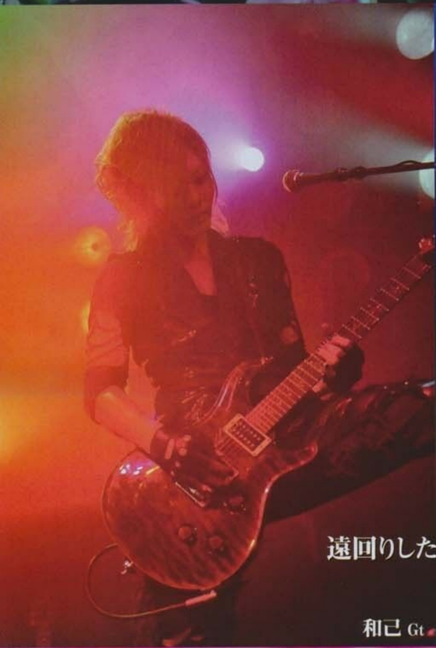
鋲：今までを振り返っての涙のが[illegible]す。

—あそこまで泣いたのは、[illegible]Wのヴォーカリストとしてのイメ[illegible]

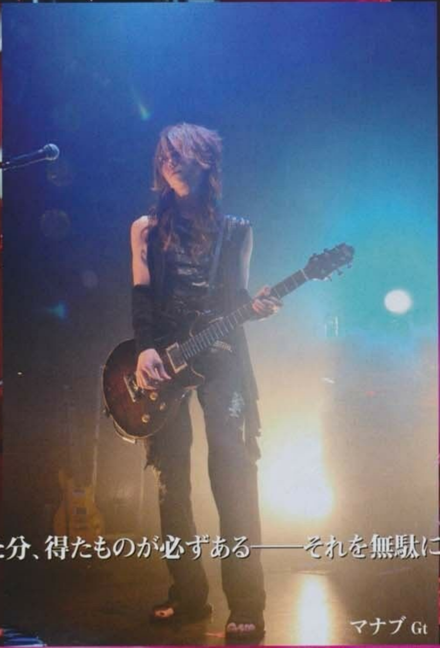
蝴蝶网 hudie.com

ジン Dr

鋲 Vo



和己 Gt



マナブ Gt

遠回りした分、得たものが必ずある——それを無駄にしたくない

和己：いや、別に（笑）、僕らはステージで出してない面も知ってるんで。

マナブ：でも、可愛いなって。

ルイ：俺も可愛いなって思った。

マナブ：みんなで上に行きたいみたいなことを泣きながら（鋲が）言ってるから、〝コイツを上に行かしてやりたい〟って、なぜか僕も思っちゃいました。ファン心理じゃないですけど、放っとけないみたいな、母性本能がくすぐられました。

ジン：母性本能あるの？（笑）

マナブ：あるある（笑）。

——そういう言葉が出たのは、ヴォーカリストの先輩に当たる人を失って、決意を新たにしたからなんでしょうか。

鋲：難しい質問ですね。自分の中にあるものを解放したかったと言うか。心の中が重たくて、言うことによって少しでも楽になれたらと思って。あの方がなかったらO-WESTのワンマンも出来てないし、今の自分もいないので。

——意志を引き継ぐと言うか、自分は歌い続けていくという気持ちを、天に向けて言っているのかなと思いました。

鋲：そうですね。今までのワンマンの中でいちばん記憶に残ってるし、絶対忘れられない日になりました。ここからまたリスタートできたらいいなって思います。

——このワンマンが成功したのは、この1年が充実してたからだと思うんですが、2010年を振り返ってみると、大変なこともあったかと思うんですが。

マナブ：ライヴもレコーディングもたくさんやったので、これまでの活動の2年分ぐらいありそうですよね。大変だったけど、それぐらい凝縮した活動が出来たのはよかったと思います。

ルイ：大変って言ったら大変なのかもしれないですけど、好きでやらせてもらってることなんで、苦に感じたりすることはなかったです。次から次にライヴして、レコーディングしてたんで、時間が経つのがすごく速くて。1年間ってこんなに速かったっけ、みたいな感じでしたね。濃い時間でした。初めての経験もあっ

したと思うんですけど、もう大丈夫です（笑）。

——来年の活動も着々と決まってきていますが、次回作の構想ももう見えていますか？

和己：選曲会に出てくる曲で、い[illegible]決まってくると思います。曲ありきで考えようかと思ってるんです。曲を[illegible]そこからコンセプトを考えていく[illegible]りなのかなって。

——これまでとは違うタイプの良い曲が出てくれば、また変わってきたりすると。

和己：そういうこともありますね。コンセプトを決めるとそれにしかならないんですけど、5人が自由に持ってきたら、また違うものが生まれるかなって。そういう意味で、幅広くやってみようかというところです。とんでもない曲が出てくるかもしれないですよね。

ジン：自分が作った曲より、みんなが作った曲を早く聴いてみたいですね。そこから自分がインスパイアされたり、刺激されたりするものもあるだろうし。そうなってくると、レコーディングも楽しみになるんで。これからも、SCREWらしさをなくさず、でも斬新な曲を出していけたらと思いますね。

——O-EASTでのワンマンも決まっていますが、2011年はどういう1年にしていきたいですか。

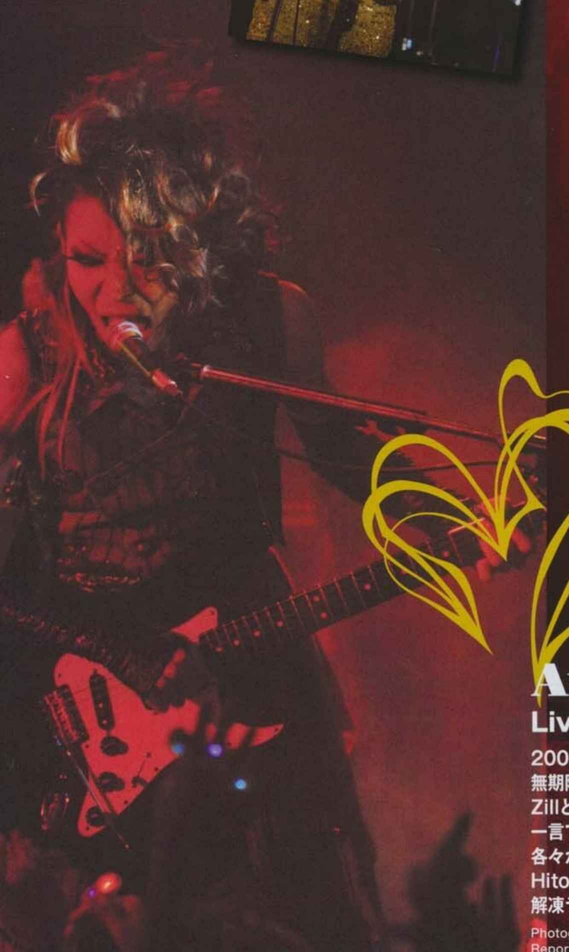
マナブ：次のワンマン・ツアーが勝負だと思うんで、まずそれを成功させたいです。そうすれば、明るい未来が待ってると思うんで（笑）。

鋲：O-WESTを何回もやって、今回売り切れて、O-EASTっていう目的地に行くのは初めてなんで、ナビで初めて行く場所を検索してるみたいな、すごく楽しみな感じがします。日が迫ってきたら緊張も出てくると思うんですけど、今はO-EASTでやっと出来る、続けてきてよかったっていう気持ちですね。遠回りした分、いろいろ得たものがあると思うんで、それを無駄にせず頑張りたいと思います。

慧美网 vimee.net

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com



Moran

Awake

Live at 高田馬場AREA 2010.12.24

2009年12月2日にO-WESTにて行われたワンマン・ライヴにて、無期限の活動休止に入っていたMoran。苦楽を共にして来た仲間・Zillとの別離、そしてギタリスト・Sizna加入…。一言では言い表す事の出来ない出来事が、彼等の身に起こったこの一年。各々が様々な想いを胸に抱き、2010年12月24日、Moran解凍。Hitomi・Sizna・Soanが出した答えとは？　今回は、12月24日に行われた解凍ライヴの模様を、メンバー・セルフレポートにて彼らの目線でお届けします。

Photography:MIWA OHYA
Report:Moran

セルフレポートということで、自分なりに書いてみようと思います。前日までは朝まで作業していて〝大丈夫か⁉〟（笑）というくらい追い込まれていたので、当日は短い時間だったけれども、深い眠りにつけたよ。天気にも恵まれ、Ｚｉｌｌが空から見守り一緒に祝ってくれてたんじゃないかなと思った。入りをしてからは、逆にバタバタだと感じることもなく、本番に向けて集中できた気がします。リハーサルはちょっとしたアクシデント⁉（笑）もあったけれども、振り返ってみても良いライヴになって良かったよ。左手の骨折でリハビリ中の身ではあったけれども、本番を無事にやり切れたし、みんなと再び歩みを進めることができたこと、嬉しく思います。

セットリストの根幹案を俺（Ｓｏａｎ）が出させてもらったんだけど、1曲目は「Element」から。Ｍｏｒａｎの始まりでもある曲を一番にやりたくて持ってきたよ。プロジェクターを使いたいというＨｉｔｏｍｉ案の元、演出したけれども、凄く雰囲気がマッチしていて、叩いていて気持ちよかったです。話が前後してしまうが、久しぶりにあの登場ＳＥを聞くことが出来たのは良かったよ。そして、待っていてくれたみんなの声。沢山耳に入ってきて、テンションが上がったよ。本当にありがとう。ということで、ここからはＳｉｚｎａにバトンタッチして、続きを託します。【Ｓｏａｎ】

セルフレポートを初めて書きます。自分のライヴを自分で文章にする。不思議な感じです。

さてＳｏａｎの続きから書きます。

本編ＭＣ明けでは「目下の泥濘」や「君のいた五線譜」など繊細な楽曲を続けました。細かいタッチの演奏やニュアンスを生かす曲は僕の得意分野です。

本編半ばで演奏した新曲「南へ」はＺｉｌｌさんの残した原曲を元にアレンジした曲です。Ｈｉｔｏｍｉくんが唄う命の重さや儚さがストレートに伝わる楽曲です。3月23日に発売されるMini Album『Apples』では存在感の高い一曲だと思います。

【セットリスト】
1.Element
2.ハーメルン
3.マニキュア
4.Helpless
5.目下の泥濘
6.君のいた五線譜
7.カクタス亜科
8.南へ(新曲)
9.Sea of fingers
10.Lost Seep
11.Silent whisper
12.Stage gazer
EN1.彼(新曲)
EN2.今夜、月のない海岸で
EN3.Perty Monster
EN4.Bleach
EN5.ハーメルン
EN6.Silent whisper
EN7.今夜、月のない海岸で

を決意した怒涛の楽曲展開だったと思います。「Stage gazer」まで、止めど[...]演奏を続けました。

〝解凍〟・〝聖夜〟という2文字のテーマを元に時間はあっという間に過ぎていきました。【Sizna】

本篇終了後、プロジェクターで[...]ルバムと、春の全国ツアーの告知を行[...]た。

そしてアンコールでは『Appl[...]』からもう一曲「彼」を初披露。パンキッシュなコーラスワークとアッパーな曲調[...]かにもZillらしい楽曲で、[...]間違いなくライヴでの定番曲になってい[...]ろう。ちなみに「南へ」や「彼」の[...]ラスにはZillの声も使われているから、なんだか一緒にライヴをやっている様な気になれる。そこから定番曲の「今夜、月の無い海岸で」「Party Monster」でアンコール1は終了。二度目のアンコールはZill追悼ライヴで初披露したばかりの渾身のバラード「Bleach」でしめやかに終わるはずだったが、久々のワンマンということで、急遽三曲追加。俺的には、まだまだやれそうだったんだけど、さすがにSoanの左手が悲鳴を上げていたようなので、そこで幕を下ろした。

活動休止から約一年、再びMoranとしての活動が始まった。それはみんなが決して望んでいたような形ではなく、本当に険しい道の始まりなのだと改めて痛感した。しかし、それでもステージに立った時、再び自分達の居場所に戻ってきたという安心感や、Holic達と一つの空間を、音楽を、湿度を共有することで得られる高揚感が、確かにそこにはあって、胸の奥がギュっとしたんだ。ライヴ後なんていつも頭が真っ白になってるから、あんまり多くの事は覚えてないけれど、その間隔はまだしっかりと思いだせる。

ファンの一人一人、あの場にいてくれた事に、この再スタートに立ち会ってくれた事に、心から感謝します。

それは何よりのクリスマスプレゼントでした。【Hitomi】

(問)〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-8-609 SPEEDDISK内「Moran」係 http://moran-web.net

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

little HEARTS. ON LINE STORE !!

little HEARTS. 通信販売受付中★

little HEARTS. の HP からご注文下さい。http://littlehearts.jp

◆掲載の商品は全て通信販売でお買い求め頂けます。
◆インストアイベントの参加チケットや特典もお付け致します。

little HEARTS.

教えて!! バンギャルちゃん事情

直撃!! お客様にインタビューしちゃいます (^o^)/

お名前 みんちゃん

今日買っちゃったCD
・シド
・TOON-FACTORY

…ワクした出来事・・・
地元バンドのカウントダウン&里帰り

…!! ウォークマンで何聴いてる!?
・V-last.・XIBALBA

…ーツ付近の暇つぶしスポット
オレンジツリー

…ワン的おすすめ3バンド
KIDDIE・シド・XIBALBA

みんちゃん ありがとうございました♪ 来月号はあなたかもー「o」

little HEARTS. SPECIAL 企画

第1、第3【日曜日】
スタンプ倍Day
通常¥1,000→1スタンプのところ
¥1,000→2スタンプ!!

Visual Music & Fashion & Community Space
little HEARTS.
http://littlehearts.jp

INSTORE EVENT

/26（水）15:00 【ICeOAGe】1時間店員
/29（土）13:00 【ViViD】トーク&握手会
15:00 【ViViD】トーク&握手会
2/12（土）19:00 【Kagrra,】握手会
2/20（日）13:00 【HERO】トーク&撮影会
15:00 【HERO】トーク&撮影会
3/29（火）18:00 【己龍】トーク&握手&撮影会

インストアイベントは、決定次第HPにて告知致します。

little HEARTS.

little HEARTS. 携帯サイトでも
インストアイベント情報や
STAFFブログがご覧頂けます！

アクセス方法■JR仙台駅より徒歩15分■地下鉄広瀬通駅西4出口より徒歩1分

little HEARTS.

ビジュアルミュージック＆ファッション＆コミュニティスペース【リトルハーツ】

http://littlehearts.jp

〒980 8546 宮城県仙台市青葉区一番町3-1
仙台フォーラス7 F
営業時間 OPEN 10:00 / CLOSE 20:30
TEL 022-264-8003 ※年中無休

little HEARTS.

1/19 ヴィドール

BEST ALBUM
『BEST』
初回盤（CD15 曲+DVD9 曲）¥4,500
通常盤（CD15 曲）¥3150

2/2 マイドラゴン

SINGLE『二次元コンプレックス』
初回限定盤 TYPE-A（CD2 曲 +DVD3 曲）¥1,890
通常盤 TYPE-B（CD3 曲）¥1,575
通常盤 TYPE-C（CD3 曲）¥1,575
Aタイプ:コメントDVD+アーティストカードランダム2枚(集合1枚+個人5枚)
Bタイプ:アーティストカードランダム2枚(集合1枚+個人5枚)
Cタイプ:アーティストカードランダム2枚(集合1枚+個人5枚)

2/9 DoG in The パラレルワールドオーケスト

ALBUM「ONE」 初回盤:オリジナルDVD+アーティストフォト
通常盤:アーティストフォト5枚組
初回盤（CD13 曲+DVD1 曲）¥3,990
通常盤（CD13 曲）¥3,150

1/19 愛狂います。

LIVE DVD
『東京浪漫帝國』¥4,980

1/19 [illegible]

SINGLE
『「夢」～ムゲンノカナタ～』
初回限定盤 A¥1,890 ／初回限定盤 B¥1,890
スペシャルボーナストラック盤¥1,260
イベント

1/19 葵 from 彩冷える

ALBUM
『ONE』
初回盤 A¥3,500
初回盤 B¥3,500
通常盤¥3,000

1/19 Jackman

SINGLE
『19％』¥1,575

1/19 カル・ヴァリ

BEST ALBUM
『the BEST 2007-2011』¥3,675

1/19 我覇道

SINGLE
1/19『病んでる時に唄う歌』¥2,100
2/16『happymaker』¥2,100
3/16ALBUM『言葉』¥2,625

1/26 Blu-BiLLioN

SINGLE『colours』
初回盤¥1,890 ／通常盤¥1,260

1/26 V.A.

ALBUM
『STAND UP SONIC』¥3,150
1.Arc 2. マイナス人生オーケストラ 3.Schwein
4.Armeria 5. バラッド 6.Ru:natic 7.Digerir
8.ヴェルテクス -Vertex- 9.69 10. ドメスティッ
11.TЯicKY 12. パノラマ虚構ゼノン
13.Valgana 14. セツナ神姫。

1/26 ICeOAGe

イベント
ALBUM
『FATE』¥2,500

1/26 TOON-FACTORY

SINGLE 1/26『Chloris』¥1,260
2/23『2Logic』¥1,260
Chloris:コメントDVD

2/2 BORN

MINI ALBUM『DOGMA』
初回盤¥2,835 ／通常盤¥2,835

2/2 Kagrra,

FULL ALBUM『百鬼絢爛』
初回盤 ¥3,990 ／通常盤 ¥3,150
初回盤:アーティストポストカード集合
通常盤:アーティストカード集合

2/9 NightingeiL

SINGLE
『水銀』¥1,575 アーティストフォト集合

2/9 東京ミカエル。

BEST ALBUM
『ザ ベリー ベスト
オブ 東京ミカエル。』
¥3,675

2/14 ALiBi

LIVE DVD
『NEXT NEW STAR』¥3,800

3/2 己龍

FULL ALBUM
『夢幻鳳影』
初回盤 ¥3,675 ／通常盤 ¥3,15

3/2 Synside

SINGLE
『TRUTH』¥1,575

3/23 Called≠Plan

SINGLE『アナタノ青春わしづかみ★』
A-TYPE¥1,575 ／ B-TYPE¥1,575

3/23 お遊戯わが魔々団 ×【PaRADEiS】

MINI ALBUM『albare』
A-TYPE¥2,940 ／ B-TYPE¥2,625

4/13 Arc

BEST ALBUM『End at time』¥3,6
BEST DVD『道のカケラ』¥3,360

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Alice Age

携帯でいつでも
ショッピング!

カワイイ×カッコイイの大本命オンラインショップ

ALICE PROJECT 始動 !!

胡蝶网
hudie.com

ヴィジュアル・ゴシック・パンク・ロック系 レディース&メンズ ファッション 総合サイト !!

http://www.alice-age.jp/

Alice Age

期間限定 OPEN キャンペーン

1 全品送料無料 !!
期間中は全品・国内全国
何点でも送料無料 !!

2 リストバンドプレゼント
¥3,000 以上お買い上げで Alice Age
オリジナルリストバンドをプレゼント

3 ポイントプレゼント
新規会員登録でお買物ポイント
300 ポイントプレゼント

あなたの欲しい! すぐにお届け!!
16 時までのご注文は
当日発送

取扱いブランドも続々参戦中 !! 新作続々入荷 !! メンズ・ユニセックスアイテムも充実 !!

+ALGONQUINS +TOXIC STAR +DeviL'n Bass +ROMANTICNEUROSIS +Dr.Martens
+HELLCATPUNKS +Deorart +Jessica Louise +RITUALS
+SUPER LOVERS +PUTUMAYO +Rockin' Bones +T.U.K
etc..

■365 日ご注文受付中 !! ■取扱いブランド様募集中 !! ■お楽しみのコンテンツ満載

2nd SINGLE 2011.1.26 RELEASE
colours
【初回盤】(CD＋DVD)
RSCD-027/028 ￥1,890 (tax in)
[CD] 1. colours 2. Communication Break
［DVD］colours (Music Clip)
【通常盤】(CD)
RSCD-029 ￥1,260 (tax in)
1. colours 2. Communication Break 3. Bright
STORE EVENT】
月26日(水)「colours」発売記念スタンプサーキット』
日(水)ブランドエックス
第1回 17:30 START(30分) / 第2回 18:30 START(30分)
ブランドエックス 03-3980-6780
1月26日(水) Like an Edison.com ラフォーレ原宿
時間：第1回 17:30 START(30分) / 第2回 19:30 START(30分)
(問) Like an Edison.com ラフォーレ原宿 03-3746-6002
1月26日(水)自主盤倶楽部
時間：第1回 18:30 START(30分) / 第2回 19:30 START(30分)
(問) 自主盤倶楽部 03-3371-3851
lours』購入者対象インストアイベント
日(土)ブランドエックス
] 18:30 START
ンプラリーイベント引き換え特典>
ただけの自撮り2ショット写メ(お客様の携帯電話で撮影)
ブランドエックス 03-3980-6780
1月30日(日)自主盤倶楽部
[時間] 15:00 START
<スタンプラリーイベント引き換え特典>
あなただけの着信ボイス(お客様の携帯電話で録音)
(問) 自主盤倶楽部 03-3371-3851
1月30日(日) Like an Edison.com ラフォーレ原宿
[時間] 18:00 START
<スタンプラリーイベント引き換え特典>
あなただけのコメント動画(お客様の携帯電話で録画)
(問) Like an Edison.com ラフォーレ原宿 03-3746-6002
RESISTAR RECORDS
OFFICIAL SITE : http://blu-billion.jp/

Blu-BiLLioN

hudie.com

【EVENT LIVE】

1月22日 (土) 高田馬場 AREA (問) 高田馬場 AREA 03-3361-1069
出演：Blu-BiLLioN / ニンジャマンジャパン / Ap(r)il / Virgil / ダウナー / MoNoLith
OPEN 17:00 / START 17:30　ADV ¥3,000 / DAY ¥3,500 (D 代別) チケット：発売中

1月28日 (金) 高田馬場 AREA (問) 高田馬場 AREA 03-3361-1069
出演：Blu-BiLLioN / 我磯道 / Luzmelt / Arc / Vallquar- ワルキューレ - / the LEM? / ALSDEAD / アルティスタ (O.A)
OPEN 16:00 / START 16:30　ADV ¥3,000 / DAY ¥3,500 (D 代別) チケット：発売中

2月4日 (金) 高田馬場 AREA (問) 高田馬場 AREA 03-3361-1069
出演：Blu-BiLLioN / 花少年バディーズ / spiv states / 他
OPEN 17:00 / START 17:30　ADV ¥3,300 / DAY ¥3,800 (D 代別) チケット：発売中

2月8日 (火) 高田馬場 AREA (問) 高田馬場 AREA 03-3361-1069
出演：Blu-BillioN / A&D / ALSDEAD / キッド / SCAPEGOAT / FEECHE / 他
OPEN 16:30 / START 17:00　ADV ¥3,000 / DAY ¥3,500 (D 代別)　チケット：ローソンチケットにて発売中

2月11日 (金・祝) 高田馬場 AREA (問) 高田馬場 AREA 03-3361-1069
出演：Blu-BiLLioN / xTRiPx / Administrator / spiv states / yuina / ReivieЯ
OPEN 17:00 / START 17:30　ADV ¥3,000 / DAY ¥3,500 (D 代別)　チケット：ローソンチケット、高田馬場 AREA 店頭にて発売中

2月16日 (水) Shibuya O-WEST (問)Shibuya O-WEST 03-5458-4681
出演：Blu-BillioN / the Riotts. セッション / 他
OPEN 17:30 / START 18:30　ADV ¥3,000 / DAY ¥3,300 (D 代別)
チケット：ローソンチット、ライカエジソン新宿店 Shibuya O-WEST 店頭にて発売中

2月28日 (月) HOLIDAY SHINJUKU (問)HOLIDAY SHINJUKU 03-5292-0591
出演：Blu-BiLLioN / 他
※詳細未定

DOG inThePWO
パラレルワールドオーケストラ

激アツ 1st ALBUM
『ONE』2011年2月9日発売!!

【初回盤】CD+DVD　RSCD-030/031 ¥3,990 (tax in)　13 曲収録 (初回盤のみ「電脳花壇」収録)＋新曲 Music Clip
封入特典：着せ替えジャケット 1 種ランダム封入（全 4 種）
【通常盤】CD のみ　RSCD-032 ¥3,150 (tax in)　13 曲収録 (通常盤のみの収録曲あり)
発売元：Resistar Records

あの青空かくれんぼがパワーアップしてカムバック！

『ONE』発売記念イベント
原宿チョコっとアドベンチャー～バレンタインに待ってるワン～開催決定!!
参加者には当日行われる「逆バレンタイン❤無料ワンマン」をプレゼント!!

【開催日程】2月13日(日)
【参加方法】
★1st ALBUM『ONE』(初回盤) に封入されているスタンプラリーの台紙を入手！
★スタート地点から原宿の 4ヶ所に隠れているメンバーを探し出しスタンプを 4 つ集めよう！
★スタンプをコンプリートし当日都内某所で行われる無料ワンマン LIVE に参加しよう！

初の東名阪 ONEMAN TOUR
「犬(わん)交(こう)パーティー」開催決定!!

2 月 26 日 (土) 大阪 knave SOLD OUT !
開場 17:00 / 開演 17:30
2 月 27 日 (日) 名古屋 ell.size SOLD OUT !
開場 17:00 / 開演 17:30
3 月 4 日 (金) Shibuya O-WEST
開場 18:00 / 開演 18:30 チケット 前売 3,200 円 (D 代別)
各プレイガイドにて発売中 [ローソンチケット・e+] (問) フリップサイド 03-3466-1100

『ONE』購入者対象インストアイベント
『DOGとコスプレ犬交パーティー』
※イベント内容・参加方法は、OFFICIAL WEB SITE をご確認ください。

名阪先行『ONE』購入者対象インストアイベント
1 月 29 日 (土)　ライカエジソン大阪店 / 14:00 START
1 月 30 日 (日)　ライカエジソン名古屋店 / 15:00 START

2 月 19 日 (土) Like an Edison.com ラフォーレ原宿 / 14:00 START
2 月 19 日 (土) ライカエジソン東京店 / 18:00 START
2 月 20 日 (日) 自主盤倶楽部 / 14:00 START
2 月 20 日 (日) ブランドエックス / 18:00 START

[EVENT]
2011年1月12日(水) 高田馬場AREA
2011年1月29日(日) 心斎橋FAN-J
2011年1月30日(月) 名古屋ell. FITS ALL
2011年2月4 日(日) 高田馬場AREA
2011年2月7 日(月) Shibuya O-EAST

OFFICIAL SITE
http://www.inu-para.com/

蝴蝶网
hudie.com

Printed in Japan
雑誌04537-03
特別定価 1,200円
本体1,143円
株式会社 ジロスト
凸版印刷株式会社
4910045370319
01143